

平成 20 年度 青葉区区民意識調査

調査結果 報告書

平成 20 年 9 月

横浜市 青葉区

まえがき

「青葉区区民意識調査」は、青葉区民の生活について行動や意識をうかがい、今後の青葉区政の運営や施策立案の基礎資料として活用することを目的に実施しています。

青葉区は、東京など市外からの転入者も多く、若い子育て世代が多い、活力あふれる区です。また、本年4月に厚生労働省から発表された「平成17年市区町村生命表」によれば、青葉区の男性の平均寿命は81.7歳で長寿全国1位、女性の平均寿命は88.0歳で全国7位となりました。

このように、様々な顔をもつこの青葉区においては、市政や区政に対する要望は多様化し、求められる水準も高くなっていますので、区民ニーズを的確に把握し、満足度の高い区民サービスを提供していくことがますます重要になっています。

本年は、昨年度調査から設問を一部変更し、新たに喫煙に関する施策の認知度、青葉区の長寿の要因及び防災に対する意識等を調査しました。

昨年の「横浜市市民意識調査」において、喫煙や防災に関して全市的に調査が行われていましたが、青葉区のサンプル数が200～300人前後と少なかったことから、より詳細な意識等を把握するために今回の調査項目に加えました。

また、長寿の要因について当事者である青葉区民の意識を調査し、分析の一助にするために今回の調査項目に加えました。

なお、現在の青葉区民の意識傾向を示すデータを得るため、いくつかの設問においては、昨年度と同様の調査を行っています（設問形式を一部変更したため、単純な経年変化が難しいものもあります）。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの区民の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

平成20年9月

横浜市青葉区

*** 目 次 ***

1	調査概要	1
2	回答者の属性	5
3	調査結果	15
1	青葉区の生活環境について.....	17
2	環境・自然について.....	24
3	福祉・健康問題について.....	31
4	防災について.....	42
5	区政サービスについて.....	48
6	横浜市開港 150 周年、青葉区制 15 周年について.....	54
7	青葉区への定住意向などについて.....	60
8	自由意見.....	71
4	調査票	125

1 調査概要

調査概要

調査目的：青葉区民の日常生活における行動や意識を調査し、今後の区政運営の参考とすることを目的とする。

調査対象：青葉区に居住する16歳以上の男女3,000人（無作為抽出）

調査方法：郵送によるアンケート方式

調査期間：平成20年6月～7月

有効回収数：1,746件（58.2%）

報告書を見る際の注意点

- ① 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ② 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答率の合計は100%を上回る。
- ③ 図中に示した「N=〇〇」とは、その質問に対しての「回答者数」を意味する。
- ④ クロス集計表の分析軸は、「無回答」を表記していないため、合計が全体の基数と一致しない場合がある。

【参考】

青葉区 区民意識調査

	対象	対象数	回収数	回収率	調査方法	調査時期
19年度	16歳以上	3,000	1,588	52.9%	郵送	9月
16年度	20歳以上	3,000	1,727	57.6%	郵送	9月
12年度	15歳以上	4,000	1,980	49.7%	郵送	5～6月

横浜市 市民意識調査

	対象	対象数	回収数	回収率	調査方法	調査時期
19年度	20歳以上	5,000	3,698	74.0%	訪問	6～7月

2 回答者の属性

▶ 年齢

30代～60代は、ほぼ均等に分散している。

「41～50歳」が19.8%で最も高く、次いで「31～40歳」が18.6%、「51～60歳」が18.0%となっている。10歳刻みで見ると、30代～60代はほぼ均等に分散しているが、71歳以上は12.6%とやや低くなっており、20歳以下は4.5%で最も低い。

<10歳刻み>

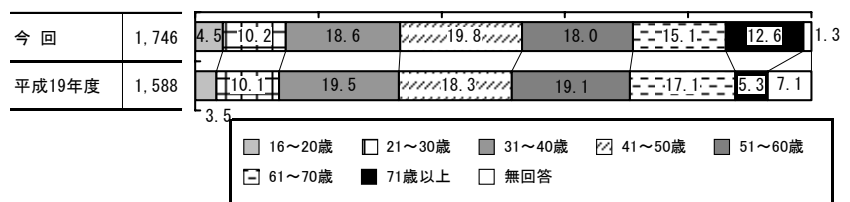
(上段：件数 下段：%)

全体	16～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	無回答
1,746	78	178	324	346	314	263	220	23
100.0	4.5	10.2	18.6	19.8	18.0	15.1	12.6	1.3

< F1 年齢：平成19年度調査結果との比較 >

(N) 0 20 40 60 80 100 (%)

71歳以上で7.3ポイント高くなっているほかは、特に大きな変化はない。

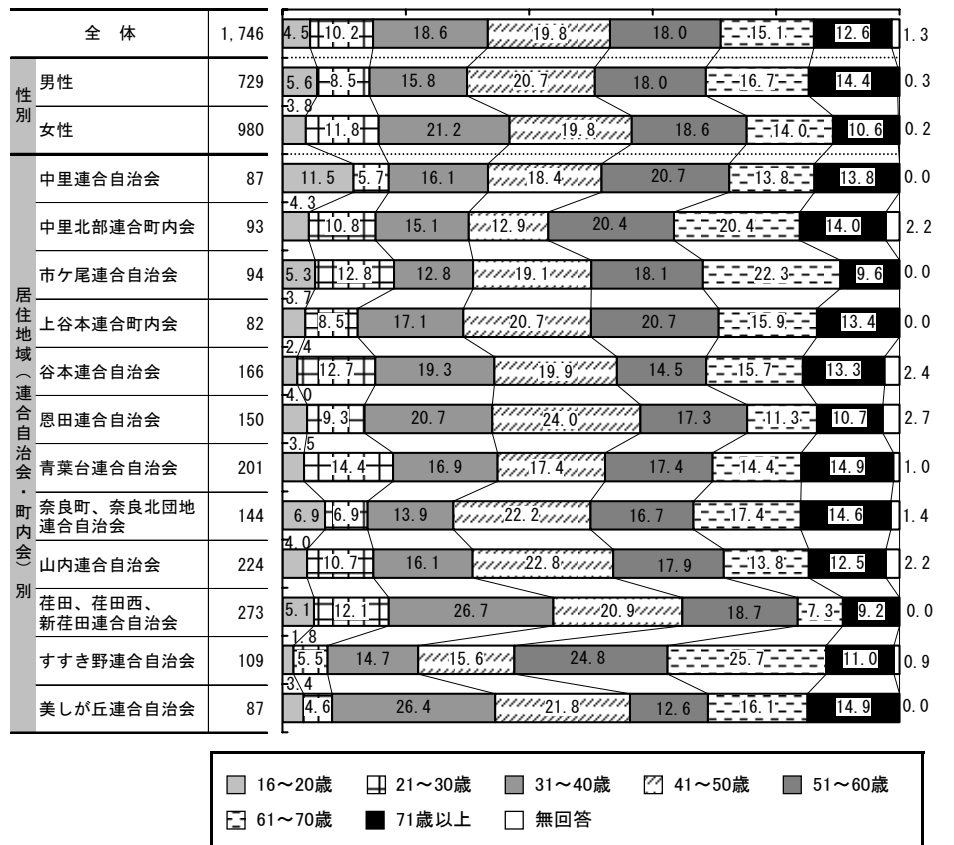


< F1 年齢：性別・居住地域別 >

(N) 0 20 40 60 80 100 (%)

性別にみると、「31～40歳」で女性の割合の方が男性より5.4ポイント高くなっているほかは、ほとんど同じ年齢構成となっている。

居住地域別にみると、61歳以上の高年齢層の割合が最も低いのは荏田、荏田西、新荏田連合自治会となっている。一方、30歳以下の若い世代の割合が低いのはすすき野連合自治会と美しが丘連合自治会となっている。



性別

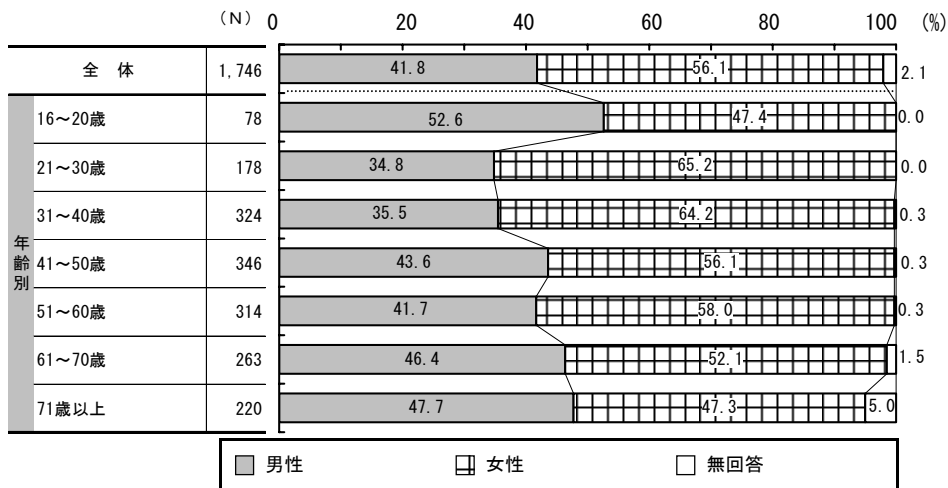
女性の割合が約 14 ポイント高い。

「女性」が 56.1%で、「男性」の 41.8%を 10 ポイント以上上回っている。

< F 2 性別：年齢別 >

年齢別にみると、16～20 歳では、「男性」が過半数を占めているが、21～70 歳では、「女性」が「男性」を上回っている。特に 21～40 歳では、「女性」が 6 割以上を占めている。

一方、71 歳以上では、男女ともほぼ同じ割合となっている。



居住期間

30 年未満が大半を占めている。

「20 年以上～30 年未満」が 22.9%で最も高く、次いで「5 年以上～10 年未満」が 16.3%、「1 年以上～5 年未満」が 15.3%となっており、30 年未満が大半を占めている。

青葉区居住以前の居住地

「東京 23 区」が最も高く、約 4 分の 1 を占める。

(上段：件数 下段：%)

居住地	件数	割合 (%)
全体	1,746	100.0
青葉区	108	6.2
生まれてからずっと	282	16.2
青葉区以外の横浜市	276	15.8
川崎市	116	6.6
神奈川県内	43	2.5
横浜市、川崎市を除く	441	25.3
東京 23 区	454	26.0
その他	26	1.5
無回答		

「その他」の内容	件数	「その他」の内容	件数	「その他」の内容	件数
23 区及び町田市以外の東京都	40	東北地方	13	九州地方	17
千葉県	48	信越・北陸	12	海外	37
埼玉県	27	大阪府	44	その他	5
その他の関東地方(山梨県含む)	13	大阪府以外の東海・近畿地方	87	内容記入なし	88
北海道	10	中国・四国地方	13	合計	454

「東京 23 区」が 25.3%で最も高く、次いで「青葉区以外の横浜市」が 16.2%、「川崎市」が 15.8%となっている。「その他」も約 4 人に 1 人の割合を占めている。

D 住居形態

『持家』が7割と大半を占め、特に「持家（一戸建て）」が半数近くとなっている。

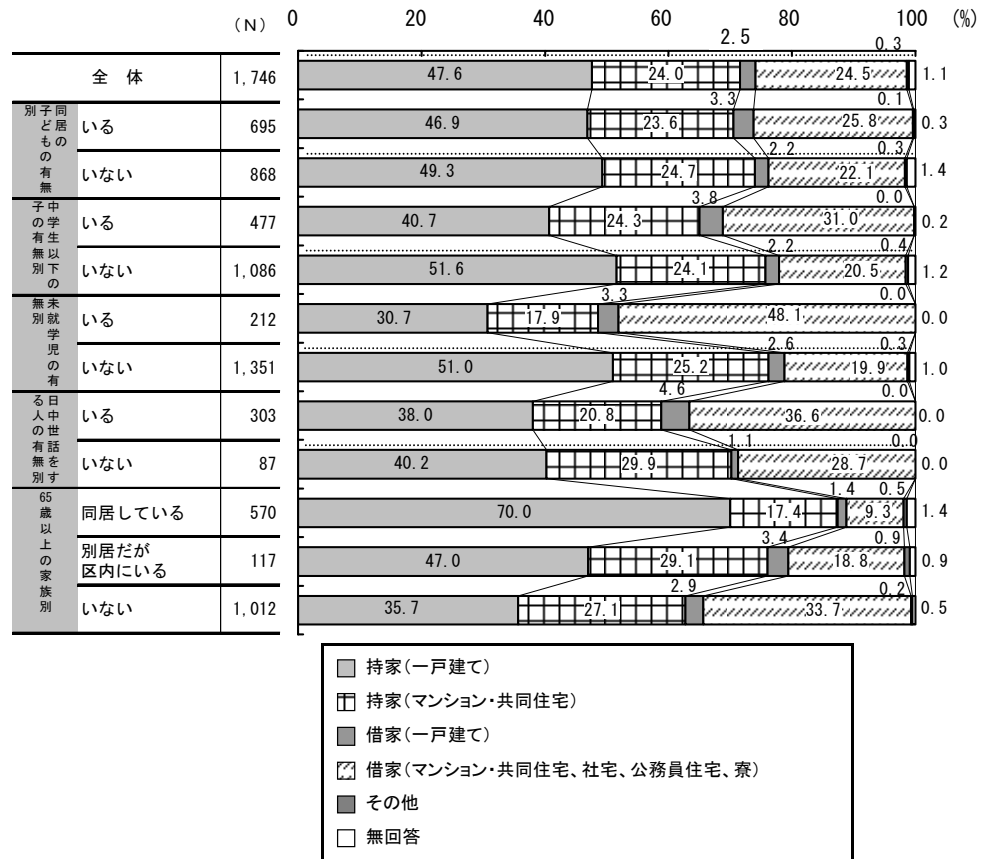
「持家（一戸建て）」が 47.6%で半数近くを占めている。次いで「借家（マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」（24.5%）と「持家（マンション・共同住宅）」（24.0%）がほぼ並んでいる。

「持家（一戸建て）」と「持家（マンション・共同住宅）」を合わせた『持家』は7割を超えている。

< F 5 住居形態：同居の子どもの有無別・中学生以下の子の有無別・未就学児の有無別・日中世話をする人の有無別・65歳以上の家族別 >

「持家（一戸建て）」の割合が最も低いのは未就学児がいる世帯で 30.7%となっている。

また、65歳以上の方と同居している世帯では「持家（一戸建て）」の割合が7割と高く、同居していない家庭の割合と比べて高い。



Ⅱ 職業

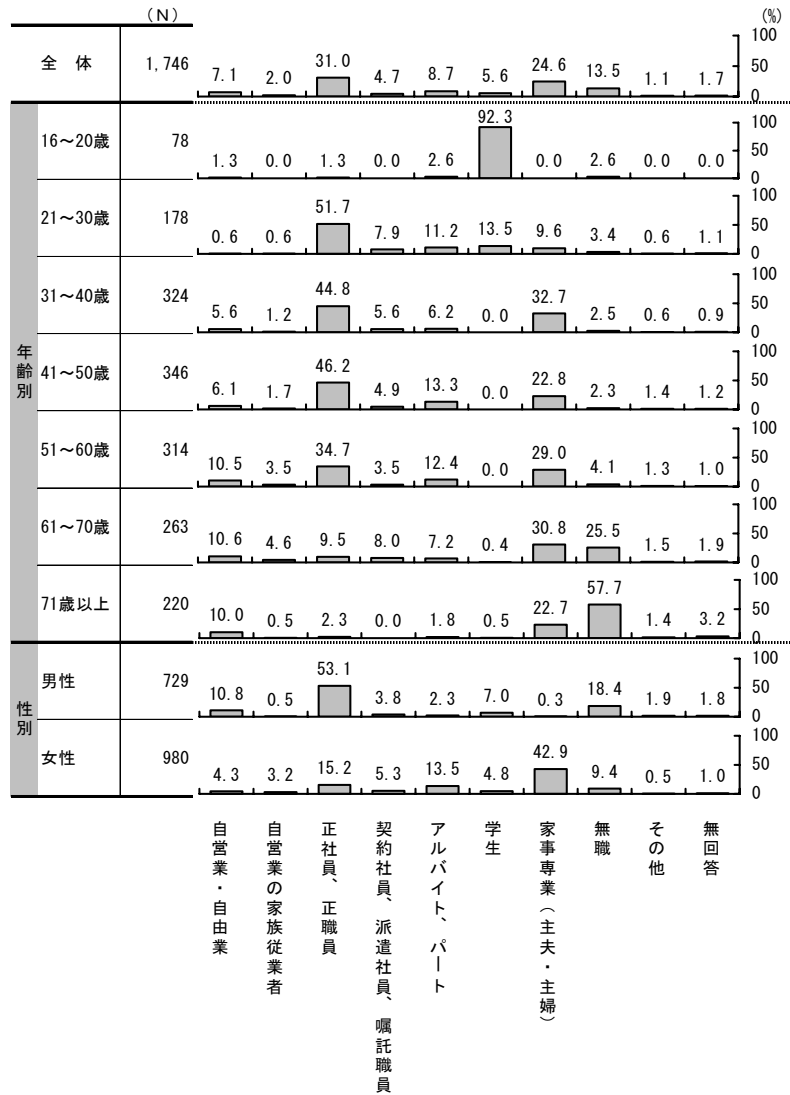
「正社員、正職員」が約3割、「家事専業（主夫・主婦）」は約4人に1人の割合。

「正社員、正職員」が31.0%で最も高く、次いで「家事専業（主夫・主婦）」が24.6%となっている。

< F 6 職業：年齢別・性別 >

年齢別にみると、16～20歳では「学生」が、21～60歳では「正社員、正職員」が、61～70歳では「家事専業（主夫・主婦）」が、71歳以上では「無職」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

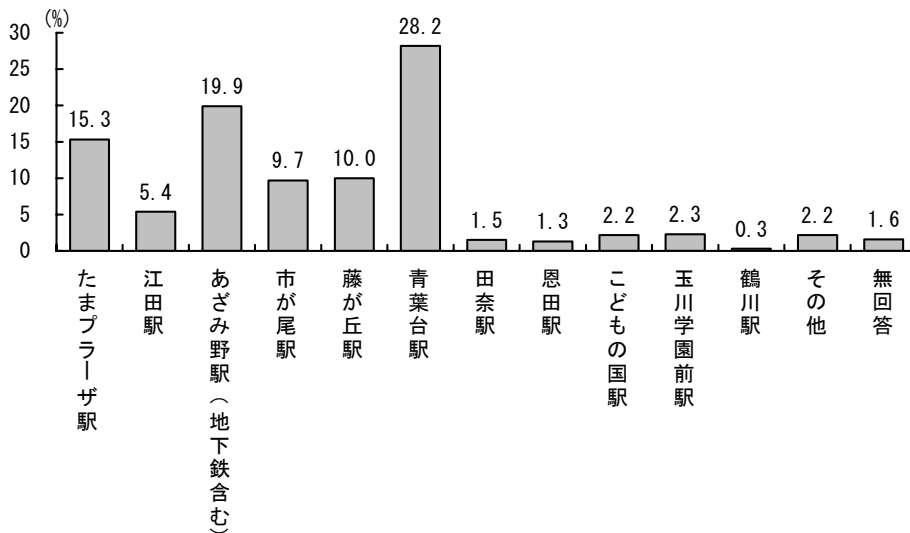
性別にみると、男性は「正社員、正職員」が、女性は「家事専業（主夫・主婦）」の割合が最も高くなっている。



● 通勤、通学や日常生活で最も利用する駅

「青葉台駅」が約3割で、最も高い。

「青葉台駅」が 28.2%で最も高く、次いで「あざみ野駅（地下鉄含む）」が 19.9%、「たまプラーザ駅」が 15.3%の順となっている。



● 家族形態

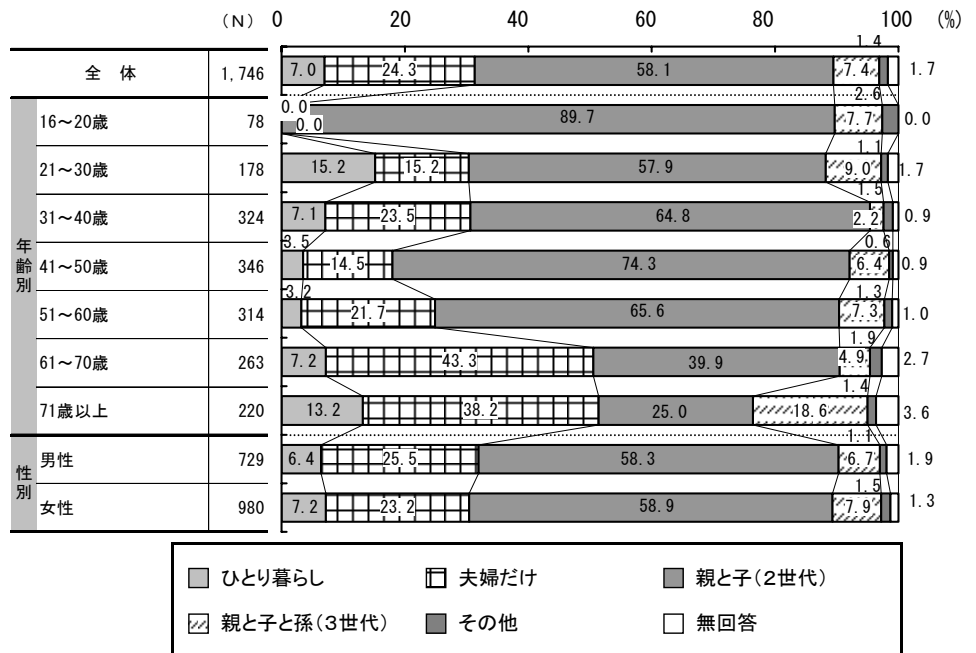
「親と子（2世代）」が6割弱。「親と子と孫（3世代）」は1割よりも少ない。

「親と子（2世代）」が 58.1%で6割近くを占めている。次いで「夫婦だけ」が約4人に1人の割合で、「親と子と孫（3世代）」は1割より少ない7.4%となっている。

< F 8 家族形態：年齢別・性別 >

年齢別にみると、16～60歳では「親と子（2世代）」の割合が最も高く、61歳以上では「夫婦だけ」が最も高くなっている。また、71歳以上では「親と子と孫（3世代）」の割合も約2割と他の年齢層と比較して高くなっている。

性別による差はあまりみられない。



▶ 共働きか否か

共働きは約3割。

「はい（共働き）」が 29.7%と、約3割を占めている。

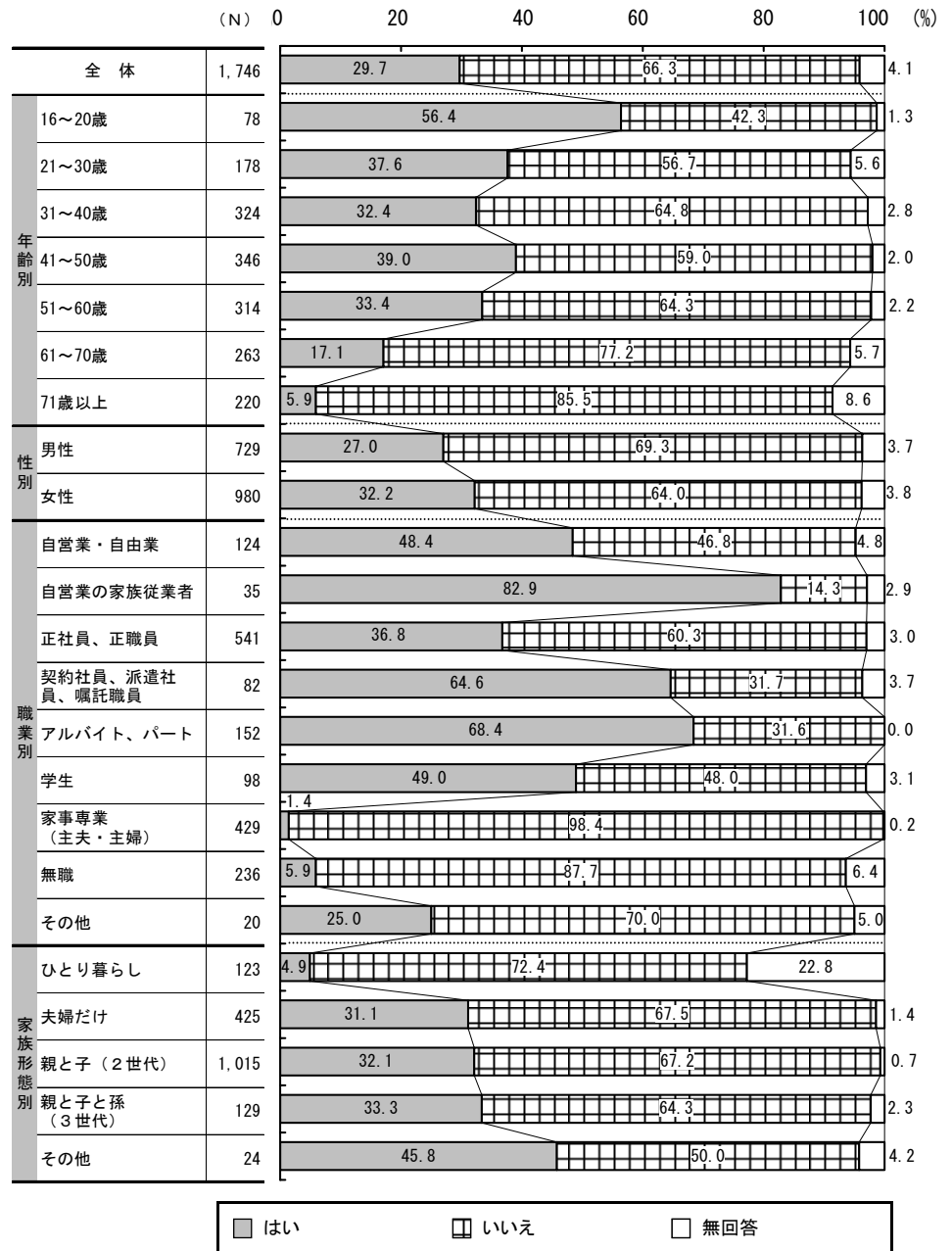
< F 9 共働きか否か：年齢別・性別・職業別・家族形態別 >

年齢別では、若年層ほど共働きの割合が高い傾向がみられる。

性別では、男性よりも女性の方が共働きの割合はやや高くなっている。

職業別では、共働きの割合が最も高いのは自営業の家族従業者で、約8割となっている。また、契約社員、派遣社員、嘱託社員とアルバイト、パートでも6割を超えている。

家族形態では、共働きの割合は夫婦だけ、親と子（2世代）、親と子と孫（3世代）で、さほど大きな差はみられない。



▶ 同居している子ども

専門学校生、大学生までの子どもはいる家庭が約半数。

「小学生」が14.2%でやや高く、他の項目も1割前後で続いているが、「上記に当てはまる家族（子ども）はいる」が49.7%と、約半数を占めている。

(上段：件数 下段：%)

全 体	乳 幼 児 ・ 未 就 学 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	専 門 学 校 生 、 大 学 生	左 記 5 項 目 に 当 て は ま る 家 族 は い な い	無 回 答
1,746	212	248	162	152	190	868	183
100.0	12.1	14.2	9.3	8.7	10.9	49.7	10.5

上記の子どものいる人

(695人)

子どもがいない人、無回答

(1,051人)

▶ 「小学生」「乳幼児・未就学児」を持つ家庭で、子どもを日中世話する人の有無

小学生以下の子どもがいる家庭で、日中世話する人が「いる」家庭は8割近く。

「いる」が77.3%と8割近くを占めている。

▶ 同居している高齢者

同居の高齢者は「いない」が約6割。「同居している」は約3割。

「いない」が58.0%で、約6割を占めている。一方、高齢者が「同居している」は32.6%と、約3割を占めており、「別居だが区内にいる」は6.7%で1割より少ない。

▶ 居住地域（自治会別）

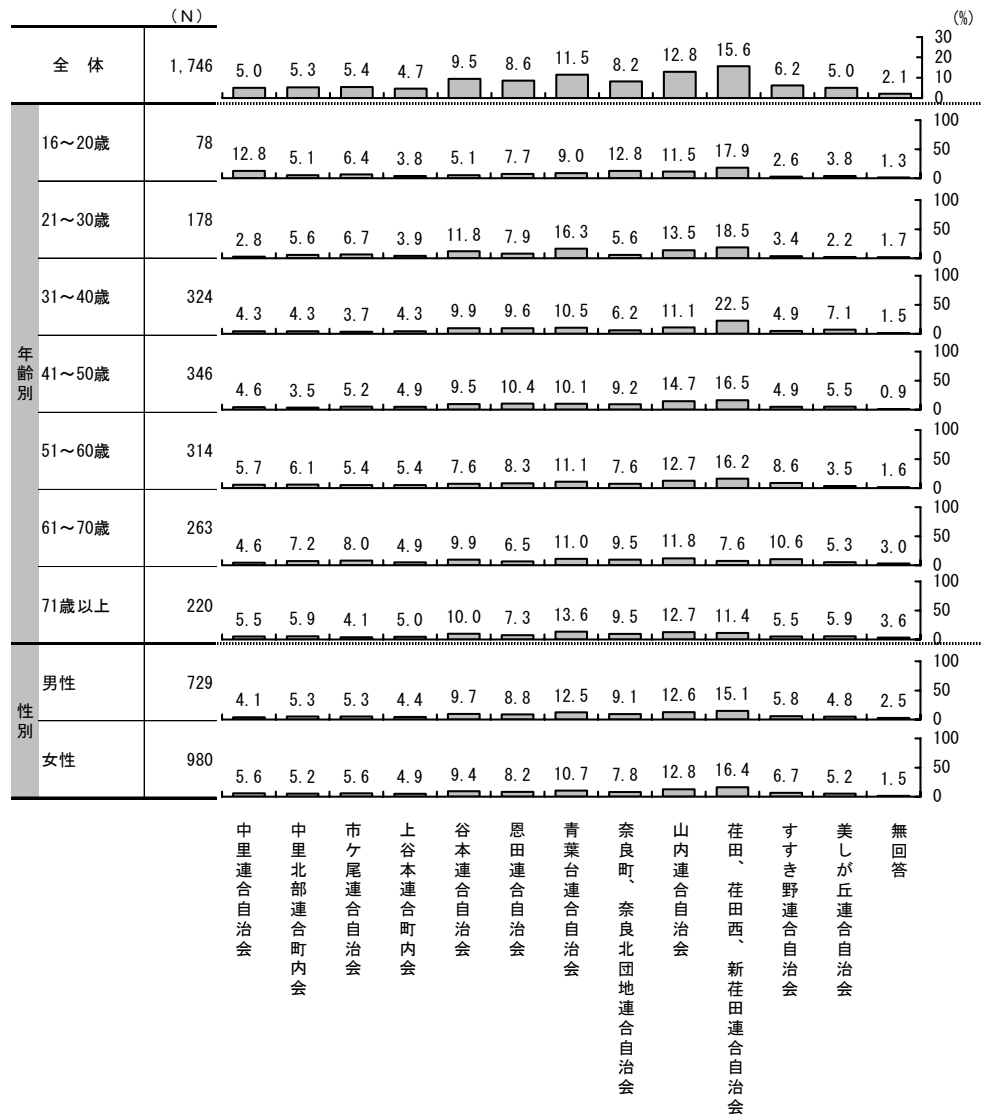
「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」の割合が最も高い。

自治会別にみると「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」が 15.6% で高くなっている。

< F12 居住地域（自治会別）：年齢別・性別 >

年齢別にみると、16～60 歳では「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」の割合が高く、61～70 歳では「山内連合自治会」が、71 歳以上では「青葉台連合自治会」が高くなっている。

性別にみると、男女ともに「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」の割合が高くなっている。



※本文の居住地域は、下記の連合自治会・町内会を単位としています。

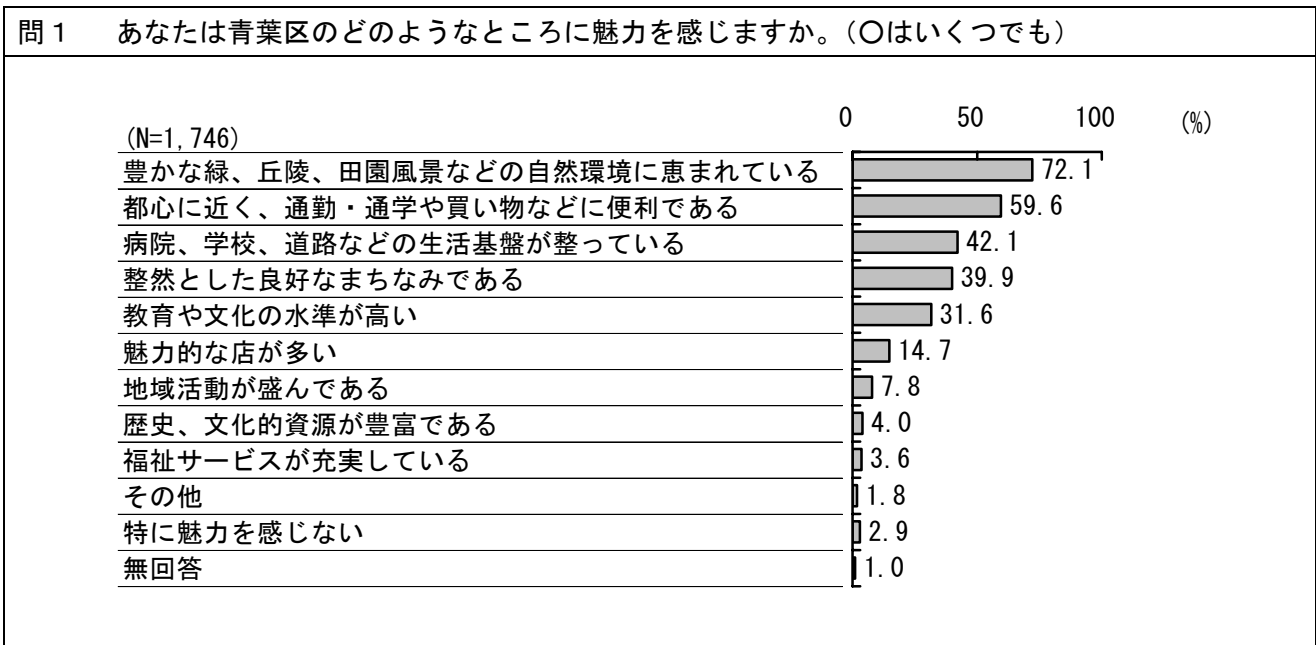
中里連合自治会	大場町、鉄町、黒須田、みすずが丘
中里北部連合町内会	鴨志田町、寺家町、たちばな台一丁目、二丁目、成合町
市ヶ尾連合自治会	市ヶ尾町
上谷本連合町内会	上谷本町、柿の木台、みたけ台、もえぎ野
谷本連合自治会	梅が丘、下谷本町、千草台、藤が丘一丁目、二丁目
恩田連合自治会	あかね台一丁目、二丁目、櫻が丘、恩田町、桂台一丁目、二丁目、田奈町、松風台
青葉台連合自治会	青葉台一丁目、二丁目、桜台、さつきが丘、しらとり台、つつじが丘、若草台
奈良町、奈良北団地連合自治会	すみよし台、奈良町、奈良一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、緑山
山内連合自治会	あざみ野一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、美しが丘四丁目、五丁目、美しが丘西一丁目、二丁目、荏子田一丁目、二丁目、三丁目、元石川町
荏田、荏田西、新荏田連合自治会	あざみ野南一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、荏田町、荏田北一丁目、二丁目、三丁目、荏田西一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、新石川一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
すすき野連合自治会	美しが丘西三丁目、すすき野一丁目、二丁目、三丁目、もみの木台
美しが丘連合自治会	美しが丘一丁目、二丁目、三丁目

3 調査結果

調査結果

1 青葉区の生活環境について

1) 青葉区の魅力



POINT

「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」と、次いで「都心に近く、通勤・通学や買い物などに便利である」のそれぞれが半数を超え、一見相対する魅力が上位2項目を占めている。

一方、「特に魅力を感じない」は、3%弱となっている。

青葉区の魅力は、「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」が72.1%で最も高く、次いで「都心に近く、通勤・通学や買い物などに便利である」が59.6%、「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」が42.1%、「整然とした良好なまちなみである」が39.9%、「教育や文化の水準が高い」が31.6%の順となっている。上位2項目は過半数の回答を得ている。

なお、「その他」では、「治安が良い」などの回答があった。

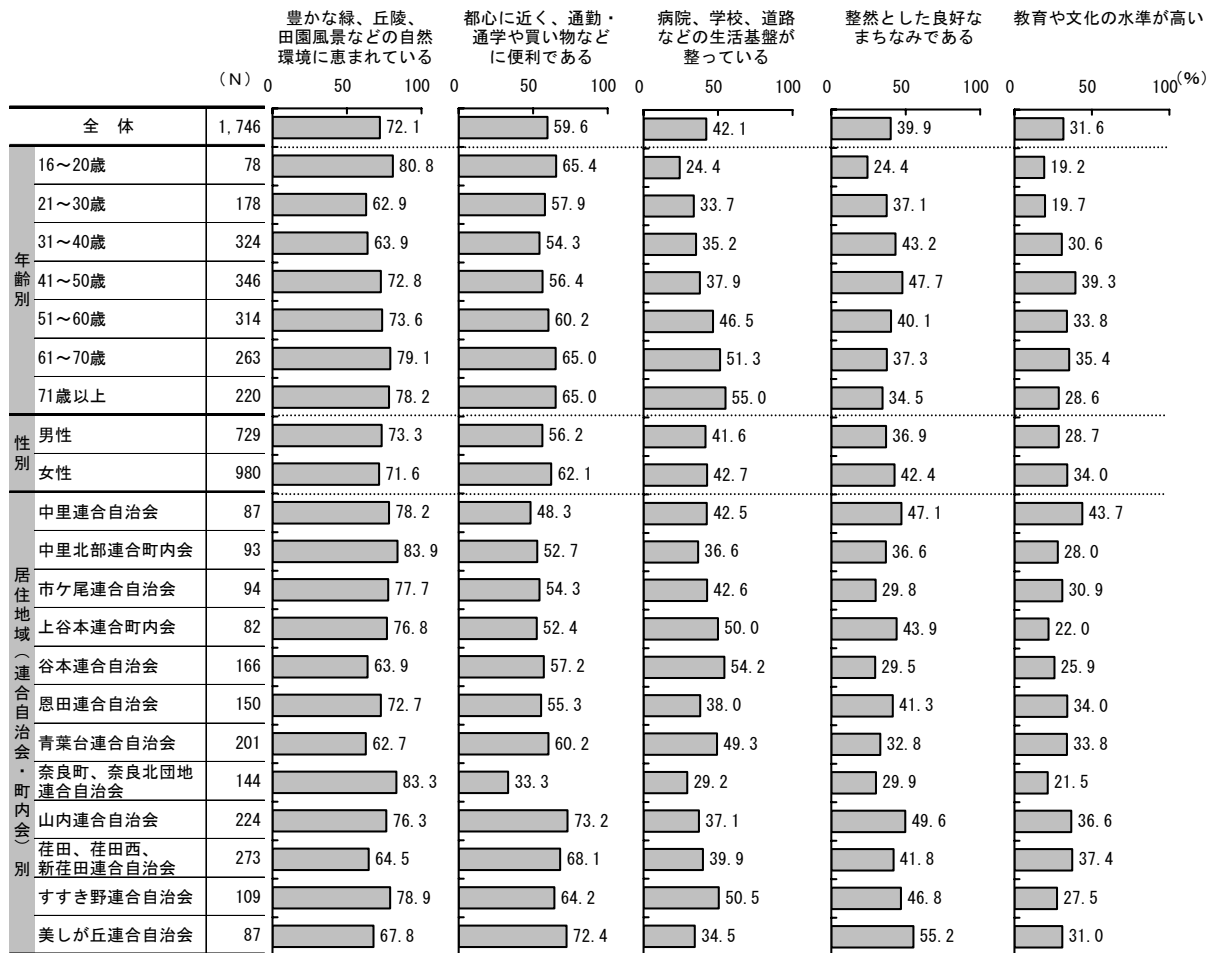
<年齢別・性別・居住地域別>

年齢別にみると、「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」は、21～40歳で6割台となっているほかは、すべての年齢層で7割を超えている。また、「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」は、年齢が上がるほど高くなっている。

性別にみると、「都心に近く、通勤・通学や買い物などに便利である」と「整然とした良好なまちなみである」、「教育や文化の水準が高い」の3項目で女性の割合の方が男性よりも5ポイント以上高くなっている。

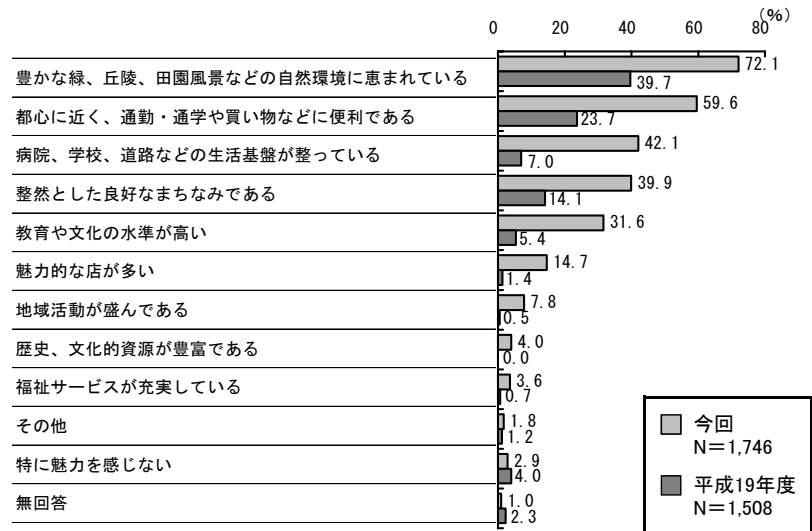
居住地域別にみると、「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」は、中里北部連合町内会と奈良町、奈良北団地連合自治会の2地域で8割を超えて特に高くなっている。一方で、奈良町、奈良北団地連合自治会では「都心に近く、通勤・通学や買い物などに便利である」が33.3%と、他の地域に比べ、特に低くなっている。

<年齢別・性別・居住地域別：全体の上位5項目>



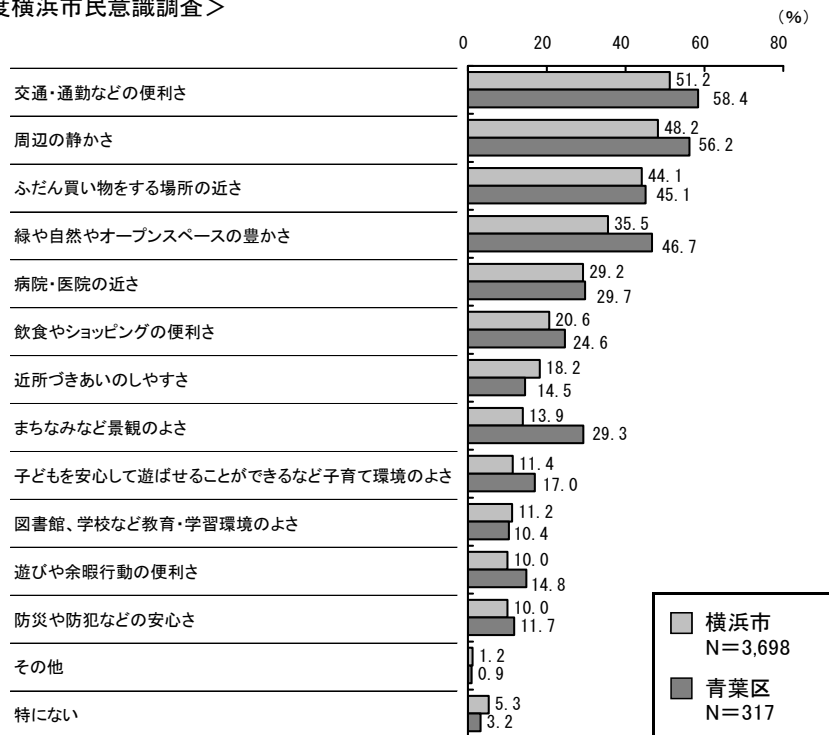
<【参考】平成19年度調査結果との比較>

平成19年度の調査では、単数回答の設問だったため、直接比較することはできないが、上位となった2項目に変化はない。

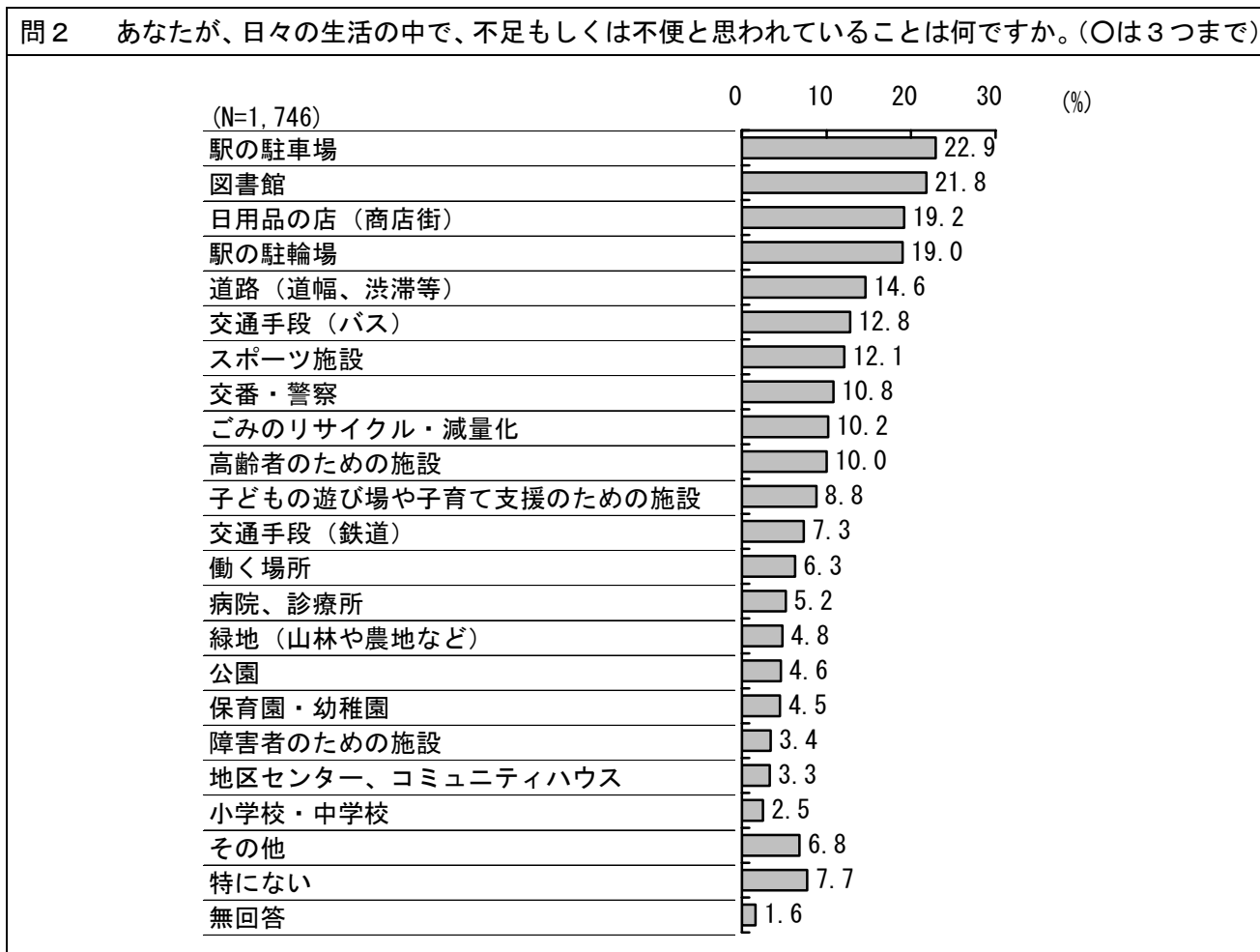


※平成19年度は複数回答分を除いて集計

<【参考】平成19年度横浜市民意識調査>



2) 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされていること



POINT

「駅の駐車場」と「図書館」が2割台で並んで高い。
 駅周辺や道路、交通手段など、交通関連事項が上位に集まっている。
 一方、「特にない」は、1割弱。

生活の中で不足もしくは不便に感じていることは、「駅の駐車場」(22.9%)と「図書館」(21.8%)が並んで高く、「日用品の店(商店街)」が19.2%、「駅の駐輪場」が19.0%、「道路(道幅、渋滞等)」が14.6%の順となっており、交通関連事項が上位に集中している。

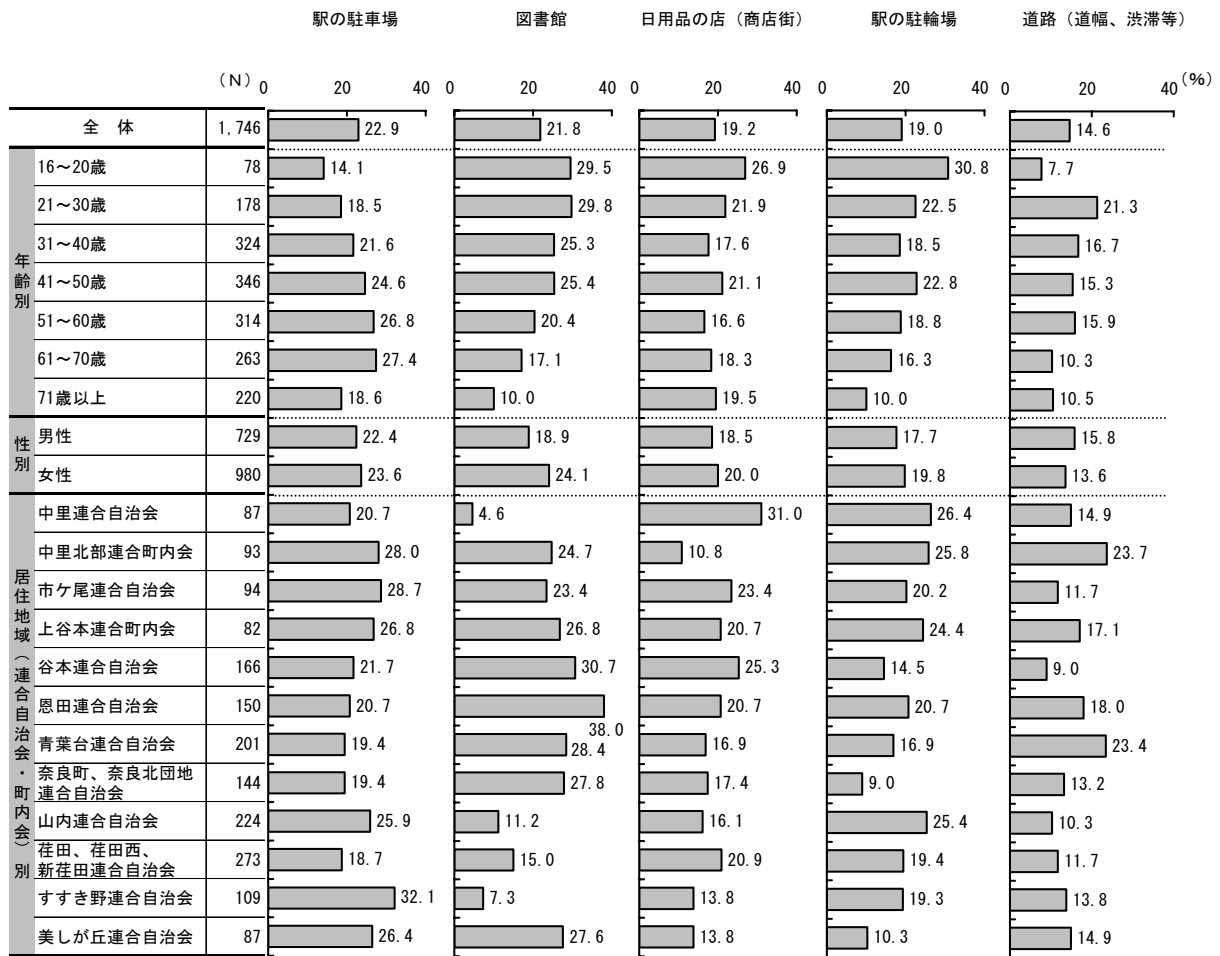
<年齢別・性別・居住地域別>

年齢別にみると、「駅の駐車場」は年齢が上がるほど割合が高くなる一方、「図書館」は年齢が下がるほどに高くなる傾向がある。また、「日用品の店(商店街)」と「駅の駐輪場」は16~20歳で他の年齢層と比較して割合が高くなっている。

性別にみると、「図書館」の割合は女性の方が男性より5.2ポイント高くなっている。

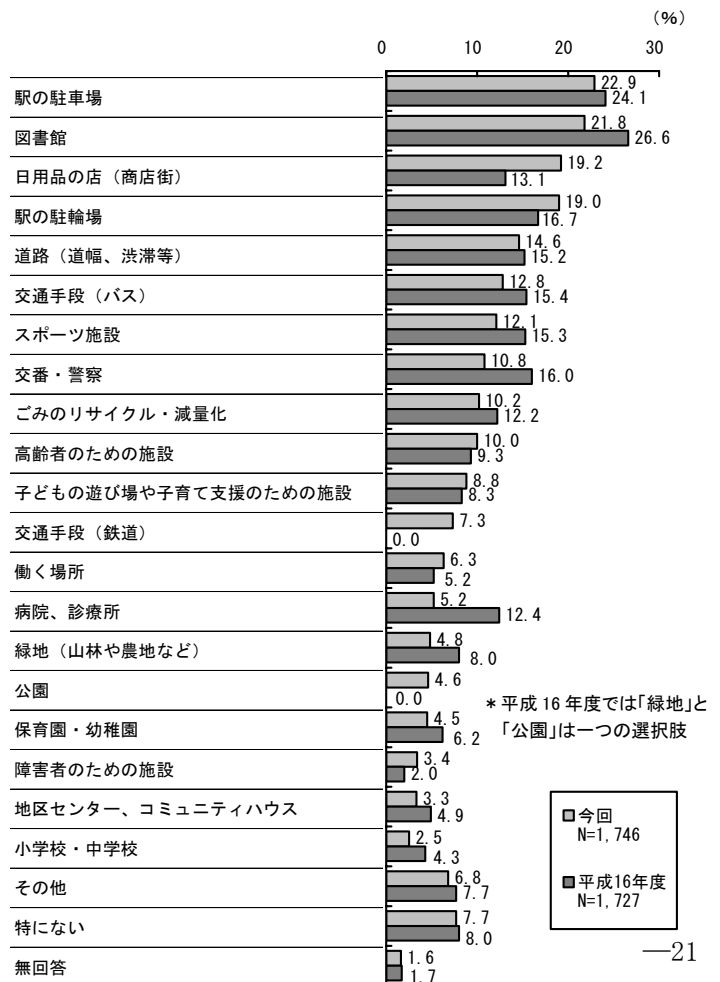
居住地域別にみると、地域によって最も不足、不便と思われるものは異なっているが、ほとんどの地域で全体の上位2項目のどちらかの割合が最も高くなっている。

<年齢別・性別・居住地域別：全体の上位5項目>

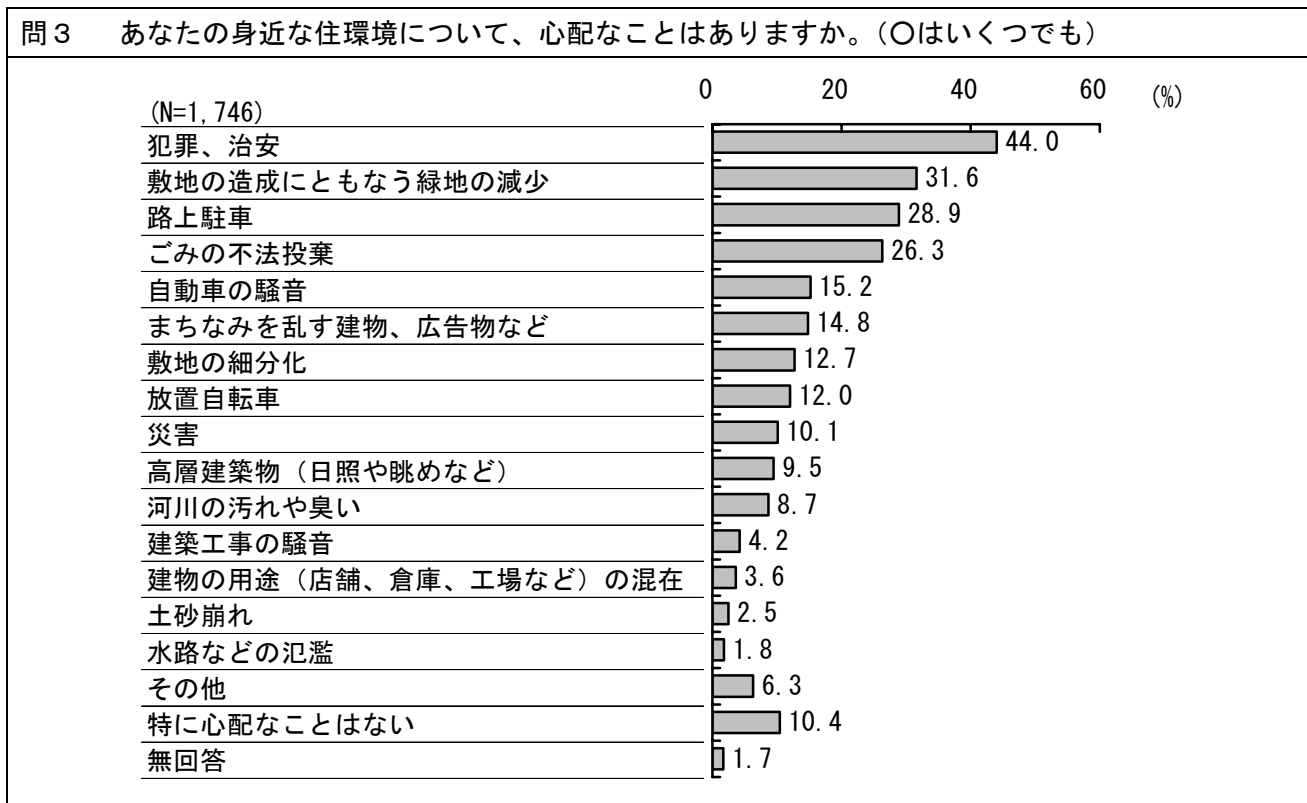


<【参考】平成16年度調査結果との比較>

平成16年度の調査では、「図書館」が26.6%で最も割合が高く、次いで「駅の駐車場」が24.1%、「駅の駐輪場」が16.7%の順となっており、今回の結果とは順位が異なっている。



3) 身近な住環境について心配なこと



POINT

「犯罪、治安」が最も高く、2番目の「敷地の造成にともなう緑地の減少」とは10ポイント以上の差。

「特に心配なことはない」は約1割。

住環境について心配なことは、「犯罪、治安」が44.0%で最も高く、次いで「敷地の造成にともなう緑地の減少」が31.6%、「路上駐車」が28.9%、「ごみの不法投棄」が26.3%の順で、以上の4項目で2割以上の回答となっている。

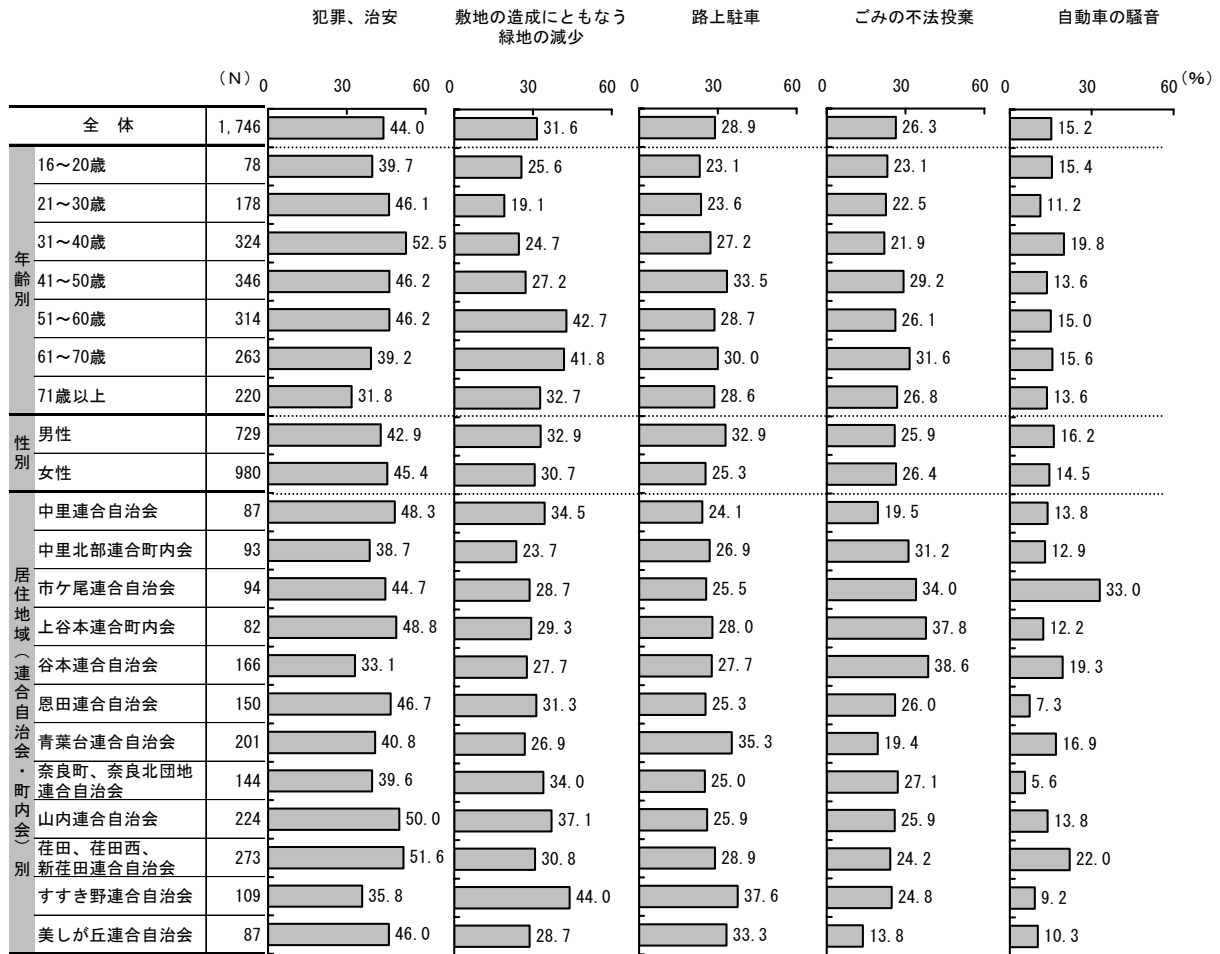
<年齢別・性別・居住地域別>

年齢別にみると、「犯罪、治安」は、21～60歳で4割を超えて高く、特に31～40歳では過半数に達している。また、51～70歳では、「敷地の造成にともなう緑地の減少」も4割を超えて高くなっている。

性別にみると、「路上駐車」で男性の割合の方が女性よりも7.6ポイント高くなっている。

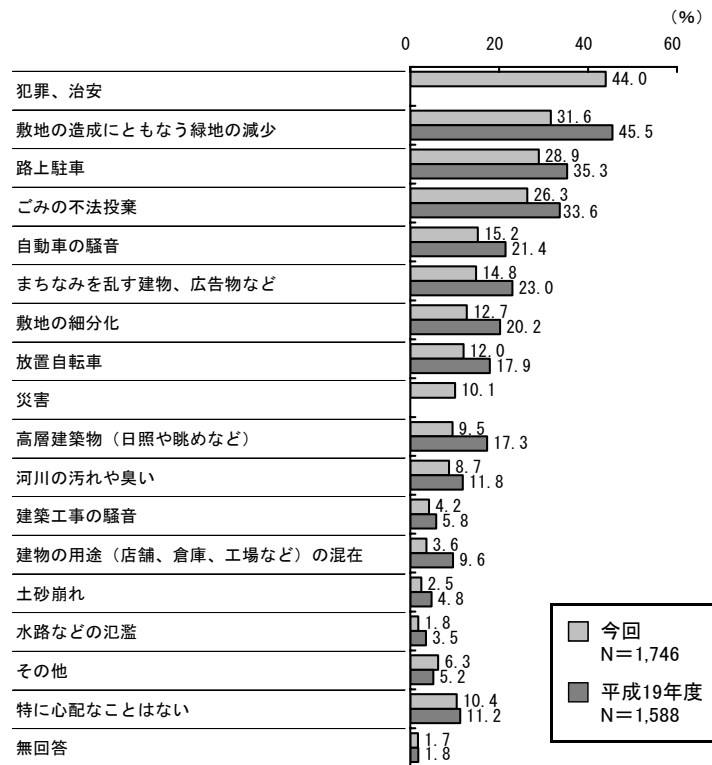
居住地域別にみると、ほとんどの地域で「犯罪、治安」の割合が最も高くなっている中で、すすき野連合自治会では「敷地の造成にともなう緑地の減少」が、谷本連合自治会では「ごみの不法投棄」がそれぞれ最も高くなっている。

<年齢別・性別・居住地域別：全体の上位5項目>



<【参考】平成19年度調査結果との比較>

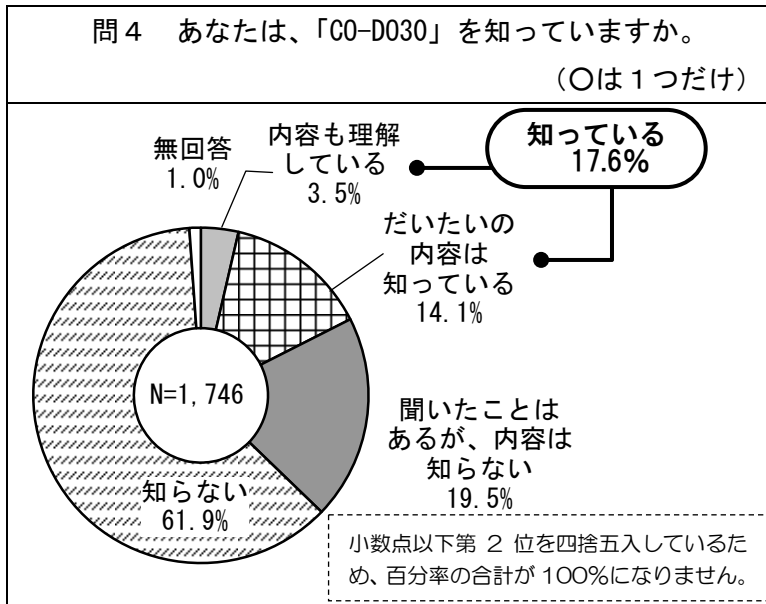
平成19年度の調査では、「犯罪、治安」及び「災害」の2項目がないなど選択肢が異なるため、直接比較することはできないが、共通の選択肢の中で上位となった5項目には変化がない。



※平成19年度は「犯罪、治安」および「災害」の選択肢はない

2 環境・自然について

1) 「CO-D030」の認知度



「CO-D030」の認知状況は、「知らない」が 61.9%と、6割以上を占めている。

「内容も理解している」と「だいたいの内容は知っている」を合わせた『知っている』は 17.6%と、2割を下回っている。

POINT

認知度は低く、『知っている』は 17.6%。「知らない」が6割を占める。

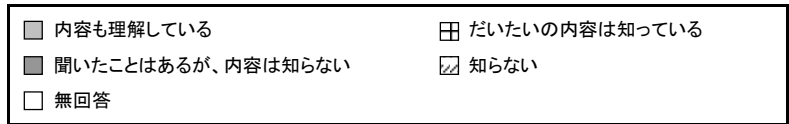
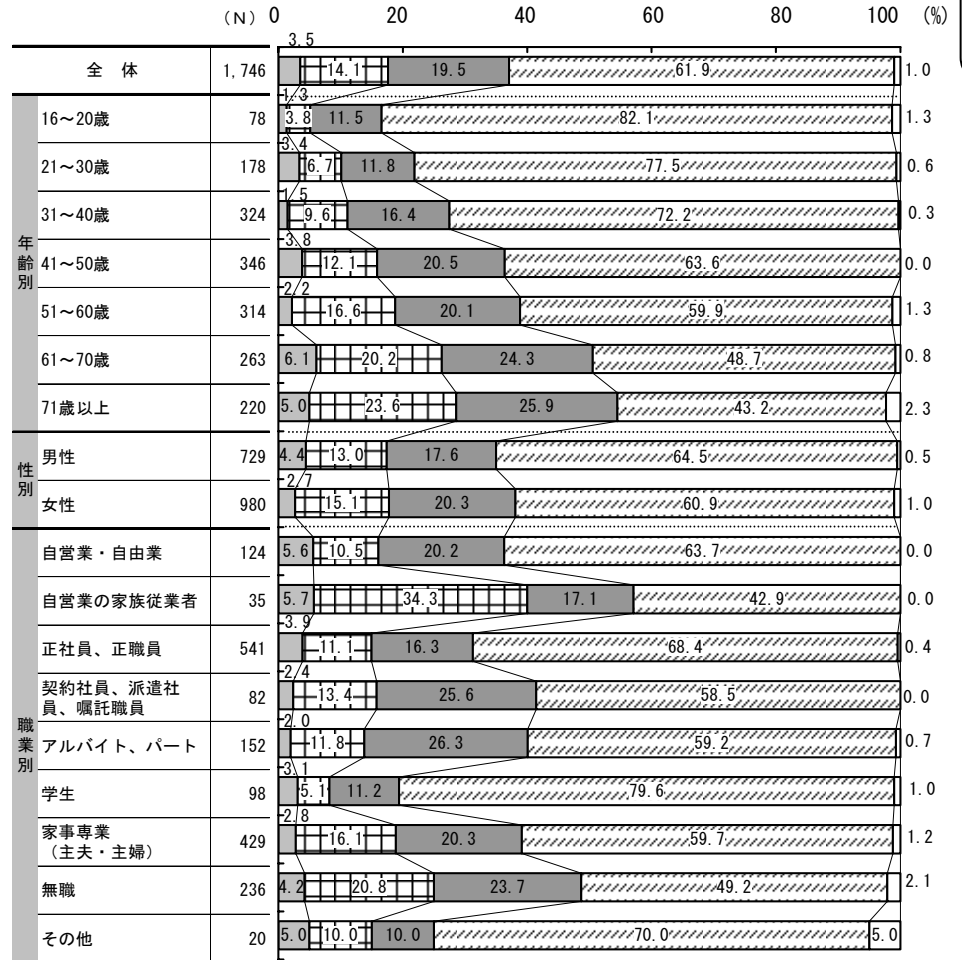
<年齢別・性別・職業別>

年齢別にみると、「内容も理解している」と「だいたいの内容は知っている」を合わせた『知っている』人の割合は、年齢が上がるほど高くなり、認知度が最も高い71歳以上では28.6%で約3割となっている一方、認知度が最も低い16～20歳ではわずか5.1%にとどまっている。

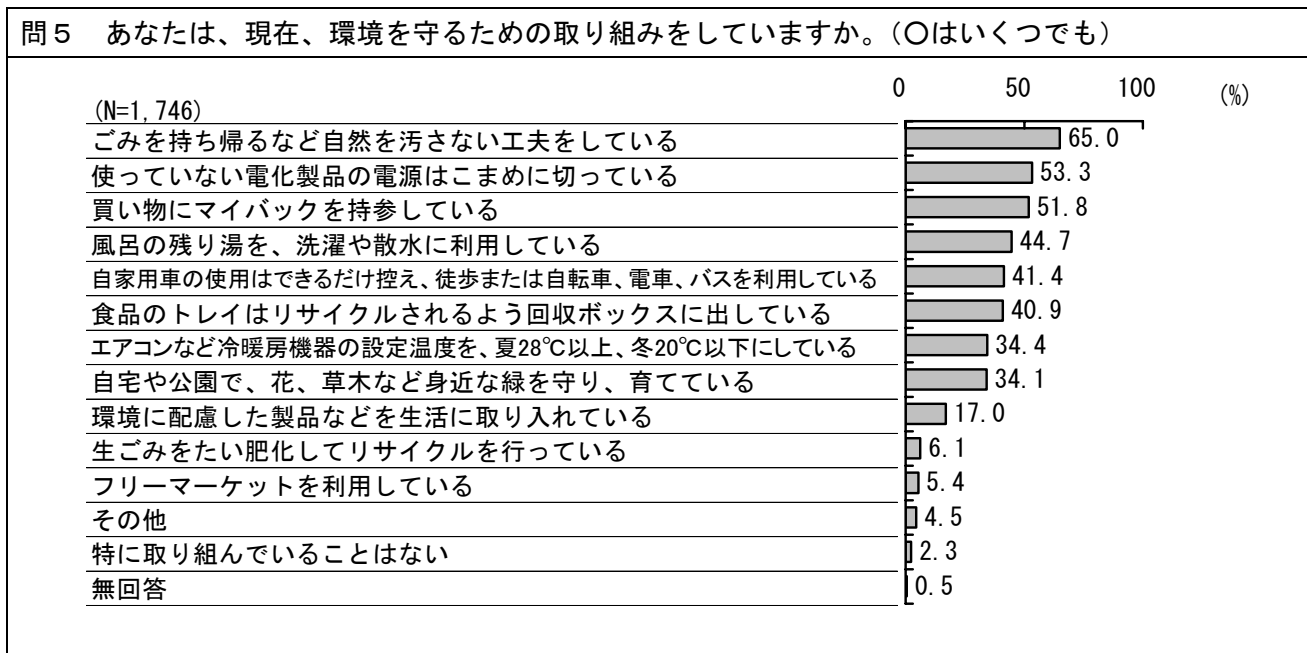
性別での認知度の差はほとんどみられない。

職業別にみると、『知っている』人の割合は、自営業の家族従業者で4割に達する一方、学生は最も認知度が低く、『知っている』は8.2%に止まっている。

<年齢別・性別・職業別>



2) 環境を守るために実践している取り組み



POINT

「ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫をしている」の割合が最も高い。上位3項目が過半数の回答。

「特に取り組んでいることはない」はわずかで、ほとんどの人が何らかの取り組みを行っている。

環境を守るための取り組みは、「ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫をしている」の割合が 65.0% で最も高く、次いで「使っていない電化製品の電源はこまめに切っている」が 53.3%、「買い物にマイバックを持参している」が 51.8%の順で、上位3項目が過半数の回答を得ている。以下「風呂の残り湯を、洗濯や散水に利用している」が 44.7%、「自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用している」が 41.4%と続いている。

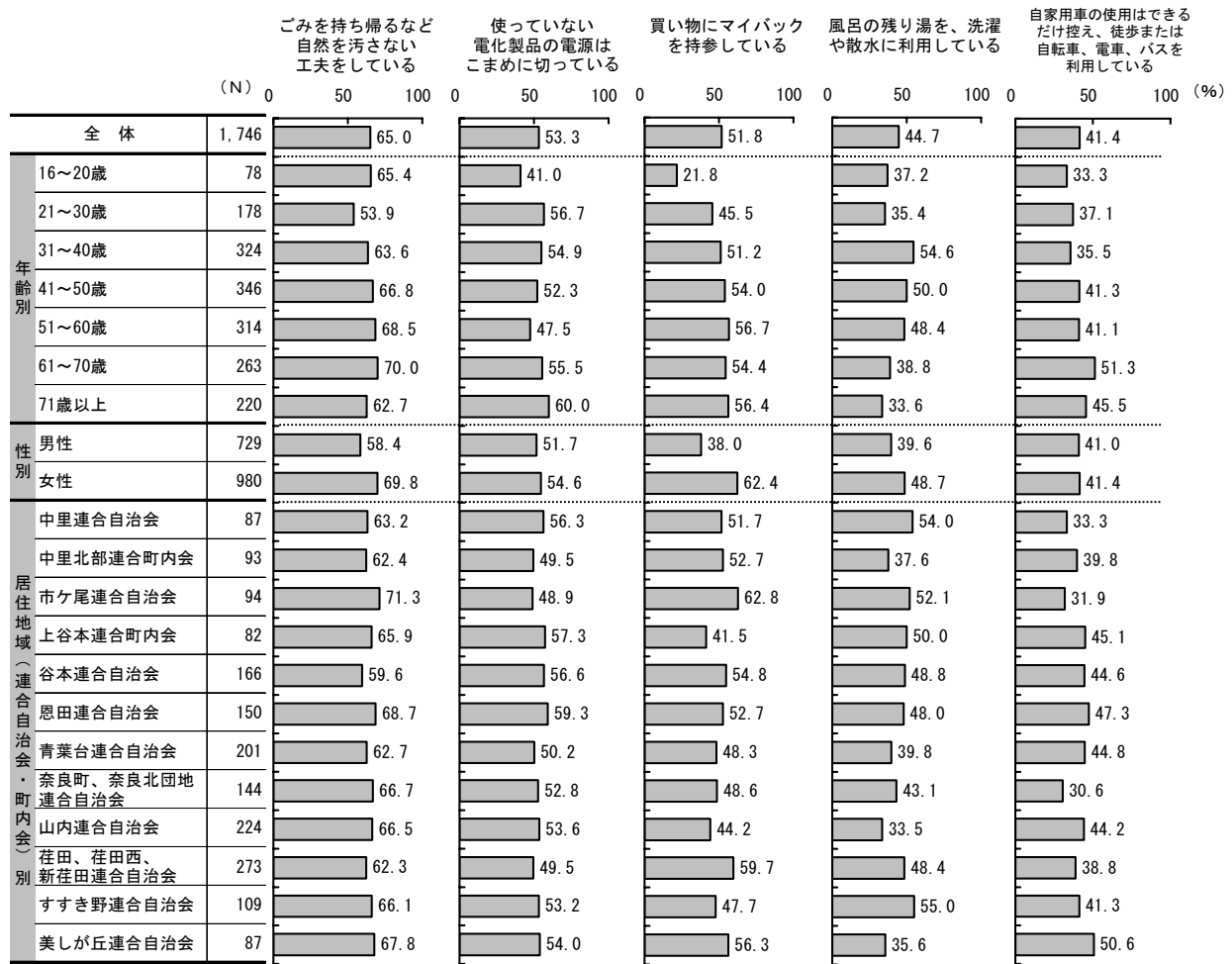
<年齢別・性別・居住地域別>

年齢別にみると、「ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫をしている」はすべての年齢層で半数を超え、特に 61~70 歳では 7 割に達している。一方で 16~20 歳は取り組んでいる割合が低い項目が多く、特に「使っていない電化製品の電源はこまめに切っている」と「買い物にマイバックを持参している」の2項目では他の年齢層に比べて低くなっている。

性別にみると、上位5項目すべてにおいて女性の方が実践している割合が高く、特に「買い物にマイバックを持参している」は男性よりも 24.4 ポイント高くなっている。

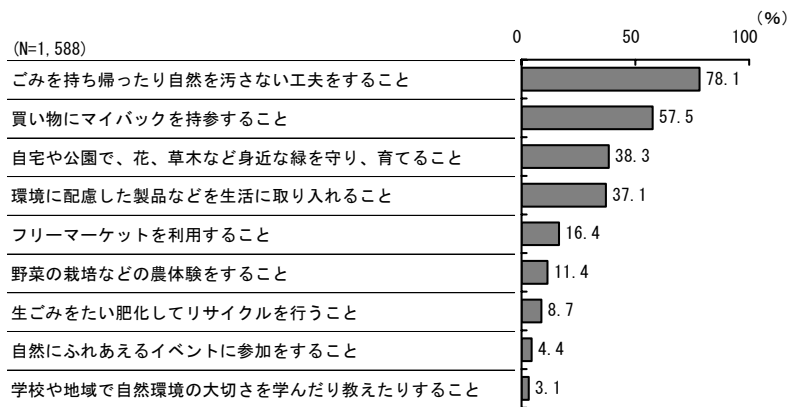
居住地域別にみると、「ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫をしている」は、すべての地域で半数を超えている。

<年齢別・性別・居住地域別：全体の上位5項目>



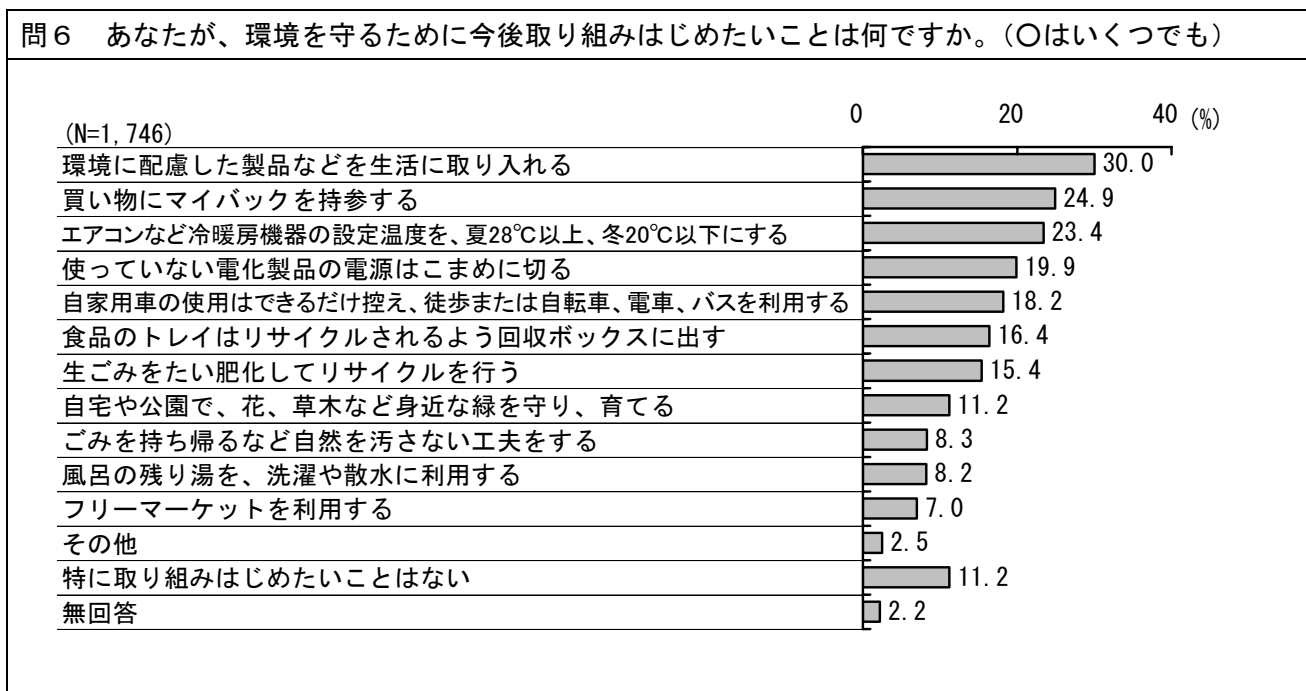
<【参考】平成19年度調査結果との比較>

平成19年度調査では、それぞれの項目についての活動有無と活動意向を聞く設問だったため、直接比較することはできないが、「ごみを持ち帰ったり自然を汚さない工夫をすること」に取り組んでいると答えた割合が最も高くなっている点は変化がない。



※平成19年度では、各項目で「現在活動している」として回答した割合

3) 環境を守るためにこれからしたい取り組み



POINT

「環境に配慮した製品などを生活に取り入れる」の割合が最も高い。
「特に取り組みはじめたいことはない」とする人も約1割みられる。

環境を守るためにこれからしたい取り組みは、「環境に配慮した製品などを生活に取り入れる」が30.0%で最も高く、次いで「買い物にマイバックを持参する」が24.9%、「エアコンなど冷暖房機器の設定温度を、夏28℃以上、冬20℃以下にする」が23.4%、「使っていない電化製品の電源はこまめに切る」が19.9%、「自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する」が18.2%の順となっている。現在取り組んでいる割合が2割を下回っている「環境に配慮した製品などを生活に取り入れる」がトップになっている。また、「特に取り組みはじめたいことはない」が1割を超えている。

「フリーマーケットを利用する」は、現在取り組んでいること、これから取り組みたいことのいずれにおいても1割を下回っている。

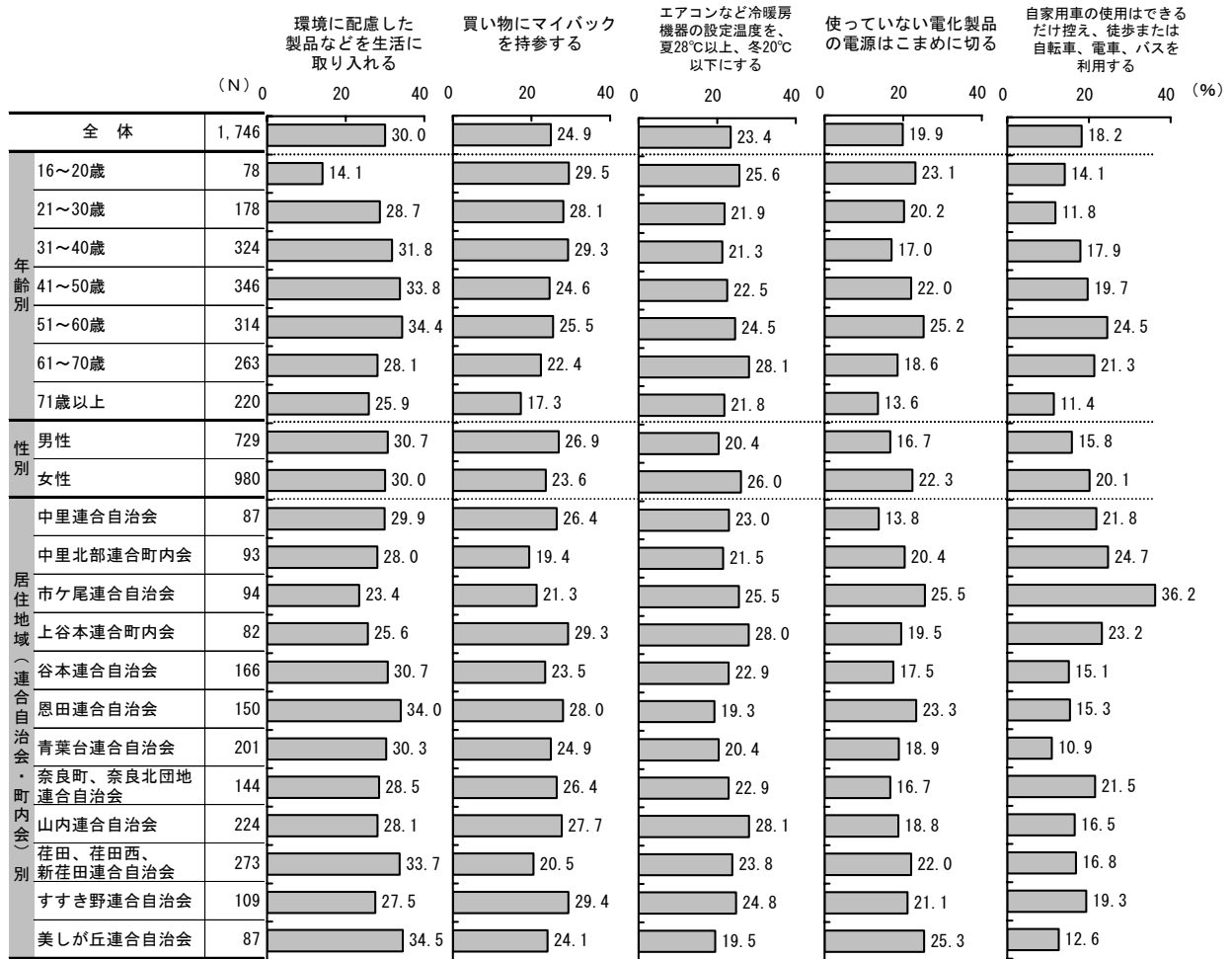
<年齢別・性別・居住地域別>

年齢別にみると、「環境に配慮した製品などを生活に取り入れる」は31～60歳で3割を超えて高くなっている一方、16～20歳では1割台にとどまっている。「買い物にマイバックを持参する」は、40歳以下が約3割で他の年齢層と比較して高くなっている。

性別にみると、「エアコンなど冷暖房機器の設定温度を、夏 28℃以上、冬 20℃以下にする」と「使っていない電化製品の電源はこまめに切る」の2項目で女性の割合の方が男性よりも5.6ポイント高くなっている。

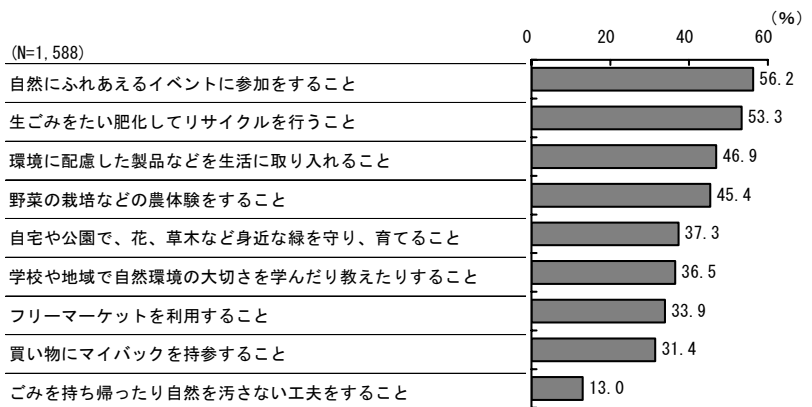
居住地域別にみると、ほとんどの地域で「環境に配慮した製品などを生活に取り入れる」の割合が最も高くなっている中で、市ヶ尾連合自治会では、「自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する」が最も高く、その割合も36.2%と他の地域と比較して特に高くなっている。

<年齢別・性別・居住地域別：全体の上位5項目>



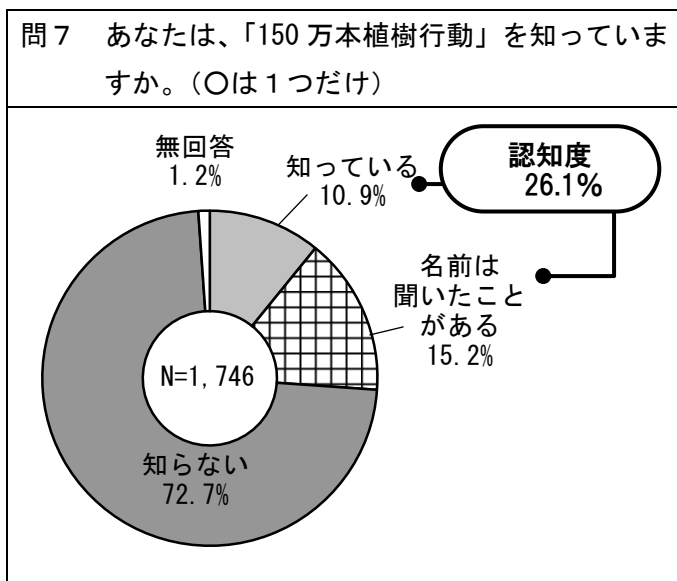
<【参考】平成19年度調査結果との比較>

平成19年度調査では、選択肢が異なり、それぞれの項目についての活動有無と活動意向を聞く設問だったため、直接比較することはできないが、「自然にふれあえるイベントに参加すること」が最も高く、続く「生ごみをたい肥化してリサイクルを行うこと」とともに上位2項目が半数を超えている。



※平成19年度では、各項目で「将来活動してみたい」と回答した割合

4) 「150 万本植樹行動」の認知度



「150 万本植樹行動」は「知らない」が 72.7% と 7 割以上を占めている。一方、「知っている」は約 1 割で、これに「名前が聞いたことがある」を合わせた『認知度』は、2 割強となっている。

昨年度の調査では、選択肢が少し異なるものの、「知っている」は 7.6%にとどまることから、確実に認知度が高まっている。

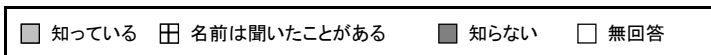
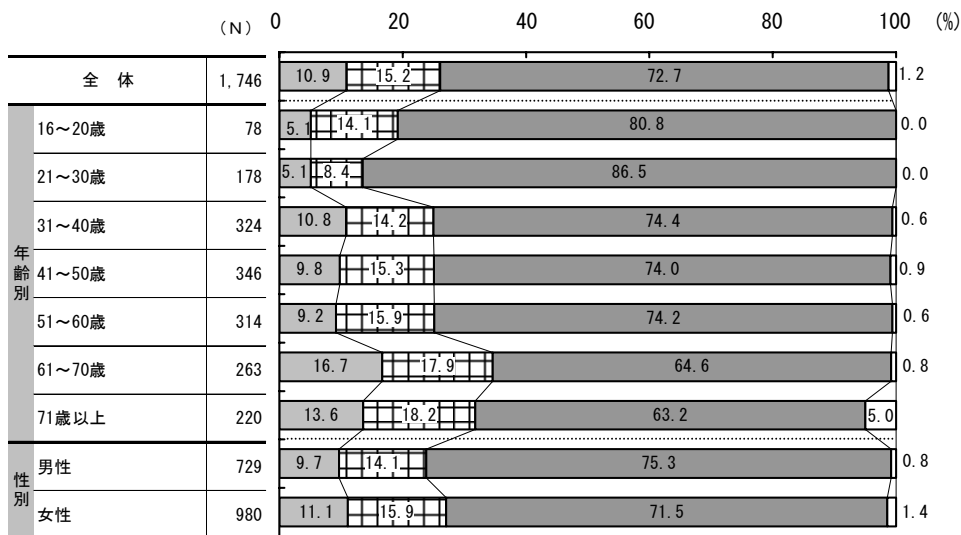
POINT

『認知度』は 2 割強だが、昨年度調査よりも高まっている。「知らない」が大半を占める。

<年齢別・性別>

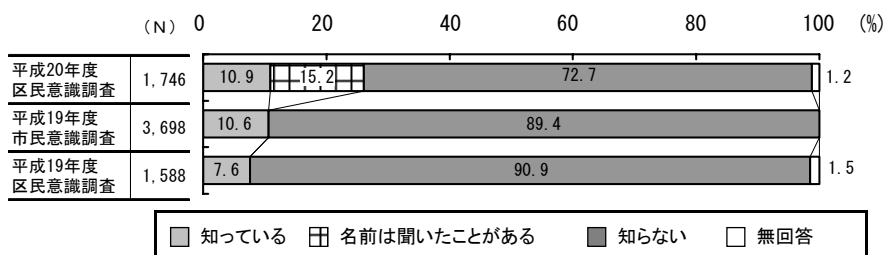
年齢別にみると、年齢が上がるほど『認知度』も高くなる傾向にあり、61～70 歳では『認知度』が 34.6% と 3 割を超えている。

性別にみると、女性の方が男性よりも『認知度』が若干高くなっている。



<【参考】平成 19 年度市民意識調査結果との比較>

市民意識調査は個別訪問面接聴取法であり、選択肢も異なるため、直接比較することはできないが、「知っている」割合は市全体とほとんど同水準と考えられる。

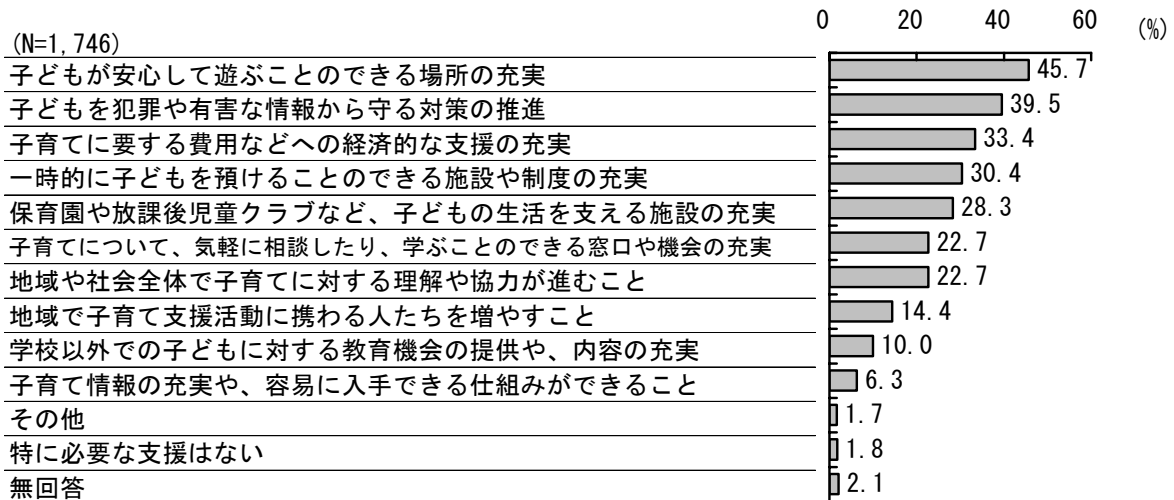


3 福祉・健康問題について

1) 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

問8 子育て中の家庭を支援するためには、どのようなことを充実する必要があると考えますか。

(○は3つまで)



POINT

1位の「子どもが安心して遊ぶことのできる場所の充実」は約半数となっており、上位5項目まで3割前後と、複数回答する人が多くみられる。
上位2項目は子どもに対して、以下5項目まで親に対しての支援になっている。

子育て中の家庭を支援するために充実すべきことは、「子どもが安心して遊ぶことのできる場所の充実」が45.7%で最も高く、次いで「子どもを犯罪や有害な情報から守る対策の推進」が39.5%、「子育てに要する費用などへの経済的な支援の充実」が33.4%、「一時的に子どもを預けることのできる施設や制度の充実」が30.4%、「保育園や放課後児童クラブなど、子どもの生活を支える施設の充実」が28.3%の順となっている。子どもに対する支援が上位2項目を占めている。

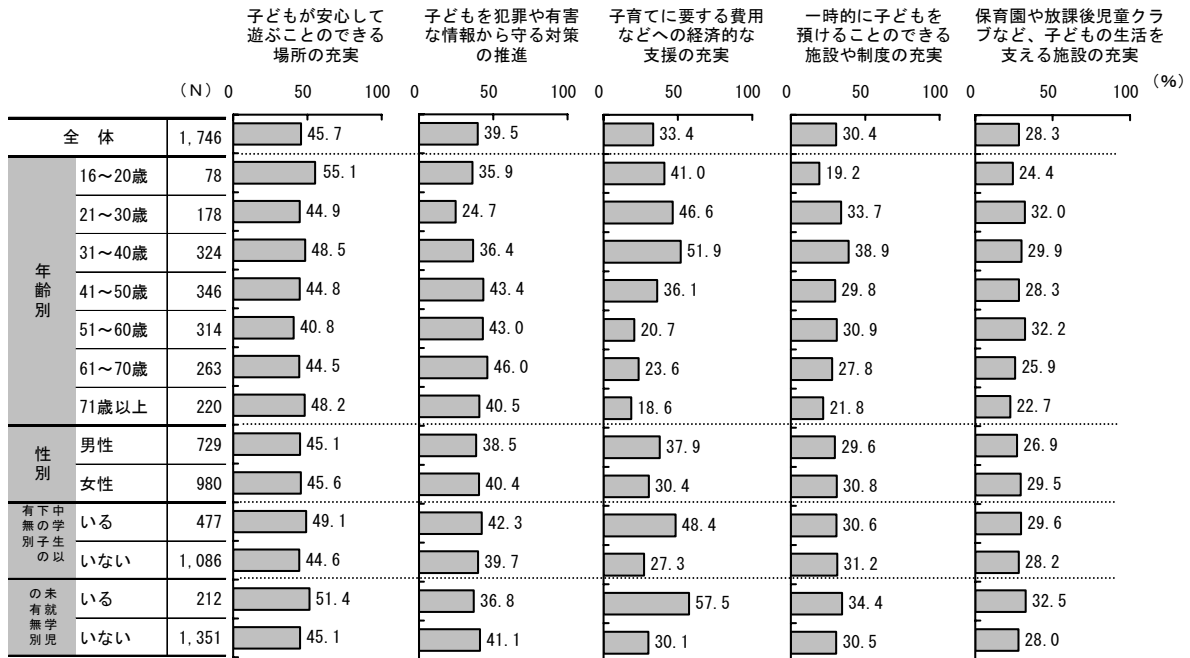
＜年齢別・性別・中学生以下の子の有無別・未就学児の有無別＞

年齢別にみると、「子どもが安心して遊ぶことのできる場所の充実」の割合は、16～20歳で半数を超えて特に高くなっている。また、「子どもを犯罪や有害な情報から守る対策の推進」は40歳以上で、「子育てに要する費用などへの経済的な支援の充実」は16～40歳で、それぞれ4割を超えて高く、特に「子育てに要する費用などへの経済的な支援の充実」は31～40歳で過半数を占めている。

性別にみると、「子育てに要する費用などへの経済的な支援の充実」の割合では男性の方が女性よりも7.5ポイント高くなっている。

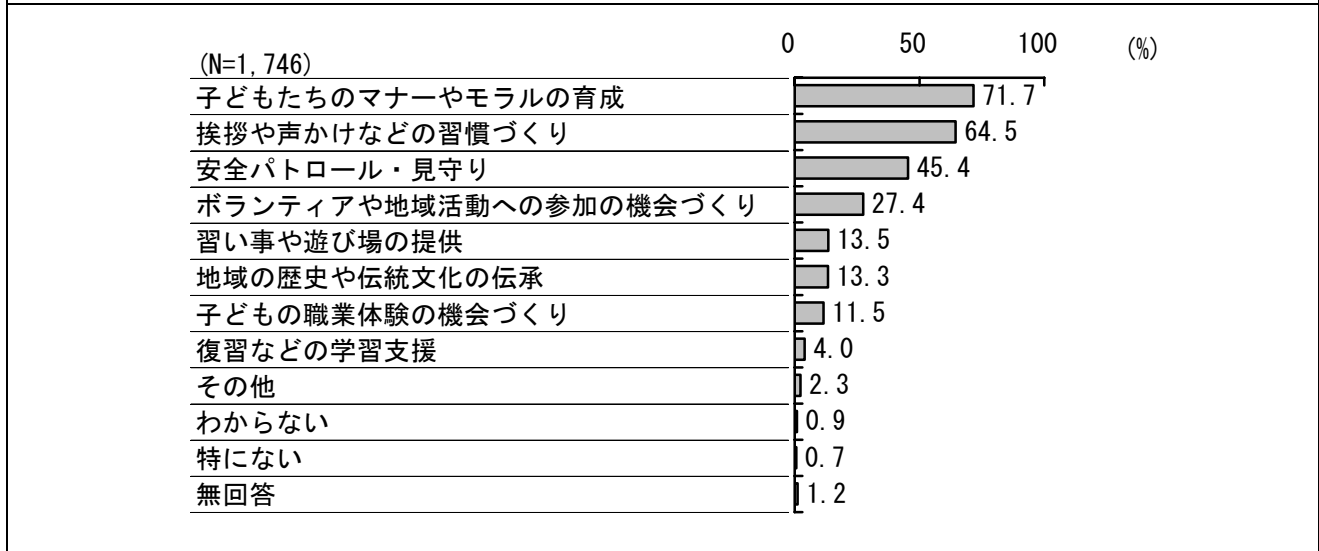
中学生以下の子または未就学児童の有無別にみると、「子育てに要する費用などへの経済的な支援の充実」の割合は、いる世帯の方が、いない世帯よりもそれぞれ 20 ポイント以上高くなっている。

<年齢別・性別・中学生以下の子の有無別・未就学児の有無別：全体の上位 5 項目>



2) 子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割

問9 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割として、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(〇は3つまで)



POINT

「子どもたちのマナーやモラルの育成」の割合が最も高く、次いで「挨拶や声かけなどの習慣づくり」が続き、上位2項目は半数を超える回答。

子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割は、「子どもたちのマナーやモラルの育成」が71.7%で最も高く、次いで「挨拶や声かけなどの習慣づくり」が64.5%と、上位2項目は半数を大きく超える回答になっている。以下、「安全パトロール・見守り」が45.4%、「ボランティアや地域活動への参加の機会づくり」が27.4%の順となっている。

なお、「その他」では、「親や大人のモラルの向上」や「高齢者との交流」などの回答があった。

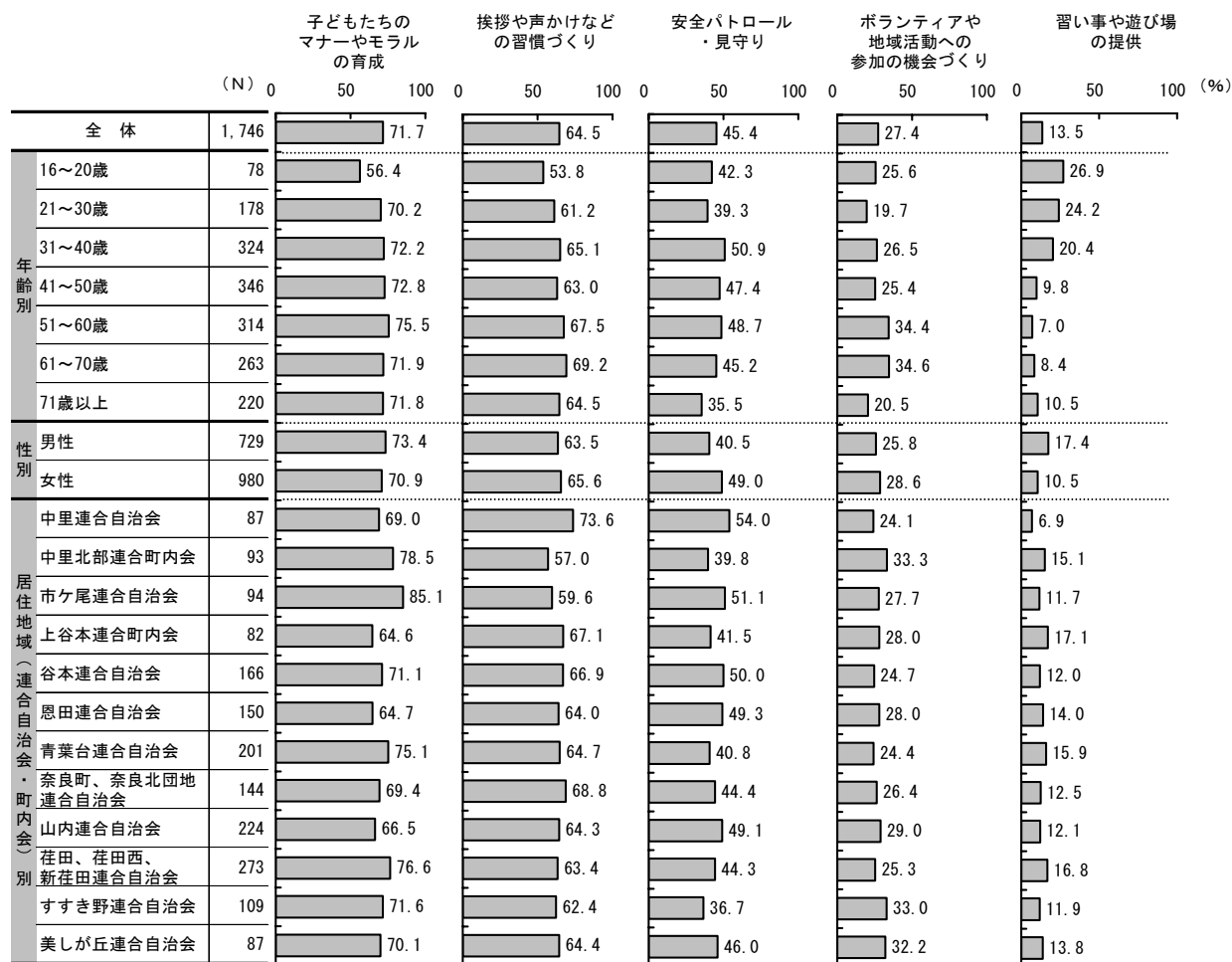
<年齢別・性別・居住地域別>

年齢別にみると、すべての年齢層で「子どもたちのマナーやモラルの育成」の割合が最も高く、21歳以上で7割となっている。また、40歳以下では「習い事や遊び場の提供」が2割を超え、他の年齢層と比較して高くなっている。

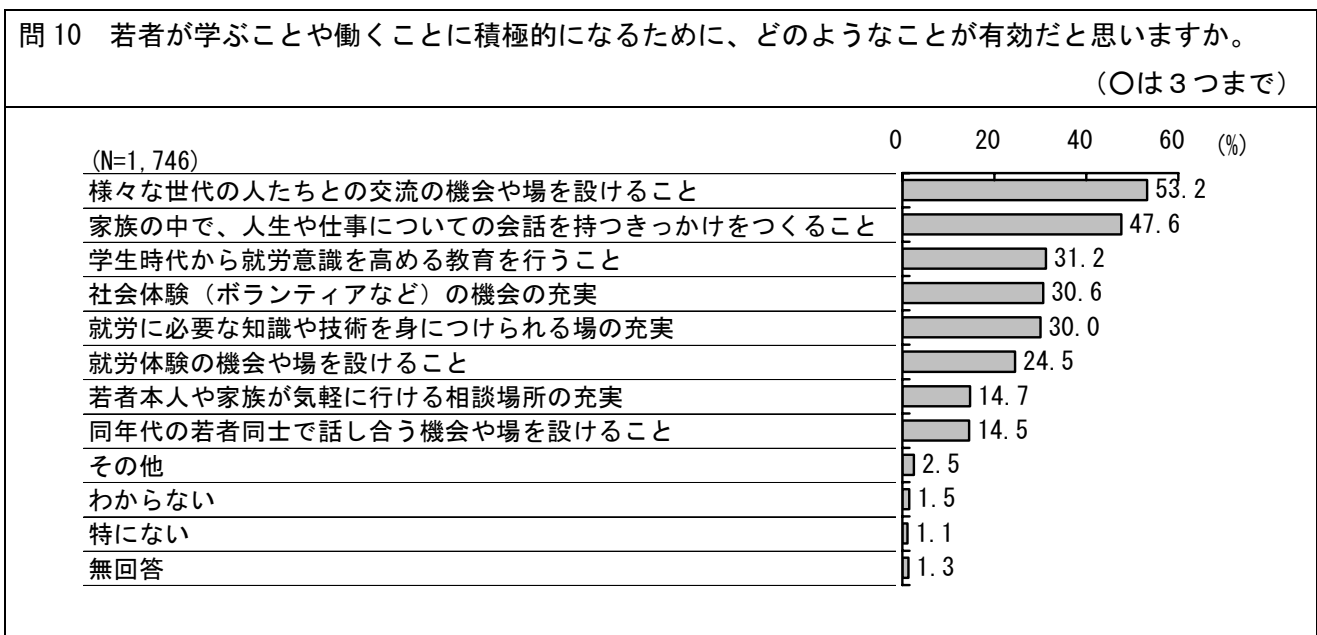
性別にみると、「安全パトロール・見守り」の割合は女性の方が8.5ポイント高く、「習い事や遊び場の提供」では男性の方が6.9ポイント高くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域で「子どもたちのマナーやモラルの育成」が6割を超え、中でも市ヶ尾連合自治会では8割を超えて特に高くなっている。

<年齢別・性別・居住地域別：全体の上位5項目>



3) 若者が学ぶことや働くことに積極的になるために有効なこと



POINT

「様々な世代の人たちとの交流の機会や場を設けること」の割合が最も高く、過半数の回答。

上位2項目が特に高いが、5項目まで3割以上と、様々な働きかけが有効と考えられている。

若者が学ぶことや働くことに積極的になるために有効なことは、「様々な世代の人たちとの交流の機会や場を設けること」が 53.2%で最も高く、「家族の中で、人生や仕事についての会話を持つきっかけをつくること」が 47.6%で続き、上位2項目が特に高い。以下、「学生時代から就労意識を高める教育を行うこと」が 31.2%、「社会体験（ボランティアなど）の機会の充実」が 30.6%、「就労に必要な知識や技術を身につけられる場の充実」が 30.0%の順になっている。

なお、「その他」では、「親が甘やかさないこと」や「親自体を教育すること」などの回答があった。

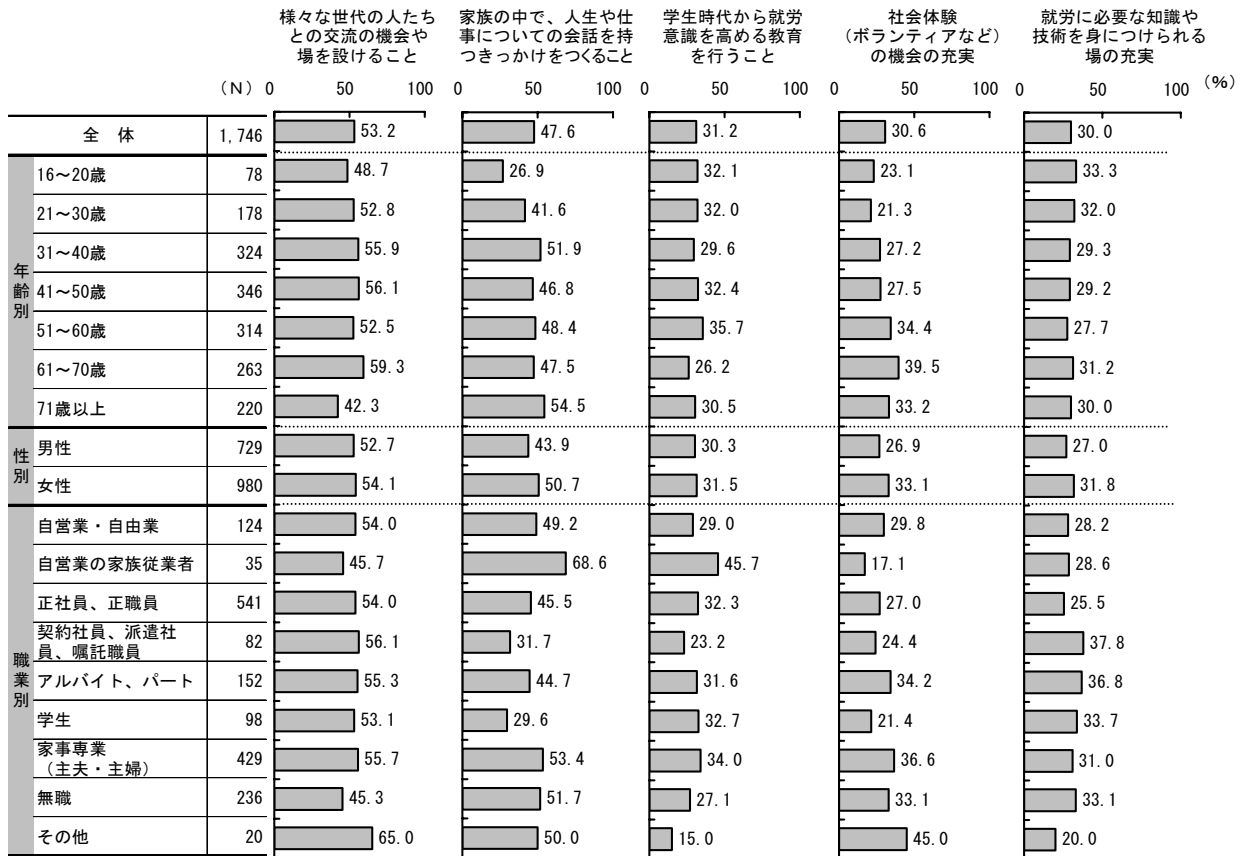
<年齢別・性別・職業別>

年齢別にみると、71歳以上では「家族の中で、人生や仕事についての会話を持つきっかけをつくること」の割合が最も高く、70歳以下では「様々な世代の人たちとの交流の機会や場を設けること」が最も高くなっている。16～20歳では、「就労に必要な知識や技術を身につけられる場の充実」が 33.3%、「学生時代から就労意識を高める教育を行うこと」が 32.1%で続き、70歳以下では2番目に高い「家族の中で、人生や仕事についての会話を持つきっかけをつくること」は、2割台で4番目にとどまっている。

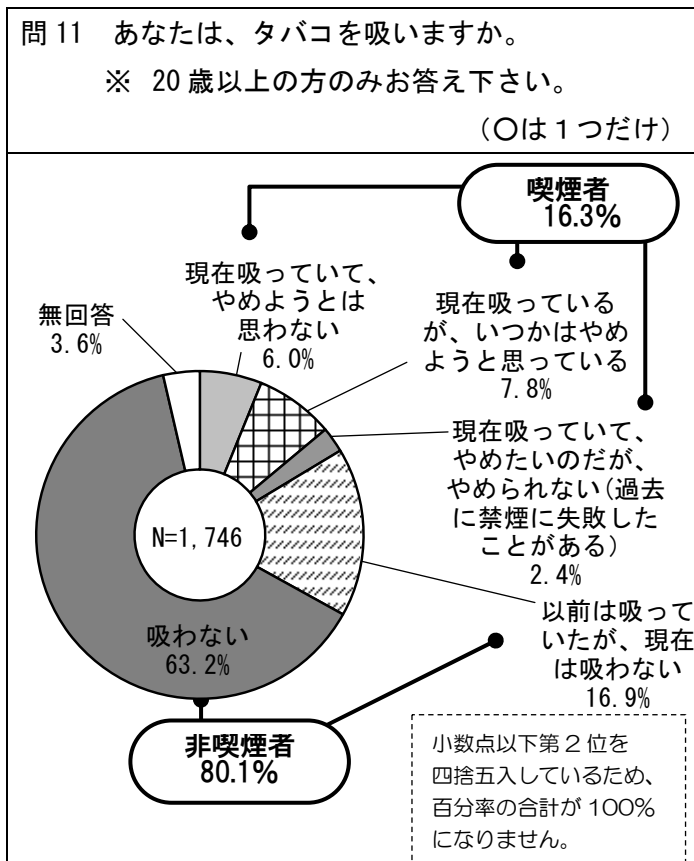
性別にみると、すべての項目で女性の方が男性よりも割合が高い傾向にある。

職業別にみると、「家族の中で、人生や仕事についての会話を持つきっかけをつくること」の割合は、自営業の家族従業者と家事専業（主夫・主婦）、無職で半数を超え、他の職業と比較して高くなっている。

<年齢別・性別・職業別：全体の上位5項目>



4) 喫煙状況



喫煙状況は、「吸わない」が 63.2%と、6割以上を占め、「以前は吸っていたが、現在は吸わない」(16.9%)と合わせた『非喫煙者』が 80.1%と8割に達している。

一方、『喫煙者』は 16.3%であるが、『喫煙者』の中では「現在吸っているが、いつかはやめようと思っている」と「現在吸っていて、やめたいのだが、やめられない(過去に禁煙に失敗したことがある)」を合わせると 63.0%に達し、禁煙意向を持つ人が過半数を占めている。

【参考】

『喫煙者』の内訳	件数	割合
現在吸っていて、やめようとは思わない	105	37.0%
現在吸っているが、いつかやめようと思っている	137	48.2%
現在吸っていて、やめたいのだが、やめられない(過去に禁煙に失敗したことがある)	42	14.8%
喫煙者合計	284	100.0%

『非喫煙者』の内訳	件数	割合
以前は吸っていたが、現在は吸わない	295	21.1%
吸わない	1,104	78.9%
非喫煙者合計	1,399	100.0%

POINT

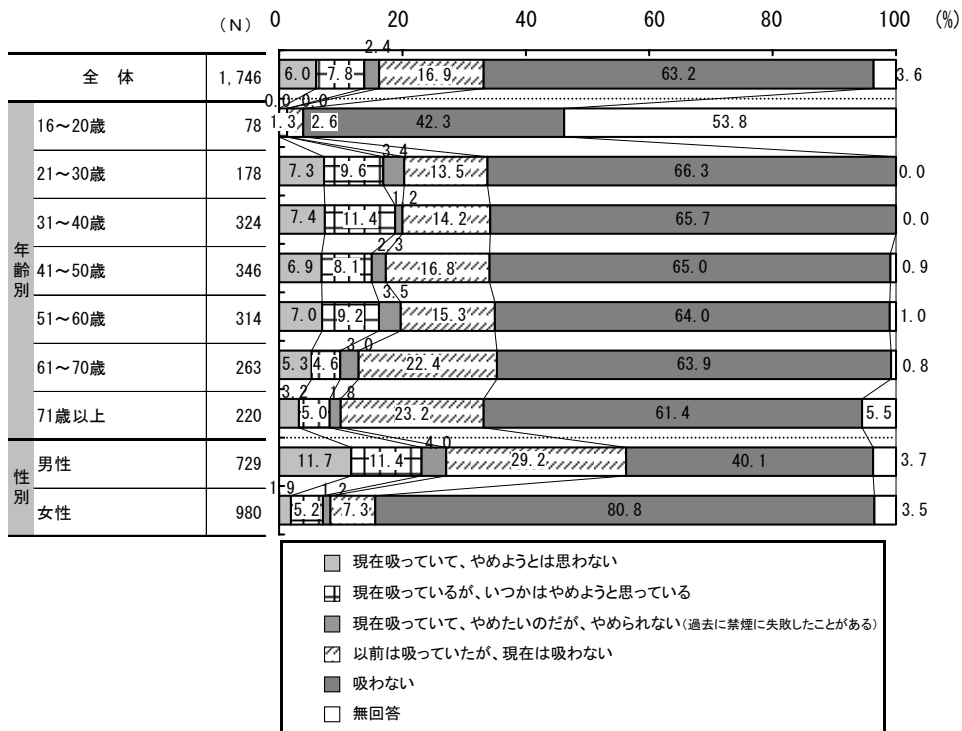
『喫煙者』は 16.3%、『非喫煙者』は 80.1%を占める。『非喫煙者』のうち「以前は吸っていたが、現在は吸わない」は 2 割強。また『喫煙者』のうち、禁煙意向を持つ人が 6 割を超えている。

＜年齢別・性別＞

年齢別にみると、『喫煙者』の割合は 21～60 歳で約 2 割となっている。また、いずれの年齢層でも禁煙意向を持つ人が半数を超えている。

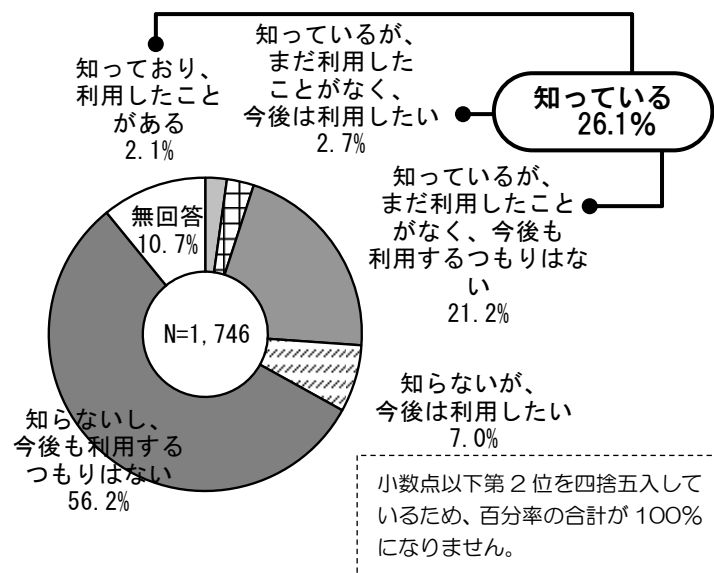
性別にみると、『喫煙者』の割合は男性の方が女性よりも圧倒的に高く、女性の 3 倍以上となっている。

また、禁煙意向の割合も男性の方が女性に比べ高くなっている。



5) 禁煙教室や禁煙相談、禁煙外来の認知度

問12 区役所で禁煙教室や禁煙相談を実施しているほか、医療機関では禁煙外来を行っています。あなたは、これらを知っていますか。※20歳以上の方のみお答え下さい。(○は1つだけ)



区役所で行っている禁煙教室や禁煙相談、医療機関の禁煙外来などの認知度は、「知らないし、今後も利用するつもりはない」が 56.2%で、6 割近くを占めている。

一方、『知っている』は 26.1%であるが、そのうち、「知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない」が 21.2%と、高くなっている。

また、「知らないが、今後は利用したい」は、その約 3 分の 1 にあたる 7.0%にとどまっている。

POINT

『知っている』は約4人に1人の割合で、「知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない」が約2割。

喫煙者が少ないことが関係し、「知らないし、今後も利用するつもりはない」が過半数を占めている。

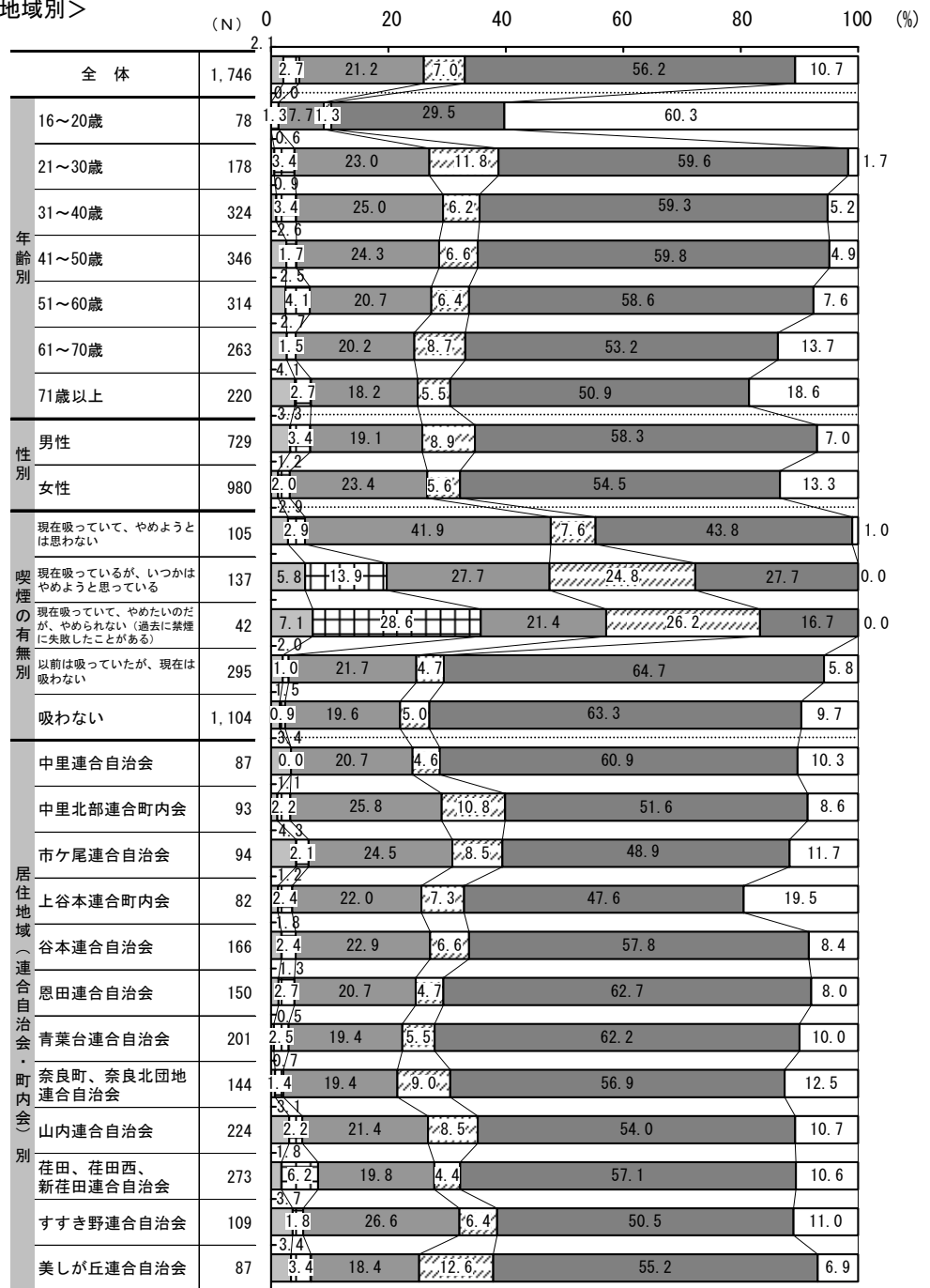
<年齢別・性別・喫煙の有無別・居住地域別>

年齢別にみると、16～20歳を除くすべての年齢層で「知らないし、今後も利用するつもりはない」の割合が半数を超えて最も高くなっている。『知っている』人の割合は31～40歳で31.0%と最も高いが、そのうちの25.0%が今後の利用意向がない。「知らないが、今後は利用したい」は、最も高い21～30歳でも約1割にとどまっている。

性別での認知度の差は特にみられない。

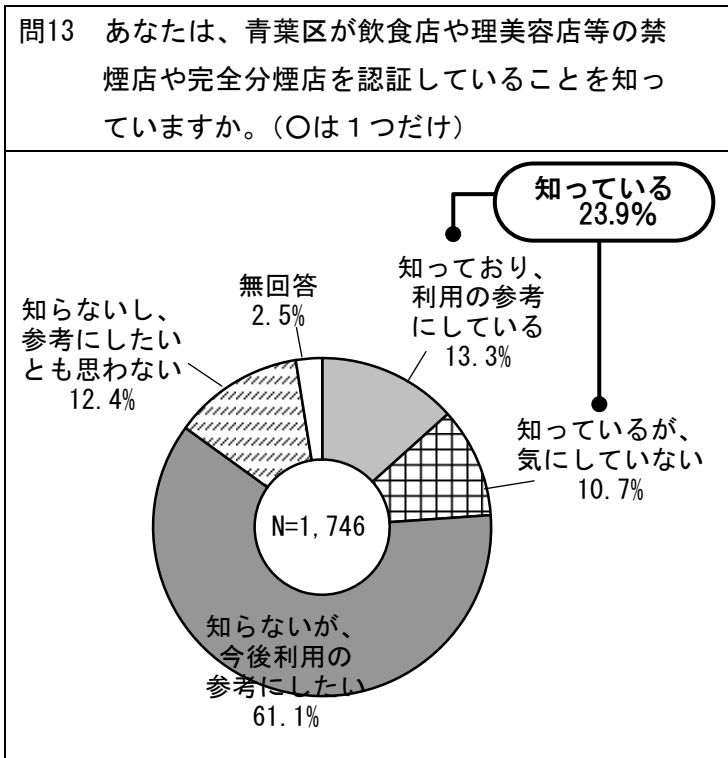
喫煙の有無別では、喫煙者では『知っている』割合が高く、特に現在吸っていて、やめたいのだが、やめられない（過去に禁煙に失敗したことがある）は、約6割で最も高く、そのうち約半数が今後の利用意向を持っている。また、禁煙意向のある人は、「知らないが、今後は利用したい」も2割台と高くなっている。

居住地域別にみると、どの地域でも「知らないし、今後も利用するつもりはない」の割合が最も高くなっている。



- 知っており、利用したことがある
- ▨ 知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい
- 知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない
- ▨ 知らないが、今後は利用したい
- 知らないし、今後も利用するつもりはない
- 無回答

6) 禁煙店・完全分煙店の認証の認知度



禁煙店・完全分煙店の認証の認知度は、「知らないが、今後利用の参考にしたい」が 61.1%と、6割以上を占めている。一方、『知っている』は 23.9%で、2割強にとどまっている。

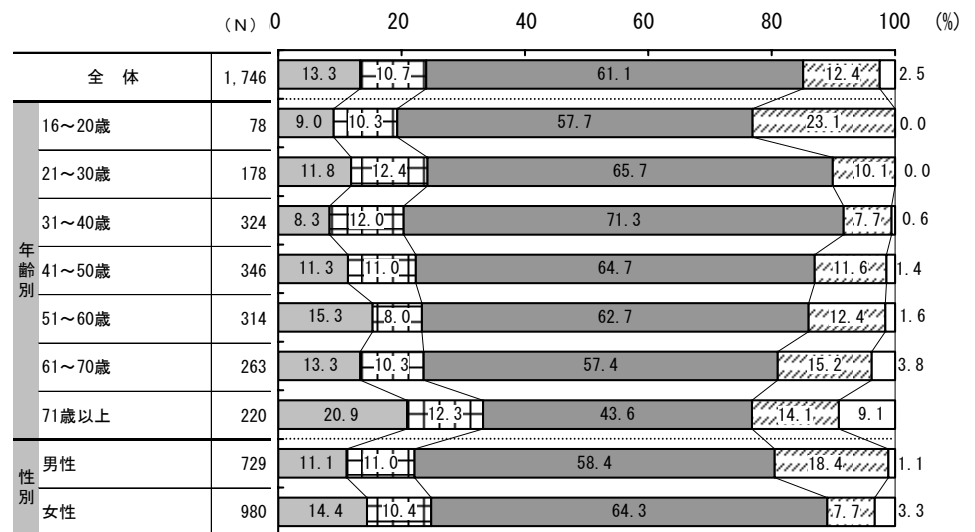
POINT

『知っている』は 2 割強。前問よりわずかに認知度が低いが、「知らないが、今後利用の参考にしたい」が6割以上を占め、関心は高い。

<年齢別・性別>

年齢別にみると、すべての年齢層で「知らないが、今後利用の参考にしたい」の割合が最も高くなっている。また、『知っている』は、71歳以上で最も高く、3割を超えている。

性別にみると、女性の方が男性より関心が高くなっている。



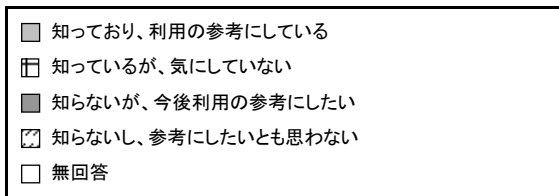
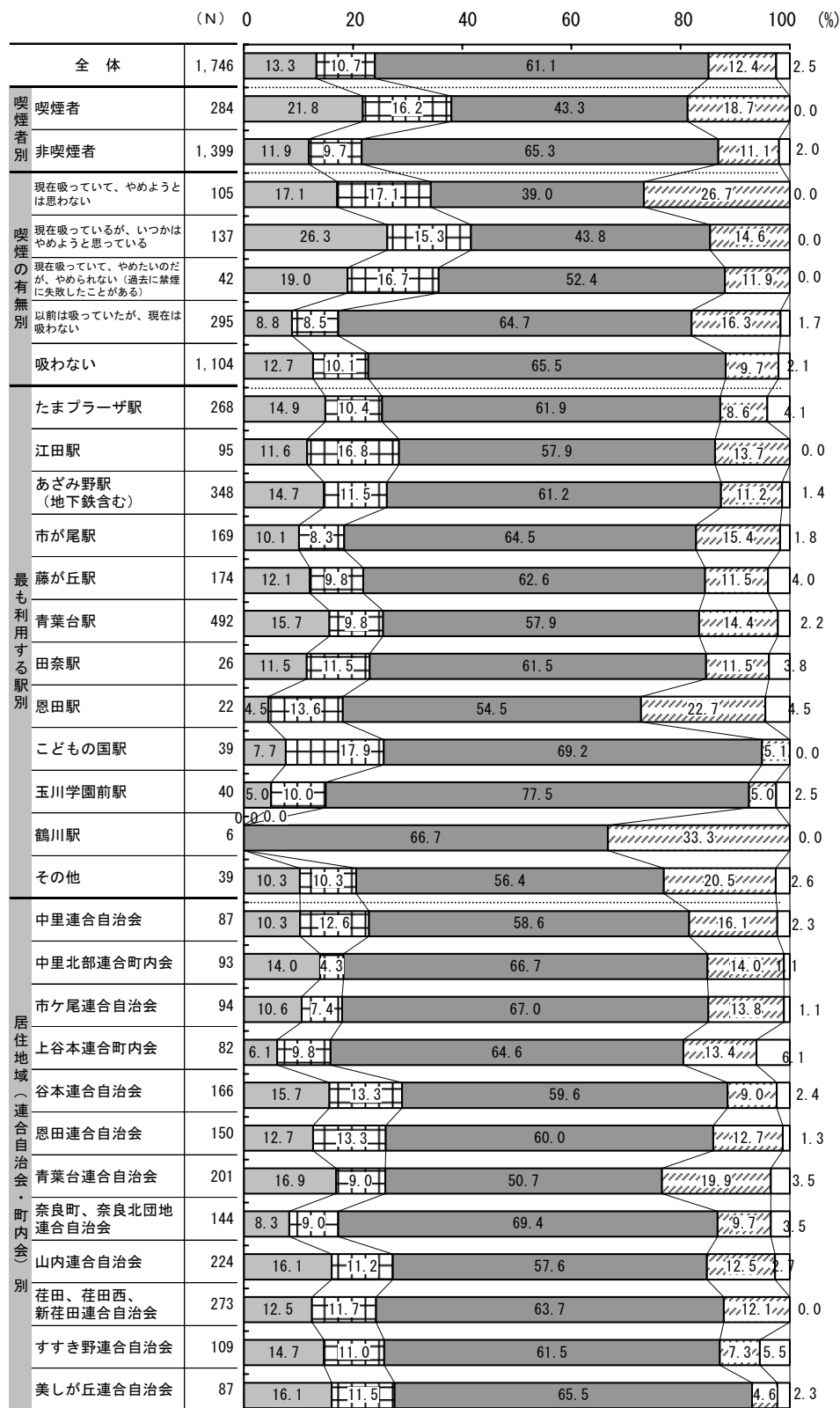
- 知っており、利用の参考にしている
- ▨ 知っているが、気にしていない
- (濃い) 知らないが、今後利用の参考にしたい
- ▨ (斜線) 知らないし、参考にしたいとも思わない
- 無回答

<喫煙者別・喫煙の有無別・最も利用する駅別・居住地域別>

喫煙の有無別にみると、『知っている』割合が最も高いのは、現在吸っているが、いつかはやめようと思っている人で約4割、またそのうち半数以上が「知っており、利用の参考にして」

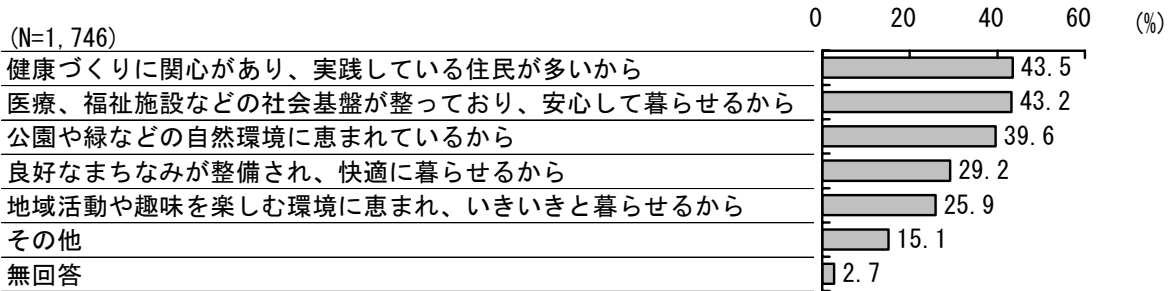
ている」となっている。最も利用する駅別にみると、すべての駅で「知らないが、今後利用の参考にしたい」の割合が半数を超えて最も高くなっている。

居住地域別でも、すべての地域で「知らないが、今後利用の参考にしたい」の割合が半数を超え、最も高くなっている。



7) 青葉区が長寿のまちである要因

問14 青葉区は、4月に厚生労働省が発表した「平成17年（2005年）市区町村別平均寿命」によると、男性が全国1位（81.7才）、女性が全国7位（88.0才）という長寿のまちであることがわかりました。あなたは、この要因をどのように考えますか。（〇はいくつでも）



POINT

「健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから」と「医療、福祉施設などの社会基盤が整っており、安心して暮らせるから」の割合が並んで高く、長寿の主な要因と考えている人が多い。

青葉区が長寿のまちである要因は、「健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから」（43.5%）と「医療、福祉施設などの社会基盤が整っており、安心して暮らせるから」（43.2%）が並んで高く、次いで「公園や緑などの自然環境に恵まれているから」が39.6%となっている。

なお、「その他」では、「経済的にゆとりのある人が多いから」や「高齢者施設が多いから」、「たまたま、偶然」などの回答があった。（詳細は下表参照）

「その他」の内容	件数	「その他」の内容	件数
経済的にゆとりのある人が多いから	130	高齢者が多いから	9
高齢者施設が多いから	33	坂道が多い・農村地帯等環境要因のため	5
わからない	20	その他	21
たまたま、偶然	14	内容記入なし	17
転入者が多いから・高齢の転入者が多いから	14	合計	263

<年齢別・性別・以前の居住地別・居住地域別>

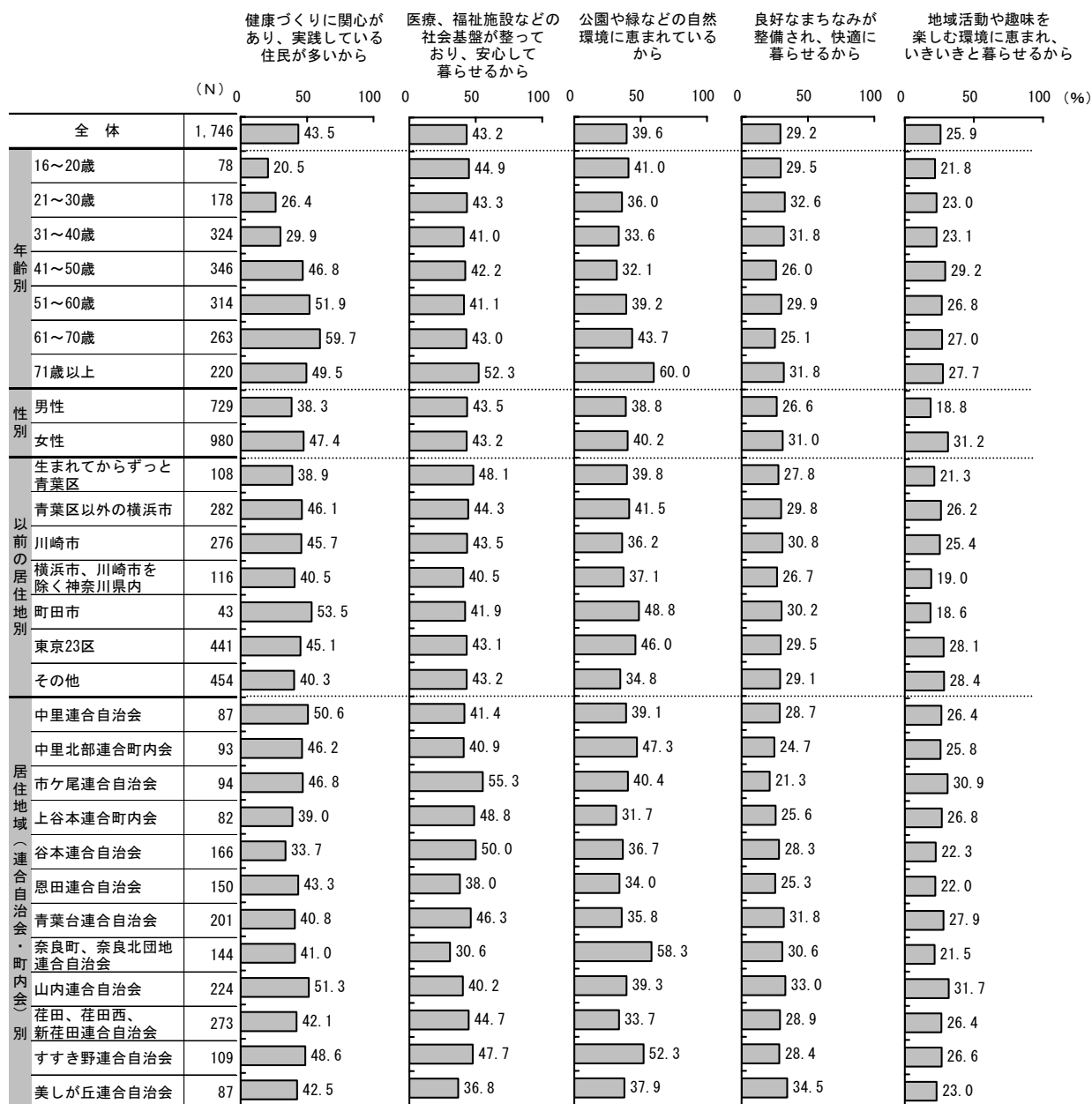
年齢別にみると、「健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから」は、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向があり、51～70歳では半数を超えている。また、「医療、福祉施設などの社会基盤が整っており、安心して暮らせるから」と「公園や緑などの自然環境に恵まれているから」の2項目の割合は71歳以上がそれぞれ半数を超え、他の年齢層と比較して特になくなっている。

性別にみると、「地域活動や趣味を楽しむ環境に恵まれ、いきいきと暮らせるから」と「健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから」では、女性の割合の方が男性よりもそれぞれ 10 ポイント前後高くなっている。

以前の居住地別にみると、生まれてからずっと青葉区の人では「医療、福祉施設などの社会基盤が整っており、安心して暮らせるから」の割合が最も高く、青葉区以外の県内または町田市からの転居者では「健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから」の割合が最も高くなっている。

居住地域別にみると、半数の地域で全体の上位 3 項目のいずれかの項目の割合が半数を超えている。

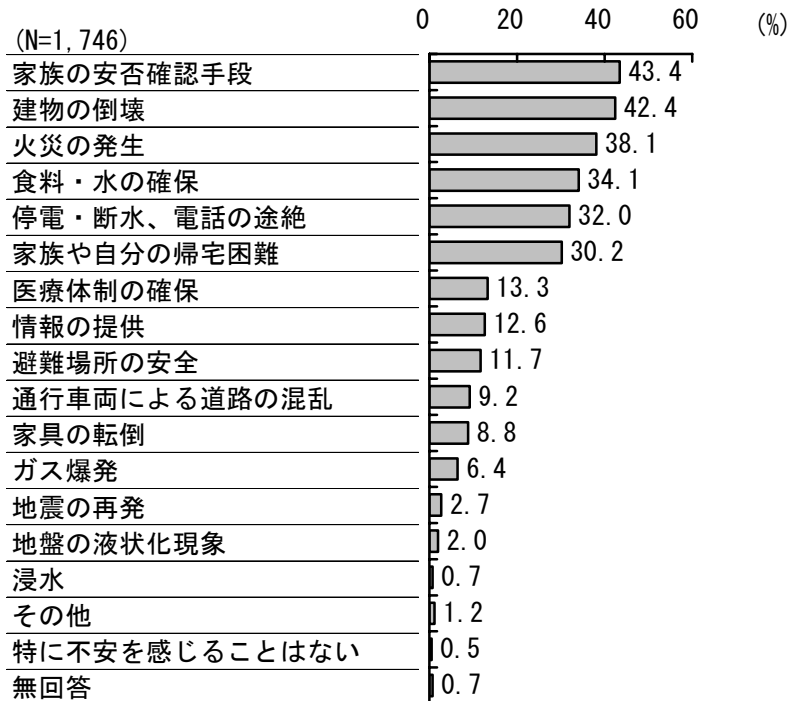
<年齢別・性別・以前の居住地別・居住地域別：全体の上位 5 項目>



4 防災について

1) 平日昼間に大地震が起きた場合に不安なこと

問 15 首都圏で平日の昼間に大地震が起きた場合、あなたが特に不安に思うことは何ですか。
(〇は3つまで)



POINT

「家族の安否確認手段」と「建物の倒壊」の割合が並んで高い。
以下、上位6項目まで3割以上の回答。

平日昼間に大地震が起きた場合に不安なことは、「家族の安否確認手段」(43.4%)と「建物の倒壊」(42.4%)が並んで高く、次いで「火災の発生」が38.1%、「食料・水の確保」が34.1%、「停電・断水、電話の途絶」が32.0%、「家族や自分の帰宅困難」が30.2%の順で、以上の上位6項目が3割を超える回答で、そのほかは1割台以下になっている。

<年齢別・性別・職業別・家族形態別・居住地域別>

年齢別では、「家族の安否確認手段」の項目は21～60歳で5割前後と高くなっている。また、「火災の発生」「停電・断水、電話の途絶」の項目は年齢が上がるほど高い割合に、反対に「食料・水の確保」の項目では年齢が下がるほど高い割合となっている。

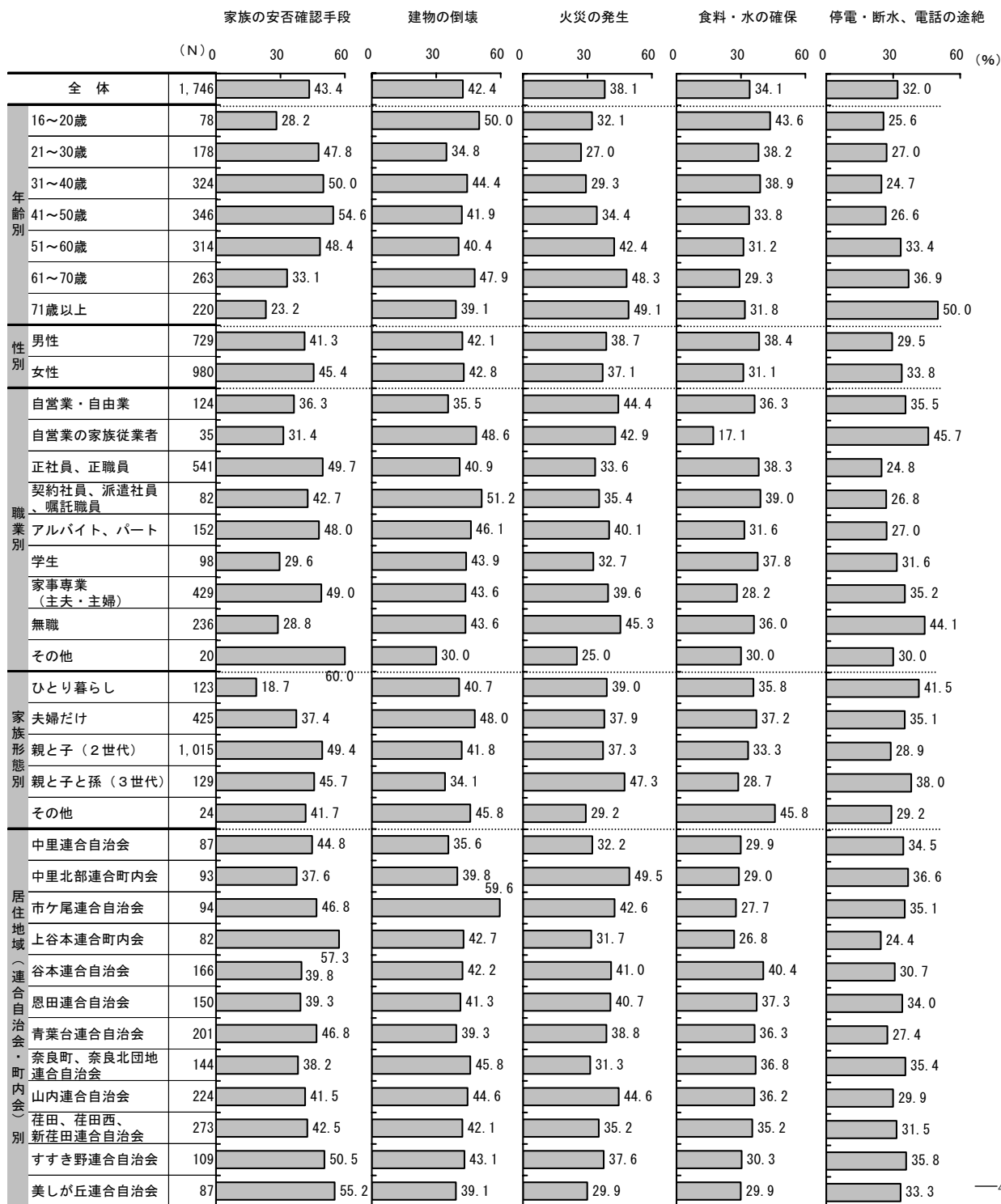
性別にみると、「食料・水の確保」は男性の割合の方が女性よりも7.3ポイント高くなっている。

職業別にみると、「家族の安否確認手段」の項目では正社員、正職員、アルバイト、パート、家事専業（主夫・主婦）が約半数、「建物の倒壊」では自営業の家族従業者、契約社員、派遣社員、嘱託職員の割合が約半数で高くなっている。

家族構成別にみると、「家族の安否確認手段」は、親と子（2世代）と親と子と孫（3世代）で半数近くと高くなっている一方、ひとり暮らしでは約2割となっている。また、「建物の倒壊」の割合は夫婦だけが、「火災の発生」は親と子と孫（3世代）が、それぞれ約半数で、他の家族形態と比較して高くなっている。

居住地域別にみると、地域によって最も不安なことは異なっている。特に、「家族の安否確認手段」の割合は上谷本連合町内会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会が、「建物の倒壊」の項目では市ヶ尾連合自治会が半数を超え、他の地域と比較して高くなっている。

<年齢別・性別・職業別・家族形態別・居住地域別：全体の上位5項目>

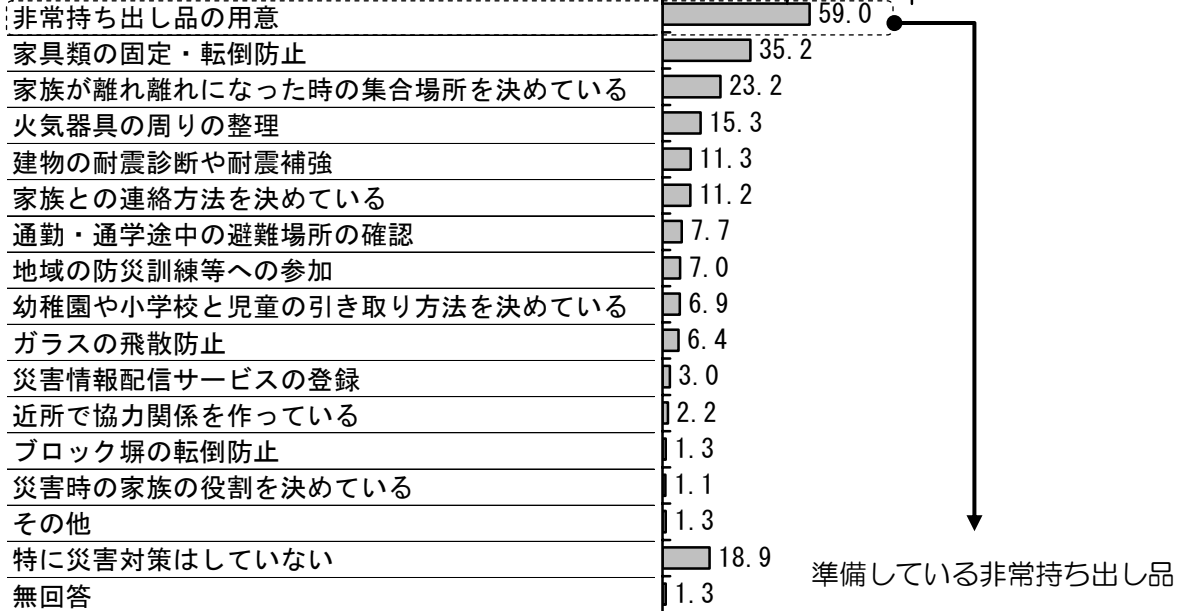


2) 家庭で行っている災害対策

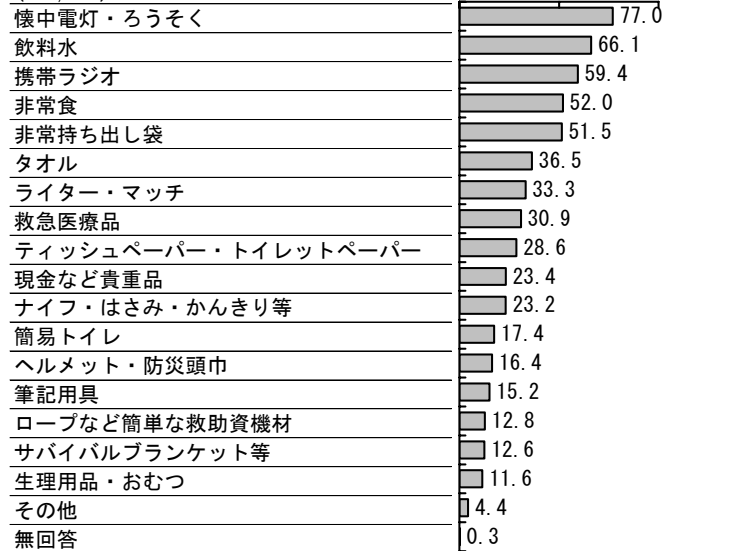
問 16 あなたのご家庭で行っている災害対策は何ですか。(〇はいくつでも)

問 16-1 あなたのご家庭では非常持ち出し品として何を準備していますか。(〇はいくつでも)

(N=1,746)



(N=1,030)



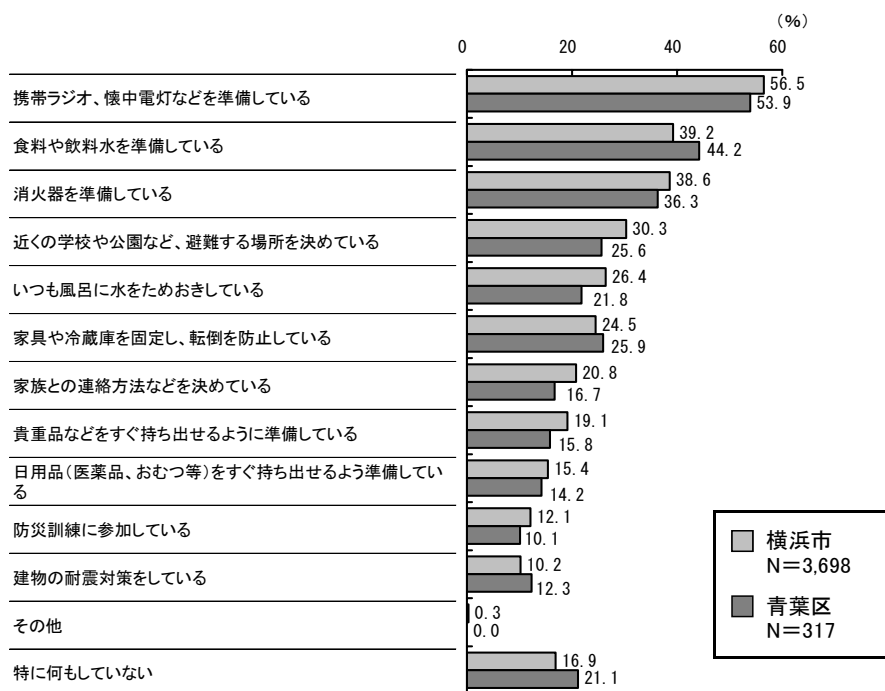
POINT

「非常持ち出し品の用意」が約6割で最も高い。準備している非常持ち出し品は「懐中電灯・ろうそく」、「飲料水」、「携帯ラジオ」が上位3品目。一方、「特に災害対策はしていない」が2割近くを占めている。

家庭で行っている災害対策は、「非常持ち出し品の用意」が 59.0%で最も高く、2 番目の「家具類の固定・転倒防止」とは 20 ポイント以上の差となっている。以下、「家族が離れ離れになった時の集合場所を決めている」が 23.2%、「火気器具の周りの整理」が 15.3%の順となっている。一方、「特に災害対策はしていない」が 18.9%と、2 割近くを占めている。

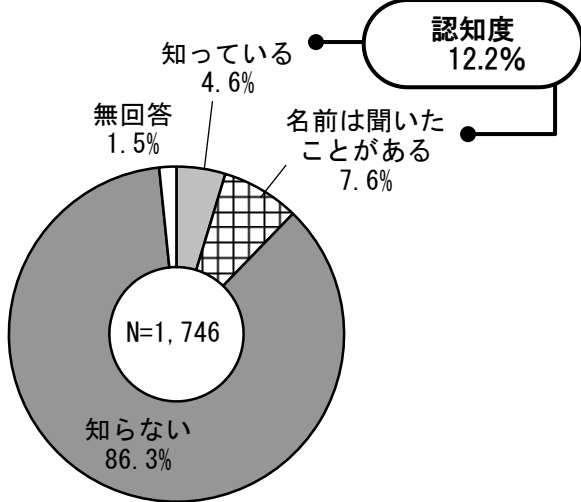
災害対策で「非常持ち出し品の用意」と回答した人の、準備している非常持ち出し品は、「懐中電灯・ろうそく」が 77.0%で最も高く、次いで「飲料水」が 66.1%、「携帯ラジオ」が 59.4%、「非常食」が 52.0%、「非常持ち出し袋」が 51.5%の順で、以上の上位 5 項目が半数を超える回答である。

<【参考】平成 19 年度横浜市民意識調査>



3) 「支えあいカード」の認知度

問17 あなたは、地域があらかじめ避難が難しい方（要援護者）のいる世帯を把握するための「支えあいカード」を知っていますか。（○は1つだけ）



「支えあいカード」の認知度は、「知らない」が 86.3%と大半を占め、認知度が低いといえる。「知っている」(4.6%)と「名前を聞いたことがある」(7.6%)を合わせても、全体の1割強である。

POINT

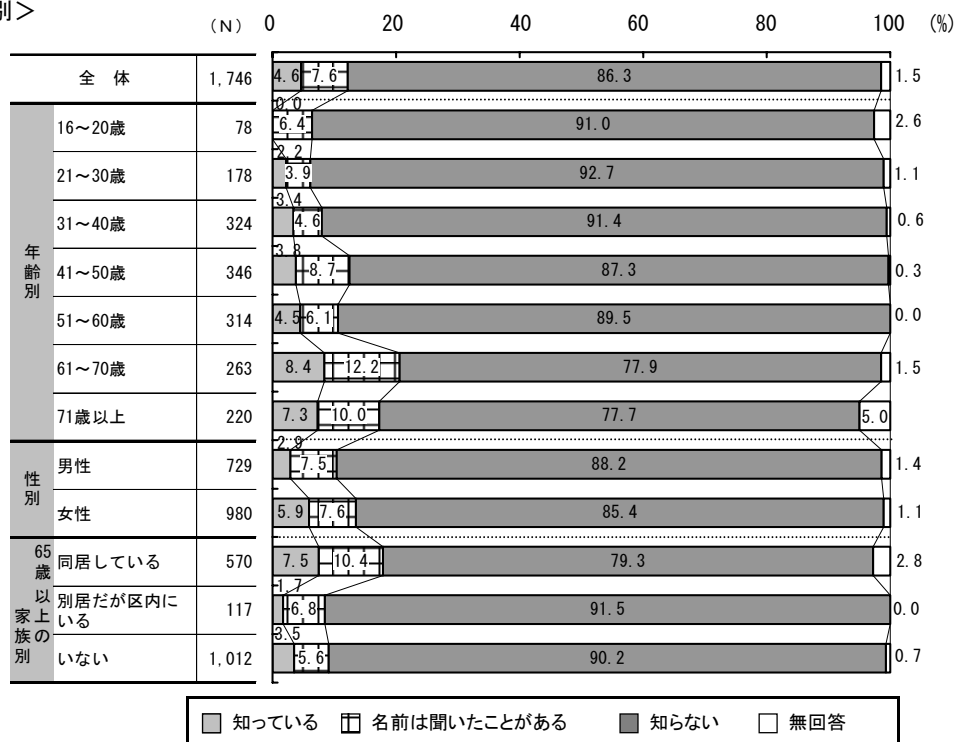
「支えあいカード」の認知度は低く、1割強。「知らない」が8割以上を占めている。

<年齢別・性別・65歳以上の家族別>

年齢別にみると、認知度を表す「知っている」、「名前を聞いたことがある」は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向があるが、最も高い 61～70 歳でも 1割強にとどまっている。

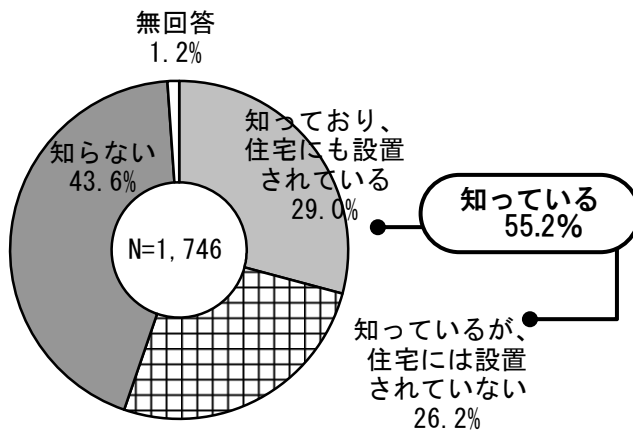
性別にみると認知度に大きな差はみられない。

65 歳以上の家族別にみると、認知度の割合が最も高い同居している人でも 2割弱となっている。



4) 住宅用火災警報器の設置義務化の認知度

問18 あなたは、一戸建ての住宅や小規模のアパートでも住宅用火災警報器の設置が義務付けられたことを知っていますか。(〇は1つだけ)



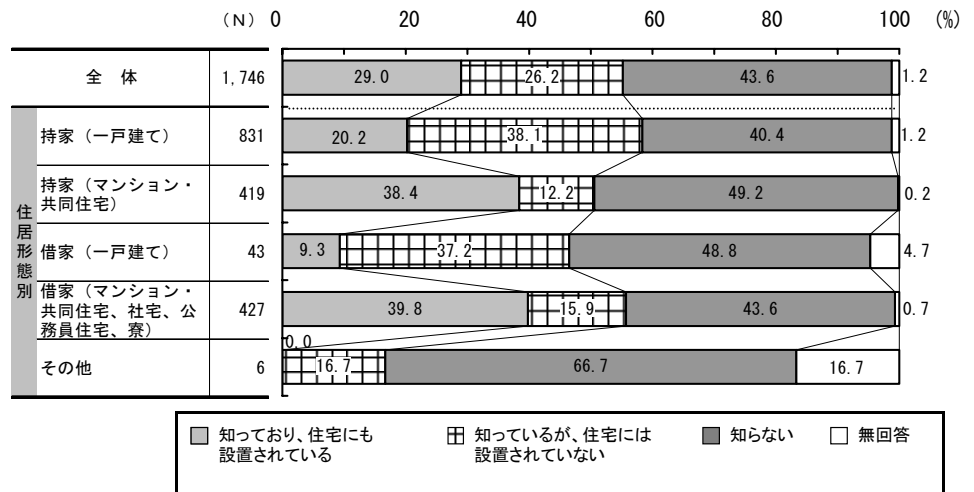
住宅用火災警報器の設置義務化の認知度は、「知らない」が43.6%で、最も高くなっている。次いで「知っており、住宅にも設置されている」が29.0%で、「知っているが、住宅には設置されていない」が26.2%となっており、合わせると義務化を『知っている』は55.2%と過半数を占めている。認知度自体は低くないが、設置している割合は3割弱にとどまっている。

POINT

設置の義務化について、『知っている』は過半数を占めている。
しかし、実際に設置している割合は、3割を下回る。

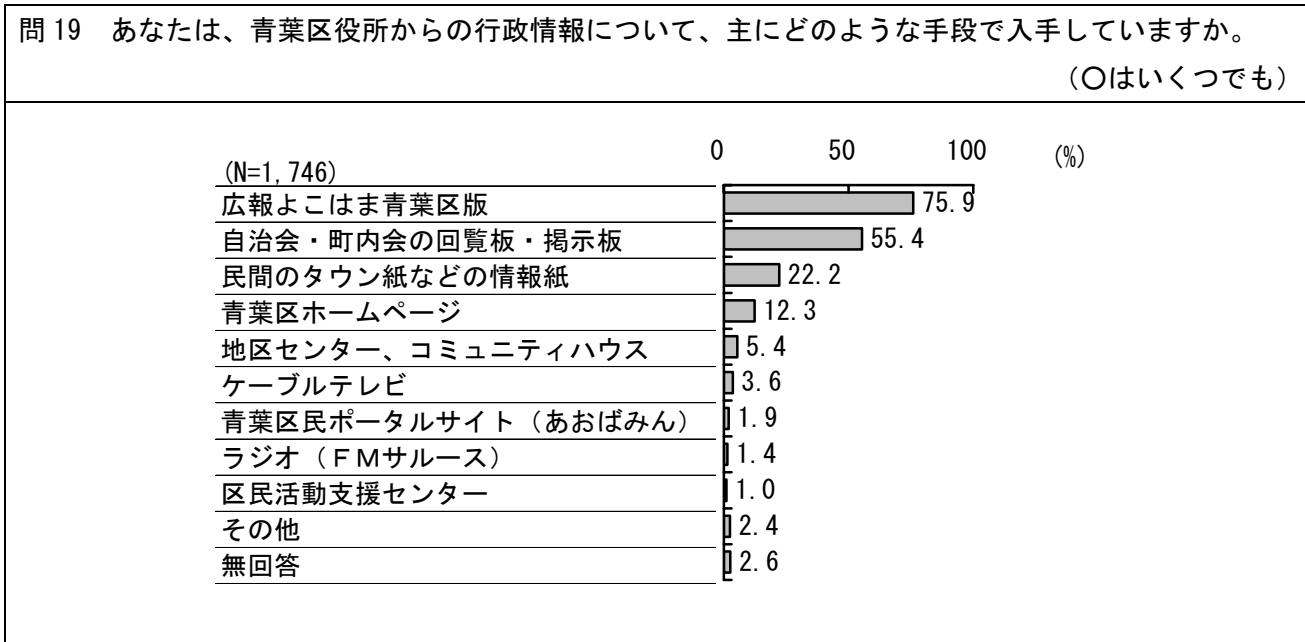
<住居形態別>

住居形態別にみると、『知っている』の割合は持家（一戸建て）で最も高く約6割に達しているが、実際に設置している人は約2割にとどまっている。なお、持家、借家ともに一戸建てよりもマンションなど共同住宅の方が実際に設置している割合は高くなっている。



5 区政サービスについて

1) 青葉区の行政情報の入手手段



POINT

「広報よこはま青葉区版」が圧倒的に高く、7割を超える回答。
次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」の割合が高く、過半数の回答。

青葉区の行政情報の入手手段は、「広報よこはま青葉区版」が75.9%で圧倒的に高くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が55.4%で高く、この2媒体において半数を上回っている。

以下、「民間のタウン紙などの情報紙」が22.2%、「青葉区ホームページ」が12.3%の順となっている。

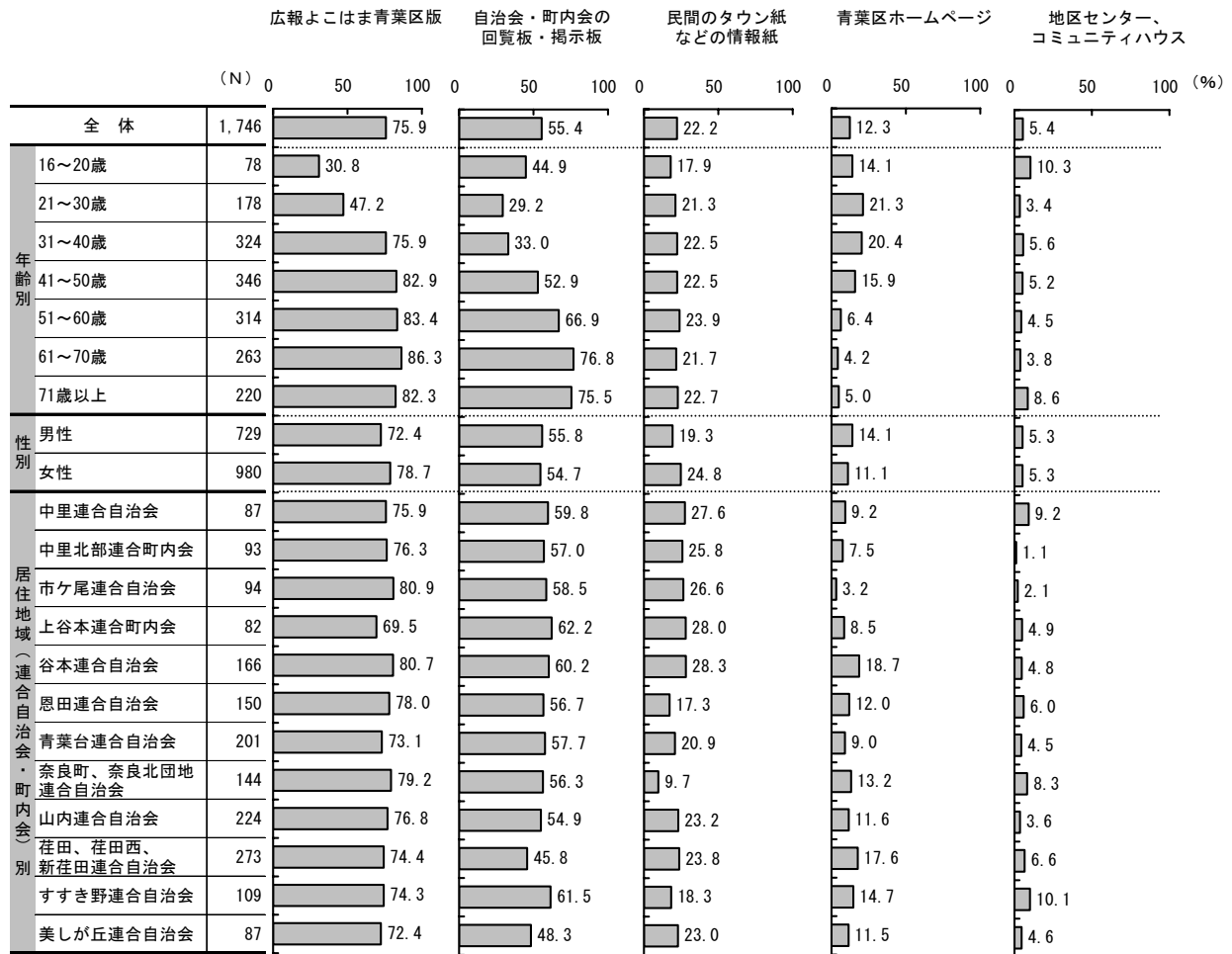
<年齢別・性別・居住地域別>

年齢別にみると、30歳以下では「広報よこはま青葉区版」の割合が半数以下と低くなっている。また21～40歳では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」は3割程度と低くなっており、反対に「青葉区ホームページ」は約2割と他の年齢層に比べやや高くなっている。

性別にみると、「広報よこはま青葉区版」と「民間のタウン紙などの情報紙」は女性の割合の方が男性よりもそれぞれ6.3ポイント、5.5ポイント高くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域で「広報よこはま青葉区版」が6割を超えて最も高くなっており、特に市ヶ尾連合自治会と谷本連合自治会では8割に達している。

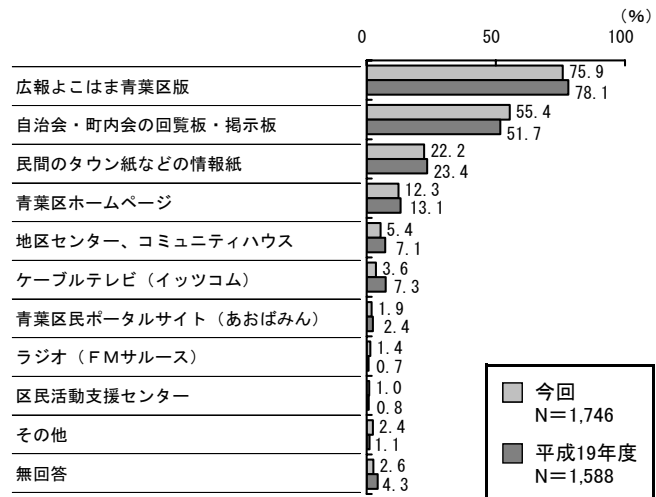
<年齢別・性別・居住地域別：全体の上位5項目>



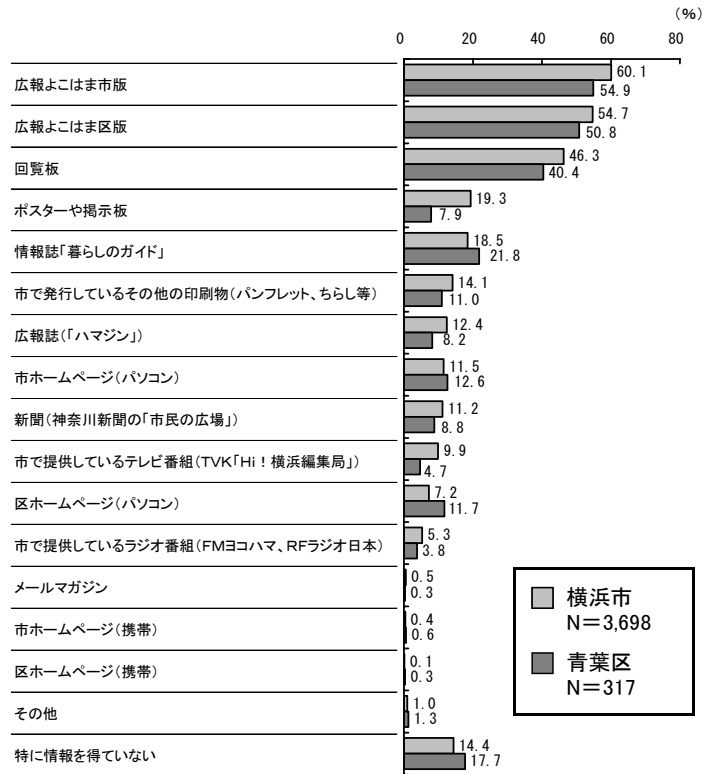
<平成19年度調査結果との比較>

平成19年の調査結果と比較すると特に大きな変化はない。

なお、選択肢の文言が一部異なっていることに留意する必要がある。

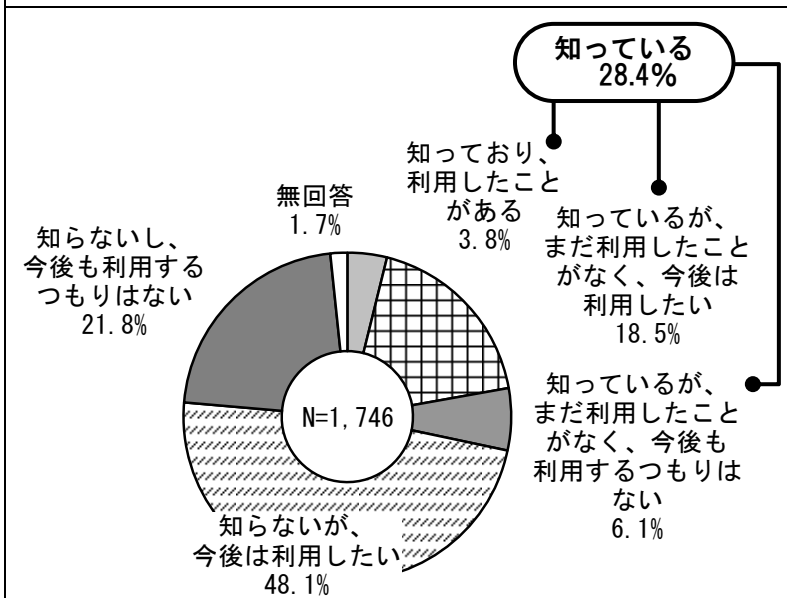


<【参考】平成 19 年度横浜市民意識調査>



2) 郵便局での証明発行窓口サービスの認知度

問20 あなたは、区内の2か所の郵便局（青葉台、横浜奈良郵便局）で行っている証明発行窓口サービスを知っていますか。（○は1つだけ）



郵便局での証明発行窓口サービスの認知度は、「知らないが、今後は利用したい」が48.1%で、半数近くを占めている。次いで「知らないし、今後も利用するつもりはない」が21.8%と高く、合わせると知らない人が約4人に3人と、大半を占めている。一方、『知っている』は28.4%で、その中には「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」の割合が高く、18.5%となっている。認知状況にかかわらず、利用意向を持つ割合が高くなっている。

POINT

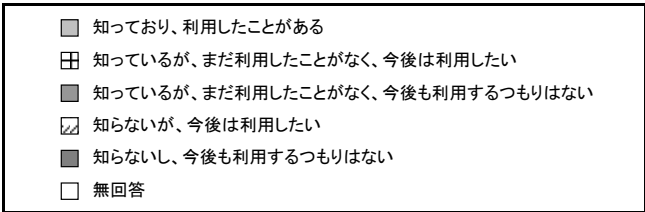
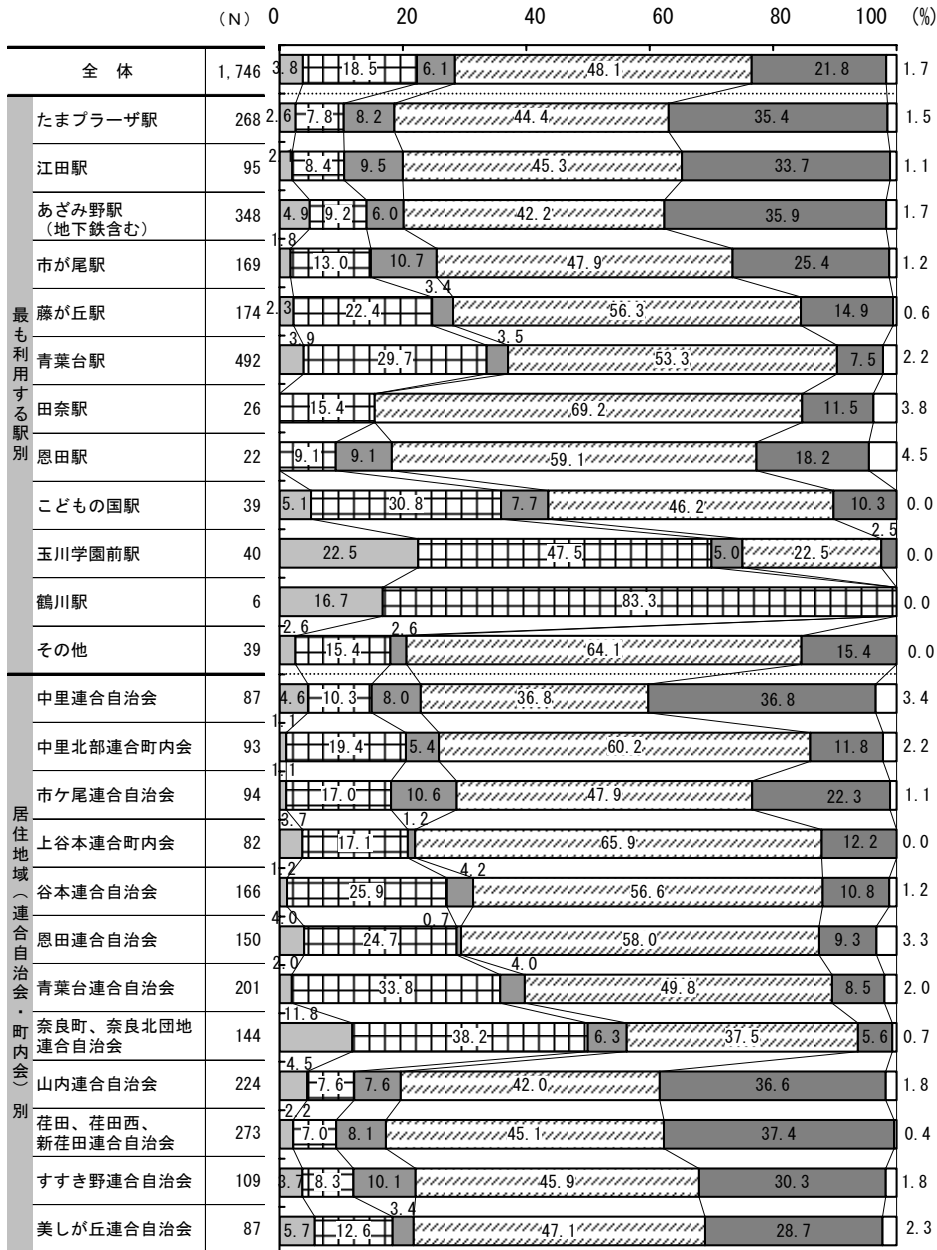
認知度は3割以下だが、昨年度調査の6倍以上となっている。

また、「知らないが、今後は利用したい」が半数近くを占めるなど、認知状況にかかわらず、今後の利用意向を持つ人が多い。

＜最も利用する駅別・居住地域別＞

最も利用する駅別にみると、鶴川駅は回答者数が6名と少ないものの、全員が『知っている』と回答している。

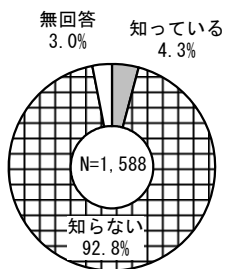
居住地域別にみると、『知っている』の割合が最も高いのは、奈良町、奈良北部団地連合自治会で56.3%、青葉台連合自治会で39.8%と、郵便局のある地域が上位2地域を占めている。



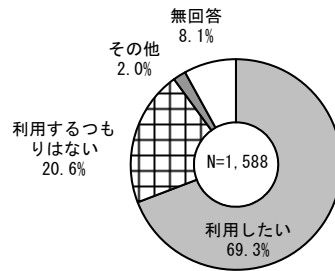
＜【参考】平成 19 年度調査結果＞

設問形式が異なるが、平成 19 年度調査では、「知らない」が 92.8%と極めて高く、「知っている」がわずか 4.3%であった。一方、利用意向は「利用したい」が約 7 割を占めて最も高く、「利用するつもりはない」は約 2 割となっている。

認知状況



利用意向

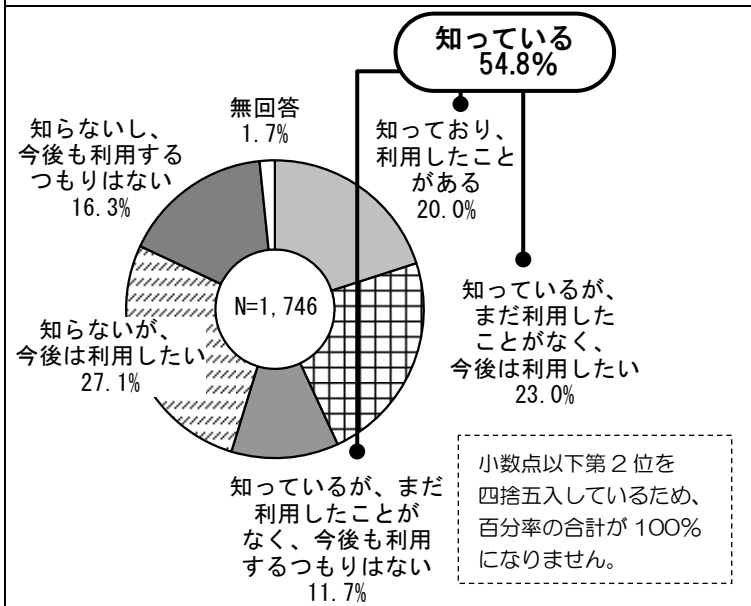


【郵便局での証明発行窓口サービス】

青葉区では、平成 20 年（2008 年）1 月から、区内の 2 か所の郵便局（青葉台、横浜奈良郵便局）で、住民票の写しなどの証明発行窓口サービスを開始しました。

3) 地区センターでの図書館の予約本の貸出、返却サービスの認知度

問 21 あなたは、地区センターでの横浜市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを知っていますか。
(○は 1 つだけ)



地区センターで行っている横浜市立図書館の予約本の貸出、返却サービスの認知度は、「知らないが、今後は利用したい」が 27.1%で最も高く、次いで「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」が 23.0%と続いており、認知状況にかかわらず、今後の利用意向は高いことがうかがえる。また、サービス自体を『知っている』は 54.8%と、過半数を占めている。

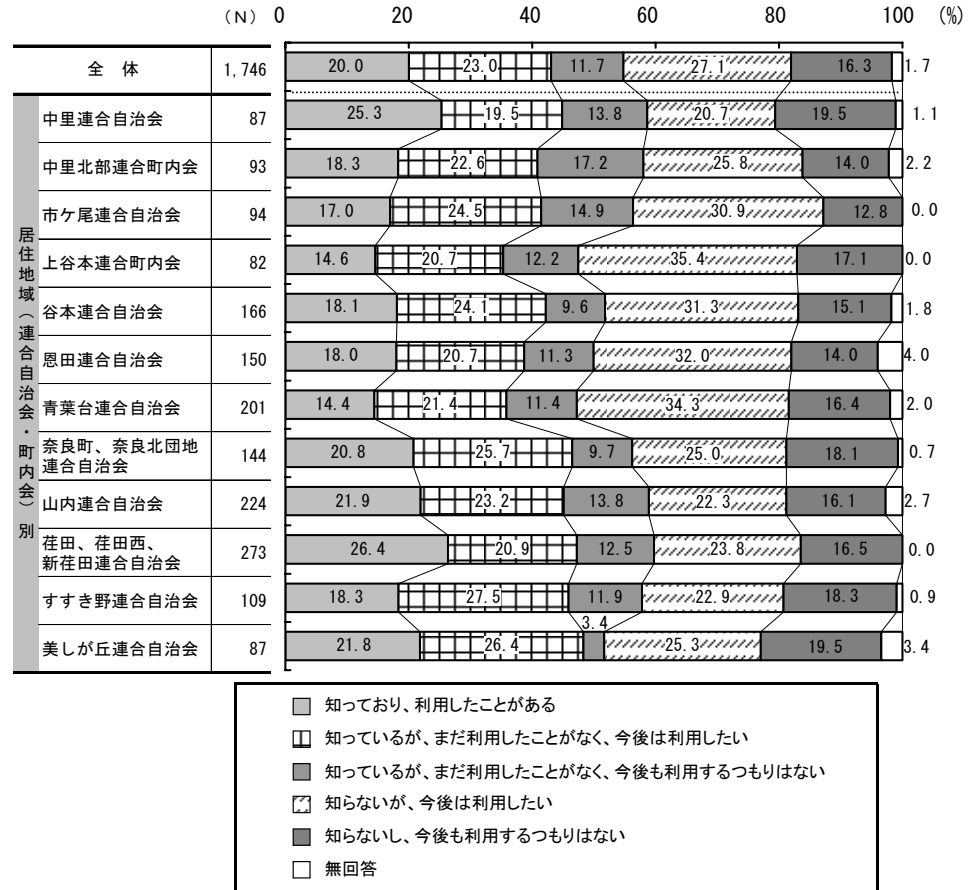
POINT

『知っている』は半数を超え、昨年度調査の 2 倍以上となっている。認知状況にかかわらず、利用意向を持つ人が多い。

<居住地域別>

居住地域別にみると、認知度が最も高いのは、荇田、荇田西、新荇田連合自治会で 59.8%と約6割となっている。

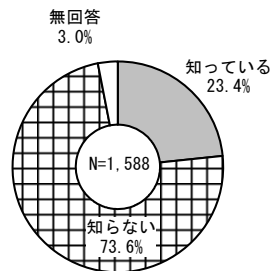
一方、認知度が最も低いのは青葉台連合自治会で 47.2%と半数以下となっている。



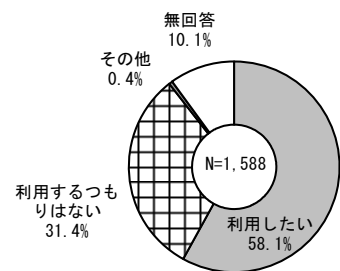
<【参考】平成19年度調査結果との比較>

設問形式が異なるが、平成19年度調査では、認知状況は「知らない」が7割を超え、「知っている」は23.4%にとどまっている。一方、利用意向は「利用したい」が約6割を占め、「利用するつもりはない」は31.4%となっている。

認知状況



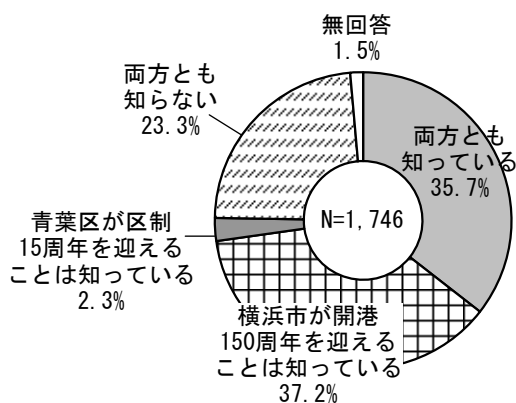
利用意向



6 横浜市開港 150 周年、青葉区制 15 周年について

1) 横浜市開港 150 周年、青葉区制 15 周年の認知度

問22 あなたは、平成21年（2009年）に横浜市が開港150周年、青葉区が区制15周年を迎えることを知っていますか。（○は1つだけ）



横浜市開港 150 周年、青葉区制 15 周年の認知度は、「横浜市が開港 150 周年を迎えることは知っている」（37.2%）と「両方とも知っている」（35.7%）が並んで高くなっている。一方、「両方とも知らない」は 23.3%と、約 4 人に 1 人となっている。

POINT

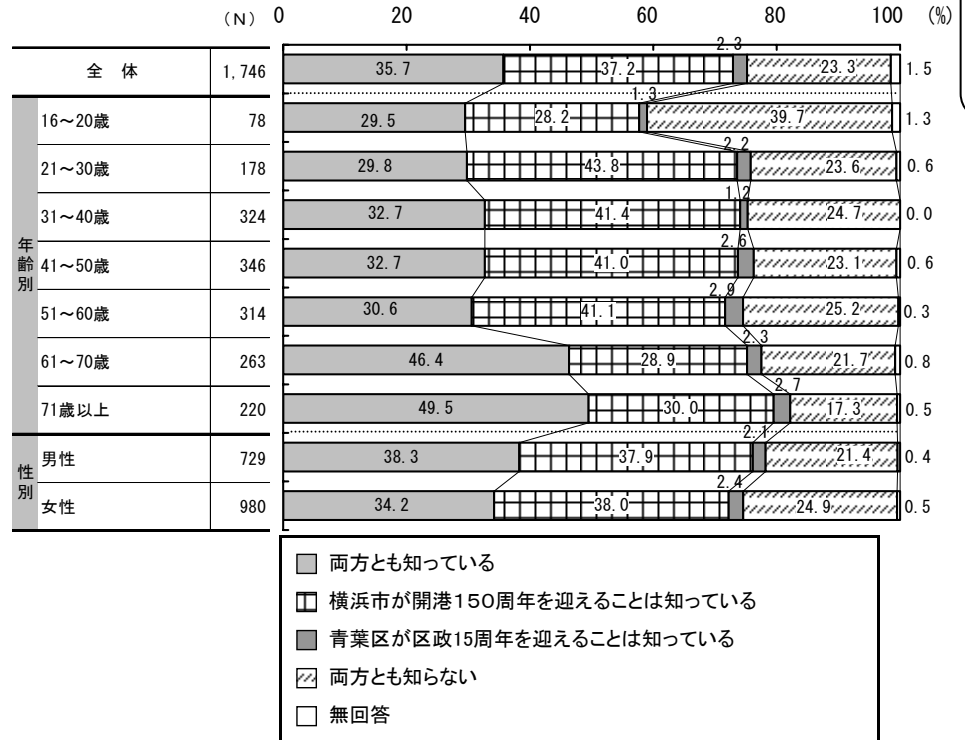
「横浜市が開港 150 周年を迎えることは知っている」と「両方とも知っている」が並んで高く、両方とも知っている人は、昨年度調査の 2 倍以上と確実に認知度が高くなっている。

「両方とも知らない」は約 4 人に 1 人で、昨年度調査の半分以下となっている。

<年齢別・性別>

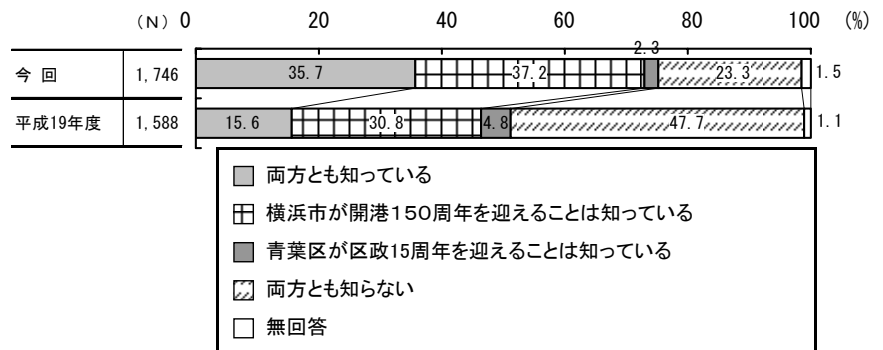
年齢別にみると、16～20歳は「両方とも知らない」が約4割、21～60歳では「横浜市が開港150周年を迎えることは知っている」が4割強、61歳以上では「両方とも知っている」が約半数で、それぞれ最も高くなっている。

性別では特に大きな差はみられない。

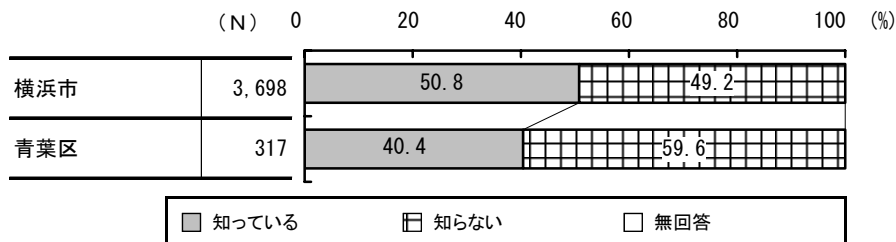


<平成19年度調査結果との比較>

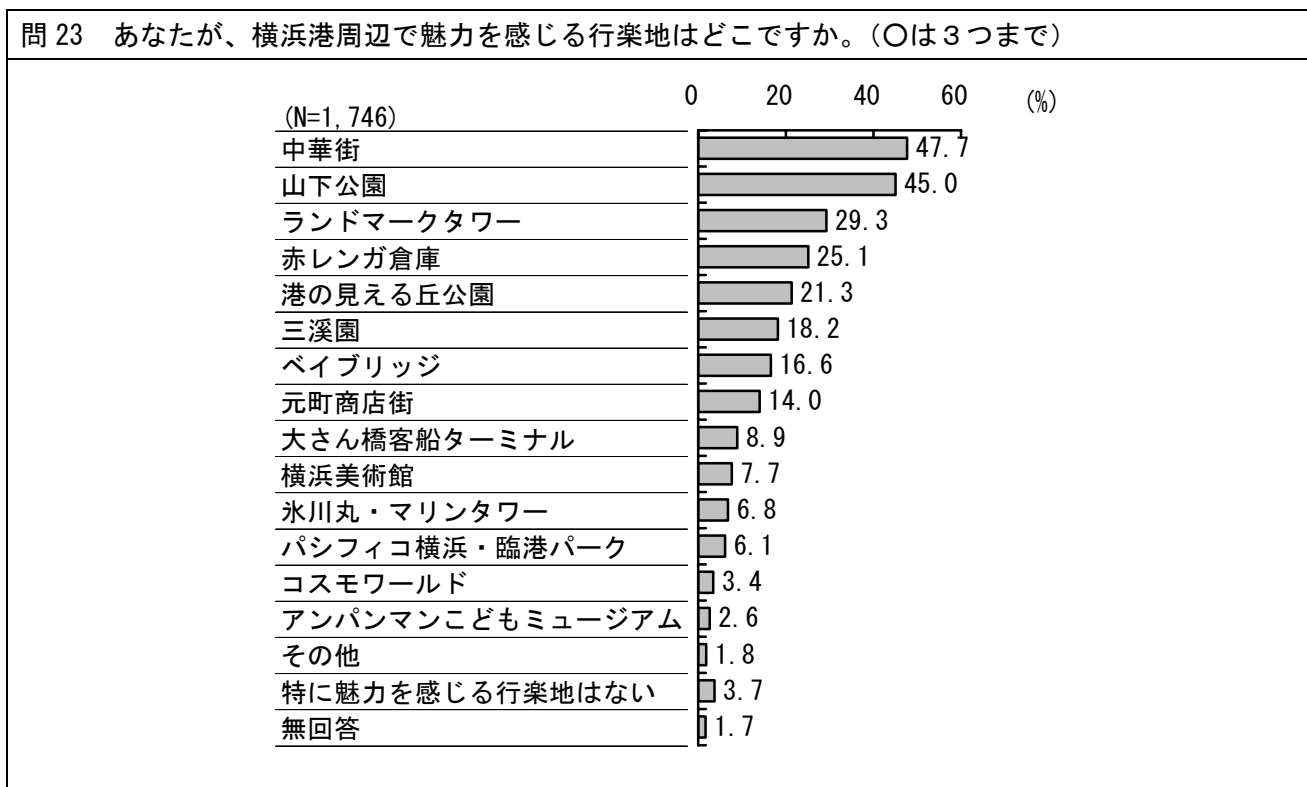
平成19年度との比較では、「両方とも知っている」が20.1ポイント、「横浜市が開港150周年を迎えることは知っている」が6.4ポイントそれぞれ増加しており、認知度は上がっている。



<【参考】平成19年度横浜市民意識調査>



2) 横浜港周辺で魅力を感じる行楽地



POINT

「中華街」と「山下公園」の上位2項目が4割を超えて特に高い。
以下、「ランドマークタワー」「赤レンガ倉庫」「港の見える丘公園」の順。

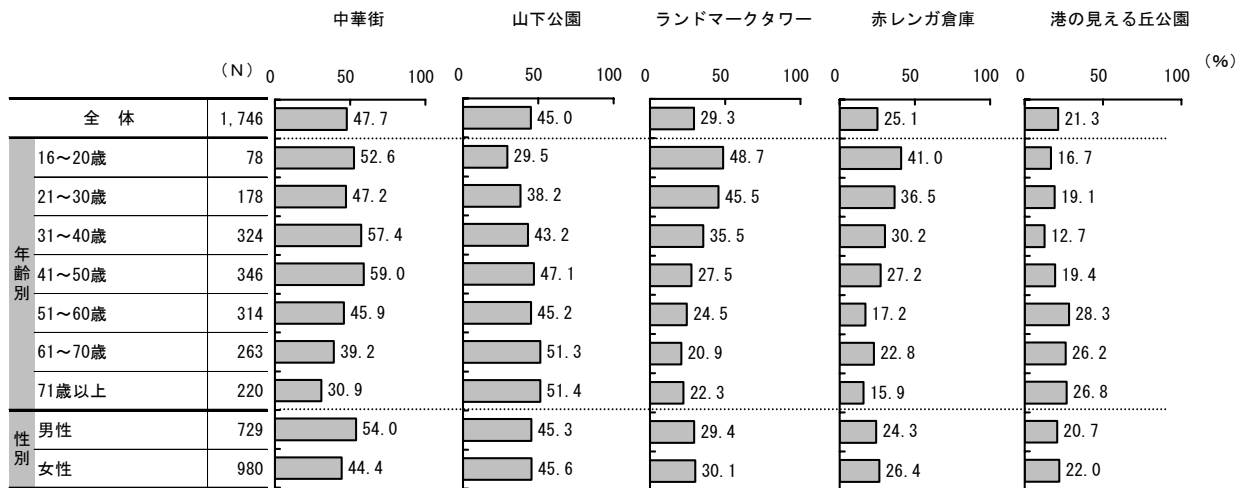
横浜港周辺で魅力を感じる行楽地は、「中華街」(47.7%)と「山下公園」(45.0%)の2項目が4割を超えて特に高く、次いで、「ランドマークタワー」が29.3%、「赤レンガ倉庫」が25.1%、「港の見える丘公園」が21.3%の順となっている。

<年齢別・性別>

年齢別にみると、「中華街」の割合は16～20歳と31～50歳で半数を超えて高く、「山下公園」は61歳以上で半数を超えて高くなっている。また、「山下公園」は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向があり、反対に「ランドマークタワー」と「赤レンガ倉庫」は年齢が下がるほど割合が高くなる傾向がある。

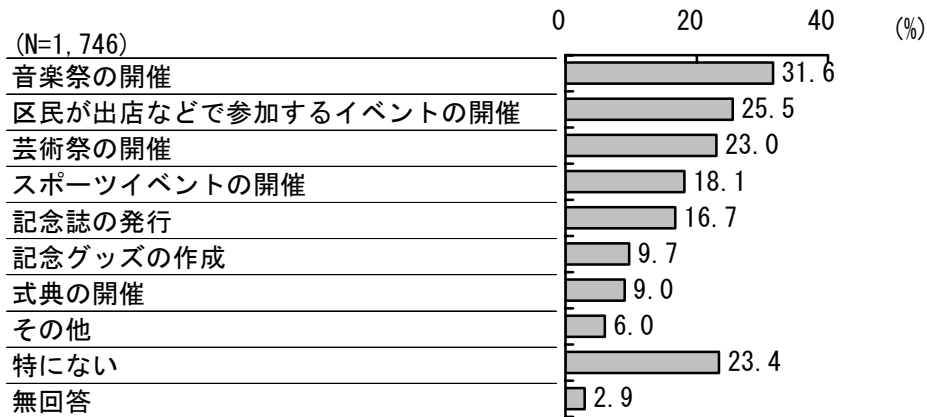
性別にみると、「中華街」は男性の割合の方が女性より9.6ポイント高くなっている。

<年齢別・性別：全体の上位5項目>



3) 青葉区制15周年記念事業として望ましいもの

問24 あなたは青葉区制15周年記念事業として、区役所は区民とともにどのようなことを行うと良いと思いますか。(〇はいくつでも)



POINT

「音楽祭の開催」が約3割で最も高い。
以下、「区民が出店などで参加するイベントの開催」、「芸術祭の開催」の順で続く。

青葉区制15周年記念事業として望ましいものは、「音楽祭の開催」が31.6%で最も高く、次いで「区民が出店などで参加するイベントの開催」が25.5%、「芸術祭の開催」が23.0%となっており、以上3項目が2割を超えている。一方、「特にない」は23.4%となっている。

なお、「その他」では「税金を使って記念行事はするべきではない」などの回答があった。(詳細は次頁表参照)

「その他」の内容	件数	「その他」の内容	件数
税金を使つての記念行事はするべきではない	38	最低限にして支出を減らして欲しい	6
15周年での記念行事実施は適切ではない	11	記念行事の予算を福祉分野に使ってほしい	4
記念植樹など	8	その他	24
区民の意見を聞く場を設けてほしい	7	合計	104
施設等の整備	6		

＜年齢別・性別・同居の子どもの有無別・中学生以下の子の有無別・未就学児の有無別・日中世話をする人の有無別・65歳以上の家族別＞

年齢別にみると、「音楽祭の開催」は16～20歳と51～60歳は約4割、「区民が出店などで参加するイベントの開催」では16～30歳が3割強、「スポーツイベントの開催」では、16～20歳が3割強でそれぞれ他の年齢層と比較して高くなっている。また、「記念誌の発行」は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向があり、71歳以上では3割強となっている。

性別にみると、「音楽祭の開催」と「芸術祭の開催」は女性の割合の方が男性よりもそれぞれ8.2ポイント、5.1ポイント高くなっている。一方、「スポーツイベントの開催」では男性の割合の方が女性より6.1ポイント高くなっている。

同居の子どもの有無別にみると、「スポーツイベントの開催」の割合は子どもがいる方がいない方より、「記念誌の発行」は子どもがいない方が子どものいる方よりも、それぞれ7.0ポイント、5.3ポイント高くなっている。

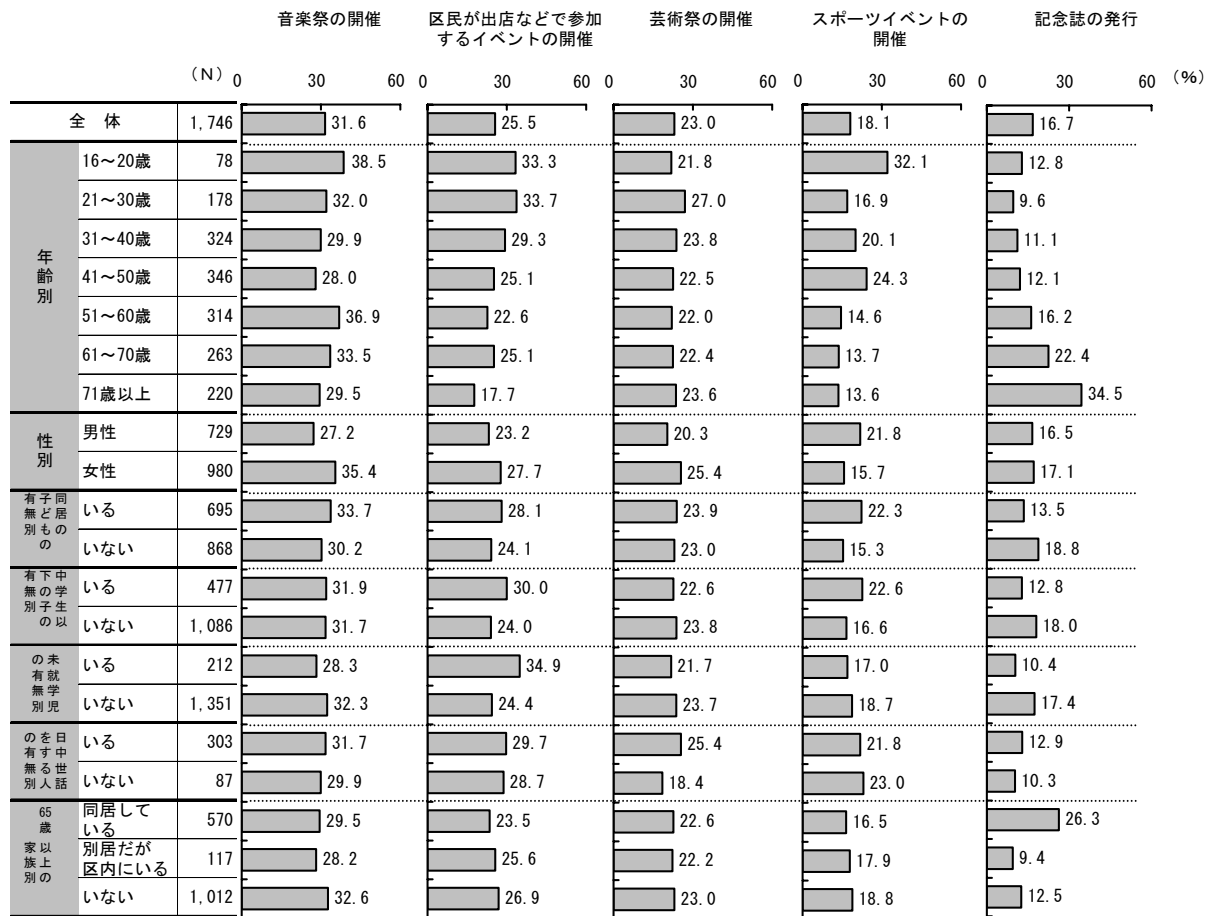
中学生以下の子の有無別にみると、「区民が出店などで参加するイベントの開催」と「スポーツイベントの開催」はいる方の割合がいない方よりもそれぞれ6.0ポイントずつ、「記念誌の発行」はいる方がいない方よりも5.2ポイント高くなっている。

未就学児の有無別では、「区民が出店などで参加するイベントの開催」はいる方の割合がいない方よりも10.5ポイント、「記念誌の発行」はいない方がいる方よりも7.0ポイント、それぞれ高くなっている。

日中世話をする人の有無別では、「芸術祭の開催」は、いる方の割合がいない方よりも7.0ポイント高くなっている。

65歳以上の家族の有無別では、「記念誌の発行」で、同居している割合が他のカテゴリーと比較して特に高くなっている。

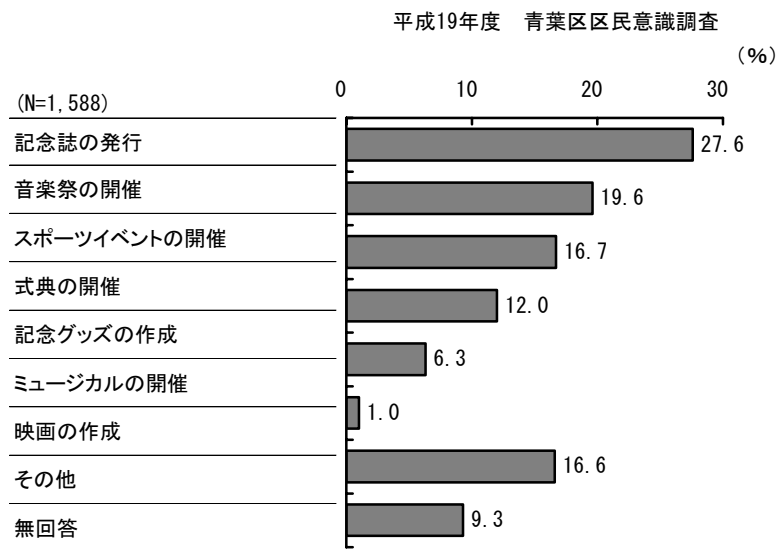
<年齢別・性別・同居の子どもの有無別・中学生以下の子の有無別・未就学児の有無別・日中世話をする人の有無別・65歳以上の家族別：全体の上位5項目>



<【参考】平成19年度調査結果との比較>

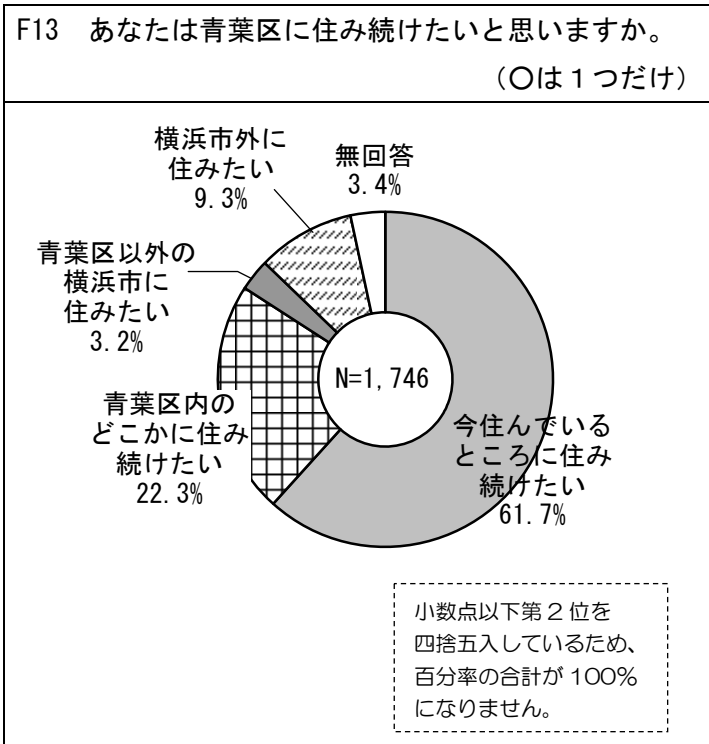
選択肢が変わっているため、直接比較ができないが、平成19年度調査と比較すると、「音楽祭の開催」を除く共通の項目の割合が低下しており、特に「記念誌の発行」14.5ポイントの減少となっている。

一方、今年度新しく追加した「特になし」は23.4%となっている。



7 青葉区への定住意向などについて

1) 青葉区への定住意向



青葉区への定住意向は「今住んでいるところに住み続けたい」が61.7%で6割以上を占めている。次いで「青葉区内のどこかに住み続けたい」が22.3%で高くなっており、青葉区に住み続けたい割合が8割以上を占めている。

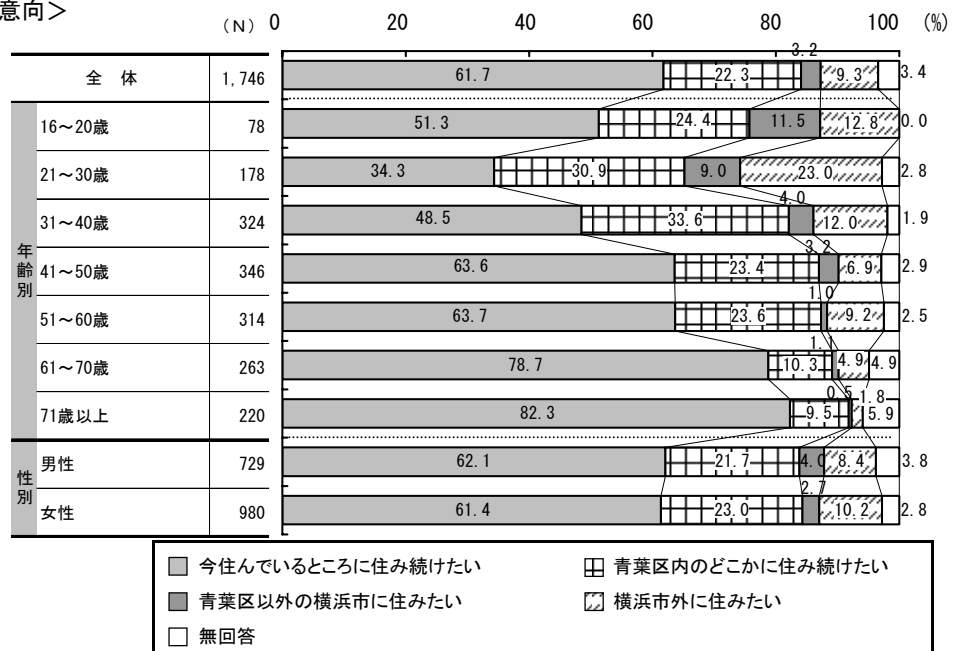
POINT

青葉区への定住意向がある割合は約8割と高い水準である(昨年度調査時とほぼ同率)。

<年齢別・性別：青葉区への定住意向>

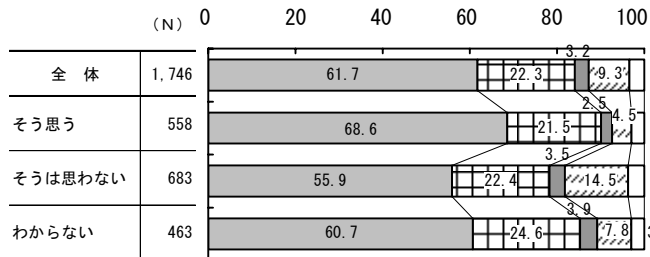
年齢別にみると、青葉区に住み続けたい割合は、61歳以上で7割を超えて高く、中でも71歳以上では9割に達して特に高くなっている。最も住み続けたい割合が低い21~30歳でも65.2%となっている。

性別では特に大きな差はみられない。

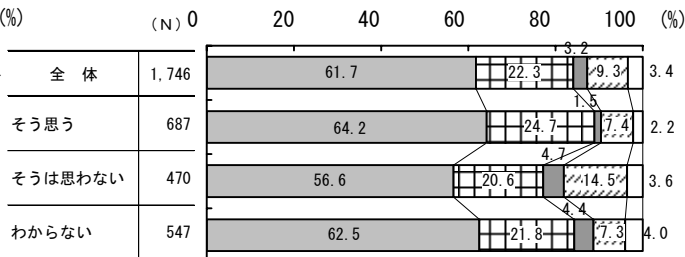


< F14 青葉区の将来別（項目ごと）：青葉区への定住意向 >

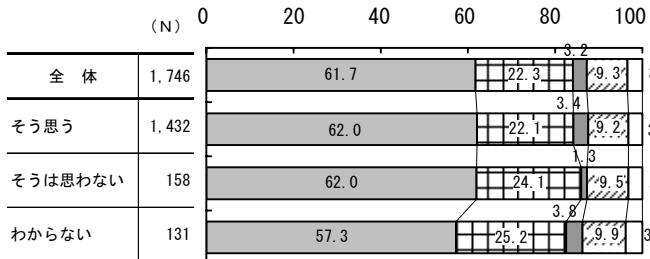
(ア) 住民の居住年数が長くなることなどにより、地域の連帯感が増す



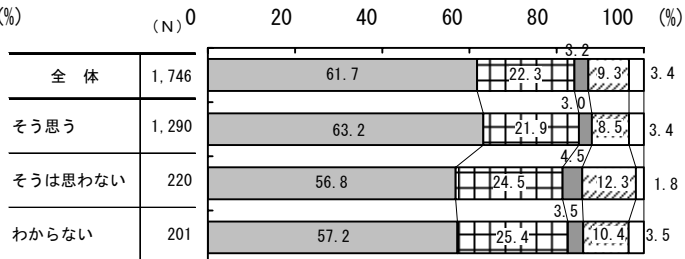
(イ) 団塊の世代が積極的に地域活動に参加することなどにより、地域が活性化する



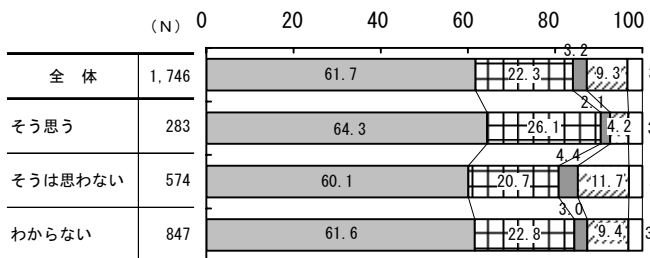
(ウ) 高齢化や核家族化などが進み、夫婦のみやひとり暮らしの高齢者が増加する



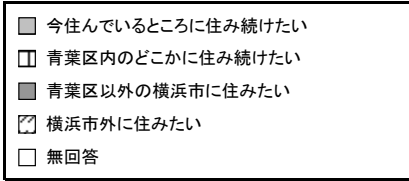
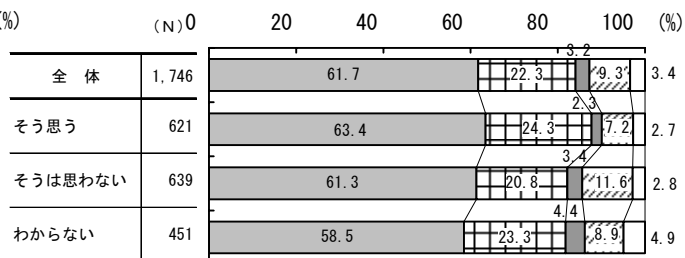
(エ) 農地の宅地化が進展することなどにより、緑豊かな田園地域が減少する



(オ) 大学や企業との連携などによりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する



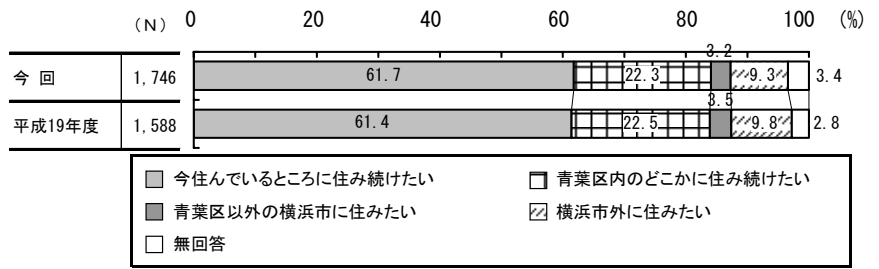
(カ) 道路事情や環境問題などにより車依存から電車、バスなどの公共交通機関重視へと変わる



F14 青葉区の将来別では、『(ウ) 高齢化や核家族化などが進み、夫婦のみやひとり暮らしの高齢者が増加する』を除くすべての将来像で、「今住んでいるところに住み続けたい」と回答した割合は、それぞれの将来像で“そう思う人”ほど高くなっている。

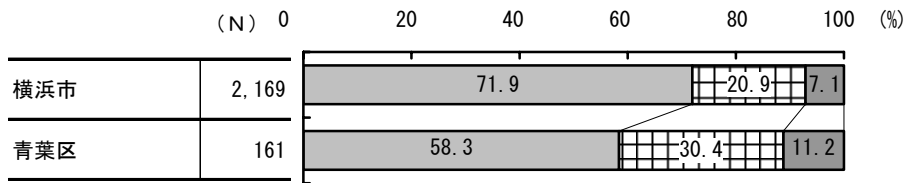
<【参考】平成 19 年度調査結果との比較>

青葉区への定住意向は、平成 19 年度調査と特に大きな変化はみられない。

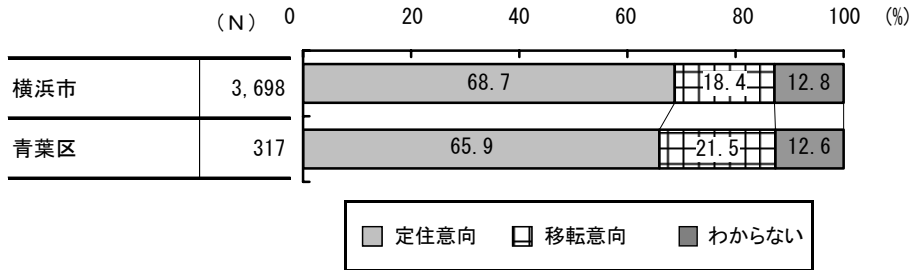


<【参考】平成 12 年度・平成 19 年度横浜市民意識調査>

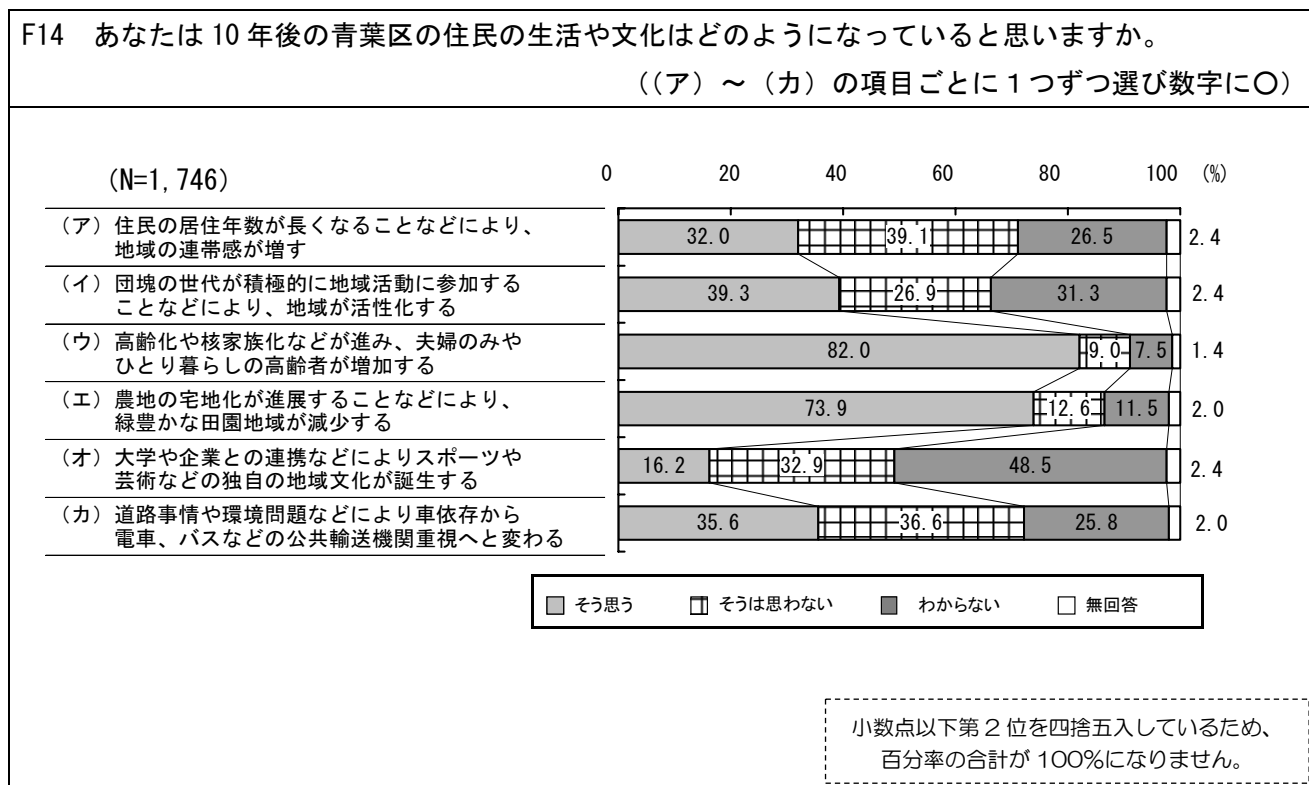
[平成12年度]



[平成19年度]



2) 10年後の青葉区の生活や文化について



POINT

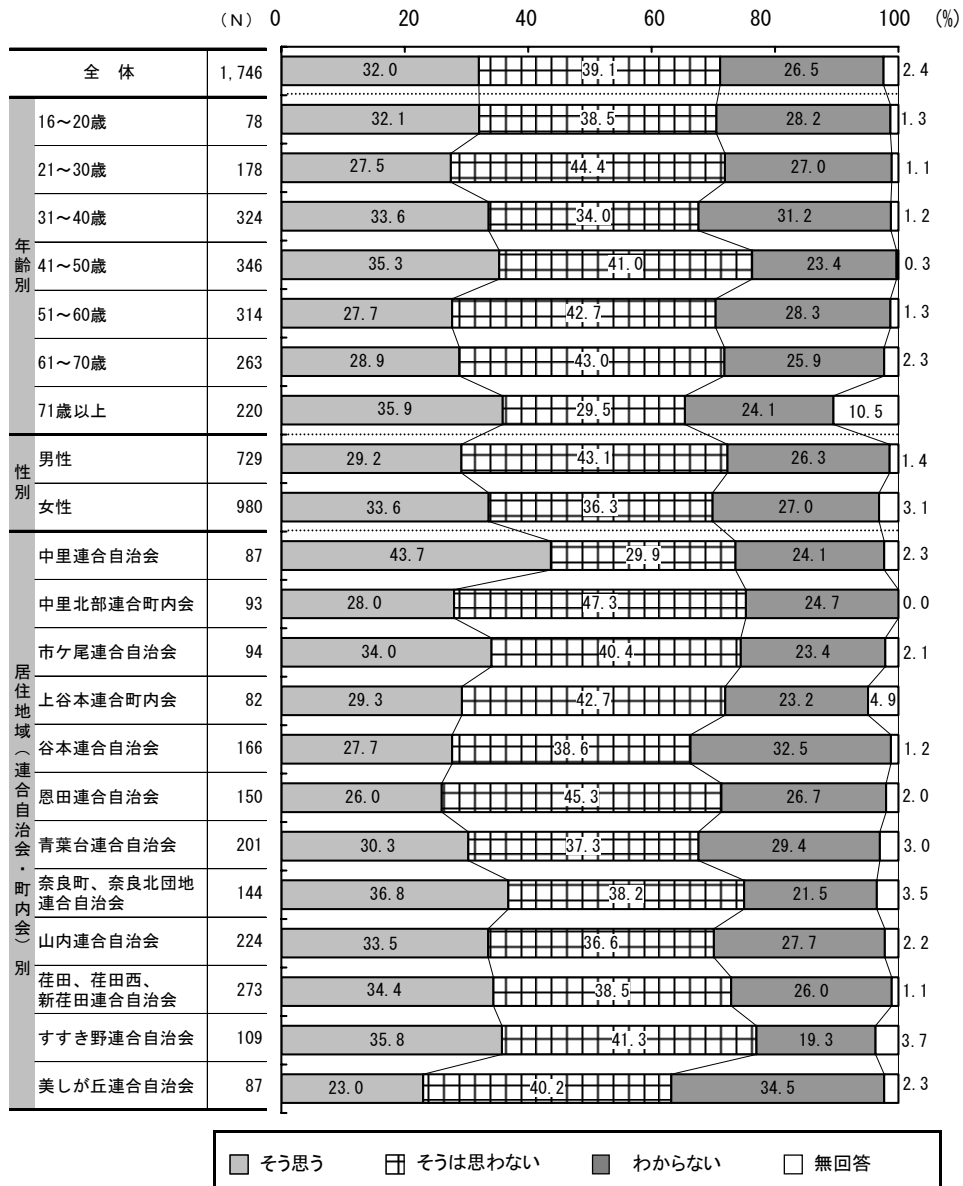
「高齢化や核家族化などが進み、夫婦のみやひとり暮らしの高齢者が増加する」、「農地の宅地化が進展することなどにより、緑豊かな田園地域が減少する」について、「そう思う」との回答が多い。

一方で、「大学や企業との連携などによりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する」については、「そう思う」人は少ない。

10年後を想定した青葉区は、「そう思う」が『(ウ) 高齢化や核家族化などが進み、夫婦のみやひとり暮らしの高齢者が増加する』で最も高く、82.0%を占め、『(エ) 農地の宅地化が進展することなどにより、緑豊かな田園地域が減少する』においても73.9%と高くなっている。

一方、「そうは思わない」は『(ア) 住民の居住年数が長くなることなどにより、地域の連帯感が増す』で39.1%と高くなっている。また、『(オ) 大学や企業との連携などによりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する』については、「わからない」が48.5%と、半数近くを占めている。

<年齢別・性別・居住地域別：(ア) 住民の居住年数が長くなることなどにより、地域の連帯感が増す>

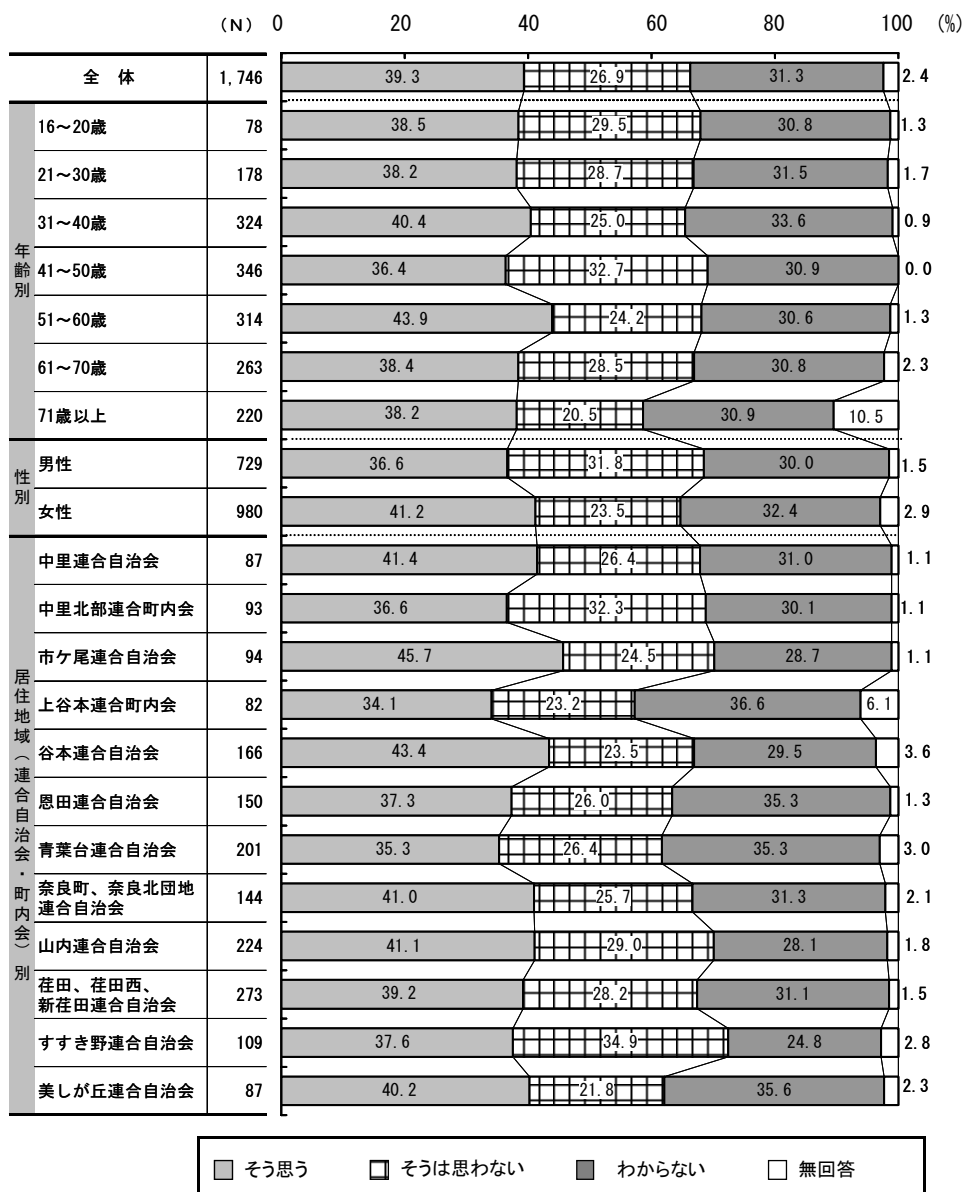


年齢別にみると、70歳以下では「そうは思わない」が最も高く、71歳以上のみで「そう思う」が最も高くなっている。「そう思う」の割合が最も高いのは71歳以上で35.9%、最も低いのは21~30歳で27.5%となっている。

性別にみると、男女ともに「そうは思わない」が4割前後で最も高くなっている。

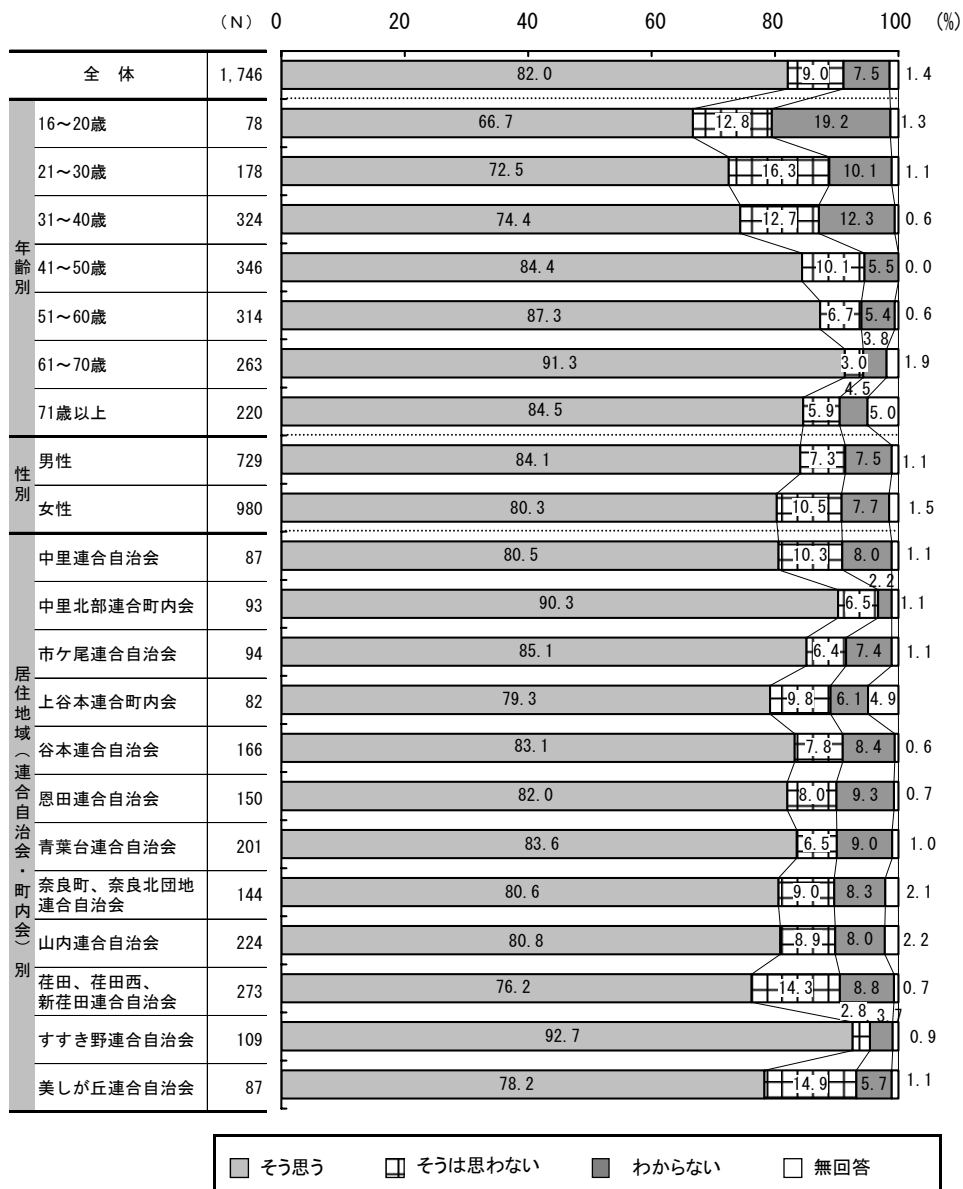
居住地域別にみると、中里連合自治会で「そう思う」が4割を超えて最も高いが、それ以外の地域では「そうは思わない」が最も高くなっている。「そう思う」の割合は2割台から4割台となっており、地域による差が大きい。

<年齢別・性別・居住地域別：(イ) 団塊の世代が積極的に地域活動に参加することなどにより、地域が活性化する>



年齢別にみると、すべての年齢層で「そう思う」の割合が4割前後で最も高くなっている。
 性別にみると、男女ともに「そう思う」の割合が最も高くなっている。一方、「そうは思わない」は男性の方が女性より8.3ポイント高くなっている。
 居住地域別にみると、ほとんどの居住地域で「そう思う」の割合が最も高くなっている。

<年齢別・性別・居住地域別：(ウ) 高齢化や核家族化が進み、夫婦のみやひとり暮らしの高齢者が増加する>

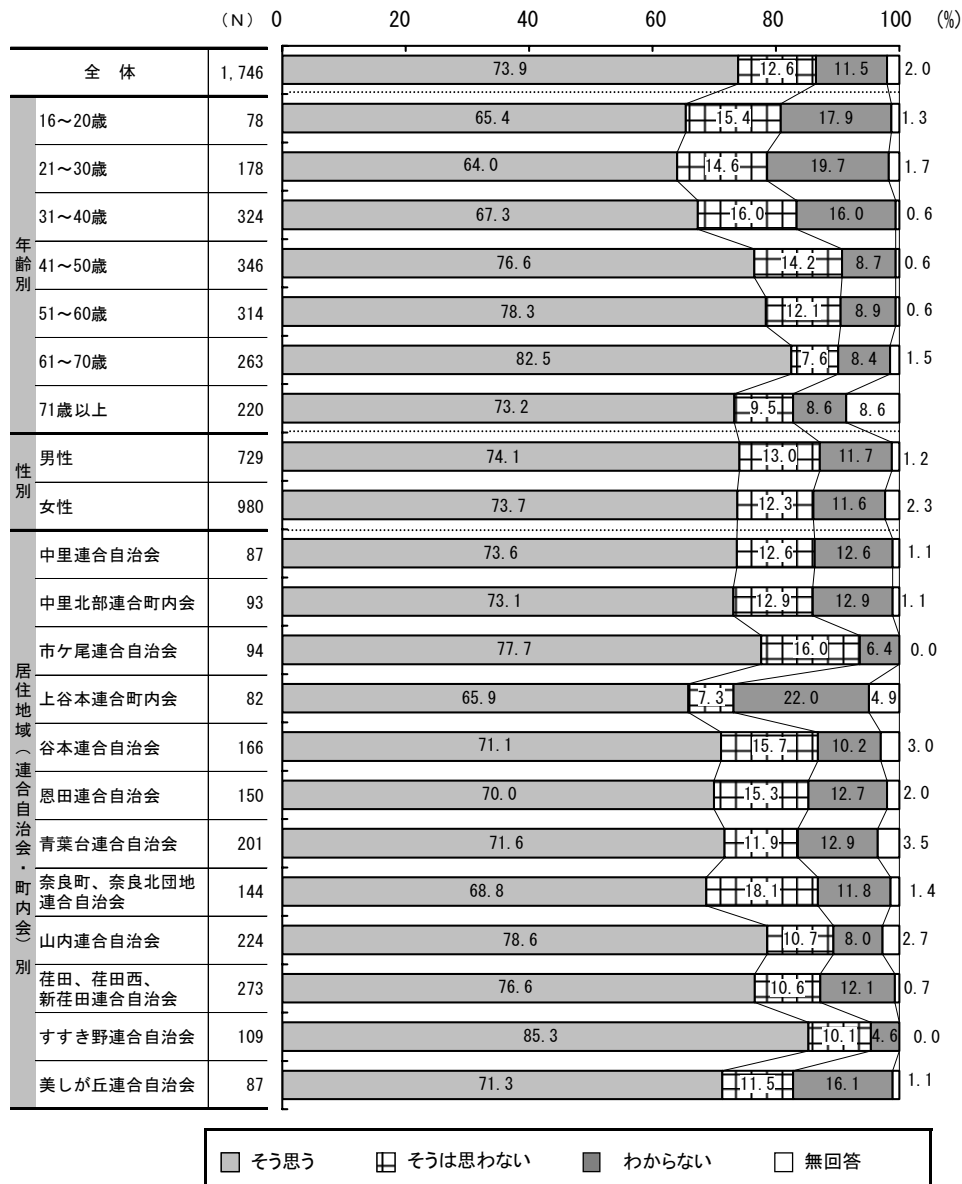


年齢別にみると、すべての年齢層で「そう思う」が6割を超えて最も高く、41歳以上では8割を超えている。

性別では特に大きな差はみられない。

居住地域別にみると、すべての居住地域で「そう思う」が7割を超えて最も高く、特にすすき野連合自治会と中里北部連合町内会では、9割に達している。

<年齢別・性別・居住地域別：(エ) 農地の宅地化が進展することなどにより、緑豊かな田園地域が減少する>

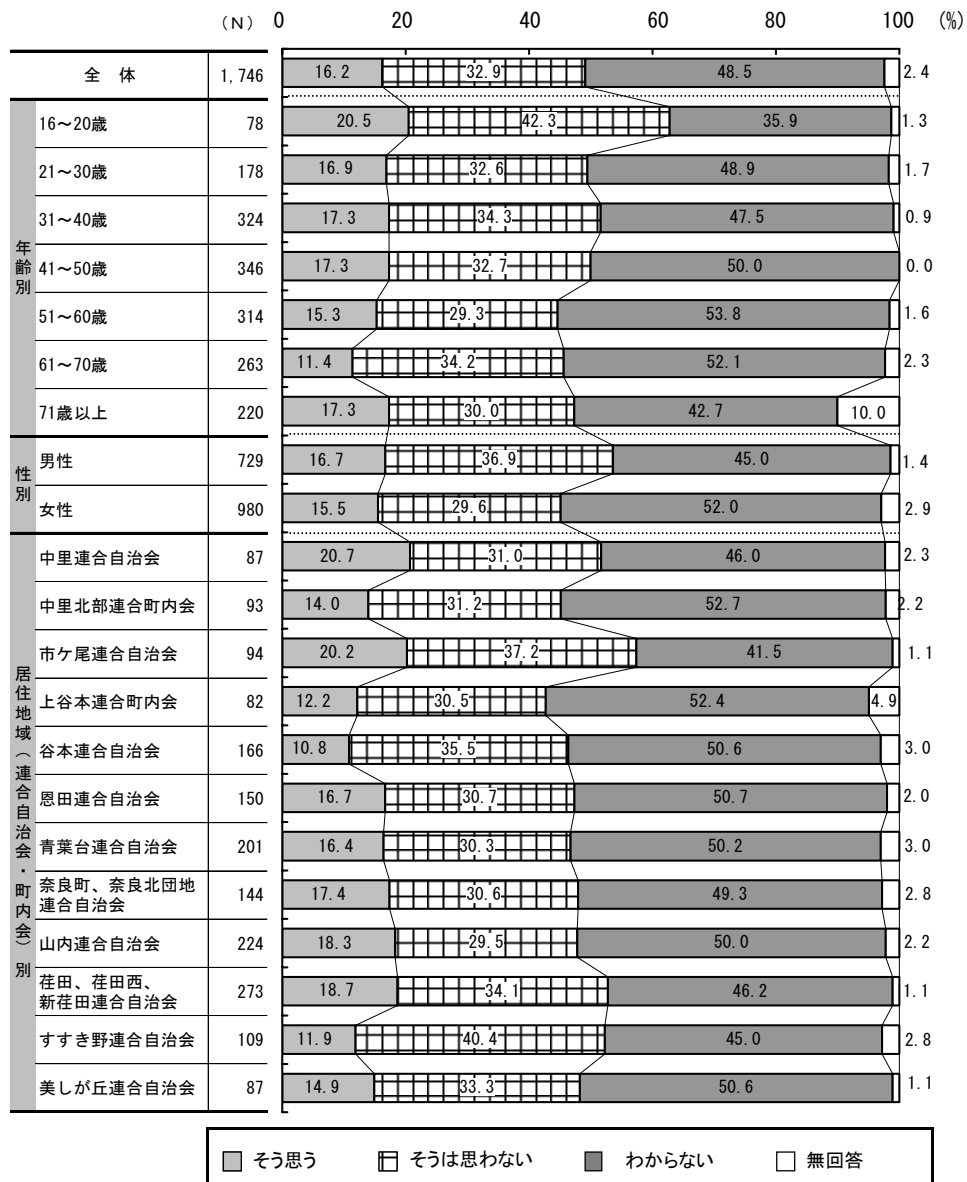


年齢別にみると、すべての年齢層で「そう思う」が6割を超えて最も高く、特に61~70歳では8割を超えている。

性別では特に大きな差はみられない。

居住地域別にみると、すべての居住地域で「そう思う」が6割を超えて最も高く、特にすすき野連合自治会では、85.3%に達している。

<年齢別・性別・居住地域別：(オ) 大学や企業との連携などによりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する>

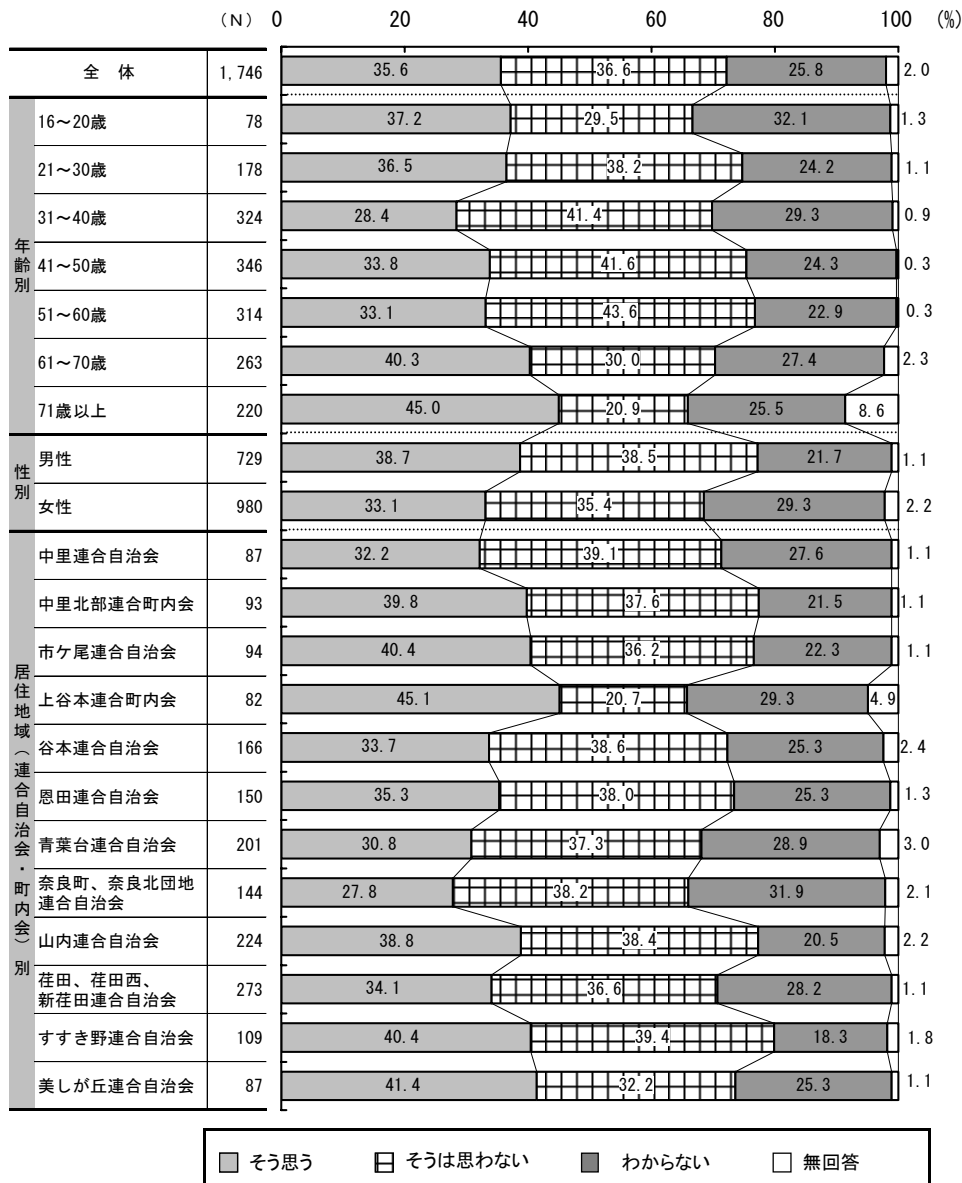


年齢別にみると、16~20歳では「そうは思わない」の割合が最も高く、それ以外の年齢層では「わからない」が最も高くなっている。一方、「そう思う」は最も割合が高いのは16~20歳だが2割にとどまっている。

性別にみると、「そうは思わない」の割合は、男性の方が女性より7.3ポイント高くなっている。

居住地域別にみると、すべての居住地域で「わからない」は最も割合が高くなっている。一方、「そう思う」の割合は、並んで高いのは中里連合自治会と市ヶ尾連合自治会だが2割にとどまっている。

<年齢別・性別・居住地域別：(カ) 道路事情や環境問題などにより車依存から電車、バスなどの公共交通機関重視へと変わる>



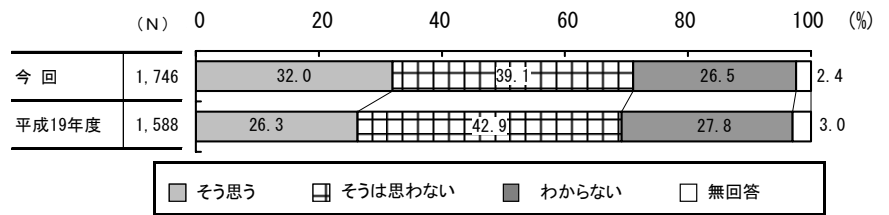
年齢別にみると、16～20歳と61歳以上では「そう思う」の割合が最も高く、21～60歳では「そうは思わない」最も高くなっている。

性別にみると、男性の割合の方が女性より「そう思う」が5.6ポイント高くなっている。

居住地域別にみると、上谷本連合町内会、美しが丘連合自治会、市ヶ尾連合自治会、すすき野連合自治会、中里北部連合町内会、山内連合自治会では「そう思う」が4割前後となっている。一方、奈良町、奈良北団地連合自治会では「そう思う」の割合が2割台と地域によって差がみられる。

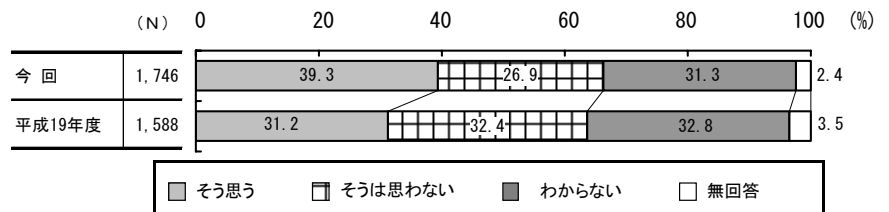
＜平成 19 年度調査結果との比較：(ア) 住民の居住年数が長くなることなどにより、地域の連帯感が増す＞

平成 19 年度よりも「そう思う」の割合は高く、5.7ポイント増加している。



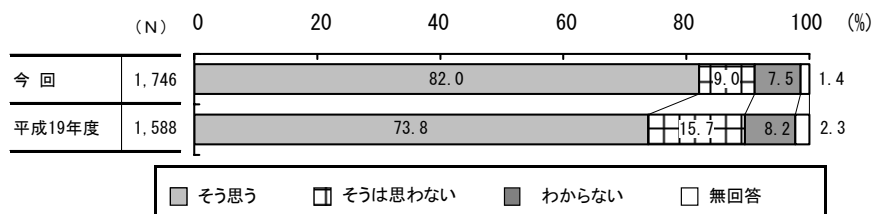
＜平成 19 年度調査結果との比較：(イ) 団塊の世代が積極的に地域活動に参加することなどにより、地域が活性化する＞

平成 19 年度よりも「そう思う」の割合は高く、8.1ポイント増加している。



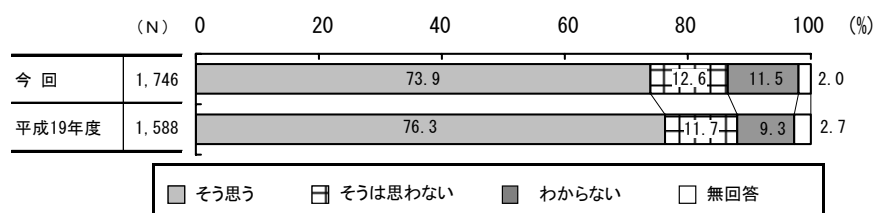
＜平成 19 年度調査結果との比較：(ウ) 高齢化や核家族化などが進み、夫婦のみやひとり暮らしの高齢者が増加する＞

平成 19 年度よりも「そう思う」の割合は高く、8.2ポイント増加している。



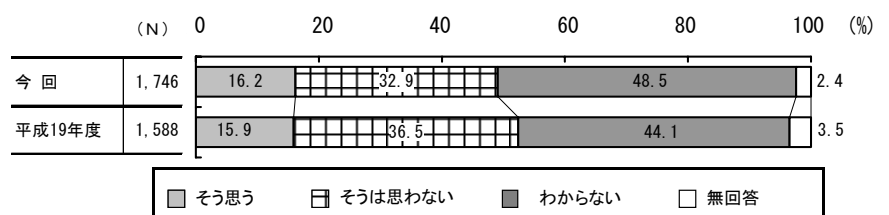
＜平成 19 年度調査結果との比較：(エ) 農地の宅地化が進展することなどにより、緑豊かな田園地域が減少する＞

平成 19 年度と特に大きな変化はみられない。



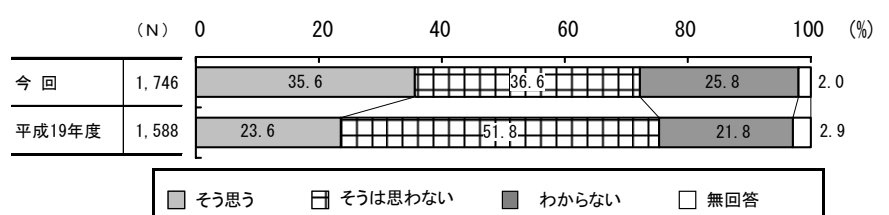
＜平成 19 年度調査結果との比較：(オ) 大学や企業との連携などによりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する＞

平成 19 年度と特に大きな変化はみられない。



＜平成 19 年度調査結果との比較：(カ) 道路事情や環境問題などにより車依存から電車、バスなどの公共交通機関重視へと変わる＞

平成 19 年度よりも「そう思う」の割合は高く、12.0ポイントと大幅に増加している。



※ (ア) ～ (カ) は平成 19 年度と一部選択肢の文言を変更しています。

8 自由意見

区政運営について聞いたところ、607 人の方から 1,044 件の回答があった。なお、1 人で複数の内容を回答している場合には、各項目に分けてカウントしている。

意見の内容別の件数は下表のとおりである。

項目	件数
1. 「交通・道路」について	186 件
・交通について	88 件
・道路について	58 件
・交通マナーについて	20 件
・駐輪場・駐車場について	20 件
2. 「環境」について	244 件
・住宅環境について	61 件
・街の環境について	45 件
・自然・緑・河川	43 件
・環境教育について	42 件
・店舗について	25 件
・公園について	22 件
・店舗（郵便）について	3 件
・街のイメージについて	3 件
3. 「ごみ」について	57 件
・ごみの収集について	35 件
・ごみの分別について	22 件
4. 「教育・文化」について	121 件
・施設について	43 件
・文化（図書館）について	29 件
・教育全般について	21 件
・教育（小学校）について	10 件
・文化（イベント）について	9 件
・文化全般について	7 件
・教育（中学校）について	2 件

項目	件数
5. 「福祉・健康問題」について	117 件
・福祉（子育て）について	55 件
・福祉（高齢者）について	36 件
・福祉全般について	9 件
・福祉（障害者）について	6 件
・禁煙対策について	6 件
・福祉（障害児）について	3 件
・福祉（生活保護）について	2 件
6. 「防犯・防災」について	63 件
・防犯（交番・パトロール）について	22 件
・防犯全般について	16 件
・防犯（街灯）について	13 件
・防災について	11 件
・防犯（不審者）について	1 件
7. 「医療」について	23 件
・医療全般について	11 件
・病院について	8 件
・健康診断について	4 件
8. 「地域」について	26 件
・地域交流・地域活動について	12 件
・ボランティアについて	9 件
・自治会について	5 件
9. 「行政」について	202 件
・税金について	46 件
・行政窓口・行政サービスについて	42 件
・行政の広報・広聴について	40 件
・行政としての姿勢について	37 件
・目指す青葉区の姿について	22 件
・区民としての姿勢について	4 件
・その他行政について	11 件
10. 「その他」について	5 件

具体的な意見の内容は以下のとおりである。

1. 「交通・道路」について

1-1. 交通について

バス停（大場坂上）を通過するバスの運行本数の倍増、通行時間帯の拡大（朝5時台のバス便常設および深夜バスダイヤ開設）を東急バスに働きかけてほしい。大場坂上付近は人口が増加しており、特に平日の早朝や終バス時間帯の混雑が激しい。また、地下鉄ブルーラインのあざみ野～すすき野団地間の早期延伸に取り組んでほしい。できれば大場坂上付近に地下鉄駅を設けてほしい。 【男性・41～50歳】
F14について。（カ）公共機関重視としたいのですが、すべては体力と共に今出来ていることも出来なくなってしまう、特に家まで来るのに急な上り坂があるためどうなることかと不安がっぱいです。生活道路から駅まで小さなバスを巡回していただけると良いと思います。 【女性・71歳以上】
みすずが丘を経由するバスの本数が少なくて困っています。バス通りに住宅地が増えてきてさらに混雑すると嫌です。最終バスも早く、塾が終わってからだとバスがありません。どうかしてください。 【女性・16～20歳】
横浜市だけの問題ではないと思いますが、青葉区より小田急線沿いに行くのは、バスはあるが不便である。 【男性・51～60歳】
ミニバスで可ですから本数を多くしてほしい。 【女性・61～70歳】
田園都市線の混雑対策を行政側からもしてほしい。 【男性・21～30歳】
高齢化が進み、バスの利用が多くなり、東急コーチみたいなどこでも降りられるバスがたくさん増えるといいと思う。 タクシーも区と契約して病院に行く時など、安い料金で利用できればいいと思う。 【女性・51～60歳】
70歳以上の無料パス（市営地下鉄、バス）等、現在は収入により多少負担するようですが、財政が赤字なのだから廃止してほしい。現在の70歳以上の方は恵まれていると思います。これから10年先は何もかもが廃止されているようで不公平。もともと無料という発想がおかしかったと思います。 【女性・61～70歳】
市営地下鉄グリーンラインができたことにより、地域の足のバス便の廃止、減便等により不便になってしまった。地形上、坂道が多いのでバス便を復活してほしい。 【女性・51～60歳】
市が尾⇄横浜間のバスを復活させてほしい。 【女性・21～30歳】
バス運行表の見直し。来ない時は間隔が長かったり、来る時は2台一緒に来たりダイヤを考えてほしい。平均10分間隔。 【男性・71歳以上】
電車の混雑も殺人的と聞きます。その辺が少し心配です。 【女性・41～50歳】
鉄道路線間をつなぐ手段の充実。コミュニティバス。 【男性・41～50歳】
最寄り駅からの巡回ミニバスがあると自家用車の使用率が下がるのではないかと思います。細い路地にも入れる小型バスで途中どこでも下車できるようにします。終電まで運行できればよいと考えます。 【女性・61～70歳】
藤が丘、青葉台などから区役所へ行くバスがあればと思う。敬老特別乗車証が活用できないから。 【男性・71歳以上】
藤が丘駅前の東急ストア横のNTT社宅側歩道が狭く、傘を差すと通過できない。（電信柱と道路標識があるため） 【男性・41～50歳】
藤が丘駅に急行電車が止まるようにしてほしいです。 【女性・21～30歳】
近くを田園都市線しか走っていないので人身事故などが発生するととても混乱します。他の公共輸送機関を充実させてくれればと思います。 【女性・21～30歳】
都心に出るのに東急しかなく、雨後の竹の子のごとくマンションが増えているのに電車の絶対量が足りず通勤時間帯以外でも混雑している。日本一のギュウギュウ詰め状態（通勤時間帯）東横線のように市が税金を投入してでも複数線にすべき。 【女性・61～70歳】
最終バスが21時台で終わってしまう（藤が丘～青葉台循環）山側方面は22時台までであるのに働くものとしては大変不便をしています。区政でバス会社に検討するよう申し入れはできないでしょうか。 【女性・61～70歳】
交通機関の充実も地域の活性化へ…。 【女性・41～50歳】

<p>近距離バス運賃等または武蔵野の「ムーバス」のような公共の足の利便性アップが検討されるべきでは（但し、維持すべき路線とのバスターになるかもしれませんが、それこそが行政の一番考えるべきところかもしれない）。</p> <p>公共輸送を考えるなら「パークアンドライド」も検討してはどうでしょう（例えば、駅近に調整区域または電車高架下、高架下がある場所に低廉な駐車場を使いやすく整備してはいかが？）。【男性・71歳以上】</p>
<p>コミュニティバスなどで区内を移動できるようになるといいなと思います。 【女性・41～50歳】</p>
<p>田園都市線の混雑が非常に不快である。区政と直接の関連はないものの、交通インフラの整備は区民の住環境、企業誘致において重要な要素であると認識している。可能であれば何か対策を希望する。 【女性・21～30歳】</p>
<p>公共交通機関、特にバスの路線を充実させ、既存のダイヤも拡張すべき。 【女性・16～20歳】</p>
<p>このところ住民の増加に伴う、田園都市線の混雑はもう限界。</p> <p>地形的にも坂道が多く、高齢化した地域などにはもっときめ細やかな公共の交通手段が必要ではないかと思うところもある。 【女性・51～60歳】</p>
<p>電車の通勤通学ラッシュがこれ以上にならないこと。 【女性・51～60歳】</p>
<p>F14、F13の質問にも関係ありますが、住み続けたいと思う前提として青葉台駅から小田急線の駅へ通じるバス路線がほしい。青葉台駅周辺を循環するバス路線がほしい。緑も多く残り、便利で住みやすい一方で車がないと足の便が悪いのが環境のためにも不適であることも事実。バス路線の充実を望みます。 【女性・41～50歳】</p>
<p>電車の混雑の緩和。 【男性・31～40歳】</p>
<p>上記のF14 “（カ）道路事情や環境問題などにより車依存から電車、バスなどの公共輸送機関重視へと変わる” になるようなまちづくりを全国のモデルケースになるべく施策を立て実行してほしい。 【男性・41～50歳】</p>
<p>田園都市線の混雑をなんとかしてほしい。 【男性・51～60歳】</p>
<p>田園都市線の混雑ぶりをみると10年後の青葉区が車依存から電車バスの公共輸送機関重視へ変わるとは思わない。 【女性・31～40歳】</p>
<p>田園都市線（東急）の混雑緩和に早急に対応していただきたい。 【男性・51～60歳】</p>
<p>バス等の交通手段が少ない。 【性別無回答・71歳以上】</p>
<p>私の住むところは、横浜市・川崎市・町田市の境目にあり、交通（特にバス）不便で最寄りの駅へ出るのに30分以上歩かねばならない。駅へのアクセスとして唯一の公共機関バス（東急、小田急）は1日10本にも足りない。時間帯によっては3時間に1本も通らないという不便さで、高齢者は本当に困っている。又、敬老バスを5,000円出して買っても、すぐ近くの鶴川駅へ出るのに又お金を払わねばならず、不便で大変困っている。 【女性・71歳以上】</p>
<p>玉川学園、町田と青葉区内のバス増加。都県境は不便。 【男性・31～40歳】</p>
<p>大きな駅（金融機関などのある）までの電車やバスの本数を増やしてほしい。 【女性・41～50歳】</p>
<p>交通の便が悪く車は生活の必需品。街には一大決心をしないと出れません。したがって横浜市の行事、イベントに参加できないので興味もわかず市民としての恩恵を受けていません。</p> <p>バスやこどもの国線の本数を増やしてほしい。</p> <p>こどもの国線が鶴川駅とつながるように。</p> <p>バスは町田行、市が尾行、中山駅行、横浜駅行、あざみ野駅行など交通機関1つで病院に行けるようにしてほしい。 【女性・51～60歳】</p>
<p>高齢者用のバス無料がほとんど利用できない。以前は共通で利用できたが、数年前より東急バスに替わり、一番利用する青葉台行きが東急なので非常にながかりしている。何とかしてほしい。 【女性・61～70歳】</p>
<p>バスの本数を増やし、早朝・深夜も運行してくれるようなことも可能であればもっと働きに出る人間も増え、生活もしやすいです。 【女性・31～40歳】</p>
<p>私は運転免許がありません。交通手段は電車、バスか自転車になります。区役所に子どもを連れて行く時、とても不便を感じます。バスの本数は少ないし、電車で行くには駅から距離がある。時間に余裕がある時はいいですけど複数子どもがいて、それぞれスケジュールが違おうとそうも言ってもらえない。区役所は一例ですが、公的施設への交通の便は不満を感じることがあります。 【女性・31～40歳】</p>
<p>バス便を増加してもらいたい。 【男性・71歳以上】</p>
<p>宅地開発が進み人口が増えるが、交通対策が遅れていること。 【男性・51～60歳】</p>

<p>高校、大学などの教育機関や、病院、区役所などへの公共機関へスムーズにアクセスできる様な公共交通手段の充実を図ってもらいたい。交通費が高くつくのでもっと安く利用できる様にして頂きたいです。そうすれば自家用車の依存度も低くなり環境のためにも良いと思います。 【女性・16～20歳】</p>
<p>こどもの国線をもう少し改良を希望する。ラッシュの時間に本数を増やす。または車両を増す。 【女性・31～40歳】</p>
<p>地下鉄のブルーラインを青葉区北部へ延ばしてほしい。（たまプラーザ周辺の道路の混雑が緩和されると思うから） 【女性・31～40歳】</p>
<p>住民の増加で悪化し続けている電車の混み具合（田園都市線）、平日平気で15分遅れるのは大問題。地域を活性化させるためにショッピングエリアなど再開発は良いと思うが、交通、住人のことなどきちんと基盤をつくってからにしてほしい。 【女性・21～30歳】</p>
<p>青葉区には住宅予定地がまだたくさんある。つまり今後も人口は増加し続けると思われる。環境問題の観点からも自家用自動車によるCO2排出量は減らしていかなければいけないので、今以上に交通機関（公共）を充実させてほしい。より具体的にはバスの本数ならびに運行時間の増加、延長です。深夜バスという便利なものもありますが行き先が1つというのは辛い。よろしくお願いします。できれば田園都市線の支線（枝分かれ）を作ってほしいとも思います。 【男性・41～50歳】</p>
<p>区の形状からして田園都市線主要駅と区役所エリアを結ぶ内部地域循環交通（バスによる）網を早急に整備されることを希望する。例えば元石川～恩田地区の都市計画道路など。 【男性・71歳以上】</p>
<p>30年前に来た時は田舎でした。それが、田舎を残しつつ住宅地化して、マンション、住宅が多くなりました。子どもが通勤に田園都市線を利用していますが、ラッシュがすごく毎日死ぬ思いと言っています。市バス、地下鉄をなんとか増やすとかして各駅に分散させるとか？ 【女性・51～60歳】</p>
<p>東急田園都市線は長津田駅までの複数線化と朝夕時間帯の大幅な増発及び通勤ライナー等着席率のアップ化。 路線バスの経路及び運転本数の見直し。 横浜市営地下鉄の全席優先席の廃止 【男性・41～50歳】</p>
<p>バスの運行便数を増やし、利便性を高める（美しが丘西行）。 【男性・51～60歳】</p>
<p>あざみ野駅→すすき野→小田急線につながってもらえると助かる（市営地下鉄ブルーラインを延ばしてほしい）。 【女性・41～50歳】</p>
<p>敬老乗車パスを有効に常時使用させていただき感謝しております。現今の油、ガソリン等の値上がりは大変なものです。それで少しでも市やバス会社等に加勢したいものです。負担金を収入に応じてある程度（1,000～数千円）値上げすることを青葉区から市へご提案すれば幸いです。 【男性・71歳以上】</p>
<p>坂道の多い青葉区では車（マイカー）は必要です。でも駐車違反の取締りも強化された昨今、駐車スペースのない店舗へは出掛けにくく、大型店へ向かいます。するとその周辺は渋滞してしまいます。今後たまプラーザ駅周辺の再開発により、今でも週末はあざみ野駅までのびている渋滞がますます長くのびること、また周辺の影響が考えられます。バスの便をさらに良くし、大型店周辺の混雑が少しでも解消されるよう、シャトルバスなどの対応策も区も協力のもと考えていただきたい。 【女性・41～50歳】</p>
<p>公共交通機関の混雑緩和。 【女性・31～40歳】</p>
<p>次々に商業ビルが建ち、交通の乱れが目立つ。 たまプラーザの開発に伴い、バス乗り場が遠くなったり分かりにくくなったりしている。長い期間かかる工事はその期間の住民の生活も考えて計画してほしい。 【女性・31～40歳】</p>
<p>バス便のことですが、市が尾駅前より藤が丘に向かうルートがないのでできてくれると嬉しいです。昭和大病院に高齢者になると利用が多くなると思います。ぜひお願いしたいです。 【女性・71歳以上】</p>
<p>バスの便が地下鉄開通により減少しました。非常に不便です。 バス停に屋根もつけてほしい。大型バスで採算が取れないなら小型バスに切り替えてみるのもいいのでは。以前住んでいた大阪市は赤バスが走り非常に便利でした。車を減らしたいなら公共機関によるバスを増やしてほしい。 【男性・31～40歳】</p>
<p>タクシー乗り場のあり方を1度ご覧いただければと思います。（もちろん、深夜12:30以降に。） 東急田園都市線沿線発の深夜バスの時間枠をもっと大きくしていただきたいです。 【女性・21～30歳】</p>
<p>海外のトラムのようにバスの路線を増やしてほしいです。 【女性・31～40歳】</p>
<p>田園都市線の乗り入れが増え、これ以上困難したらどうなるのか心配です。小田急線のように高架と地上の2本の線路にするわけにもいかないでしょう。 【女性・31～40歳】</p>

<p>どうしようもないことながら住居が幹線道路沿いにあり、10年ほど前の約5～6倍の騒音に悩まされている！生活環境の悪化に反比例して住民税の大幅アップに納得できません！！ 【男性・71歳以上】</p>
<p>あざみ野乗り換えで横浜に行くのに電車賃が高すぎる。バスをもっと整備してほしい。「荏田⇄横浜」「荏田⇄センター北」を希望。</p> <p>田園都市線が異常に混雑している。電車を整備するか、これ以上マンションを建てるのをやめてほしい。 【女性・21～30歳】</p>
<p>バス便の充実やバス料金の引き下げ。</p> <p>たまプラーザ駅のバス乗り場、早急に駅近くに戻してほしい。 【女性・31～40歳】</p>
<p>グリーンラインが開通してバス便が減少し、とても利用しにくくなった。市営のバスは前から、時刻より先に出発したり、混んでもいないのに大幅に時間が遅れたり、ベビーカーで乗車してもよいといいながらいい顔をしない人など、いいイメージがありません。市営は区での運営ではないですが、鉄道の駅が遠いところ（特に区役所）を利用するために不可欠な交通手段です。区と市がもっと協力して改善してほしいです。 【女性・31～40歳】</p>
<p>バス路線が減って不便になった。 【女性・51～60歳】</p>
<p>今後、青葉区も高齢者の街となると思われます。ある程度健康でも車の免許証返上者が増えると思います。既存のバス路線だけでなく武蔵野市のムーバスを検討して取り入れていただきたい。バスの長さ、幅も狭く小さいので住宅街の中まできめ細かくバス停があり大変便利です。運賃は100円だったと思いますが、人の手を煩わさず外出ができることはお年寄りの自立心にも精神衛生面上良いことと思われます。若い人でも車ではなくこのバスがあれば多く利用し、車の渋滞は減り、CO2も削減します。時間の猶予はありません。実行あるのみです。 【女性・61～70歳】</p>
<p>「市が尾発横浜行き」の2つあった系統の路線バスが全部廃止されてしまい、横浜方面に向くのが非常に不便になってしまいました。特に老人は乗り換えも大変なので本数は少なくとも一系統の運行を復活させてほしいです。また、敬老パスも続けていただきたいです。 【男性・71歳以上】</p>
<p>最近、青葉区の人口が急増したためか、田園都市線の混雑・遅延が頻繁。以前は平日の通勤・通学ラッシュのみ状況が、深夜まで混雑している実態。交通機関の増加 etc 今後も対策を望む。あと、江田駅前スペースの充実化を。 【女性・71歳以上】</p>
<p>横浜市民でありながら地下鉄の利用、アクセスが悪いため、みなとみらいに行くより都心に出かける方が多い。意識的に横浜市民であることの自覚も薄い。地下鉄があざみ野駅ではなく、たまプラーザ駅まで延長すればもう少し、みなとみらい方面に出掛ける回数が増えると思う。バスなどの公共機関が充実しない限り、不便を強いられ車を使わない生活は期待できない。特にたまプラーザの生活圏に暮らす者として、行政、その他の手続きのための交通手段に不便を感じる。 【女性・51～60歳】</p>
<p>地下鉄があざみ野駅～新百合ヶ丘に延長されるという話が出てから既に10年？15年？経過したでしょうか？計画も暗礁に乗り上げたままのようで残念に思っています。 【女性・51～60歳】</p>
<p>青葉区政とは関係ないですが、田園都市線の混雑はどうにかならないのでしょうか？青葉区に住み続けたくない大きな理由の1つです。 【男性・31～40歳】</p>
<p>すすき野入口のバス停から新百合ヶ丘行きのバスを出してほしい。（とても不便だから）よろしくお願ひします。バスだけ利用する人にとってはとても不便です。新百合ヶ丘行きのバス停まで行くだけで20分くらいかかるので。 【女性・31～40歳】</p>
<p>生活圏に他の行政区が含まれるため、バスが役に立たない。相互に使用できるよう協定があると便利。 【男性・61～70歳】</p>
<p>今後も区内の人口増加するものと思われます。田園都市線の混雑が心配です。 【男性・41～50歳】</p>
<p>通勤の環境が好ましくないことを除けば、非常に住みやすいまちだと思います。（田園都市線の混雑はストレスにつながります） 【女性・31～40歳】</p>
<p>川崎市と宮前区と道を隔てたところに住んでいますが、たまプラーザ駅まで下り坂なので行きは楽なのですが帰りは上り坂が辛く感じます。妊婦さんも辛そうです。バスが通る予定はありませんか？望んでいます。 【女性・61～70歳】</p>
<p>環境問題が serious な今日、公共輸送機関重視へと変わりつつあります。なるべく便を増やして、車を使わない環境に近づけてほしい。</p> <p>70歳になるとバス・電車のパスがあるそうですが、廃止をせずに将来も続けてほしい。 【女性・61～70歳】</p>
<p>田園都市線の混雑が異常だと思います。 【女性・21～30歳】</p>

人口の流入がまだ多いのか、朝の通勤混雑（田園都市線）がひどすぎる。何とかしてほしい。 【男性・41～50歳】
ぜひとも小田急線に繋がるバスをたまプラーザの駅から出していただきたいと思います。現在、犬蔵にマンションが多数できておりたまプラーザから犬蔵方面に行くバスができれば利用客は多くいると思います。そして犬蔵から向が丘まで通ればさらに利用する人（したい人）も多いと思います。 【女性・31～40歳】

1-2. 道路について

歩道に「自転車で走るのは止めてください」と書いてあるのに、道路に自転車用の道がないのは困ります。検討してください。 【女性・16～20歳】
通学路なのに信号のないところを渡るのは危険、20年以上もそのまま放置されていることに疑問。事故が起きてからでは遅い。どこの行政も事故が起きればすぐに対処するのでできるならなぜ最初からやらないのか？ 【女性・31～40歳】
青葉区を東西にまたぐ幹線道路が充実していない。246、東名はあるが区内を東西に移動しようとした場合不便を感じる。 【男性・51～60歳】
もう少し駅前の道路が広いと良い。 【女性・61～70歳】
一層の道路整備に期待しています。 【男性・71歳以上】
柿生方面の道を整備してもらいたいです。（安全な歩道、街灯など） 【女性・16～20歳】
ちょうど今道路工事が行われているところが多いですが、正直言ってやる必要があるのか？と思います。その道路を直すぐらいなら、他にその経費を使えばいいと思います。無理に工事をして予算を使い切っている様に見えてしかたありません。何を優先すべきか考えてください。他に使い道があるはずです。 【女性・21～30歳】
せっかく素敵なサイクリング道路が川沿いにあり、散歩、サイクリング（親子で）と出来るのですが、常に草が対面者の突然の出現状態の様子のように、背が高く、かや状の葉が茂っています。定期的に見守って下さる方がいても空しいのではないのでしょうか。 【女性・61～70歳】
歩道の充実。自転車道の充実。車の一方通行の増設。 【男性・51～60歳】
気になっていること。私どもの前は旧麻生線でバス道路及び子どもの通学道路ですが、いまだに歩道もなく、道路も亀裂が入っております。大きなガス管も埋まっており雨の日は雨水が浸水し鉄分が腐食するのではと心配ですが、東京ガス等点検はないのでしょうか。歩道がないので子ども達の自転車での行き交いは事故になればと心配です。自動車をよけ転んでケガをした方もいます。上市が尾バス停の道路です。 【女性・61～70歳】
歩道と車道の区別されているところで住宅の植木が歩道にはみ出しているためすれ違いもしにくい道があり、（特に傘を差しているとき等）、ともすれば車道に出て歩くこともあり、この通りを歩く時はいつも危険を感じます。このようなところは他にもあると思いますのでよく調査の上、対処してください。 【女性・61～70歳】
坂が多いので歩道を広くしてほしい。車イスの方が非常に通りにくそう。自分が年をとって車イスになったら住めそうにない。道路の側溝をふさいでほしい。 【女性・51～60歳】
道路・歩道の段差をなくしてほしい。 【女性・71歳以上】
自転車道の確保。 【男性・41～50歳】
歩道の段差、傾斜および凸凹等の修理（老人の転倒防止）。
鶴見川沿いの遊歩道の整備。 【男性・51～60歳】
道路整備に力を入れてほしい。 【女性・21～30歳】
美しいまちづくりの強化、道路（高速道路掘周辺の木・草の手入れ）。 【女性・61～70歳】
農協中里支店の前の横断歩道に押しボタン式信号をつけていただきたい。（畑に行くのに車がなかなか止まってくれないので地元の高齢者は度々危険な思いをしている）。旭自動車学校前にも横断歩道に押しボタン信号を希望します。子ども達の通学路にもなっており、度々要望を出しているようですが、いつこうにつくっていただけません。必要な所には順番ではなく、早めの対応をお願いします。 【男性・41～50歳】
道路の水溜りが居住して以来善処されていない。 【女性・71歳以上】

<p>電車だけでなく、歩道の整備・点検に力を入れてほしい。高齢者のみならず乳幼児も多いので、大切なこと、一番身近で生活に直結しているところ。気になるのは歩道を私物化して、植木鉢等を大量に並べているもので、道幅が半分になっていて人とすれ違えない狭さの道が 20 年以上も存在していること!! 老人や幼児は転倒しやすく、ベビーカーの場合も狭くて通れず非常に迷惑。早急に私物を移動させて長年の不便さを解消していただきたい! 【男性・31～40 歳】</p>
<p>一部道路環境の見直しを・・・田奈～恩田地区、市ケ尾～川和町地区など一部の道路は歩道の不整備や幅員、見通しなどの点でかなり危険な場所があるように思います。また、青葉台駅前交差点などはスクランブル化した後も、右折用信号や時差式信号の導入がなく、右折車が閉じ込められる現象も多く見受けられます。少しずつでもこれらの改善を求めたいところです。 【男性・31～40 歳】</p>
<p>道路の改修に温度差がある（判断レベルの差）。 【男性・41～50 歳】</p>
<p>停滞している道路工事を早急に進めてほしい。他区とも連携を図り、道路拡充が中途半端に終わらぬようにしてもらいたい。</p> <p>そのためにも、道路整備に加えて、路上駐車を取り締まり強化も必要不可欠だろう。田園や緑をどうこう言う前に、人身の安全確保が第一である。交通量が多いのに狭い道があり、自転車も通るため、非常に危険だ。</p> <p>町田市のように自転車用道路を造成すべきではないか。</p> <p>環境を保全するのか、交通機関を整備して便利にするのか、方針を明確にして、区政に臨んでもらいたい。工事を始めたものの、中途半端に放置して、税を無駄にしないでほしい。 【女性・16～20 歳】</p>
<p>青葉台駅周辺（環状 4 号線）の渋滞についてさらに検討してもらいたい。せっかく作った荷捌きスペースも店舗客の一般車ばかりが停まっており、宅急便車両は車道に停めている。 【男性・41～50 歳】</p>
<p>高齢化に伴い道路には段差はできるだけなくすように心がけてほしい（家ではバリアフリーにしているのに外ではないのはおかしい）。老人だけではなく普通の方にもよいと思う。 【男性・51～60 歳】</p>
<p>こどもの国通りと 246 が交差しているが、246 からこどもの国通りへ下りてくる場所で事故が多発している。（過去死亡事故もあった）早急に改善を望む。 【男性・51～60 歳】</p>
<p>青葉台駅周辺の道路事情の改善。</p> <p>歩道の商店利用を止めさせる。 【性別無回答・71 歳以上】</p>
<p>道路の交差点にミラーをまんべんなく付けてほしい。 【女性・51～60 歳】</p>
<p>道路の整備。 【女性・41～50 歳】</p>
<p>小学校等、児童の通学する歩道の整備を再検討し、危険を少なくするよう考慮すべきである（道路横の植木を撤去し歩道にすること）。 【男性・61～70 歳】</p>
<p>通学路の横断歩道には信号を設置してほしい。子ども達のためにも必要であると思う。 【女性・41～50 歳】</p>
<p>自転車道のインフラの整備が必要、安全なインフラを作ることにより健康から医療にまでよい影響を与えるのでは。 【男性・41～50 歳】</p>
<p>あざみ野駅からカリタス短大を左折し桜通りの歩道の舗装を新しくしていただきたい。デコボコが目立ちベビーカーやハイヒールなどでは歩きにくく危険である。検討して下さい。 【女性・51～60 歳】</p>
<p>江田駅前の国道 246 号交差点の渋滞をなくしてほしい。付近の国道 246 号に出る交差点の改善または 246 号を横断する道路の新設等、今のうちにはじめないと手遅れになる。 【男性・41～50 歳】</p>
<p>たまプラーザ駅の北ロータリーがなくなり、車の乗り降りも簡単に出来ず大変不便になった。そのために道路の混雑が予想されるので、至急対策を考えてほしい。 【女性・61～70 歳】</p>
<p>私の家の周辺の信号のない交差点での事故も頻繁に起きております。交通事故の未然防止に力を入れていただければと思います。 【男性・51～60 歳】</p>
<p>デマンドバス運行のお願い。あざみ野二丁目まで駅から約徒歩 10 分でタクシーに乗るには近いし歩くには 70 代の自分には少きつい距離です。表道路のバスのみでなく、住宅街を通るバスがあったら助かるので希望いたします。 【男性・71 歳以上】</p>
<p>たまプラーザ団地から山内公園へ渡る横断歩道に信号機設置を。（住民の高齢化による危険排除）</p> <p>美しが丘五丁目（旧ガソリンスタンド）と新石川二丁目（新聞店）との間の道路（けやき通り）は交通量が多く、横断が危険である。信号機の設置を。 【男性・61～70 歳】</p>
<p>住宅街の道路の表示の抜けを無くす（止まれなど）。 【男性・51～60 歳】</p>
<p>歩道の拡大化と自転車専用通路の設置。 【男性・41～50 歳】</p>

可能なところは自転車用レーンを作ってほしいです。CO2を減らすためにも、車の利用を極力抑えるべきだと思います。現在のガソリン高から幸いにも車をやめて自転車をとという人も増えています。この流れを後押しするためにも是非ご検討ください。 【女性・41～50歳】
恩田元石川線の早期整備。 環状北西線→不要！都市計画する前に廃案を。 【男性・21～30歳】
私の住宅地は駅から国道246号を渡る側に新荏田団地があり、その中の一戸です。歩道橋はつくっていただきまして便利に安全になりましたが、国道の歩道はありません。雨が降れば車からはね水も多く、普通の日でも大型の車に恐れています。途中まで整備されたところもありますが、ほとんどまだです。区民として格差を感じています。一日も早く安全で楽しい歩行ができるよう、切に切にお願いいたします。 【女性・71歳以上】
坂が多く自転車中心の生活ができない。 【女性・21～30歳】
自転車交通が安全に、どこまでも走ることができる道路を整備すること。 【男性・61～70歳】
歩道幅が荏田西地区全体に狭いです。2人歩くのがやっとで雨が降ったとき傘がぶつかり、1人歩くのがやっとです。また、ベビーカー等のすれ違いも危険です。荏田西三丁目「泉公園前」信号の老人ホームの駐車場付近の歩道に立っている支柱または老人ホームの駐車場が死角になり歩行困難である。子ども達の通学路になり、とても危険です。どこに話を持っていけばよいのか自治会でも悩んでいます。歩行者が安心して通れるように改善していただきたい。1度、区長さんもその場所に見に来ていただき確かめていただきたいと思います。荏田西地区はとても住みよい町ですが「安全・安心」をモットーに行政等に働きかけていただけたらありがたいです。 【女性・41～50歳】
道路渋滞が激しい。 【男性・21～30歳】
道路に段差が多く高齢者や身障者は苦勞しますので、今後ご検討をお願いします。 【女性・41～50歳】
歩道がガタガタしていてベビーカーや高いヒールの靴で歩きにくい。植え込みの周りに雑草がたくさんあって見苦しい。 【女性・31～40歳】
道路のでこぼこ、坂にある商店の入口の段差、歩道をスピードで走る自転車等、安心して歩くことのできる街になるよう改善してほしいと思う。 【女性・71歳以上】
国道246号の歩道の整備を早急に行っていただきたい。 【男性・21～30歳】
車に乗っていると、右折用信号のない信号がかなり多い気がします（あざみ野駅前など）。右折信号を付けてほしいと思います。 【男性・31～40歳】
青葉区は赤ちゃんも高齢者も多い地域なので道路、歩道の段差をなくすバリアフリーをどんどん進めてもらいたいです。 【女性・21～30歳】
自転車がこぎやすい町にしてほしい 【男性・16～20歳】
土木課へ 道路の補修に無駄が多い。グリーンベルトの緑石の補修を土木課に直接頼んだらすぐ実行してもらえてありがたかったが、担当業者がのんびりで、さぼりがひどく、行政と癒着した業者かと思った。 【女性・61～70歳】

1-3. 交通マナーについて

ターミナルでの運転手のたばこの投げ捨て禁止。 【男性・71歳以上】
自転車の歩道走行について、可能道路・不可能道路の表示を明確にするよう検討してもらいたい。 【男性・51～60歳】
あんまり駐車しないでほしいなあと思います。 【女性・16～20歳】
改造車等による危険車走行、騒音の嚴重取締り実施。 【男性・41～50歳】
自転車の車道通行への徹底（歩道での人との接触防止）。 【男性・51～60歳】
路上駐車も多い。困ったものだ。 【男性・41～50歳】
自転車の歩道乗り入れ。きちんと区別してほしい。 事故を起こしたときの保障、自転車保険制度。 【男性・71歳以上】
車を運転する者として一言言わせていただくと、やはり駅周辺の不法駐車が目に付きます。 【男性・51～60歳】
深夜のバイク音。 【男性・71歳以上】
たまプラーザ駅周辺の路上駐車をどんどん取り締まってほしい。 【女性・31～40歳】

<p>自転車を利用する人のマナーが悪いです。歩道を猛スピードで走り抜けたり、夜ライトをつけないなど実際にぶつけられたりドキッとすることが多いです。駐輪違反も目立ちます。このため、マナーをご指導いただくと同時に自転車にもナンバープレートをつけるシステムでご対応くださいますでしょうか。より責任感を持って自転車に乗っていただきたいのです。特にご高齢の方や小さな子ども、ペットなど弱い者が事故に合わないことを願います。よろしく願いいたします。 【女性・51～60 歳】</p>
<p>駐輪の取り締まり。 【性別無回答・71 歳以上】</p>
<p>坂の多い地域で歩道を我が物顔で自転車走行しています。下り坂などではスピードが増し非常に怖いです。事故になりかねません。なってからでは遅いです。自転車は車道走行ではないでしょうか。 【女性・51～60 歳】</p>
<p>自転車の通行に関してなんとかしてほしい。歩行者と自転車、自転車と自動車、道幅いっぱい使う集団での自転車通行。自転車のマナー非常に悪い、特に学生。 【男性・71 歳以上】</p>
<p>区政とはどこからどこまでなのか分からないので、要望等を書き難いです。 歩道通行のマナーをすべての人にわからせてほしい (ex. 自転車が歩行者を押しつけて通行する) のを要望してよいのか、 住宅地の道路のスピード規制 (ex. わりとまっすぐな道だと「ヒュン」という勢いで車が通行する) を言えるのか。 【女性・31～40 歳】</p>
<p>自転車やオートバイが駅近くのアパート、マンションに放置され、全く取り締まられていない。 夕刻から自動車が路上駐車し、取り締まりが全くない。朝出勤し、夜帰るサラリーマンは団地、マンション周辺を駐車場にしている。放置車両、駐車違反の夜間摘発を。 【男性・61～70 歳】</p>
<p>自転車マナーが悪く、歩行者の安全が守られていないため、改善していくため何らかの手段を行っていただきたい。 【女性・21～30 歳】</p>
<p>横浜市民は運転マナーが悪い。下手なら下手でかまいません。とにかくマナーが悪い。ウインカー出さない、ハザード出さない、勝手に止まる。など。もっと運転マナーの見直しをお願いします。車生活が多いだけに残念です。 【女性・41～50 歳】</p>
<p>駐車禁止のお願いをしたら『警察に言ってください』と言われ、住民の代わりに伝えてくれてもいいのと思った。 【男性・31～40 歳】</p>
<p>自転車走行に対しての注意事項。 【男性・61～70 歳】</p>

1-4. 駐輪場・駐車場について

<p>駅周辺に無料の駐輪場ができるとうれしいです。学生には1回100円が厳しいです…。 【男性・16～20 歳】</p>
<p>駐車場を増やしてほしい→環境のため必要。 【男性・41～50 歳】</p>
<p>青葉台駅前に地下駐車場をつくり、路上駐車を減らしてほしい。 【女性・61～70 歳】</p>
<p>公会堂を週1回利用しております。駐車場が大変混雑し、1時間待ちの時が多くあります。(特に第2駐車場)。3階建てくらいに立体駐車場を考えていただけたら助かります。 【男性・61～70 歳】</p>
<p>車、バイクの駐車違反の取り締まりが駅周辺で多い中、駐車場、駐輪場がなさすぎる。(特に50cc以上のバイク用駐輪場) 【女性・21～30 歳】</p>
<p>駅前の駐輪場の積極的整備を…青葉台駅のように広域的な範囲の住民の通勤・通学の拠点となるような駅周辺はやはり一定規模の「駐輪スペース」が必要で、現状ではまだまだ不足している感が否めません。東急スクエア周辺などの空きスペースを有効利用し、有料駐輪場を増やし、放置自転車対策も同時に進めてほしいです。(このたびの三井住友銀行前の道路わきの有料駐輪場化はなかなか良かったと思います) 駐輪場の確保。 【男性・31～40 歳】</p>
<p>各交通機関の駅周辺における駐車場、駐輪場の増設。 【男性・41～50 歳】</p>
<p>駐輪場が少なく不便。 バイク置き場がほしい。 歩道が狭くなるから路上自転車を撤去していたりしていましたが、その路上に駐輪場をつくった意味がわかりません。結果的に歩道が狭くなっているので路駐と何も変わりません。そもそも路駐(自転車)はそれほど邪魔ではなかったと思います。税金を使って作ってしかも駐輪代を取るのですか? 駅から遠い住民には大迷惑です。 【男性・31～40 歳】</p>

オートバイの駐輪場を増やしてほしいです（藤が丘駅付近）。 【男性・21～30歳】
オートバイの駐輪場が少なく、駅周辺は不便である。更にパトロールも厳しく、駐車違反のキップをすぐに切り大変問題がある。 【男性・61～70歳】
公共の駅の利用に欠かせない駐輪場、駐車場を増やすと共に無料にしてほしい。無駄な道路建設費をこういった場所に有効利用してほしい。 【女性・16～20歳】
区制15周年でお金をかけるより、安全な街づくりにお金をかけてほしいです。道を歩いていて上を見上げると電線だらけで地震が起きた時に電柱が倒れたらと思ってしまいます。他にも駅前の自転車、バイク等の不法駐輪。何人もの人で自転車を撤去したところで、数日するとまた止められています。いちごっこに無駄なお金を使うよりも駐輪場建設をもっと進めてほしいと思います。 【女性・31～40歳】
とにかく直面している不満は、たまプラーザ駅の駐輪場が300人待ちという現状。もうすぐ待つ一年経つがまだ利用できない。人は増え続けるのにそういう設備が整っていない。 【女性・21～30歳】
あざみ野駅周辺に自転車置き場の増設を。 【男性・21～30歳】
駅へ出るのは自転車が出る習慣が根付くくらい、自転車用駐輪場を大きくつくる。 【男性・61～70歳】
放置自転車についてもっと厳しく取り締まってほしい。 【女性・51～60歳】
駐車場（低料金の）を公共機関の周辺に増やしてほしい。（路上駐車等あるため） 【女性・31～40歳】
駅前（たまプラーザやあざみ野）に、ほんの少し自転車を置いてただけで、すぐに撤去されてしまうということが何度もあった。土地が狭いので通行人の迷惑になるのは分かるが、以前北海道に住んでいた時はこんなことは一度もなかったのが驚いた。もう少し寛容になってほしい。それと有料駐輪場しかないので、無料の駐輪場も駅前につくってほしい。 【女性・16～20歳】
駅の駐輪場の整備など車に頼らない生活をしやすい状況づくりを望みます。 【女性・31～40歳】

2. 「環境」について

2-1. 住宅環境について

住みやすい街へ住民の協力体制（自主的）確立。 【男性・61～70歳】
住宅地ばかりで青葉区はとても生活しづらいです。私鉄沿線なので仕方ないが何をしても何を買っても特定の企業にお金が入るシステムをどうにかしてほしい。行政でできることには限りがあると思うが、たくさん企業の誘致をもっと生活しやすい青葉区になってほしいです。 【女性・31～40歳】
近頃、住宅地が細分化され住宅環境が変化している細分化を規制することができないか？ 【女性・61～70歳】
緑地の宅地が進み、住宅が増えていて、それに伴い通勤の電車ラッシュはひどい。これ以上緑を壊すことなく、マンションなど建設を規制していただきたい。20数年前、こちらに越してきた頃はもっと“のんびり”した良い街でした。 【女性・51～60歳】
市役所があると思って住宅を購入しましたが？急行電車が止まらず、朝夕の満員電車と毎日の遅延で家族全員東京へ通うのが大変。都心に通勤していた私は退職することになりました。住宅販売会社は昼間ではなく朝の通勤時間を正しく表示してほしいと思います。
食料品店は充分ありますか？衣料品やファッション・本屋が少なく、税務署の空地に大型ショッピングモールができてほしいと思います。出掛けたくなるところが全くなく、引きこもる坂の多い住宅地につながりしています。
駅にスポーツジムができたのは良かったです。
地デジが映りそうになくアンテナを立てたのにがっかりです。
下水道代が水道代の8割と納得できない高さで、植木の散水がもったいないです。他の自治体と比べても下水道代が高すぎると思います。
老後も不安です。
青葉区に住むならたまプラーザ、あざみ野、青葉台にすれば良かったと後悔しています。 【女性・41～50歳】
青葉区本当に住みやすく環境もいいため、これからも長く住みたいし、これからももっとより良くなっていくと思います。 【男性・21～30歳】

<p>最近は公德心といいますか他人を思いやる思考、態度が一般的に乏しいと感じております。そこで提案ですが、公德人の発揚は環境の美化から始まると考えます。汚れた中には公共を思い周囲を守るという気持ちになかなかないと考えます。区役所エリアの美化、自分の住居の周辺道路の清掃清潔を進めてはどうでしょうか。もちろんこれは住民それぞれが行うことですが区役所の然るべき部署で旗振りだけをお願いして月2回程度の頻度で青葉区を“キレイ”にする日を推進することを提案します。今年は前年以前に比べて早い日に剪定、除草をされてサッパリしましたが草ぼうぼう枝伸び放題は区民の心はきれいになりません。なんと区役所の人達は無神経だろうとなってしまう。足元をよく見て反省し、美しい街、思いやりのある住民としたいものです。 【男性・71歳以上】</p>
<p>青葉区に住み始めてから7年になります。転勤族ですのでいろんな地域（地方）に住んできましたが、青葉区（横浜市）が最高の場所でした。出来ればここで大きくなってほしいと願っておりました。教育水準も高く都心に近いので将来の設計も立てやすかったのです。しかし人生は自分の思い通りにはなりません。夏休みに千葉へ引っ越すことになりました。残念です。子どもが独立後、主人と二人で青葉区に住むのが夢です。 【女性・31～40歳】</p>
<p>28年前に都内より自然環境に恵まれていた大場町に引越してきました。豊かな緑が現在、山も田畑も宅地になり、動物、鳥、昆虫もいなくなりとても寂しく思っています。現在は市ヶ尾町に住んでいますが、実家は大場町にあり、木がなくなったことにより気温も2℃ぐらいは上がっていると思います。区として先の環境をもっと見極めるべきだと思います。 【女性・51～60歳】</p>
<p>緑地・農地等を残すことは必要だと思うが、今後は市街化調整区域のあり方について、横浜市は積極的に市街化に向けて取り組んでほしいです。駅まで15分で行けるように道路改良やバス路線の見直しなども必要だと思うが、駅周辺の用途地域を調整区域から市街化に変更するような取り組みもした方がよいと思います。また、青葉インターチェンジ付近をもっと開発することで青葉区は更に発展すると思う。 【女性・31～40歳】</p>
<p>私は青葉区に住みまして10年になりますが、同じ横浜市でも青葉区は新しい区のため緑が多い。また、東京からこちらに住まれた方が多くお年を召された方達もいろいろなサークルに入られて、年齢よりも若く感じる方が大勢住んでおり、町全体が歓喜に満ちている。横浜に住んで年数が過ぎましたが、はじめに住んだ区は瀬谷区、保土ヶ谷区そして青葉区と3回変わりましたが、一番この青葉区に住んで良かったと思います。 【性別無回答・71歳以上】</p>
<p>住環境。 【男性・41～50歳】</p>
<p>緑の多い街ですが、坂道が多いので大変です。 【女性・71歳以上】</p>
<p>藤が丘駅周辺の開発。 【女性・51～60歳】</p>
<p>マンションの建設をこれ以上許可しない。 一戸建ての老夫婦が引っ越し売却すると建売業者が細分化で売り出し町の環境が将来スラム化、悪化することが心配。条例を作ってもこの細分化を止めてほしい。ゆったりとした街並みが将来一変してしまう！ 【女性・61～70歳】</p>
<p>2歳から緑区に住み、4つの区に分かれ移り変わりを見てきましたが、緑が多かった昔が良かった。大手企業開発でマンションばかり建ち、昔を知る者としては寂しい街になっていっていると思う。あまりマンションなど建設してほしくないです。そしてますます格差社会が進む「青葉区」になると思う。 【女性・31～40歳】</p>
<p>現在まではいい生活環境に恵まれて健康で過ごせたことを感謝しております。 【女性・71歳以上】</p>
<p>基本的にインフラ整備やサービス面は充実していて、青葉区はとても住み良い区であると思っています。 【男性・31～40歳】</p>
<p>建築協定が期限切れになっているところは再度見直しをしてほしい。 【男性・61～70歳】</p>
<p>引越してきて1か月未満のため、青葉区について知らないことが多いですが、多くの人々の往来があり活気がある街という印象があります。 【男性・31～40歳】</p>
<p>十分に住み良い街だと思っています。引き続き環境を守り続ける行政をお願いします。 【男性・41～50歳】</p>
<p>緑の自然がこれ以上なくならないように宅地化にするにも制限されることを願います。 【女性・51～60歳】</p>
<p>私は、今年の4月から青葉区へ引越してきました。自宅から青葉台駅まで歩くときの緑の美しさにいつも心が和んでいます。歩道に沿って植わっているその木はきっとどなたか職員の方の手によってお手入れされていることと思います。いつもご苦労様です。そしてこれからも、緑の美しい青葉区であるようにお互い協力していきましょう。 【女性・21～30歳】</p>

青葉区は魅力ある町ですが、最近の田園都市線沿線の高層マンション計画によりだんだん魅力が失せていると思います。都内までの通勤状況のことを思うと、何らかの対策がない限り、仕事を都内に持つ人にとっては住み続けるのは辛い町になるのではないのでしょうか。 【女性・21～30歳】
青葉台住宅の開発が進んでおり、緑がどんどんなくなっている。ある程度の規制を望む。 【男性・51～60歳】
住みやすい街です。 【女性・21～30歳】
一戸建ての敷地面積がどんどん小さくなっている。最低でも61坪の家並みを保持して街の高級感を残したい。狭くなると住民同士の騒音やにおい…等の争いごとが多くなり住みにくい街になりそう。青葉区はただでさえ自己主張の強い住民が多そう…。変なプライドとは思いますが…。ミニ開発はやめましょう。 【女性・51～60歳】
住宅地の高層化により日照権が奪われている。行政は既得権のある先住者にもっとバックアップをすべきと考える。 【男性・61～70歳】
45年前に5年程住んでいました。昨年末実家に戻って来て親と同居していますが、青葉台駅前の街並みは昔の方が品位があり、生活しやすかったように思います。 【男性・61～70歳】
市の学校建設のための予定地が転売され、住宅地になることを聞いたりするが違ったことに有効利用できるのでは。 【男性・41～50歳】
土地、家賃が高い。 【男性・16～20歳】
良質な住環境に特化し、これ以上の商業施設の増加は避けてほしいです。(個人経営の店はこの限りではありません) 【男性・41～50歳】
住んでいて住宅街のイメージが強く、実際その通りなので今は若い世代も多く居住しているが、この状態を続けるためにももう少し買物等便利な街であってほしいです。駅付近だけでなく住宅街の中にも、商店街があり活気あふれるような街づくりを提案します。 【女性・31～40歳】
青葉区に移って、空気が良く最高です。 でも、一人暮らしが多くて近所のごたごたがあり困ります。他人のことばかり気になりTelをかけて近所迷惑なこと。周りの人達はあきらめて挨拶だけになっています。さびしい年寄りですね。ぐちゃってしまい申し訳ありません。 【女性・61～70歳】
都市ガスの供路を全地域への拡大と電線地中化 元石川町の町名変更と地番の整備 テレビ、携帯電話等電波のバリアフリーの実現 区以上(市)への要望が多数と存じますが区から横浜市へしっかりと陳情していただきたいと存じます。 【男性・41～50歳】
市営・県営住宅を充実。青葉区内にたくさん作ってほしい。 住宅補助。 【男性・41～50歳】
緑等の自然破壊については、開発等によりこれ以上減少するのを抑制する方策はないだろうか? 【男性・41～50歳】
道路の街路樹を増やし、美しい街づくりを進める。 【男性・51～60歳】
通勤電車の限界をきちんとふまえた上での宅地整備。 【女性・21～30歳】
青葉区はいろんな意味で大変住みやすい街です。道路は広いし交通も便利です。 【女性・21～30歳】
あざみ野駅周辺の再開発を希望します。地下鉄が開通してから乗降客が増え、駅周辺は混雑がすごい。駅周辺にパチンコ店やゲームセンター等が増えて環境が悪くなるのが心配。 【女性・51～60歳】
これから先のことを考えると仕事を引退した後日々の楽しみ、集う場所、そのところへ行く足のことをちょっと不安に思います。 青葉区での暮らしは概ね満足しています。町もきれいで買い物も便利。東京、横浜にも近く、役所の職員の接客態度も東京に比べるとずっといい感じです。老後のこともよろしくお願いします。 【女性・51～60歳】
街路樹や花緑をもっと多くしてほしい。 【性別無回答・41～50歳】
青葉区がより一層住みやすくなることを望みます。 【女性・16～20歳】
これからも青葉区で生活したいが、土地の値段が高く家を持つことができそうにない。住居購入の補助やローンの優遇などを検討してほしいです。 【女性・21～30歳】
高生活水準と家賃のバランスが良いと思う。維持するようになってほしい。 【男性・16～20歳】

子ども達の近くに移住して丸2年になります。転居してまず感じたことは住宅地であるにかかわらず、道路の上いっぱい電線がまるで川の流れるように何本もあることでした。大阪府茨木市ですら家の前の電線は2本。主人と共に住んだドイツの町は特別でしょうが、いつも大きな空を見ることが出来ました。地下に埋められていたからです。電線のむき出しにあきれております。外国の人が見たら文化都市横浜のしかも美しい住宅地のこの有様をなんと言うでしょう。少しずつでも電線の地下埋蔵をお考え下さい。【女性・71歳以上】
あざみ野駅をよく利用していますが東側にできた巨大電光看板が不快です。区政から、あのような設置物は規制できないのでしょうか？もちろん、区内に電光看板は多くありますがあの「場所」「大きさ」「設置高さ」が気になります。あのような看板は青葉区の魅力である「整然とした良好なまちなみづくり」を破壊し、あざみ野特有の感性かつ上品なイメージに逆行するものであります。このような状態を許せば、不動産エリアとしても二子玉川以西で最も人気がある駅という地位から陥落するのも時間の問題かと思えます。また、あざみ野やたまプラーザ地域に住む知り合いも同様の意見を持つ人がたくさんいます。なお、今回の意見は当該看板を管理する当事者個人への批判では決してなく、再開発真っ最中のたまプラーザ駅周辺の施設に関しても期待したいことでもあります。青葉区を代表する駅の1つであるあざみ野についてですので、どうか青葉区をより魅力あるまちにするために、区政からのアプローチを期待したいです。【男性・21～30歳】
青葉区は新興住宅地なので小さな子どもが非常に多い。どこに行っても子ども！子ども！子ども！自分は子どもが嫌いなので横でうるさくされるのは辛い。なんとかならないのか。【女性・21～30歳】
あざみ野駅前に（カリタス側）、個人のお宅ですが大きな竹林があり、その横を通ると夏はとても涼しくいい空気が流れているので、あそこのお宅の緑は是非守っていただきたいです。【女性・41～50歳】
たまプラーザに住み28年になりますが当時は青葉区の名にふさわしく緑豊かな地域でしたが、現在は高台の公園からの眺望は緑がすっかり消え、青葉区とは名ばかり今は骨といった感じで名前は返上した方が良かったと思えました。ここたまプラーザの駅再開発は目を見張るものがあり、都心並になるようですが、数か月前まで北口のバスターミナルに植えてありこれから去年以上につぼみをつけていた紫の花3本の桐の木の末路がどうなったかその前を通るたびに心痛みます。開発には軒並木を切り倒すことが一番手取り早いのですが、どうか他に植え替えることを考えてください。一本の木をも残す。他に植え替えるという行政の指導を公民間に強く関与指導してください！！【女性・61～70歳】
駅前等の混雑する道路の排気ガスと騒音を気持ち的にも緩和する様、街路樹の植込みを切望します。たまプラーザの駅前の様に緑を多くしてほしい（東急さんが手配されてたまプラーザはあの様に街路樹が多いのかしら？）【女性・41～50歳】
あちこちにある学校予定地の開放をして、スポーツや犬の遊び場等への提供はできないのか。【女性・61～70歳】
とても暮らしやすい街であると感じています。東京住民に比較して住んでいる人はおっとりした人が多いのどかです。このまま平和な街でありますように役所の皆様本当にご苦労様です。【男性・71歳以上】
青葉区内のマンションも老朽化が進んでいて、将来的に建替えの話も出てくるので、建替えのマニュアル的な資料を作成して、各マンションの管理組合に参考資料として渡してみたりしてはどうか？【男性・21～30歳】
狭い敷地にもマンションが建ち、住環境が悪くなりつつある。【女性・41～50歳】
大変良い街である。【男性・71歳以上】
全体的に地価等が高いため、社宅から持ち家に変える時には気に入った町である。青葉区から出てゆく必要がある。結果的に高所得者の町になってしまい一般社員に住み続けることができないような気がする。【男性・31～40歳】

2-2. 街の環境について

大手企業の開発ラッシュがあまりにもひどく、緑が減少しているのでマンションを建てた時に、地区の人口が利用できるコミュニティ広場を強制的に区や市が作らせるような仕組みはできないのでしょうか？【男性・61～70歳】
青葉台駅前の整備。【男性・41～50歳】
電柱の広告や看板が美しい景観を損なっているので厳しく管理してほしい。【女性・51～60歳】

私は分煙店を探すことは出来ますが、喫煙者に厳しい取り組みのような気がいたします。もちろん喫煙マナーを大事にということは守っておりますが、JRの駅がうらやましいです。【女性・51～60歳】
あざみ野駅に大きな電光掲示板が設置されましたが、あざみ野にはふさわしくないと私だけではなく周りの人も言っています。光がものすごく強いため、夜は遅くまでチカチカしますし、水溜まりに反射して目に悪いくらいです。せつかくきれいな景観を守ってください。【女性・16～20歳】
今のところ夫婦二人暮らしなので、あまり地域というものにコミュニティ参加したりする機会はないので、そういう意味ではあまり興味がない方なのかなと思うのですが、静かな住環境で公園がたくさんあるので、これからも美しい街並みを守っていけるよう配慮して頂いて住民も意識を高めていきたいと思います。【女性・31～40歳】
青葉台駅のロータリーをどうにかしてほしい。特に朝、土日の昼間、雨の日など…せつかく路上駐車が減ったのに…。【女性・41～50歳】
民間バス停・ターミナルの整備、清掃、充実の指導をお願いします。バス停へ椅子の設置、定期清掃をご指導ください（ボランティアで月1回清掃している）。【男性・71歳以上】
公園や街路樹に花の咲く木を植えて、花を見ることで季節が感じられる様にしてほしい。【女性・51～60歳】
環境を守るために出来ることはやっているつもり。順番制にして町内のごみ拾い制度があってもよいのではないのでしょうか。個人では行動できそうもない。【女性・61～70歳】
造成された土地が多いため、年配者にとっては住みにくいと考えます（特に坂道がない平地に移住したい、また、田園都市線のラッシュは日常的に不愉快である、混雑と遅延がひどい）。【男性・41～50歳】
全国どこへ行っても似たような開発が行われていますが、青葉区はそれに選考してはいたでしょうが、埋没してきています。若い住民が多いうちに街並みを多様化していくことが世代交代可能な地域になるように思います。【男性・41～50歳】
環境問題を取り上げるのであれば、個人の家の生け垣、庭木、畑等も大切だと思う。しかし、年をとるに従い、その維持・管理も大変になってくる。だんだん緑がなくなるのではと思う。【女性・51～60歳】
深夜のコンビニに座り込む若者が増えている。新しいマンション住宅に他県から移ってきた子どものマナーが悪い。【女性・51～60歳】
青葉台駅周辺での住環境の悪化が著しい。【男性・41～50歳】
問3にて回答しましたように、緑地がとても減少していると思います。個人の土地を不動産会社に売りマンションや家屋にする公式が出来あがっている。空地で子どもの遊ぶ、犬を遊ばせる場がどんどんなくなっています。青葉区の良さがなくなってしまいそうでとても悲しいです。行政でどうにかできないのでしょうか。きちんと、住宅地域環境も守るようお願いしたい。住宅以外の用途に使われない様、監視してほしい。【女性・31～40歳】
街中のバリアフリーなど高齢者にやさしい区になってほしい。【女性・41～50歳】
もっときれいな町になったらいいと思います。【女性・21～30歳】
近年、青葉台駅周辺にホームレス風の方を多く見かけますが行政サイドは把握されていますか。住環境が改善されない場合は転居も検討します。 人口増加による治安の悪化。 交通渋滞、企業の宅地開発による環境の悪化等近年住環境が良くなっていると感じています。これらを改善する施策を。【男性・51～60歳】
青葉台駅前には、人は多いが、街並みがあまり活気を帯びていないため、まちづくりを考えてほしい。【女性・51～60歳】
青葉区、そして現在住んでおりますところ、大好きなところです。【女性・71歳以上】
地元といったら青葉区というより奈良です。小さい頃から遊んでいる友達、場所、景色、大切な場所です。もう開発はいらない。【男性・16～20歳】
駅前に銀行・ATMもほしいです。 駅にトイレもほしいです。【女性・51～60歳】
都心のような高層ビル、ショッピング施設の乱立は今後もしないでほしい。【男性・21～30歳】
これからもいろいろ工夫して生活しやすい安心して住めるまちづくりをお願いします。【女性・51～60歳】

青葉区は交通網の発達で利便性に富んだ地域でとても住みやすいと思います。街並みもゆったりと生活環境が優れている。区政の情報も定期的に流れてきますし、町内会での情報も日々流れており、充実していると感じます。 【男性・51～60 歳】
駅前が目立つ場所に郊外らしからぬ電光掲示板の広告があるのをやめさせてほしいと言えるのか。 【女性・31～40 歳】
大手デベロッパーが、金儲け主義の開発を進めるのでこの 30 年間位の間たまプラザ地域の緑はすっかり減りました。駅前も電車から降りて空が一面に見えた開放感が良かったのに都心部のようなビルばかり乱立させてすっかり様変わりしてしまいました。公園の木もどンドン伐られ、緑も減り、丘も削られて家が建てられてしまい、昔の田園地帯の様子も見られなくなりました。街路樹も昔はしょっちゅう伐られなかったので緑陰も十分あり、落ち葉もさくさく踏めてヨーロッパの街並みのようでしたが、すっかり様変わりしてしまいました。 【男性・61～70 歳】
最近マンション等建設も多くなってきているが、交通手段や行政対応、各施設や災害対策等々人口の集中に対応しているのかどうかわかりにくい。 【男性・41～50 歳】
横浜は大好きな街です。特に青葉区は大好きです。学生の時も神奈川県より横浜まで通学をしました。住むには良いのですが、物価が高いと思います。 【女性・51～60 歳】
区画整理がされていてきれいな街並みには満足しているが、街全体に特長がなく、散歩をしてもつまらない。土日でもできるだけ区外に出かけるようにしてしまっているの、土日でも楽しめるような街にしたいです。 【女性・21～30 歳】
住宅地が急激に増えすぎ、道路や鉄道、その他の環境整備が後手に回っているように感じる。恒常的な渋滞、朝の異常な田園都市線の混雑など、今後に向けた投資もよいが、現在の問題点を積極的に解決すべく尽力していただきたい。 【女性・31～40 歳】
緑の多いこの青葉区を大切にするためにも、建設物申請に対し周辺環境の影響を検討し、建物の基準の他“見た目”や“イメージ”等周りになじまない物、不快に思う人が多く出ないことなど考慮すべき事柄を多くの方に聞いてほしい。青葉区が大好きです、大切にしていきたいです。 【女性・41～50 歳】
江田駅の発展に力を入れてほしい。 【女性・31～40 歳】
駅の周りはきれいで好きです。 【女性・31～40 歳】
道路や公園などでよく草がぼうぼうになっているところをよく見ます。なかなかできないなら、ボランティアを募って実施するとか謝礼を渡して市民に実施してもらおうとかしてほしい。そういうところにはごみ、吸殻などが目立ち、この時期蚊などの虫も多い。犬や猫のおしっこフンも目立つ。 【男性・31～40 歳】
開発が進むことによってこの町とも同じということにならないように。 【男性・41～50 歳】
車による騒音、空気汚染についても対策を考えてもらいたい。 【女性・31～40 歳】
たまプラザの開発が進んでいるが、ごみの投棄や騒音などで、閑静な住宅街が台無しになるのではないかと心配。店をあまり夜遅くまで開けない、など対策をとってほしい。 【女性・16～20 歳】
住民等の増加に伴う環境悪化、交通渋滞の混雑、住民間紛争など、これまでの郊外型地域生活の基盤変化に対応できる政策が必要。 【女性・51～60 歳】
今年東京より引っ越して来ました。街が整理されていてとてもきれいです。今は一生この街で暮らすつもりです。一番気に入っていることは人々がとても穏やかな方ばかりです。東京の人とは性格が違う感じがします。生活が（一日の時間）のんびりしているからでしょうか。 【男性・61～70 歳】
川崎市麻生区からこちらへ転居して 8 年。以前は緑が多く住環境、子育て環境どちらも言うことなしでした。しかし、バス便しがなく子育て終了後は最寄り駅の大好きなたまプラザ駅、徒歩圏に居を構え快適な生活を送っていましたが、田園都市線の名にふさわしいあのたまプラザ駅がまるで都心のような味気ない駅になってしまうことがとても残念です。一生住み続けたいと思っていたたまプラザですが、これ以上ビルを建てて空も見えない駅になってしまうのはがっかりです。開発ばかりでなく既存の自然を残すことを考えてください。 【女性・51～60 歳】
緑をなくさないでほしい。 【男性・51～60 歳】
(歩道の露天商について) たまプラザ駅北口側。東急デパート正面前の歩道にいつも果物・野菜等の露天(交番と数メートル)が出ています。数店並ぶこともあり、こうした店はどこで許可を取り、商いをしているのでしょうか?歩道は区の管轄になるのでしょうか?このまま放置して、いわば、いずれ多くの店が並ぶことになり風紀が乱れることになりかねません。いつまでも安心して生活ができる街であってほしいと願っています。 【女性・61～70 歳】

2-3. 自然・緑・河川

鶴見川がもっときれいになれば良いと思います。 【女性・51～60歳】
マンションが増えすぎて貴重な広場や梅林が失われるのは今の時代残念なこと。おかげで通勤時間帯の電車、土日の周辺の道路混雑、人々のつながりは薄れ、ストレスフルな社会になっています。ここに引越してきた数年はホテルももっと多く見られたし、都内勤務から1時間かけて帰宅すると空気にも涼しさを感じられた。今はアスファルトの照り返しがよりいっそう暑く感じられ、かえって都内より暑い気がする。 【女性・41～50歳】
近所の空地で蛙が大量に鳴いております。先日見たら、宅地開発の札が立てられておりました。このままだと皆死ぬのでしょうか、何とかならんものではないでしょうか。 【男性・16～20歳】
鶴見川サイクリングコースの充実。表示板の整合性（終点あたり）。ウォーキング途中に休憩できるベンチやあずま屋があればと思う。 【男性・41～50歳】
緑豊かな林や畑が造成などで木が倒されていくところを見ると悲しくなります。植樹も必要かも知れませんが、現在ある緑を残すように自然をたくさんそのまま残してほしいと思います。 【女性・61～70歳】
生まれ育った田舎。学生生活を（4年間）過ごした千葉県。そして緑の多かった大田区（10年間）と比べて「蚊」が多く閉口しています。5月より11月まで蚊に悩まされています。なんとかならないでしょうか・・・？横浜市に住み続けたくない理由はこれにあります。私が小学生であった頃より緑が減っているのは確かにそうだと思う。建設するにしても、自然を残すように努力してほしい。 【女性・61～70歳】
青葉区に住んであまり長くはないが、緑も多く好いところだと思っています。 【女性・71歳以上】
青葉区は暮らしやすいとても良い街です。たまプラーザ地区の再開発が進んでいますが、周りにショッピングモールなどが増えすぎて、緑が少ない気がします。建物ばかりでなく、公園等の緑の環境を増やしてほしいと思います。 【女性・31～40歳】
河川、池、その他水辺の環境に良さを欠くのではないかな。緑⇄水⇄自然良化に力を注いだらよい!! 【男性・61～70歳】
農地、緑地を守り増やして欲しい。 【女性・41～50歳】
敷地造成が増え、緑地が激減したと感ずるので造成が止められないのなら造成地に緑を増やす努力をしていただきたい。 【女性・31～40歳】
谷本川土手雑草刈をこまめにしてほしい。 【性別無回答・年齢無回答】
河川の整備をもっと進めてほしい。 【女性・16～20歳】
住民地としては住みよいところですが、緑地が年々少なくなり、自然環境が破壊されることが大変残念に思います。 【女性・71歳以上】
緑豊かな環境を守っていききたい。 【女性・41～50歳】
恩田川があまりに汚れており、もっと市or県へ働きかけてほしい。 【女性・71歳以上】
区の名前である「青葉」＝自然を残していつてもらいたいと思いました。 【男性・31～40歳】
川や残っている自然を大切にしてほしい。 【女性・41～50歳】
緑の多かった青葉区も開発が進み、青葉区とは過去の遺物化としている。早期に規制化して緑の保護をするべき。 【男性・61～70歳】
緑化といいながら街路樹、公園の木がよく切られてしまっており、悲しいです。 【女性・51～60歳】
これ以上青葉区の自然を破壊しないでほしい。実際、川でホテルが見られなくなり、かっこの声も聞こえなくなりました。 【女性・16～20歳】
30年前は緑が多く、たぬき等の生き物がたくさん住んでいました。そういった動物達の住む場所がどんどんなくなり哀れに思っています。自然や緑は人間達だけのものではないはず。ある程度の開発は仕方ありません。しかし、これでもかこれでもかというように、どんどん自然がなくなっていくのを見ていくのも空恐ろしくなってきます。ストップさせる勇気を持つべきです。 【女性・51～60歳】
青葉区は少なくとも自然環境に恵まれている方ですから、これ以上自然を壊すような宅地増加等はやはり規制は必要大だと思います。青葉区の名の通り自然環境を中心に考えてほしいと思います。横浜市青葉区の発展繁栄を祈ります。 【女性・31～40歳】
緑が豊かな環境を更に増やして自然を大切にする。青葉区としてすすめてもらいたい。 【男性・51～60歳】
緑を増やす。 【男性・41～50歳】

人と緑が調和する自然を大切に作る街であるように願っています。 東京都内から緑の多い環境の良好な土地に住みたくて移り住んできました。宅地化が進み緑地が減少するのは仕方ない面もありますが、人口減少する社会は明らかなのでこれからは緑地をできるだけ残し、里山を大切に作るまちづくりを目指していきたいと願っています。生き物にとって住みやすい環境はすなわち人間にとっても良い環境となるはずですから、行政サイドも緑地保全のための有効な政策を願っています。 【女性・51～60 歳】
河川水質の監視等について。区内には谷本川（鶴見川）をはじめ、黒須田川、早渕川などあり、河川の担当所轄も、国、県、市と管理範囲が細分化されているようですが、横浜市管理範囲内のこれらの河川に流れ込む水質を監視し、汚水を垂れ流しさせず、更に河川環境の向上を図るべきと考えます。 【男性・61～70 歳】
宅地開発で緑化が減少している。どこかで歯止めを!! 【男性・51～60 歳】
まとまった緑を残しつつも、うまく運用（手入れや管理も含めて有効な利用）する政策を。 【男性・21～30 歳】
今ある緑は、なるべくそのままでお願いします。緑は大事にしたいです。 【女性・41～50 歳】
宅地造成による緑の減少を避けるべきである。 【男性・31～40 歳】
川をきれいにしてほしい。 【女性・31～40 歳】
緑を増やす努力をしてほしい。放置してある農地など（火災用避難地）になっているところを市民に開放してほしい。 【男性・31～40 歳】
緑がどんどん少なくなっていることがさびしい。 【女性・31～40 歳】
宅地ばかりが増えて街に余裕がない。もっと自然を残してほしい。 【女性・41～50 歳】
早渕川について。あざみ野駅～国道 246 号までの間、汚れがひどい。遊歩道も整備された川沿いでもあり、きれいな清水が流れる河川としませんか。また、防犯上からも夜間照明も整備し遊歩道を生かした、いこいの場としませんか。近接する住民の方々の協力を得て、何とか実現されれば、新たなあざみ野のイメージとなることを望みます。 【女性・51～60 歳】
お陰様で快適な日々を過ごしております。街路樹の管理は大変だと思いますが緑を減らさないように大切にしたいと思います。 【女性・61～70 歳】
豊かな緑を行政で積極的に守ってほしい。市街化調整区域の自然破壊など見逃さず、警察等と連携してパトロール等することはできないのか。 【女性・61～70 歳】
青葉区の青葉の名のように緑多い地区であり続けてほしいと思います。近年、マンションなどの乱立で緑がだんだんと失われていくのを実感する毎日です。 【女性・51～60 歳】
宅地開発が進み、ゆったりした周囲でなく緑が少なくなっている。のんびりした生活がこせこせした感じになっている。 【女性・51～60 歳】

2-4. 環境教育について

フリーマーケットを利用する・・・近くにないので不便に思う。市や区が率先してPRしてほしい。 【男性・61～70 歳】
青葉区独自の都市景観条例のようなものを制定し街の景観を厳しく制御する。色彩、高さ、容積など、看板の規制など。 【女性・41～50 歳】
歩きタバコをもっと厳しく取り締まってほしい。 また、バス停で吸殻がたくさん落ちているのを見てとてもマナーが悪いと思う。15周年でグッズを作るなら“STOP路上喫煙”という感じでポケット吸殻入れを配ってほしい。 【女性・16～20 歳】
CO-DO30 など取り組みは良いことだと思いますが、一般の人々がどれほど理解しているのか不明です。 【女性・51～60 歳】
スーパーの袋も有料化にしてマイバックを持って来た人にはポイントサービス等の特典をつける。マイバックを持ってきた人へのポイントサービスは今もあります、その店でしか通用しないので、どこのお店でも使用できるのを作ってもいいかと思います。環境への対策は本当に行動をしないと、大変なことになると思います。 【女性・21～30 歳】
マナー教育を徹底してほしい（犬、たばこ、エンジンをかけたまま駐車等）。 【女性・51～60 歳】
人口が増え、交通量が増え、空気汚染がひどくならないように環境を守ってほしい。 【女性・51～60 歳】

150万本植樹行動（平成21年度）に取り組むということですが、現在道路に植樹された木が大きくなりすぎてまた、公園等もその管理が充分になされているかどうかと感じているので、その点植樹の運動もその点を高齢化により各家庭の樹木が大きくなり過ぎました、その処分もごみ問題にも関連してくると思われませんか？ 【女性・71歳以上】
歩きタバコに規制をかけてほしい。吸いたくもない煙を吸う羽目になって迷惑。しかも、吸殻をその辺に捨てていく人がたくさんいて、とても不愉快です。 【男性・16～20歳】
下記の項目などモラルの無い人がいるので、直接その人に注意をしたくても反発されたことがあるので、どうか役所にて広報や大きな看板を作成してもっとアピールしてほしい。住民同士のトラブルは困ります。 ①野良猫に毎日餌を与えている。 ②生ごみの出し方について、猫・カラスよけの網の上に乗せ、また収集した後に置いていく人がいる。 ③犬の散歩について糞を人の玄関前に置いていく人もいる。 【男性・61～70歳】
タバコのポイ捨てが駅の周辺に多い。また、家の前にも頻繁に捨てられる。他人のタバコをなぜ片付けなければならないのか腹立たしく思う時がある。駅の周辺を掃除する人も大変。ポイ捨てに罰金を科してほしい。 【女性・51～60歳】
公共の場所での完全禁煙実現。 【男性・41～50歳】
藤が丘駅を毎日利用していますが、いつも歩きタバコに嫌な思いをしています。いつになったら青葉区は路上喫煙が禁止になるのでしょうか？ 【女性・21～30歳】
犬のフン公害。 【男性・51～60歳】
特にコンビニエンスストアの周辺でごみのポイ捨て、食べ散らかしが多い（犯罪あるいは犯罪の意識の温床になるのでは？）。 CO-D030のマイナス30%はどこからきた数字なんだろう？30%減らせば自然界のCO2吸収とバランスがとれる排出量になるという根拠があるだろうか？あるならその科学データをわかりやすい形で区民に周知すれば理解されやすいだろう。CO2問題については、緑地面積等自然界とバランスのできる排出CO2量を計算してそれ以上排出しないのが原則だと思う。ただ単に「CO2を減らす」といっても、出血を止める応急処置にしか思えない。具体的には緑を増やす。化石エネルギーは原材料として使うのはよいが、エネルギー資源としての利用は減らす。太陽発電・風力発電・水素電池を普及させる。青葉区にはそんなモデル地区になってほしい。 【男性・41～50歳】
建物内での禁煙が進んでいるからか、公園で喫煙する人が増えている。子ども達も安全に遊ばせられないので何とかしてほしい。吸がらもたくさん落ちており、乳幼児には危険。 【男性・31～40歳】
CO-D030で市役所でも努力しておられるのがよくわかりました。 今の話題の後期高齢者医療保険に夫が入りましたために私自身のことを伺いに行った方は、問題の厳しさと室内の暑さで汗が吹き出しました。役所の方も汗を拭き拭き親切に対応してくださいました。汗で腕が滑らず書類に記入するのに困りました。働いている方も大変だと思いました。暑い日にはここまでしなくともいいのではないかと思います。 【女性・71歳以上】
歩きタバコを禁止していただきたい!! 【女性・21～30歳】
歩行中のタバコの火が危ない。禁煙区域を作してほしい。 【男性・41～50歳】
歩きタバコを条例で禁止してほしい。 【女性・41～50歳】
たばこのポイ捨て。 【男性・71歳以上】
猫の放し飼い（飼主の無責任、時には家の庭あるいは屋根でふんをしていて厳しい指導がほしい）。無責任な野良猫への餌によって暑気はそれが腐ったりし非衛生的である。 【男性・71歳以上】
歩きタバコを罰金制にしてほしい。 【男性・31～40歳】
クーラーをオンにしたまま停車（駐車）し寝ている運転手。歩きタバコ。公園で飲食後の食べ散らかし。公園で深夜の花火等々、夏になり省エネで窓を開けて涼をとる時間が長くなると、いろいろな音や物事が聞こえたり見えたりします。普通の意識レベルでのコンセンサスづくりへの広報活動や住みやすい環境づくりへの努力を求めます。 【男性・51～60歳】
環境問題がいろんなところで話されていますが、今現在CO2の排出しないものを使用したり、物品で買い求めれば高い買い物をする事になり、今の給料では負担が多いのでエコエコというのが現実的にはお金の負担がなければよいのだが負担がない製品を求めざるを得ないのだ。 【男性・21～30歳】
車の排気ガスが異常に悪い。もっと規制を強くしてほしい。 【女性・61～70歳】
歩きタバコが目につきます。とても迷惑です。 【女性・51～60歳】

区境のため、行政から見放されており、布団・自動車・マット・TVその他粗大ごみが不法投棄されることしばしば、目に余るものあり。 【女性・71歳以上】
今、現在近隣での工場騒音や民家でのごみ焼却で迷惑しているが、区で指導できないか。 【男性・41～50歳】
青葉台・たまプラーザなど駅前にはひらけているのに、その奥に行くと不便だし、ぶっそうだし、夜中の若者のバイク集団などで子どもの環境は悪いと思う。 【女性・31～40歳】
犬を飼う人が多くなりましたが、糞の始末が悪く桜の木下にコロコロとそのままにしてあるのは全く許せません。なんとかならないものかしら？桜の木下に草花などを植えて糞をできないようにしましたのに…。 公共施設、電車、レストラン etc たばこの締め出しが実行されて、電車、バス等禁煙から開放されるとプラットホームから出ると、先ずたばこ、道を歩きながらのたばこは特に許せない。風下を歩く身にもなってください。道路の掃除をして先ずすがすがしが目立ちます。落ち葉の季節は特に火の元が危ない。まして下水に放り込むのは、下水の中に引火しやすい物があつたら危ない、危ない。喫煙人口が目立つ昨今です。 【女性・71歳以上】
地域の清掃活動を住民一人ひとりに義務付ける…というか意識づける必要があると思うし、住民の連帯感の希薄さに不安を感じる。 【女性・41～50歳】
歩きタバコの禁止。 【女性・21～30歳】
区政とは関係ないことですが、自宅近くのある会社では早朝 200～300m先までの道路のごみ拾い（一人ひとり別行動で）をされています。大学の寮生も朝 6：30 頃、近所の道路のごみ拾い 5～6 人の集団です。特に前の会社員の方は感心する行動をとられています。 【女性・61～70歳】
区制 15 周年の記念イベントに関しては環境問題等を考えるものとし、イベントで生じるごみなども持ち帰るシステムで行えばよいと思う。 【女性・31～40歳】
温暖化ストップへの取り組み。 食糧不足による自給不足、酪農業への援助。 【女性・31～40歳】
近くのスーパーがなくなってコンビニに変わり不便になりました。「CO-D030」のためにもコンビニばかり増えるのは良いことではないと思います。 【女性・61～70歳】
先日平成 20 年度青葉区区民意識調査を出しましたが、大事なことを書き忘れていました。最近街中を歩きますと『犬』を散歩させている人々のマナーの悪さが非常に目に付きます。『区』で何とか意識（ルール）を持たせて下さい。駄目なら『犬』の飼主に税金をかけることを提案します。『犬』を飼える人は裕福なので…。 【性別無回答・年齢無回答】

2-5. 店舗について

駅から遠い住宅地はスーパー等の生活環境が整っておらず、遠い所までお年寄りも車を運転して買物に行く姿が多い。ショッピングセンターや直通の交通手段を設けたり、電話やインターネットで日用品の買物もできるようになるとありがたいと思います。 【女性・31～40歳】
自宅近くに商店が少ないので不便を感じています。（区政には関係ないのですが） 【女性・71歳以上】
和食屋（高齢の方々が利用できる）が少ないのかなと思います。（高齢者が多い町にしては…） 【女性・31～40歳】
青葉台駅近くのビルの中に風紀がよくない店があり、5時半ごろから黒服が客引きしている（駅で）。行政指導するべきだと思います。駅周辺の環境が悪くなるばかりです。 【女性・51～60歳】
古いビルや風俗店が混在しており駅前の景観を損ねている。 【男性・41～50歳】
もう少し商店街などに力を入れてほしいと思う。コンビニやスーパーに流れていってしまうのは、やはり便利なものもあるけど活気がないからだと思う。せつかくの商店街なのだから、住民のために活用できないともったいない。商店街に活気があれば、自然と街にも活気が出ると思う。 【男性・16～20歳】
青葉区は住みやすく美しい街と感じていますが、大きなマンションがあちこちに建ち（人口が増え）、その割にはスーパーなどが少ないと感じます。 【女性・41～50歳】
干草台にスーパーをつくって下さい！ 【男性・31～40歳】
商業施設の競合店が少ないため、物価が高い印象。小田急沿線まで行き、買い物をした方が、メリットが高いことが多いのでは！ 【男性・41～50歳】

小規模商店の支援、活性化。対話のある買物、商店を介した日常地域コミュニケーションの円滑化。【男性・41～50歳】
藤が丘駅周辺に日用品を扱っている店がなく、困っています。【女性・51～60歳】
ごめんなさい。青葉区政には直接関係ないのですが、青葉区には大型ショッピングセンターが無いので他区に出掛けてしまいます。残念ながら青葉区にはお金を落としていません。商業経済が発展しないと街は活性化しません。青葉インター完成時、周辺に商業施設を期待していましたが、できませんでした。広大な土地活用を上手に使って下さい。【女性・41～50歳】
食料品の充実【女性・41～50歳】
区内に良い商店・商業施設がなく、他所へ買物に行ってしまう。【男性・71歳以上】
青葉台駅周辺に住んでいますが、スーパーマーケットが少ない感じがするので、これから期待したい点があります。【男性・31～40歳】
スーパーが近くにあったらなーと思う。【女性・71歳以上】
東京23区から数年前にこちらに移り住んでおりますが、日常の食料や日用品を買うのにスーパーまで27、8分～30分位歩かなければなりません。なんせ高齢ですので大変ですし、また病気等の場合は食料を買いに行くことが出来ずそのことが一番の悩みの種ですが、まわりは緑が多く小鳥のさえずり等で他方に住むことはもう出来ません。【女性・71歳以上】
青葉台に男性衣類店がほしい。(靴下、下着・・・他)【女性・61～70歳】
パチンコ店を撤去してほしい。青葉区のイメージがだんだん悪くなる。【男性・61～70歳】
青葉区とても住みよい街ですが、物価が高いので他の地域へ買い物へ出ることが多いです。区としてスーパー等の誘致をしてほしい。【男性・21～30歳】
駅周辺に魅力的な商店がないので、車を使つての買物が多くなってしまふので、経済的ではない。【女性・21～30歳】
駅前がパチンコ屋化しないよう。ギャンブル娯楽を奨励しないように。【男性・61～70歳】
スーパーが少ない。【男性・21～30歳】
スーパー。【女性・51～60歳】
あざみ野駅に同じチェーン店のカフェが2つあるので、駅前の方を別のチェーン店のカフェにしてほしいです。また最近文房具屋が減ってきている気がします。少なくともすすき野にはありません。不便なので増やしてほしいです。ご検討よろしく申し上げます。【女性・16～20歳】

2-6. 公園について

青葉区鉄町には子ども達が遊ぶ公園、小さい子ども、お母さん達が集まり仲の良い子育てができる場と思う毎日です。【男性・71歳以上】
公園で犬を遊ばせる人が多い。禁止の看板が設置してあれば、注意しやすいのだが。【男性・71歳以上】
マンション建設に伴い、隣接して提供公園が作られました。しかし、その後の公園のメンテナンスがあまりされておらず遊具も故障や劣化で撤去後は何も設置されていません。(年一度程度、樹木の剪定がされるだけです。)区の管理下と思いますが、ぜひこうした小さな公園も整備して行ってほしいです。【女性・61～70歳】
公園の砂場が汚い(どこの公園も)【男性・41～50歳】
公園の草刈りも早めにしてほしい。【性別無回答・年齢無回答】
以前は街の中にも大きな木がありましたが、少なくなりました。また、土地の細分化も目立ちます。小さい家が多くても、中に緑の多い公園等の空間があれば(子どもが遊べるだけでなく大人もくつろげるような)違うと思います。遊具があるなどでない、広々とした緑に囲まれた素敵な公園があるといいです。ロンドンに行くたびにそう思います。本当はこれが15周年記念に望みたいことです。青葉区の名に恥じない区づくりを、大きなビジョンを持って実施してほしいと思っています。【女性・61～70歳】
近くの畑や空地が宅地化していて、緑が少なくなっており、大変残念です。一部公園などの形で残しておければいいのですが。【男性・51～60歳】
自治会の公園清掃の2～3日後に業者が入るのは無駄ではないですか。公園担当との情報の連携はないのですか。【女性・61～70歳】

小さいながらも公園が多いのは良いが整備（草取り・・・）にもう少し力を入れていただきたい。ただし、(例)青葉台にある桜台公園の池の整備は毎年修理しているがわざわざ予算を使うため？業者に仕事を与えるため？無駄なことを繰り返しているように見える。 【女性・51～60 歳】
私の近所は大変公園が多く、充実しています。このことは青葉区行政の配慮によるものと考え、とても感謝しています。 【男性・31～40 歳】
緑が多く、空気の良い方だと思っておりましたが最近はマンション等、建物の数が増え、空き地がなくなりつつあります。公園が広くありますが、やはり小さい子ども達が安心して親子で遊べるようなスペースは確保してほしい。 【女性・61～70 歳】
公園にもっと小学生が身体を使って遊べるものを工夫して下さい（問題はあります）。 【女性・51～60 歳】
青葉区はスポーツ広場が少ないと聞いたことがある。もっと充実した公共の広場（駐車場完備または、公共の乗り物の便の良いところ）をつくってほしい。 【女性・41～50 歳】
公園について。木々を整備して美しく安全で安らげる公園にしてほしいです。木ばかりの公園は夜危険な感じで近寄れません。街灯も少ないです。おしゃれな公園が青葉区には似合うと思うのですが。 【男性・61～70 歳】
緑地・公園の「改装・改築整備（安全対策含む）」は公平に。区内には多くの緑地・公園があります。利用者数のこともあろうかと考えられますが、毎年の様に改装されているところもあり、地区によっては格差が感じられる。正しい考察ではないと思いますが、地元有力者？の居住する地区公園等の整備は頻繁に実施される傾向にある。一区民としてあまり気持ちの良いものではありません。今後、更に不公平やあまりの偏りを感じた時には、説明を受けたいと考えています。 【男性・61～70 歳】
木を植えることも大事だが芝生を増やすことも大切だと思う。維持に手間がかかることは認識しているがサッカー場で使用しているはげにくい芝生を利用するなどして、芝生の広がる公園を増やしたり小学校や幼稚園の校庭を芝生にしていくことはよいことだと思う。 公園の入口に柵を設置してほしい。ボールが外に転がっていくことを防ぐことができるから。また遊具の周辺の地面をゴムにするなどして転倒してもケガを防ぐ手立てをしてほしい。 (以上の2つは以前4年間住んでいたロンドンの風景や公園の状況を参考にしたもの。) 通学路にミラーをたくさん設置してほしい。子どもは飛び出すことが多いので、角のいたるところになるべくあった方が良くと思う。 【男性・31～40 歳】
公園の遊具を小さな子どもが使用できるものも増やしてほしい。 【男性・31～40 歳】
親が常に一緒にいなくても子ども達が安心して遊べる公園や施設があるといいと思います。 【女性・31～40 歳】
あざみ野地区に大きな公園ができるとうれしい。 【女性・31～40 歳】
子ども達が元気よく遊べる公園を増やしてほしい。 【女性・41～50 歳】
公園（大きい）が少ない。 【男性・21～30 歳】
【公園・道路設備】 ・公園については、区画整備時、数多く作成されたが、維持管理の不備が目立つため、定期的に清掃・伐採を実施してほしい。また、植木を伐採する時、防犯灯・公園灯が外部から見えるようにしてほしい。 ・道路の樹木が高過ぎ、地震等により倒壊した場合、被害は大きくなる恐れがあるため、高さ制限をするか、高くない様な木（落葉樹だけでなく常緑樹）にしてほしい（電気・電話のケーブルがある場合は、ケーブルにかからない高さに、また防犯灯・道路灯がある場合は見える所で伐採願います）。 ・秋から冬にかけての落ち葉除去を徹底してほしい。 【男性・61～70 歳】

2-7. 店舗（郵便）について

商店の前に郵便ポストがあったものが、商店移転とともにポストだけが残り、手続きを移転した商店がしても郵便会社は一向にとりあげないのは困りもの。民営化の名が恥かしい。但しこれは自治体の作業ではありませんが、郵便会社に働きかけてよいはず。 【男性・71 歳以上】
こどもの国駅に郵便局と銀行がほしい。 【女性・31～40 歳】

私が住んでいる近所には郵便ポストがありません。近くても徒歩5～10分（子どもと一緒に）時間がある時は散歩がてらっと思って行っているのですが、早く出したい時はすごく不便です。近くにポストができたらいいのと思っています。区から話をしていただけたら設置に結ぶかなと思い記入させていただきました。 【女性・21～30歳】

2-8. 街のイメージについて

駅近くの美化。スラム化防止。 【男性・51～60歳】

便利で閑静な住宅地としてのイメージを定着させる方向が望ましいと思う。それに相応しい商店街づくり、景観、施設を整備してほしい。 【男性・61～70歳】

横浜市や青葉区の財政上の問題もあると思われるが、現在住んでいる青葉台地区には利便性の魅力は感じるが、町並みや道路は雑然とし、ゆとりが感じられない。今後益々高齢化が進むことを考えると、恩田川河川敷道路の遊歩道化、大規模な緑化公園等の充実を図り、本当に住みたいと思う、魅力ある街づくりをしていただきたい。 【男性・61～70歳】

3. 「ごみ」について

3-1. ごみの収集について

スーパーのレジ袋を一律悪者扱いすることは不適當（ごみ袋に利用している）。ごみ置場はボックス化すべき①ヨーロッパでは、例えばビンについて色別に区分されたボックスがある。投げ込む→割れる→再利用であり、色の区分が必要。②名古屋ではボックス化している。クレーンでつって回収する。カラス等の問題がない。 【男性・41～50歳】

ごみ捨て場には現在ネットが用意されているが、カラスなどは突きまくって内容物を食べることもある。数年かかってもよいから、順次ふた付きの大型ボックスを設置してほしい。 【男性・41～50歳】

ごみ収集トラックが遅い。週2回になり（生ごみ）ただでさえ1回に出す量が増えたのだから早く持って行ってほしい。

書いたところで改善されると期待はしていないがとりあえず思ったことを書きました。そんなこと1つ1つ聞いていたらきりが無いと思っているのでしよう。 【女性・31～40歳】

生ごみ収集日は週3回に戻してほしい（現在2回）。また、プラスチック類収集日は週2回にしてほしい（現在1回）。 【女性・51～60歳】

我が家の横には20軒ほどの家のごみ集積場があります。比較のごみの出し方はきれいだと思いますが、傘や、プラスチックと金属が使われている家電など、分別しにくい物が絶えず置き去りにされています。出された方も2、3日もすれば持っていきだろろうと思われるのか、気が付かないのか、そのままの状態です。町田市などのように、各家のごみは自宅の前に出して収集していただければ、置き去りの物も片付けると思っています。全体で行うのは無理だと思いますが、少しずつでも各家ごとの収集をお願いいたします。 【女性・51～60歳】

ごみの収集に関して、今はプラスチック製の容器包装が大変多く（ほとんどの製品についている）、ごみの収集が週に一日というのは少ないと感じている。また、野菜などについてネットや袋を減らすなどの取り組みをもっと積極的に行ってほしい。燃やすごみの収集も現在は週2日、7・8月のみ3日となっているが、6月9月も週3日にしてほしい。温暖化で暑い日が多く、台所のごみの扱いに困る。 【女性・41～50歳】

個人の問題ですが、築20年の集合住宅の我々のところにはごみの集積場所がマンション内にありません。結果、我が家のベランダは回収日までゴミの袋の山です。以前はベランダで草花を育ててたりとしていましたが、この頃は現実のベランダを眺めるとあまりその気には…。こんなのでユトリないですよね。ユトリのできる行政お願いします。 【男性・51～60歳】

地域の草刈りごみ等はぜひ無料で一括収集してほしいです。 【女性・61～70歳】

ごみの収集日の徹底および指導（収集車は全てのごみを収集すべきである）。

粗大ごみのポイ捨て防止およびごみの撤去。 【男性・51～60歳】

ごみの回収は町田市のような各戸収集にしてほしい。当番は負担です。 【女性・71歳以上】

<p>家庭ごみの収集について要望します。私の家では周辺の家の家庭ごみの収集場となっておりますが、公共心のない住民や一般人が多く、不潔なごみや申し合わせに反するごみ類を不法に捨てていき、ごみの分別や投棄の日時も守らぬことが多い。誠に迷惑しています。私は家庭ごみについては、個々の家の門の脇などそのごみを出す人の家の前にそれぞれ個人で出すこととし、それを収集車で持っていく制度に改めてほしいと思います。30年以上、近所の人のために思い家庭ごみの収集場として面倒みてきましたが、公共心が乏しく公德心の欠けてる人があまりに多いため大変苦勞しています。どうか私のところだけが迷惑するのをやめ、個別の家庭ごみ収集制度に改めてください。 【男性・71歳以上】</p>
<p>近所に迷惑千万なごみ出しをする人達があります。ごみ出しがまったくめちゃくちゃで回収後や夜間、木曜日など日時を問わずごみを捨て、それに野良猫やカラスがつつき散らしてごみが道路上に散乱し甚だしく不潔な状態になっています。近隣の者にとっては全く迷惑です。お手数ですが、どうか清掃局の方でよろしく対処してください。 【女性・71歳以上】</p>
<p>ごみの収集回数も、現在は月から土までほとんど毎日というのも、前に比べて無駄のように思うし、しっかり検討をお願いしたい（区の仕事ではないかもしれないが）。ごみ置場の件でも汚れたところが多い。歩道や道路にごみが散乱し、通るのも憚れるところが増えた。収集場所、管理等、少人数にするとか目立たない場所にするとか考えていただきたい。住民同士では言い出しにくい。 【女性・51～60歳】</p>
<p>緑が多くとてもキレイな街なのに、ごみ捨て場の汚さには本当に困っています。ごみを出す人のマナーの悪さの他、カラスが荒らすなど道全体にゴミが広がり、見るたびに嫌になります。横浜市でゴミの取り残しや指導・罰則が始まっていますが、リサイクル、マナー意識の向上を図る前に、ごみ捨て場の設備を整えてほしいと思います。ごみ袋をあさるより、よっぽどキレイな街になると思いますが。みんなが努力する必要がありますが、最近のやり方には住民として気持ちよく賛成できません。本当に嫌な気分です。設備ややり方を改善して、キレイな青葉区になることを願っています。 【男性・31～40歳】</p>
<p>集合住宅、店舗の方のごみ出しマナーが悪い。 カラスが増えている。対策（ごみの当番やごみ箱の工夫 etc）を考えて堅く実行してください。 【女性・51～60歳】</p>
<p>生ごみの収集は6月～9月まで週3回にしてほしいです。6月は湿度が高く、9月は残暑が厳しいため、悪臭が出てしまいます。ご検討のほど、どうぞよろしくお願い致します。 【女性・41～50歳】</p>
<p>家庭ごみの収集を週3回に戻すと共に収集時間を早くする（午後3時まで残っていることがある）。 【男性・31～40歳】</p>
<p>ごみの収集について 1. 有料化するべき（指定ごみ袋有料（これだけでごみの量は減る）） 2. 個別収集すべき（費用は上記でまかなえる） 現状 1. 行政はかけ声だけで何もしていない。 2. 分別不良のごみは置いておかれるが、集積所直近の住民の犠牲において清掃されている。（行政も不心得者も知らぬ顔。） 3. ごみを検査して無分別者に罪金を課すというが、不心得者を正確に把握することは不可能だ。善良な市民が嫌疑をかけられ不愉快な思いをすることが目に見えている 4. 今のままで善良な市民に負担をかけるだけなら現市長や議員には投票しない。 【男性・71歳以上】</p>
<p>【ごみ収集について】 收拾時間がまちまちなので遅い時には他人のプライバシーを探る人がいる（他人のゴミ袋内を開ける等）。早めに収集をしてほしい。 【女性・41～50歳】</p>
<p>ごみの分別では相当厳しくやられているので、大分意識的にも住民に浸透してきたと思いますが、例えば生ごみや紙類の収集は週2回、ビニールパックなどの収集が週1回ですが、現在はビニール類が非常に多く排出されるのでビニール類の収集を週2回にしてほしいと思いますが。行政も色々大変だとは思いますが、区民のために頑張してほしいと思います。 【男性・51～60歳】</p>
<p>ごみの回収ですが、プラスチックの回収日に雨が降ったら次回にするとか大変だと思いますが、濡れているのを回収しても再生できないごみになると思う。もっとお互いに協力できるようにしてほしい。ごみ回収のところに今日は〇〇のごみの日ですと書いてあるところがあった。良い案だと思いました。 【女性・51～60歳】</p>
<p>ごみ収集ですが、プラスチックごみの回収を週1回から2回にさせていただくと、足の踏み場がない我が家にはとても助かります。 【女性・31～40歳】</p>

空地（うち捨てられた林のようになっている）がカラスのお宿になり、これが原因で近隣のごみ捨て場が荒らされやすいし、非常に低い位置にカラスが羽を休めるので普通に通行するのに不安を覚えるし衛生上周囲が汚くされる。こういったことは区政で何とかできるのか、また要望として出してよいのか。考え考え書いていますが、このようなことを知りたいのですか？それなら、これらの要望はどのように反映されるのかそれを知りたいです。ごみの出し方をわきまえない人が自分の住んでいるところでなくわざわざごみを捨てに来るのをやめさせられるのか…。【女性・31～40歳】
区政というカテゴリーに入るかはわかりませんが、可燃ごみの収集回数を以前に戻していただきたいです。夏期の3回／週は助かりますが、それ以外の月の現況では不足です。現況で行うのがやむを得ないのであれば収集日の間隔を配慮していただきたいです。現在月金ですが、月曜から金曜までと、金曜から月曜まででは間隔に差があり過ぎないでしょうか。せめて火金などだとありがたいと思います。【女性・31～40歳】
家庭内ごみの集積所へのボックス化など集積機の導入。【男性・41～50歳】
子ども達も独立し、主人との二人暮らしなので（二人で自営業、東京での仕事です。青葉区には結婚以来住んでいます。）現在、一番の関心事はごみです。夏には週3回の生ごみ収集にしてくださったり、時々持参する市ヶ尾のセンターの職員さんの対応もよくだいたい満足しています。ただ、紙ごみとプラ容器がたまってしまうのももう少し回収日が増えたらうれしいです。【女性・51～60歳】
プラスチック収集が週1回は少な過ぎる。週2回にしてほしい。【女性・71歳以上】
ごみ収集者の回収時間が一定していない。街中が不潔。【男性・61～70歳】
ごみの収集場所、回数、別について。 1. ごみ箱の均一化（取り付け可能な箇所のみでも）等々を検討し景観をよくすること。美化に努めてほしい。 2. 家庭ごみを夏期間7、8月だけでなく、一年中週3回に戻してほしい。 3. 分別しにくい傘、電球等を一括して捨てられる収集場所を設置してほしい。分別できない家庭でもごみとして出せるような配慮があっても良いと思うが…。【女性・51～60歳】
ここ数年、カラスによるごみ置き場等への被害が増えているので区をあげてカラス対策に取り組んでほしい。年々被害が増しているので早急な対策を望みます。【男性・31～40歳】
生ごみの日を増やしてほしい。【女性・21～30歳】
ごみ収集者の皆さんが感じよいです。【女性・41～50歳】
ごみの収集日をもっと増やしてほしい。【女性・31～40歳】
大型ごみの収集簡易化、日程を決めて収集日を決めてほしい。それならば、出そうという気持ちをつくりやすい。【男性・51～60歳】

3-2. ごみの収集について

生ごみをたい肥化してリサイクルを行う…是非補助金を出してほしい。【男性・61～70歳】
ごみのリサイクル、減量化が始まって以来協力しているが、どれだけの成果があり、費用はどのくらいかかっているのか区民に知らせる必要があると思われる。【女性・61～70歳】
ごみの分別をもう少し徹底的にやるべきだと思います。分別をしないでごみを出している家庭も多くみられます。この際、ごみ袋の有料化をしてもいいのではないのでしょうか？有料化にすればごみを減らす努力をします。【女性・21～30歳】
ごみあさりは女性としてプライバシーの侵害でやってほしくありません。それより自治会員ごとに会合を一度開き、間違いやすい「その他の紙類」「プラスチック容器包装」例外の紙類を具体例で説明してほしいと思います。特に、男性、子ども、老人は理解困難なので市役所の広報活動の必要性を感じます。我が家では「えー、こんなんも紙なんか！！？」といつも怒鳴られ、家庭内ではごみのためにギスギスしています。【女性・41～50歳】
ごみの搬出の件ですが、数年前までは分別しなくてもよかったと思うのですがここ2～3年ほど前から分別になりました。 まじめに分別をやっていますが、行政の都合で回収の充実ができていないと思います。【男性・51～60歳】
ごみの分別収集については、分別して手間をかけ（水を使って洗ったり、ごみ出しの日まで家に保管したり）ても、本当のリサイクルになっているのか、コストがかかっても環境を考えて分別しないといけないのか。【女性・51～60歳】

千葉県に4年間住んでいたのですが横浜に帰ってきたら、ごみの分別・出し方が千葉県に比べ、判り難く混乱をしがちです。直感的に判る分別。すなわち、捨て易さ、分別し易さがまず必要だと考えます。横浜市資源循環局がつくった保存版「ごみと資源物の分け方・出し方」の一覧表を毎回見ながらごみを出していますが、ごみの出し方全体のグランドデザインがちょっとという感じがします。「分別ルールを守らない人は・・・」を考える前に、「誰にでも（高齢者にも判り易いゴミ分別表をぜひ検討してほしい。 【男性・51～60歳】
ごみ区分が細かすぎる。全てのゴミを毎回回収すべし。 【男性・51～60歳】
ごみの分別についての現状についてと、マスコミ報道について。今後、分別が厳しくなるとマスコミで聞きますが、パッケージ類の多様化により年配者の方には難しいのではと危惧しています。ごみの所有者を特定し罰金を科すとのことですが、ひとり暮らしの年配者への再検討をお願いしたい。又、リサイクル（特にプラ）には業者に対し、不信感があります。確実にリサイクルされているのでしょうか。一部マスコミで不正に海外に投棄される等の報道がありますが？ 【男性・無回答】
ごみ量を減らすだけでなく、小さくまとめて出すようにもっとアピールすると運搬コストがさらに下げられると思う。ポリゴミ、ペットボトルは特に。 【女性・51～60歳】
ごみの分別が細かくなりましたが、結局は一緒に燃やしていると聞いたことがあります。リサイクルできる物はするという個人の努力はもちろん必要だと思いますが、あんなに細かく分類する必要は本当にあるのでしょうか？出し間違えや分別していないゴミが回収されずに道に放置されているのは見た目も悪くカラスにやられるのでどうにかしてほしいです。 【女性・21～30歳】
ごみの分別ができていない人が多いのか、いつまでもごみが収集されずカラスがごみをあらすなど美化が保たれていません。ごみを入れておくボックスなどの設置はできないようで、今はブルーのネットをかけておく形になっていますが、分別されていないごみはいつまでも残っています。何か良い方法があったらぜひお願いします。 【女性・21～30歳】
ごみの分別についてですが、ルールを守らない人が多いのはわかりますが、袋の中身を見られるのはいやです。明らかに混入しているのがわかる以外中まで見る必要がないのではないかと思います。紙の日、プラの日を増やしていただきたいです。 【女性・21～30歳】
外国人、自治会未加入者等に対する『分別ごみ出し（G30）』への責任所在。一時期より少なくなったかに見受けられる外国人等、マンション、アパート居住者等が「分別無視」のごみを、通勤・通学路沿えのごみ収集場所に捨てるのを見かける。彼ら『分別ごみ出し（G30）』を理解させる責任所在がはっきりしていないように思われる。一義的責任はマンション、アパート等の所有者、管理者にあると思いますが、斡旋業者にもあると考えます。分別違反者には過料を課すようになった以上、行政ご担当者も対策が必要です。特に出入りの激しい外国人に対する協力説明の所在を明らかにすべきと思います。 【男性・61～70歳】
自分達が一生懸命分別してごみ置き場をきれいにしているのに不法に持参（車の人）する人がいて、困っています。こういうのに限って分別されてないんです。これも回収して罰則を作ってください、現場の方のご苦勞を思います。やはり小さいうちからのごみ教育が必要かと思います。 【女性・51～60歳】
駅構内に分別のごみ回収ボックスを設置してほしい。都内の駅ではよく分別ごみボックスを見かけるが青葉区では見かけない。 【女性・21～30歳】
ごみの分別が変わったり、分煙（県の方針だが）などの取り組みがあったり、いろいろどうすればいいのか分からなくなることがある。できるだけ施行された後の方向転換はしないでほしい。汚くてもいいので再生紙を活用してほしい。 【女性・31～40歳】
ごみの分別が強化されているが5年ごとなどごみの分類のパンフレット（以前発行されたもの）のようなパンフレットがほしい。役立っているのが新規に分類されているものがあれば最新号を出してほしい。 【女性・31～40歳】
庭の樹木ゴミなど、公園でたい肥化したらよいと思う。家庭の生ごみも、区でたい肥化するよい方法はないだろうか。 【女性・51～60歳】
プラごみの分別は本当に必要なのでしょうか？ダイオキシンの出ない処理場を作って可燃ごみとして処分した方がいいと思います。お年寄りには細かい分別は大変だと思います。 【女性・41～50歳】
早く世田谷区みたいにごみの分別をなくしてください。 【女性・16～20歳】

4. 「教育・文化」について

4-1. 施設について

高齢者や障害者が安らげる公共施設を増やすべし。 【男性・61～70歳】
臨海地区の各地区に比べ、公共・文化が少なく、市民として不公平である。 【男性・71歳以上】
スポーツセンターが夜の23時くらいまで開館しているのは感謝しています。室内プールがあるといいのですが。 【女性・31～40歳】
コミュニティハウスの運営をもっと推進してほしい。 【女性・61～70歳】
農地の宅地化ストップ。老人施設が急激に増えており、高齢化を促進している。 【男性・41～50歳】
子ども達が少なくなっている地域では、小・中学校を統合して残った建物を老人の施設などに利用してはどうかと思います。 【女性・51～60歳】
プールの新設。 【男性・51～60歳】
私は60代の女性です。2年前よりスポーツ、ダンスを始めましたが、練習したいのですがするところがありません。近くにコミュニティハウスがあります、あまり使用していない様子です。スポーツ、ダンスは靴を履くので床が痛むからと貸していただけません。床を傷めないように保守するのですが、いい施設があるのに使えない、会議などよりは床が悪くなると思いますが、使わないできれいな、使って傷がつく、使えば傷や汚れは当然でしょう。使えないのなら作ってくださらない方がましです。使用できるようにしてください。 【女性・61～70歳】
一部の人のみが利用する無駄な公共施設が多い。 【男性・51～60歳】
子どもは野球好きで公園や学校などで野球をして遊びたいけど、公園などは近所のことや危ないせいのかのびのびできる場所がないので、思いっきり遊べる場所があるといいのにといつも話しています。チームに入ってするしかないのしょうね。 【女性・31～40歳】
図書館、スポーツができる体育館を増やしてほしいです。 【女性・21～30歳】
プールをつくってほしい。 【女性・61～70歳】
働く主婦が長時間子どもを預けられる保育園をもっと充実させてください。 【女性・31～40歳】
個人的にサッカーをやるのでフットサル場、サッカー場などの公共施設を充実してほしい。 【男性・16～20歳】
児童館、区民が利用できるスポーツ施設などもない。 【女性・41～50歳】
児童館をつくってください。 【男性・31～40歳】
料金が手頃でナイター設備のついたテニスコートを増やしてほしい。 【男性・16～20歳】
地区センターを使用する人はほとんど年金暮らしの人が(90%)多い。バスで行くのはバス代が往復420円かかる。どうしても自動車で行くことになる。駐車する場所がないため、いつ行ってももめている。特に奈良地区センターはハズレにあり町田に近いので町田の人が多くわれわれ青葉区民は何日も放り出される。町田の人が来るなどと言わないがもう少し駐車場をなんとかしてほしい。老人は足、腰が弱く荷物も重いのでつい自動車を使いたくなる。もっと公共の料金が安いといいが。 【女性・61～70歳】
小さな子ども連れの方が多いと思うので、児童館など充実してほしい。 【女性・31～40歳】
児童館の開設。 【男性・31～40歳】
図書館とかスポーツの出来る場所がないのが(自分の住んでいる所)残念です。 【女性・61～70歳】
青葉台駅周辺にスポーツ施設があると良いと思います。 【女性・31～40歳】
「ららぽーと」などの巨大施設がほしい。 【男性・16～20歳】
地域の人々が参加できるスポーツ・アメニティーを創る。多くの野球場やサッカー場があるが、使用している施設の絶対数は少なく活性することが可能であり、そこに老人や子どもなどが楽しく過ごせる環境を提供すべきである。 【男性・41～50歳】
運動場がほしい。
プールがほしい。 【男性・71歳以上】
青葉台に小さな映画館があるとうれしい。(名画座) 【女性・61～70歳】
幼稚(保育)園・児童館・図書館・体育館・老人施設等が一体となった施設の整備を。(3世代交流の促進が可能、何よりも市の財源不足に貢献できる) 【男性・61～70歳】
とにかく児童館の設立をしてほしい。 【男性・31～40歳】

老人と子どもが同じ建物の中に同共できる施設を考えてはいかがでしょう。子ども好きな老人が子どもと遊び暮らしの事を教えるのもよいと考えます。 【女性・61～70 歳】
安い料金で利用できるテニスコートをもっと作ってほしいです。 【男性・21～30 歳】
立派な施設はなくてもよい。 【女性・41～50 歳】
社会人の音楽サークルに所属していますが、練習できる施設が大変少ないです。ホールを作ったり、そこに演奏会を誘致するだけでなく、市民の参加できる会場の拡充を望みます。 【女性・31～40 歳】
スポーツセンターにプールがない。 【女性・51～60 歳】
この7月より現職を離れましたので、地区センターを利用しています。スポーツ施設の利用もこれから考えています。 【無回答・71 歳以上】
あざみ野フォーラムがもっと駅に近いと年寄りでも利用しやすいですね。 【男性・71 歳以上】
我が家は横浜市の手元に位置していますので市の施設が遠くて不便です。川崎市が近いので（麻生区）川崎市の施設も川崎市民並に使用できるようになればよいと思います。（ヨネッティー王禅寺）など 【女性・61～70 歳】
スポーツセンター（ジム）のさらなる充実を望む。（コナミに業務委託） 【男性・61～70 歳】
40 数億円をかけた威容を誇るアートフォーラムあざみ野と対照的な山内地区センターには、いまもって和式のトイレのみがあって、一部陶器の部分が壊れたままです。 【女性・51～60 歳】
総合運動施設の充実。陸上競技場、テニスコート他。 【男性・51～60 歳】
ハコモノではなく、住民の役に立つ企画を充実させるように努力してほしい。地区センターで開いていた「健康体操」などはとても良い。希望者が全員参加できるようにするとよりよいのではと思います。太極拳なども継続してやりたいです。 【男性・61～70 歳】
雨天でも遊べる児童館がない（OR少ない）と思います。 【男性・31～40 歳】
たまプラーザ地区センターを作してほしい。 たまプラーザ団地の建替えを後押しし、有効活用してほしい。 【女性・51～60 歳】

4-2. 文化（図書館）について

受験生が学習できるように図書館を変えてほしい。 【男性・41～50 歳】
山内図書館が、横浜の方にある大きな図書館のように書籍が充実している嬉しいです。 【女性・31～40 歳】
青葉区はあざみ野しか図書館らしいものがなく、非常に文化度が低いと思います。まともな図書館を作ってください!!! 地区センターに本を置くのではなく、充実した冊数を確保した図書館を作る必要があると思います。あざみ野の図書館に行っても所蔵本少なく借りたい本が見つかりません。 【女性・51～60 歳】
図書館がほしいです。 【女性・51～60 歳】
図書館の充実→現在の倍の蔵書、広さ、駐車場の確保。 【男性・51～60 歳】
図書館の駐車場が乏しい。 【女性・51～60 歳】
大きな図書館を建ててほしい。 【男性・31～40 歳】
図書館の充実を・・・横浜市全体の問題でもありますが、区内の図書館（山内など）は人口の規模を考えると、その施設の広さ・数・蔵書数いずれをとってもあまりにお粗末で、「使えない」図書館となっています。図書館施設、蔵書の拡充を検討してほしいです。 【男性・31～40 歳】
奈良方面あたりにも図書館をつくってください。 【女性・61～70 歳】
青葉台の図書館（コミュニティハウス）は、子どもを降ろすスペースもない! 【女性・31～40 歳】
図書館、児童館を充実させてほしい。数を増やし、区民が気軽に利用することにより図書館児童館が地域の人達の集合場所になると良いと思う。わざわざ「なんとかサークル」とかを作るよりも図書館から区の情報を発信したり、区民の意見を聞く場になるとよい。 【女性・41～50 歳】
今年3月に世田谷区から転居して来ましたが区のおちこちに施設がないと“細やかなサービス”なんていえないと思う。図書館は世田谷に比べるとびっくりするくらい図書館（分館）が少ない。返却ポストだけ駅にあったって借りる窓口少ないのに意味ないし。（とりあえず対応しているフリにしか思えない） 【女性・31～40 歳】
図書館の数、内容が他地域と比べて低いので増やしてほしい。 【男性・41～50 歳】
図書館をつくってください。 【男性・31～40 歳】
奈良町周辺に充実した図書館の設置を強く希望します。 【男性・31～40 歳】

図書館がほしい。 青葉台には図書館もないし、地区センターで借りられるとはいってもやはり実際の図書館がないというの はかなしい。 【女性・41～50歳】
青葉区内に市立図書館が1つもないのはあまりにも遅れている。 【男性・41～50歳】
蔵書の多い図書館を設置してほしい。 【男性・41～50歳】
市民図書をよく利用しますが、知らない人が多いのもっとピーアールした方が良いと思う。このところ 新刊が少なくなってしまったのが残念。 【女性・51～60歳】
1つ要望がございます。横浜市は1区1館制として図書館を設置しているようですが、それではあまりにも 少なすぎのような気がします。青葉区に移り住む前は東京都品川区に住んでいました。品川区には10館 の図書館が設置されており、子どもの頃、学生の頃はよく調べもののために通いました。大人になってか らも、CDやビデオを鑑賞させていただくなど、頻繁に利用しておりました。子の親になった今、そのあ りがたみがよくわかり、また図書館の充実という観点からはさみしい状況の青葉区に疑問を感じずにはい られません。横浜市全体の問題とは思いますが、今後の課題としてご提案させていただきました。 【男 性・31～40歳】
図書館の更なる充実。 【女性・31～40歳】
図書館をもっと充実させてほしい。情報化社会に応じてインターネットを利用できる環境を整えることや 気軽に相談できるレファレンスカウンターなどをつくってもらいたい。 【女性・21～30歳】
図書館が小さすぎる（山内）。土日の閉館が早すぎ。勉強机が少なすぎ。とにかく座る場所もない時など あり、利用しやすいとは言えない。 【男性・21～30歳】
図書館など遠くて利用しにくい。 【女性・51～60歳】
この7月より現職を離れましたので、図書館などを利用しています。 【無回答・71歳以上】
「山内図書館」という名称、青葉区に住み始めた当初は、市立図書館とは思いませんでした。「山内」と いう地名はなくなっており、新しい住民には非常にわかりづらいです。同様に「赤田」や「保木」など地 名がなくなったのに交差点名や公園名、バス停などに名前が残っているのも混乱の元です。山内図書館は 「あざみ野図書館」の方が誰にでもわかりやすいのでは。「山内」と聞いてあざみ野駅周辺とわかる人は 少数派だと思います。 【男性・41～50歳】
大規模な図書館（中央図書館並みの）がほしい。 【男性・41～50歳】
図書館の充実。 【男性・51～60歳】

4-3. 教育全般について

学童保育の充実および充分な補助。 【男性・41～50歳】
教育の向上に期待しています。 【男性・71歳以上】
公立の保育園の充実と中学校の給食の実施を希望します。 【女性・21～30歳】
青葉区はお年寄りや乳幼児には住みやすい町のように感じますが、学生・社会人にとってはどうなのかと 考えるようになってきました。教育面の充実をよろしく願いいたします。 【女性・41～50歳】
子ども2人が小学生です。青葉区は中学受験が多いそうです。小学生が夜遅くまで塾通いし、外で遊ぶ子 どもが少ないのが気になります。杉並区の中学校のように、公立中学が魅力的な学校になるようにしてい ただきたいです。 【女性・31～40歳】
格差社会について気になります。貧乏な家の子ども、十分な教育を受けられる制度を作っていただきたい です。 【女性・31～40歳】
教育水準の維持向上（通学が遠くならざるを得ないと転居が増え、若い世代が減少） 【女性・41～50歳】
不登校の子どもを持って大変苦しんでいる人は意外と多い。区がそういう場所を作るのもいいが、それよ りそういう活動をしている団体への援助を積極的に行ってほしい。 【女性・51～60歳】
私には現在2歳になる子どもがおります。1年半くらい前に働こうと思い、少し就職活動をしました。面 接の時、会社の人からは「保育園は？」と聞かれました。会社側は「保育園を決めてからこちらへ来てほ しい」、青葉区側（保育園）は「就職先を決めてから保育園に入れます」と言われました。有職者ですら 待機させられているのに就職活動中（合格するかもわからない）の私の子どもが保育園にすぐ入れるわけ がありません。結局どっちつかずになってしまいます。どちらにいても「あちらが先」と言われ、なん とかならないものかと思いました。 【女性・31～40歳】

学校における道徳教育が大事。 【男性・61～70 歳】
土曜日の学校での授業は午前中だけであってももしかるべき、学業の遅れや勉強の習慣など授業時間を増やし前向きに子どもと向き合うべきと思っています。算数の授業を屋上で教えるなど言語道断、注意力が散漫となるのではと思います。 教師は大卒後すぐ教員になるのではなく、2年程一般の会社などで社会生活を経験したのち各学校へ就職すべきでは。又は、ボランティア、医療施設などでの研修を積み、命の尊さを現実のものとして子どもたちの育成の材料になるといつも思います。公立と私立の教師の質の違いを痛感します。公立に就職1年目は、私立で研修するなどの方法はできないのでしょうか? 【女性・51～60 歳】
子ども達が健やかに成長するために家庭教育が第一だが、最近の親は「自立した子どもを育てる」「公共のマナーを教える」という精神に欠け、親自身が自己中心。これが秋葉原の通り魔の犯人のような人間を生む原因。 【女性・71 歳以上】
公立の幼稚園。 【男性・41～50 歳】
保育園をもっと増やしてほしい。 保育料を滞納したりする家庭に対して退園など厳しい処置をお願いしたい。本当に生活が苦しくて払えないのなら仕方ないと思うが、意識の低さから給食費や保育料を滞納するのは困る。相当な額の住民税を払っているうえに高い保育料を負担するのだから優先して入園させてもらいたい。 共働きの家庭をもっと支援するような制度を作してほしい。 【女性・31～40 歳】
美しが丘西に幼稚園がなく不便を感じる(元石川も) 【男性・31～40 歳】
近隣中学校、高校の生徒に対するマナー教育の指導を徹底化 【男性・41～50 歳】
保育園をたくさん作ってほしい。子どもがいる人が働きやすいような環境を作ってほしい(例えば内職などを紹介するとか...)。幼稚園は私立しかないので、補助金をもっと増やしてほしい。 【女性・31～40 歳】
子育て中の親を教育した方が良くと思う。親は子どもを見ないで遊びすぎだと思う。携帯いじったり、ランチしたりしすぎ。 【女性・41～50 歳】
現在マンションに住んでいるが、親も子どもも驚く程あいさつをしない。こちらからしても無視される。東京に住んでいた時と比べると考えられない。親のモラルの教育をしたらどうか? 【女性・21～30 歳】
多種多様な企業活動を小・中・高校生に対し公開し夏休み等に活動に参画させることが出来れば素晴らしい、 以上のようにこれからの青葉区を支える若者の育成にも充実した施策がほしい。 【男性・41～50 歳】

4-4. 教育(小学校)について

もえぎ野小学校では「はまっこ」の活動におやつを出す試行がされているようですが、他小学校にも広がるといいなあと思っています。 【女性・31～40 歳】
小学校の人員不足を感じます。教師の増員が厳しいのなら支援員や学生(教師、心理士等を目指す)サポーターetc 登録制で子ども達に関わっている人員を増やしてほしいです。 【女性・41～50 歳】
年々小学生が増えて毎朝300人くらいが我が家の前を田奈へ通学している。なんとかならないでしょうか。 【男性・71 歳以上】
子どもの小学校入学に際して記念の苗木配布がありましたが配布期間が土日の2日間しかなかったため、受け取りに行けませんでした。せっかくの記念なので、少なくとも平日1日は受け取り期間に入れてほしかったです。 【男性・41～50 歳】
あかね台に住んでいます(田奈)。小学校まで遠いのでスクールバスがあると子ども達が安全に安心して通学できると思います。バス代を払ってかまいません。子どもの毎日のことなのでよろしくお願いします。 【女性・31～40 歳】
美しが丘地区に小学校をつくってほしい。現在近所に住んでいながら、それぞれバラバラの小学校に通っている状態なので、まとまりに欠けていると思う。 【女性・無回答】
小学校夏期の冷房を考えてほしい。教室内の温度は非常に高く、授業を聞く環境にはないと思う。1クラス40名の子どもが狭い教室にいる室内温度など調査して、最低限のレベルで室温を下げるようにしてほしい。 【女性・41～50 歳】
学童で、子どもの人数に合わせた指導員の人数比を上げてほしい。 【男性・41～50 歳】

美しが丘西3丁目に小学校が残ってくれるとうれしい。 【女性・21～30歳】
小学校もプレハブ対応や運動場が狭くなるなど弊害が起きている。 【女性・41～50歳】

4-5. 文化（イベント）について

お祭りが少ないので年に2回位、区役所近辺で出店が出るくらい大きなお祭りをしてほしいです。区役所前の道路～鉄町辺りはお祭りをするにはもってこいの道路のような気がします。区内の人が歴史（思い出）に残るお祭りを考えてみては？ 【女性・31～40歳】
青葉区民まつりの宣伝をもっと多くしてほしい。 【女性・16～20歳】
区民みんなで参加できる大きなイベントをしてほしい。 【男性・21～30歳】
青葉区よりも横浜市の方が大きすぎてよくわかりません。私は青年会議所のお手伝いで横浜市に関わるイベントに参加させていただくことが時々あるのですが、「青葉区民で町おこしのために皆で何かをする」というのを見たことがないのでそういったものがあれば地域で年齢、職業の壁を越えて人との関わりが増えいいところになると思います。例えば、街中知り合いなら悪さもできないし、皆がエコを心掛けていればたった一人だけやらないという勇気は日本人にはありません。なのでもっとイベントとかやってターゲットに合わせて進行係も若い人にしたり、ご年配の方にしたりとかした方が良いと思います。いつも同じメンバー、古い考えの人々では改革は起きません。…と感じたことをつらつら書きましたが良くなるとよいですね。 【女性・21～30歳】
来年開港150周年、青葉区政15周年おめでとうございます。いろんなイベントを楽しみにさせていただいております。どうぞよろしく願いいたします。 【女性・21～30歳】
青葉区内、町ごとのイベント（祭りのような）をひと月ごとに分けて開催したら、お互いの町への関心と認知度が高くなると思います。（今は、おそらく夏祭りくらいが町ごとのイベントですかね？） 【女性・21～30歳】
お金のかかる行事はなくてもよい。 【女性・41～50歳】
お仕事ご苦労様です。最近、笑うことが少なくなったような気がしますませんか？先日家族で動物園に行っただのですが、小動物と触れ合っている子どもと主人を見て微笑ましく、エサをとりあうウサギに新しくエサをあげて仲裁したり、ウサギが鳴いたと言って笑う子ども達に周囲の大人達も和やかな雰囲気でした。笑うことは心が落ち着き、ゆとりが生まれ、自分を含め周囲の方々や自然環境へも優しく出来るキッカケになると思います。15周年のイベントに動物と触れ合う会というのはいかがでしょう？動物アレルギーやご年配の方々には、鉢植えの購入や花などの鑑賞コーナーを設け、幅広い世代の人達が同じ空間にいて何か生まれませんか？時折、クイズ形式で青葉区民にアピールしたいことを簡単な問題にして、正解者にジャンケン勝負をしてもらい、花の苗をプレゼントするとか。負けた人と勝った人と交互にしたら平等だし、思いやりの心も育まれるような気がします。もちろん衛生面や場所など、問題が多いと思いますが、未来の青葉のため、日本のためにはならないでしょうか…。 【女性・31～40歳】
ミニコンサートや歴史を訪ねるなどの文化的催しも歓迎です。 【男性・61～70歳】

4-6. 文化全般について

会社等に勤務していた人にも利用（参加）できるコミュニティ、習い事など行事を増やし情報を流していただきたい。 【女性・51～60歳】
文化の向上に期待しています。 【男性・71歳以上】
リタイアした方へのNextStep支援。掲示板でのネットワークサポート「おやじバンド募集」とか。 【男性・41～50歳】
文化・芸術面での活性化、支援を。川崎や都筑は音楽活動を支援しているように。（例）気楽に安く利用できるホールや練習場所。 【男性・41～50歳】
芸術・文化活動の充実（eg、青葉台フィリアホールの内容充実） 【女性・41～50歳】
青葉区の文化と言われてもピンとこないです。これからの年月によると思います。 【男性・41～50歳】
芸術面の活動の場の活性化。アートフォーラムあざみ野などございますが、規制が多すぎるなどと思います。もっとフリーに利用したいです。 【男性・51～60歳】

4-7. 教育（中学校）について

中学校の設備が悪く遠方にあるため、他区や都内へ（私立へのいわゆるお受験）進学を考えなければならない状態です。 【女性・41～50 歳】
市立あざみ野中学校の生徒数の多さに比べ、市立すすき野中学校の生徒数が圧倒的に少ないので、調和の取れた学区割が望ましい。 【女性・41～50 歳】

5. 「福祉・健康問題」について

5-1. 福祉（子育て）について

産科の不足、学童の不足などで共働き家族が安心して子育てできる環境にはほど遠い状態です。もう少し何とかならないでしょうか。認可保育園も管理されているとは思えないほど、ずさんです。このような問題を相談・解決していただける窓口はどこでしょうか？ 【男性・41～50 歳】
子育て中の家庭への支援が充実されつつある中、教育水準の高いこの地域で子どもを大学まで通わせることは大変な負担でした。義務教育中だけでなく高校生、大学生のいる家庭への支援を要望したいと思います。奨学金も利用させていただきましたが、現在本当に教育費が高すぎると実感しております。環境問題等他に考えていかなければいけない大切なことも家計のやりくりで後回しになってしまうのは残念なことです。 【女性・41～50 歳】
また、子どもを安心して預けられる場所も少ない。もっと他区を参考にすべき。 【女性・31～40 歳】
子どもがいる夫婦のお母さんがもっと働きやすくできる環境を作ってほしいです。託児所の数や預けられる時間を長くできる等、市や区、民間の会社等が協力し合ってほしいと思います。 【女性・21～30 歳】
医療に関して、都内は中3まで無料にもかかわらず、せめて小6まで児童手当支給家庭のみ無料とすべきです。老人の問題もありますが、その前に子どもの問題を解決しなければ少子化は続き、老人のことも解決にはならない。 【男性・31～40 歳】
子どもを3人産んだら補助金を最低100万円は出すべきだ。そういった援助がないと子どもを産んで育てるのは難しいと感じる。子どもの数がどんどん減っていくと思う。 【女性・21～30 歳】
今までの小学校にあった“はまっ子スクール” → “放課後キッズ”にどうして変わったのか？17:00以降一律800円はおかしい。“はまっ子スクール”時には18:00まで無料で預けることが可能だったが…。おやつ時間も15:00～15:30ではなく、なぜ17:30で軽い物なのか？ 【女性・31～40 歳】
子どもの遊び場が少ないので増やせないでしょうか。 小児医療の補助が他地域と比べて少ない（厳しい）と思います。拡大施策の検討を望みます。 【男性・41～50 歳】
子どもの予防接種等のお知らせのハガキが届かず、自費で払うことが2回ありました。区役所に問い合わせても、話がバラバラで毎回ガッカリしてしまいます。全ての人が同じようにサービス等を受けれるようもっと頑張してほしいです。 【女性・31～40 歳】
現在、幼稚園児を持つ母親です。雨の日に遊ばせられる施設があると良いと思います。（例）渋谷児童館 子育て中のお母様方から雨の日でも遊べる施設があると便利とよく聞きます。よろしく願います。 【女性・31～40 歳】
以前住んでいた地域に比べると、子育てしにくく感じます。自分の生まれ育った街ですが、自分が親になり子育てをするには住みづらいと思いました。たとえば児童館がなかったり、注射の知らせがこなかったり…。 【女性・21～30 歳】
少子化問題にも力を入れてほしいです。安心して出産できる施設の確保や助成金の見直しなどです。 【女性・31～40 歳】
児童手当と医療証（子どもの医療費が無料になる）について。我が家では夫の収入が所得制限を越えているので、上記の児童手当と医療費の無料がありません。しかし、夫は45歳で初めて子どもを持ったので、普通の家庭よりも遅いため、定年後も子どもはまだ高校～大学生です。そのため、今から貯金していますが、その私達と30代前後の家族と一緒に所得制限を設けるのは不公平と感じます。私達は貯金のために30代前後の人達と同レベルの生活をしています（経済面）。なので、できれば所得と年齢を両方設定して、制限を設けてほしいと思います。 【女性・31～40 歳】

<p>高学歴、教育熱心な保護者が増え、子どもが外で遊んでいるのを疎ましく感じるようで子どもが家のそばで遊びづらい。公園は不審者の出現で遅くまで遊べないのでのびのびと遊べる場所、遊べる環境づくりに取り組んでほしい。 【女性・31～40歳】</p>
<p>子どもがたくさんいる世帯への税金の軽減をしてほしい。 【女性・41～50歳】</p>
<p>働く女性への子育て支援として、信頼できるベビーシッターや小・中学生相手のシッターの見える化、遅くまでやっている食品店、親の介護支援サービスを期待します。 【女性・41～50歳】</p>
<p>子どもがこれだけ多くいるのに、児童館もないし、自分で情報を探し自分で行動しなければ、どうにもならない子育てでした。もっともっと子どもに、そして若いママに優しい街づくりをお願いします。 【女性・31～40歳】</p>
<p>高齢化は重大な問題。対策の第一は少子化を防ぐこと。40年前青葉区に移住してきた人達が高齢化した。その子ども達が青葉区に住みついでいない。若い方にたくさん住んでもらえるような環境をつくり、子どもを生んでもらう。子ども達が健全に育つ環境をつくる。高齢化対策は目立って（インフラづくりなど）見え易いが、先ず子ども対策を。これから70年も80年も生きる子ども達を大事に育てることが大切。 【男性・71歳以上】</p>
<p>子育てについて。財力のある家庭では何でも習ったりする施設があるが、お金をかけないと何でもできない。以前に子どもがテニスを習っていたが、週1回お金を出した分しか練習できない。自分で練習は素振りをするのがせいぜい。公共のコートは予約がいっぱいだったり、料金が高かったりと利用できない。壁打ちする壁もない。他のスポーツや習い事も同様、もっと小学校などの体育館などでボランティアを募り格安で教えてほしい。それが地域の団結やコミュニケーションを深めると思います。 【女性・41～50歳】</p>
<p>子育て支援をしてくれるのが当たり前という考えを持っている親がいるのはどう。若い親は子どもだけでなく自分自身もモラルを！ 【女性・51～60歳】</p>
<p>産院の増加、不妊治療への援助、子育て支援、保育園の充実を望みます。若い子育て中の住人が多いように感じるが、支援が少ない気がしています。 【男性・31～40歳】</p>
<p>世田谷区から転居して来ました。“横浜市”“青葉区”にも良いイメージを持っていましたが、実際暮らし始めると、外面は良いだけで市政、区政とも地域サービスはとても世田谷区と比べものにならないダメさが目立ちます。今年、出産しましたが、妊娠検査補助券、一応5回になりましたが、4,700円を超えないと利用できないため、なかなか病院で受け付けてもらえませんでした。（世田谷区は12回に増え、金額がいくらでも利用でき、差額は現金でもらえた）制度は一応設けても、実際は使いにくくて使わせないようにしているのかと勘ぐってしまいました。（市が5回しかフォローしてくれないなら区であと2回くらい付け足すくらいしたほうが良いと思う）子育て関連施設についても“えだ”にばかり集中していて、いちいち電車に乗ってまで行く気になりません。もっと区のあちこちに施設がないと“細やかなサービス”なんていえないと思う。 【女性・31～40歳】</p>
<p>育児において、医療費の補助等経済的な支援を充実させてください。 【女性・31～40歳】</p>
<p>乳幼児の子どもを持つ主婦なんですが、一時保育など利用したくてもできず、リフレッシュすることができないのが現状です。もっと気軽に利用できるようにしていただきたいと思っています。この青葉区は子どもにも環境にいいところなのでずっと住みたいと思っているのですが、今のままだとそうもいかないのでもよろしくをお願いします。 【女性・21～30歳】</p>
<p>私の住む、しらとり台地区のさつきが丘小には学童がありません。共働きの家庭はやむを得ず引越しをしたりしています。青葉区政は子育てに対して消極的です。もう少し子どもを安心して育てられる環境づくりを行ってください。 【男性・31～40歳】</p>
<p>幼稚園までは医療費補助をもっと充実させてほしい。一番医療費のかかる年齢であるので。 【女性・31～40歳】</p>
<p>くだらない税金対策などをしないで、他県のように青葉区ももっと“子育て費用の経済的支援”を増やしてほしい!! 【女性・31～40歳】</p>
<p>子どもの医療費について、所得に関わらず中学生まで無料にする。 【男性・31～40歳】</p>
<p>子どもの医療費補助を増やす（義務教育までのばす）。 【女性・41～50歳】</p>
<p>保育園がなかなか見つからなく苦労した。小学校に入学しても学童の月謝も高く、子育てに冷たい町と感じた。お役所仕事の域を出ることはなく弱者に対してどこまでも冷たいと思う。町田市みたいに福祉を重視していただきたいと思う。 【男性・51～60歳】</p>
<p>子どもの医療費助成が少なすぎる。 【男性・41～50歳】</p>

小学生以下の子育て中の主婦が、子どもとの時間がより多く持てるよう経済的援助を望みたい。 【女性・51～60 歳】
小児医療費制度の延長を考慮してほしい。小学校就学前⇒中学校就学前まで 【女性・31～40 歳】
子どもを育てることに対する支援も求められていると思います。子どもを安心して預けられる施設（公立の）の設置も進めていただきたいと思います。子どもが育つ街は活気があり、街全体の活性化にもつながると思います。 【女性・51～60 歳】
子どもの一時預かりの場に困っています。保育園でも予約をするのは一ヶ月前で、定員オーバーで断られるケースも多く、民間のデイサービスや保育室などは1時間800円～1,000円、1日だけなら可能でも週3となると余裕がなくなります。週3ペースでパートに出たり、仕事につながる勉強がしたくても安心して外へ出られません（私は週2で3時間ずつの就労を考えています）。祖父母といっしょに暮らしているわけではないので、子育ては主婦中心になります。当然のことだし、仕方がないと思っていますが、もう少し色々なケースがあることを配慮して助けてくれたら嬉しいです。 【女性・31～40 歳】
現在、バス通学の子どもをかかえている。学区ではバスを利用する子どもが半数以上いる現状にもかかわらず、行政が何の補助もしないことに疑問を感じる。 【女性・41～50 歳】
安心して産み、育てる環境の整備を。住民の協力も必要。専業主婦の増加することを願う。 【男性・61～70 歳】
親以外に大人と会話できる場をつくってあげてください。ゲーム・パソコン・塾の毎日になっていると感じてますが、もう少しアナログを学ぶ場が必要なのではないでしょうか。人と話をする、土に触れてみる、スポーツを楽しく大勢でやるなど、子どもに必要なものたくさんあると思います。 【女性・21～30 歳】
子どもの遊び場。 【男性・41～50 歳】
子どもを安心して育てられるような区に今後もっとなっていけば、子どもも増えてくるのではないかと思います。 【女性・21～30 歳】
子育て支援に関する情報をあまり聞きません。出産を他の市で行ったせいなのでしょうかね？隣人からいろいろ教えていただいているのが現状です。 【男性・21～30 歳】
子どもの医療費無料等の子育て支援の充実を図ってほしい(少子高齢化をストップさせるためにも)。 【男性・31～40 歳】
産院にて4月より横浜市の妊婦健診の補助券を利用できる回数が3→5回に変更になったと教えてもらわなければ知らずにいました。妊娠後期で平日に青葉区役所まで補助券を取りにいくのはキツかったので、今後改善できれば・・・(産院にて配布など、知らせがなくても妊婦に伝わるようになれば良いと思いました)。 【女性・21～30 歳】
乳幼児医療について、所得制限を撤廃してほしい。小さい子どもは1歳すぎからがよく病気になる。共働きで所得が増えたとしても、保育園に入れていれば病気をすることは家にいる子どもよりも多く、重くなることもある(児童手当も所得制限をなくしてほしいですが、医療のほうが深刻なので)。 【女性・31～40 歳】
日本全体が高齢化社会となりつつ今、お年寄り以外のこれからの子ども達にもたくさん予算を割り当てていただきたいと思います。私共は小児医療制度が所得制限で3歳で打ち切られてしまいました。子どもの命の重さを再度考えていただきたいと思います。 【女性・31～40 歳】
子育てセンターの充実 子どもの医療費補助制度の充実 【女性・21～30 歳】
学童の運営を保育園のような運営としていただきたい。自治体などで現在は、学童は親運営をしております何から何まで親。各自仕事、家庭の大変さなんて考慮されず、順番で役員をやって行く、学童内で嫌な暗黙的なルールがあり、役員をやる能力も暇もないのに仕事を続けていくうえで小学低学年を家でお留守番させることもできず半強制的にやる感じです。私自身は長年仕事を続けてきました。この問題に今年はぶつかり仕事を辞めようと思っております。青葉区政としたら各学校に「はまっこ」を設置したということで満足なのかもしれませんが、「はまっこ」は18:00まで。通常都心に働きに行つてこの時間に迎えに行くのは無理です。せめて18:30まで引き延ばしを、長期休みの開始9:00⇒8:30と改善をして早急にしていただければ親(私自身と夫)でやっていくのは無理です。学童や「はまっこ」の利用者はおじいちゃんおばあちゃんのサポートがある人がほとんどですが、うちにはおりません。このような状態なものはどうすればいいのでしょうか。回答をください。 【女性・31～40 歳】
他区に比べ、子育て支援が不足しているように感じる 【女性・21～30 歳】

小児医療等少子化対策として区としても助成をしていただければと思う。特に年収に関わらずというか年収での制限を緩和してほしい。 【女性・31～40歳】
横浜市レベルの問題になるのだと思いますが、せめて未就学児ぐらいは収入に関係なく、医療費負担をしてほしいです。 【女性・31～40歳】
幼児医療の期間や所得制限など、他地域に比べて恵まれていない気がします。 【男性・31～40歳】
とにかく児童手当が少ないと思う。 【男性・31～40歳】
たまプラーザに住んでいるのですが、子ども（乳幼児）が多いわりに、近場に支援センター等がなく不便です。あざみ野やさぎぬまにはあるのですが。乳幼児を連れて隣の駅まで行く不便さをご存知ですか？たまプラーザには乳幼児が多いから・・・と思い、さぞかし住み良い街かと思ったら道路はガタガタ（ベビーカーを押すのが大変です）何の施設もない区役所の出張所さえない。ガッカリしました。緑が多いのは素晴らしいですが、もっと利便性も配慮して下さい。あざみ野に出張所があっても意味ないです。とにかく乳幼児連れでのひと駅がどれだけの負担か、理解して下さい。それと、児童手当の確認書類、あれはなぜ返信用封筒に切手が必要なのですか？ 【女性・21～30歳】
共働きの核家族が増えていますが、子どもの放課後の預け先が充実されておらず、来年から1年生になるのですが、両立できるのか心配です。はまっ子スクールは、私の子が通う小学校は18：00までなので迎えが間に合いません。川崎市は全校で19：00になったとのことを聞きました。早急に青葉区でも対応していただきたい!!子どもをねらった犯罪が増加しています。18：00～親が帰ってくるまでひとりにするなんて考えただけでぞっとします。 【女性・31～40歳】

5-2. 福祉（高齢者）について

将来に向けて、高齢者対策をお願いします。 【女性・71歳以上】
老人にやさしい区政をお願いしたいです。このアンケートにもあったように長寿の方が多い地なので、もっと生活しやすい行政を行なってほしい。そういう面でも全国1位になってほしいです。 【女性・31～40歳】
介護保険料が高すぎる。所得に見合った税金は住民税として納税しているのだし、いくら任意の保険といったとしても終末医療は程々に抑えるべきだ。本人の自主自発的な意欲がないもの、難病（回復不能）等々、医療でカバーするのはレベルを設け、軟着陸させてほしい。（際限のない保険料UPに通じるのを防いでほしい） 【男性・61～70歳】
山・坂が多い町なので、高齢の方々も移動しやすい工夫が町にあるといいですね。 【女性・31～40歳】
福祉施設の充実（高齢者）を慮ってほしい。 【女性・51～60歳】
高齢者対策の充実 マンション居住者（特に単身者）の社会連帯感の育成 1. 防災対策（大災害時の対応） 2. ゴミ選別等の責任性 3. 町内会からの離脱 いろいろな面で意思の疎通がとれず困っています。 将来マンション居住区の貧民屈化 防犯防災面で困ったことにならなければと案じています。 【男性・61～70歳】
長寿の町というのは素晴らしいですね。それだけ住みやすい環境の町だと思います。当然高齢者の方の数も多いでしょうから、高齢者に働きかける場を設けてみたらいいと思います。 【男性・21～30歳】
年寄りに優しい行政であってほしい。 【男性・51～60歳】
若い家庭だけの家族が青葉区には多いと思うので高齢者と触れ合っていると古い話を聞いたり、しつけを教えてもらったりしていくと良いと思う。もっと高齢者とのふれあいがあるとお互いに心楽しくなると思う。 【女性・61～70歳】
高齢者に対し、健康福祉の面で、理解、協力希望します。 【女性・71歳以上】
自治会の班長を昨年させていただきましたが、なかなか皆さんと顔を合わせることもなく、ひっそりと暮らしている方が多く、つながりが少ないと感じました。もっと積極的に色々なイベントに参加できるように（高齢者の方）考えるべきだと思います。 【男性・41～50歳】
高齢化が進むにつれ、老人の孤独化や孤立が増え、また希薄な人間関係のために、犯罪の増加が懸念される。いろいろな世代が交流し、無理なく助け合いができるようなまちづくり（下町のような）を推進してほしい。 【男性・41～50歳】

市町村別平均寿命のニュースは大変嬉しかった。誇りである。 【女性・21～30 歳】
若々しいイメージが先行する青葉区なのに、意外にも平均寿命が全国一というのは正直驚きです。あまり老人を見かけないような気がするの、もしかしてお年寄り引きこもられているのでは・・・と勘ぐってしまうくらい。人とのつながりが希薄な地域なので今後はとても心配です。 【女性・51～60 歳】
緑区だった頃から住んでおります。夫婦で今年で合わせて 165 歳の老人 2 人の世帯です。最後まで青葉区に住んでいたいと思っておりますのでよろしく！高齢者のために地区センター等で体操など指導して下さる催しには、時々参加させていただいてありがたく思います。横浜市の「敬老乗車証」には感謝しています。引きこもりがちの年齢になりましたが、このお陰で買物に出かけたり社会とふれ合うチャンスができ、健康にもよいように思います。続けていただきたい。 【女性・71 歳以上】
高齢化社会になり、より福祉を充実した区政になることを望みます。 【女性・51～60 歳】
老人保健施設に勤めているが、行き場のない老人が多すぎる。施設で看取ることが多くなってきている現状を把握してほしい。働いている人は本当に大変です。よろしくお願ひします。（区政とは関係ないかもかもしれませんが） 【女性・41～50 歳】
問 14 であった平均寿命 1 位であることは喜ばしいことであると同時に、今後想定される高齢化に対して早いうちに真剣に対策に取り組むべきであるとの警鐘とも捉えるべきである。現に高齢の方を街でよく見かけるが、交通量の多い、歩行者用の信号が短いなど決して高齢者に住みよい街ではないことを自覚していただきたい。 逆にこれを利用して高齢者と子どもの交流の機会を増やすことにより双方に良い効果が得られると期待する。 【男性・21～30 歳】
老親の世話をしていますが、心身ともに大変です。本人も面倒をみている人、両方の精神的サポートを気軽に出来る公的な場所があると有難いと思います。長寿要因の数字にとらわれず、もっと今何が必要とされているか・・・区民と目線の合った行政であってほしいと願っています。浮かれることなく、堅実な行政サービスあってこそ、青葉区住民としての誇りを持ちたいものです。 【女性・51～60 歳】
介護の方も手厚いサービスをお願いします。特養が待ち時間が長すぎて在宅介護をは厳しいです。費用もかかり、生活も介護に取られ自分の家族の生活が安定しません。 自分の健康面も心配ですね。これからどうなっていくのでしょうか。不安です。 【女性・51～60 歳】
連れ合いに先立たれ、集合住宅の住人であることに安心感を覚え、感謝しております。交通の便と環境の良さを利用してスポーツを楽しみ、食生活も満喫しております。願わくば自分の面倒を自分が見れなくなったときの受け入れ場がより以上にできてほしいと思います。 【女性・71 歳以上】
老人がいつまでも住み続けられるならば最高にいい町だと思います。 【女性・61～70 歳】
先日、テレビ放送で親一人子一人で母親が認知症になって母親を息子（50 代）がお風呂の世話や食事の面倒をみているようでしたがとても他人事とは思えません。また、親の年金 6 万円での生活はどうにもならないと言っておりました。福祉の経済的な支援の充実をお願い申し上げます。 【男性・61～70 歳】
高齢者等に対する広報活動をきめ細かく願ひたい。 【男性・61～70 歳】
社会が高齢化する中、若い世代との交流の場の創造と日常の中での接する機会を地域で造りだす努力を行なう。高齢者の生活の場に近接して若い世代が生活できる地域環境を整備する。例えば公園は子どもや若い主婦が集まりやすい場であり、さらに高齢者が同じ空間を共有できる環境、設備を整える。 【男性・51～60 歳】
だんだん高齢化が進んだ地域が増えてきてますが、時代の流れと共に老化していかないまちづくりをしていただきたいと思います。 【女性・51～60 歳】
高齢化が進む点に着目され、その支援がなされていることを日々感じますが、高齢者と若者が自然と関わられる環境づくりにもっと着目されれば高齢化だけがひとり歩きすることはないだろうと思います。 【女性・21～30 歳】
高齢化に伴いお年寄りに優しいまちづくり。 【女性・41～50 歳】
高齢者夫婦二人暮らし、一人暮らしが自宅から外に出る機会も少なくなり、家の中が汚い、食事作りも面倒、ただ TV を見て過ごすという夫婦等が増えている。もう少しコミュニティを増やし、ボランティアがそのような自宅を回り、楽しいイベントを増加させる。一生現役と思っている高齢者も多く、介護施設でのリクリエーションはいまいちと思う。シルバーサロンを増やすとよりよい地域、楽しい地域になると思う。 【女性・41～50 歳】
高齢者向けに近くにパークゴルフ場がほしい。土地の関係で無理とは思いますが。 【男性・51～60 歳】

私は68歳、年金生活者ですが、昨今の老人に対する福祉のあり方に不満を持っている。私達でも若い時があり、日本の高度成長に少なからず貢献してきた。これから老人が増えるという現状でこれまでの福祉を続けるのにヤッキになっている姿に怒りを感じる。財政の問題はわかる。しかし老人医療費が増加しつづれ破綻する、と繰り返し言われるが、どれ程腹が立つか！私達は好きで年を取ったのではない！老人になった時の生活を考えそれなりに準備してきたつもり。老人を侮辱している発言が多すぎる。特に財政について！！日本の富を失う構造改革をやっている、財政不足だ！財政不足だ！と念仏を唱える福祉政策に怒りを持っている。 【無回答・無回答】
高齢者にとって行政との関わりが薄い要因のひとつに交通の不便さがあると思う。 【女性・51～60歳】
特別老人ホームの充実。 【女性・71歳以上】
60歳過ぎの子が親をみる時代。定年過ぎたら年金だけで親を見てもらうのには辛すぎる。なんとか生活が楽になりますように。 【女性・71歳以上】
高齢化が進んでいるので、それに対しても区でサポートできるようにしてほしい。 【男性・21～30歳】
高齢者のための地域での文化活動を低料金で参加できるよう希望します。 【女性・51～60歳】

5-3. 福祉全般について

福祉サービスの向上に期待しています。 【男性・71歳以上】
年金暮らしや母子家庭にも暮らしやすい行政を望む。 【男性・51～60歳】
福祉施設をもっと格安で誰でも利用できるようにしてほしいです。 【女性・41～50歳】
高齢者福祉、障害者福祉、子育てに対する支援等に力を入れていただきたいと思います。 【女性・41～50歳】
高齢者と子ども達がふれ合える場所、機会があればいいと思います。 【女性・31～40歳】
福祉に対して充実させてほしい。 【女性・31～40歳】
福祉関係の職員はなかなか一生懸命の姿勢大と存じます。 【男性・71歳以上】
高齢者障害者、児に対する様々な面での切り捨て意識を日々実感しています。青葉区は元気で若い人間しか生活していないところ、そういう人間しか生きていけない街、と感じる日々です。 【女性・41～50歳】
福祉施設の情報をもっと知らせていただきたい。 【女性・71歳以上】

5-4. 福祉（障害者）について

他区と比較して障害者施設が少なすぎる。（老人施設は多いのに…。） 【女性・31～40歳】
福祉施設の充実（障害者）を慮ってほしい。 【女性・51～60歳】
障がい者の雇用、教育施設の充実。 【女性・21～30歳】
形式的には努力されている様に思われるが、もう少し弱者（低所得者）、障害者の立場からも考えた区政であってほしい。 特にこの街は高所得者が多く格差をかなり感じる。上記F14の問の（イ）の問いを見て思ったが、余裕のある方は海外居住を考えるのではないかととも思う。形だけの自己満足（参加者のみの）だけで終わらせてほしくない。 【女性・41～50歳】
今後も障害者福祉（重度障害者の医療費公費負担）に力を入れてほしい。 【女性・31～40歳】
私共には障害者（目が見えない、脳性麻痺による知的障害、小学校低学年くらいであるが記憶力は驚くほど抜群によい）の子どもがおります。横浜市立盲学校の高校卒業後はもう少し教育をしていただける施設を捜しましたが、該当するところがなく、知的障害者の施設に通園（所）しています。障害者といっても個々で内容が異なり、対応が難しいことは重々承知していますが、目の悪い方もいる施設があるといいのと思います。最後に、我々が元気なうちはよいのですが、だんだん年をとってまいります。自立した生活を送れないことを考えるとこの子はどうなるのか、不安が一杯です。 【男性・51～60歳】

5-5. 禁煙対策について

神奈川県全体で禁煙場所を増やす。全面禁煙などの方向に向かっていると思われませんが、青葉区だけでも公共の場での全面禁煙など強く進めていただきたいです。（喫茶店、レストラン、駅など） 【女性・31～40歳】

飲食店（居酒屋含む）での禁煙を徹底してほしい。 【男性・61～70 歳】
禁煙表示を多くして下さい。たばこ 1 個 1,000 円案、大賛成です。 【女性・71 歳以上】
駅の周りを禁煙とするルールを策定してほしい。 【男性・41～50 歳】
「公共施設における禁煙条例」については賛否両論あるようですが、タバコを吸わない人への健康被害という点を重視し、この条例が制定されることを期待しています。 【男性・41～50 歳】
全飲食店禁煙にすべき。 【女性・71 歳以上】

5-6. 福祉（障害児）について

<p>私の子どもは自閉症で現在養護学校に通っています。青葉区内でも障害のある子の数は増えるばかりで養護学校もいっぱい、これからは自分の子どもを行かせたい学校も満杯では入れない状況も出てくるかもしれません。</p> <p>また、放課後の支援も青葉区にはなく緑区や都筑区にあるような地域活動ホームもあと3年も待たなくてはなりません。その間の支援をもっともっと考えてもらわないと障害のある子とその親は行き場所もなく閉塞感を抱くばかりです。</p> <p>これからの卒業後の進路や受け皿も心配です。障害者の待機者ゼロを目指すというものの障害者のための働く場所、安心して暮らせる地域、生きがいを感じられるような区政をお願いしたいです。 【女性・41～50 歳】</p>
<p>福祉は充実していると思うが、障害児の放課後の過ごす場や、母が働かなければならない事情の家庭の場合困難なことが多く、もう少し支援してくれる場があると助かります。小学校の時は「はまっこ」などがあり助かりましたが、中学からは全くその場がなくなりました。老人施設も大変でしょうが、障害児への福祉をもう少し考えていただくと、今後皆のためになると思います。 【女性・41～50 歳】</p>
<p>青葉区内に養護学校が1つもないのはあまりにも遅れている。 【男性・41～50 歳】</p>

5-7. 福祉（生活保護）について

生活保護を充実してほしい。 【女性・61～70 歳】

6. 「防犯・防災」について

6-1. 防犯パトロールについて

治安の安全な街に取り組んでもらいたい。 【女性・51～60 歳】
今住んでいる場所は警察の見回りが多いため、安心できる。これからも維持してほしい。 【男性・21～30 歳】
安全パトロールの強化、犯罪や誘拐等なくすため。 【女性・61～70 歳】
防犯上、パトロールを強化していただきたい。 【女性・71 歳以上】
田奈交番ができて安心感が増えた。 【男性・41～50 歳】
ちかんから守ってください。以上です。 【女性・21～30 歳】
警察による夜間パトロールを実施してほしい。 【女性・51～60 歳】
ゲームセンターにおける年少児童への規制。 【男性・71 歳以上】
治安の良さは実感します。警察の方のパトロール姿もよく拝見し安心感が違います。この点は今後もぜひ継続してほしいです。 【男性・41～50 歳】
こどもの国駅前には交番がありません。夜は少々怖さがあります。横浜の最北端ですがこどもの国の名のおり、子どもがのびのびと生活できる安全な地域になってほしいと思っています。駅前に交番を置いてほしいです。 【女性・51～60 歳】
ご近所で空き巣が多発しているので家を空けるのが心配な時がある。(パトロールを強化してほしい) 【女性・61～70 歳】
防犯パトロールを自治会やシニアクラブのボランティアに頼まず、行政で行ってほしい。 【男性・61～70 歳】
犯罪がぐんと減ってくれることを望みます。 【女性・61～70 歳】

元石川町、美しが丘西地区への交番の設置。 【男性・41～50歳】
子どもが小学生ですが、登下校等不審者がいるようです。学校、自治会、保護者（父兄）でパトロールを行っています。警察官等の定期的な見回りなどをしていただけるとありがたいと思います。子ども達の安全を守るために、よろしくお祈いします。 【女性・31～40歳】
安全パトロール等安全確保の充実。 【女性・21～30歳】
青葉区は防犯パトロール強化区、と商店街などののぼりで見ましたが、実際にそういった活動等を見たことがないのでその辺について気になります。 【女性・31～40歳】
江田駅に交番を（246号線にある現交番の移動）お祈いします。 【男性・71歳以上】
夜になると、外が暗く、変な人がいるので街頭やパトロールをしてほしいです。 【女性・16～20歳】
心地良い場所とは「安全」から生まれるものです。治安の悪い地域にならぬよう、地元警察を中心に安全な社会を守ってください。 【男性・31～40歳】
黒須田小学校も開校され、また大場町、黒須田も住宅建築が盛んで人口も急増していますので、この地域に交番が必要ではないでしょうか。 【女性・51～60歳】
数年前空き巣にやられ、町内でも今なお被害が多い。警察も大変だと思うが、自治会も含めた防犯対策の強化を望む。 【男性・71歳以上】

6-2. 防犯対策について

青葉区に限らず治安が心配です。犯罪抑止に一層の努力をお願いいたします。 【男性・61～70歳】
友人がソーラーシステムの訪問業者にだまされ、先日、家にもソーラーをと訪ねてきた業者（その方は違うと思いますが）を友人の例を出して断りました。悪質な業者のためにその方には気の毒と思いつつも、消費者も疑心暗鬼にならざるを得ない状況が悲しいですね。 【女性・51～60歳】
将来に向けて、治安の維持をお願いします。 【女性・71歳以上】
子ども110番の看板、昔取り付けてそのままの家が多く見られる。年配の家庭等無理なら外してもらいたい。子どもが戸惑う。 【女性・31～40歳】
深夜になると真っ暗になってしまう地域もあり、人通りの少ないところが多いので治安が心配です。 【女性・16～20歳】
とにかく治安。 【男性・41～50歳】
地区センター前での夜遅くの集団での話し合いは防犯上思わしくない。 【男性・51～60歳】
治安が悪い印象です。 【男性・41～50歳】
最近、治安が悪いように感じる。 【男性・16～20歳】
防犯のための監視カメラを要所に付けてほしい。 【女性・51～60歳】
結婚を機にこちらに転居してきました。とても魅力的な街で気に入っていますが、これからの治安に不安を感じています。子どももいますし、ニュースでは青葉区での犯罪も増えてきているように思い心配しています。 【女性・31～40歳】
少子化対策で子どもの数を増やすことを考える前に、今いる子どもの健やかな成長にもう少し目をむけてほしいと切に願っています。幼児・児童に対する犯罪は、軽犯罪であっても内容が分かるようにホームページに載せる（青葉区近隣も含めて）。 【女性・41～50歳】
治安が良く、近くの方々のモラルも高いので安心して生活することができます。 【女性・21～30歳】
犯罪を防ぐ意味で、住民の視線が届く町並みの整備、植栽も視線が行き届くように工夫する、公園も通りからの視認性を向上する作り方を心がけ、ブラインド空間を作らないようにする。 【男性・51～60歳】
【警察との係り】 ・防犯対策等に係る情報の共有化、及び振り込め詐欺への未然防止対策を実施してほしい（フリーダイヤルの設置・連絡が入り次第直ちに動くことができる仕組み等）。 ・警察内部の縦割りではなく、横に広く（行政等との繋がり）、そして部署割・係別ではなく、広く対応可能になると良い。 【男性・61～70歳】
青葉区が『安全・安心』な地域になるようによろしくお祈い申し上げます。 【男性・71歳以上】

6-3. 防犯（街灯）について

街灯を増やしてほしい。（防犯のため） 【女性・51～60 歳】
街灯をソーラー発電等にしても CO2 削減につながるかと思います。 【女性・21～30 歳】
街灯が暗いのですが、出来ればもう少し明るくしてほしいのですが。 【女性・61～70 歳】
特にこれといった事柄はないけど町内を夜歩いてみると街灯の点いていないところが多く見られる。今の時代は他人のことまで気づかう人が多くないので安心して歩けるようにしないと。 【男性・61～70 歳】
藤が丘公園周辺が夜暗くて危険です。 【男性・41～50 歳】
帰宅までの夜道が暗い（お店もなく、人通りも少ない）。時間帯によっては親に駅まで迎えに来てもらっている。もう少し安心して歩けたらと思う。 【女性・21～30 歳】
道路は大変整備されているが、横道に入ると夕方、夜は暗すぎて何らかの犯罪が起りやすい状態である。もっと街灯を増やして本当に明るい街にしてほしい。 【男性・61～70 歳】
住宅地は外灯がついていても、間隔があたりして暗い所が多く、大人でも歩くのが怖い所があります。以前聞いたことですが、川崎市の方で外灯をブルーに変更したところ、明るくなり犯罪が減ったということです。青い光は遠くまでよく見え、青という色が犯罪の抑止効果があるそうです。青葉区は近年、犯罪も増えているので、是非実施してほしいと思います。 【女性・31～40 歳】
街灯を増やし、地域の安全性を高める。 【男性・51～60 歳】
緑が多く暮らしやすい街ですが、夜間照明が不足しているように感じます。 【女性・41～50 歳】
静かで良い地域と思いますが夜道が暗く、電灯が増えると安心できますが…。 【女性・51～60 歳】
家の付近を歩いていて気付くことがあります。夜間、道路が非常に暗くて危険です。街路灯が暗くて少ないですし、街路樹が茂ってくると覆いかぶさって余計に暗くなります。もっと明るくしてほしいと常々思います。 【女性・61～70 歳】
明るい街灯を増やしてほしい（LED）。 【男性・61～70 歳】

6-4. 防災について

震災時の避難場所の耐震強度を高めてほしい。また、住環境、特にトイレが一番の問題になるように思われるので、仮設トイレの充実強化を検討しておいてもらいたい。 【男性・51～60 歳】
耐震工事や耐震機器・材等の紹介を PR してほしい。 【男性・61～70 歳】
災害時の対策にもっと力を入れてもらいたい。自治会に頼らず、区としても一人ひとりを支え助ける意識を強くし、食料や医療等充実させてほしい。 【男性・31～40 歳】
私は大学の研究室で地域防災の研究をしており、地域防災力向上のための情報共有化を考えております。神奈川県西地区で防災リーダー育成の講座開催や神戸から講師を招いての講演会を実施しております。切迫性の高い県西地域の自主防災組織を活性化して、地域防災力の向上を図るための方法を大学の研究室、自治会行政と共に考えております。中山間部や地方都市、人口が密集した都市部では防災に対する取り組み方が異なります。今後は北部三区でも地域の自治会と情報交換して、地域防災力を高めたいと考えております。 【男性・51～60 歳】
大災害時に青葉台 1 & 2 丁目がすべて青葉台中学校に避難できるとは思えない。すべての公共施設、私立幼稚園など少しずつでも指定避難場所を増やしてほしい。 【女性・41～50 歳】
災害時、町内会費等払っていない場合。アパートの場合は入れないのか？ 【女性・71 歳以上】
住宅用火災警報機を設置するにどのような方法があるか PR してほしい。 【女性・41～50 歳】
防災無線がない。高低差があり設置は困難とのこと。数を増やせばよいと思う。 【無回答・71 歳以上】
大地震発生時における避難場所等の告知標識の設置 【男性・41～50 歳】
【防災】 ・情報社会にも拘らず、防災に対する危機管理が欠如しているため、役所と拠点間で重要な情報・避難氏名・安否確認等の連絡には、インターネット接続もしくは専用線で接続し、必要事項をすばやく把握できるようにしてほしい（専用線の場合は地下ケーブルを使用するよう依頼すること）。 ・拠点への避難数対応の備蓄品を設備してほしい（できなければ少しでも近づけるように）。 ・井戸水協力宅への水質検査等については、継続してほしい。 ・研修の項で記述してあるが、地域拠点担当職員は、防災・危機管理知識に精通した職員としてほしい（片手間にできる仕事ではないため、できれば防犯担当係りを設置してほしい）。 【男性・61～70 歳】

男女ともこれだけ高齢者が多くなると、災害発生時に逃げ遅れる人も多くなり、大変危機感を持っていません。 【男性・41～50歳】

6-5. 防犯（不審者）について

不審人物を1件でも多く検挙し、おかしな考え方を持っている人物を再教育し、仕事もし、家族とのつながりも一層強化し、一人が周りから袋叩きにあわないような健全な社会の構築を目指し、お互いが理解し合える社会をつくっていただきたい。 【男性・31～40歳】

7. 「医療」について

7-1. 医療全般について

医療の助成が増えることを期待する。 【男性・71歳以上】

医療機関の充実、主治医の推薦。 【男性・61～70歳】

医療制度、介護保険制度の見直しに積極的に関わっていただきたい。 【男性・21～30歳】

有料老人ホームにおいて入居されているお年寄りが倒れ、救急車の出動を依頼しました。救急車が到着して病院の搬送までなんと1時間も病院をたらい回しにされました。1時間も施設の前で待たされたのです。救急搬送の実態（特に老人施設）を調査して下さい。また、病院の救急受け入れ体制も調整して下さい。補助金も出ているはずですが、救急車の方からも事情聴取して下さい。よろしくお願いします。 【男性・51～60歳】

休日の救急医療機関が少ないと思います。都筑の北部病院まで行かなくてはならず不便です。 【男性・41～50歳】

医療に関することですが、がんにかかり末期となり転院を進められている友人の主人、気の毒でなりません。そうでなくても精神的に落ち込んでいるのに、更に3ヶ月で病院を追われるなど、もし自分の身になったら・・・を考えてください。 【女性・61～70歳】

救急搬送時の救急隊の対応、病院の対応が悪いのでもっとスムーズに受け入れられるようにしてほしい。 【女性・41～50歳】

不妊治療への助成がもう少し手厚ければ心強く思います。横浜市の助成制度があるのは知っていますし、他の病気やそれを必要としない人との公平性という点で問題があることは理解していますが、健康保険の適用が望めない以上、他に頼りにできる場所がありません。また不妊症と同時に不育症に対する何らかの支援（相談窓口、ケア、サロン等）があれば良いと思います。子どもを持つことを望みながら叶わない人達の理由が全て不妊症というだけではないように思います。これからも頑張ってください。どうぞよろしくお願いします。 【女性・31～40歳】

夜間の緊急医療が少ない。子どもの具合が悪い時に調べたが、都築区は深夜に小児科の診療をしていた。子どもが病気だと一晩中心配なのでなんとかしてほしい。 【男性・31～40歳】

子ども及び高齢者について収入による医療費用の軽減化 【男性・41～50歳】

夜間・休日の診療できるところが不足しています。特に青葉区は川崎市と隣接して、川崎市への利便性も高いので2市をまたがった医療情報の充実を望みます。 【女性・31～40歳】

7-2. 病院について

臨海地区の各地区に比べ、医療施設が少なく、市民として不公平である。例 中、西、神奈川等に比べ病院数が少ない。個人病院も同様→家庭医が出来ない。 【男性・71歳以上】

ここ数年病院を利用することが多くなりました。病院の不満や苦情を言う窓口はないのでしょうか？まだまだ、たらいまわしや苦しんでいる仲間もたくさんいます。すぐ手術するという病院、嫌ならやめてもいいよとか医者とケンカしている友達もいます。 【女性・61～70歳】

病院が近くにあったらなーと思う。 【女性・71歳以上】

公立の病院（特に大きな病院）がないのが心細い。（町田市民病院に行くケースが多い、特に緊急や夜間で）夜間診療にて港北までは行けませんでした。 【男性・41～50歳】

私の家には娘（3歳）がいますが、両親、親戚など近くに住んでいないので、私が病気やけがをした時のことが不安です。病院での保育（一時的な）システムのある病院など、あるかの情報もわからないので不安です。 【女性・31～40歳】
近隣に医療施設があるが、病院とは名ばかりでほとんどその役割を果たしていない。医療レベルの問題ではないか？区が積極的に音頭をとって多少の助成を行い、どこか有名大学病院と連携、医療水準の向上を図り、地域の中核医療施設とすべき。御検討を望む。 【男性・71歳以上】
たまプラーザ周辺には産院など結構多いが、それでも出産を取り扱っている場所が少ない。子どもを生みやすい環境を整えてほしい。 【女性・31～40歳】
小児科が少ない。 【男性・21～30歳】

7-3. 健康診断について

以前、大学の授業の関係で保健所（青葉区の）に訪ねる機会があった際に常駐の栄養士がいないことに不満でした。特定健診が始まった今、きちんと毎日常駐の栄養士をおいてほしいと感じました。さらに東京23区と比較して食育への取り組みを薄く感じました。青葉区は、横浜市内でも子育て世代の多い区であるからこそ、もっと食育に関心を持ってほしい。食は人を豊かにするものだと思います。また、健康な高齢者がいきいきと生きていける社会にするためにも栄養士の存在は重要だと思います。 【女性・21～30歳】
乳幼児健診や予防接種などが平日しかなく働いている者としては不便です。1回でも土日があるとうれしいです。 【女性・31～40歳】
40歳以下の人でも基本健康診断が受けられるようになるとよいと思います（乳がん健診等も）。 【女性・31～40歳】
住民健診や、その他健康に関する指導を医師まかせにしないで役所で行ってください。 【女性・61～70歳】

8. 「地域」について

8-1. 地域交流・地域活動について

今よりも地域の連帯感が増えてほしい。 【男性・71歳以上】
就学児を持つ家庭は、学校関係など地域と密接な情報や参加活動を行い、要介護のお年寄りなども地域のセンターなどでお世話になり、顔見知りになるが、我が家はその意味でどれにも該当せず、“青葉区の異邦人”のように思うことがあります。 【女性・51～60歳】
古くからいる農家の人とよそから来た人といつまでたってもなじまないようだ。時代が変わってきているのでもっと地域全体が助け合えるようなシステムがあったらと思います。 【無回答・71歳以上】
団塊の世代の方々が多く、気軽に参加できるような地域活動を増やしてみてもどうかと思います。（まだ定年ではないですが、自分自身の両親がその世代に当たるので思いました。） 【女性・31～40歳】
行政の指導員をしており、「区役所での集まり」、「町内学校での集まり」に徴集の声がかかりますが、ほとんど平日です。これでは参加できません。働きざかりのサラリーマンでも地域活動に参加しやすくなることを望みます。 【男性・31～40歳】
転入して1年弱ですが、積極的に情報収集しようと思わずに行政のことは全く知る機会がありません。タウン紙などポスティングがされるものがせいぜいです。“子どもを持つ親”など、必要にかられてでないと大なり小なりコミュニティとの接点を持つのは難しいように感じます。仕事も短時間で職場での交流も少ないですし、隣人とも交流はありません。生活はしていますが、地域コミュニティに参加しているとは言い難く、これからどのように接点を持つていけるのかと考えることがあります。 【女性・21～30歳】
自営の小企業を始めて満5年。少しずつ地域社会（広い意味では神奈川県）での交流が深まってきた。自治会役員にも顔を出し、末端行為ながら地域社会参加も良いものだという感を持っている。積極参画を目指したい。 【男性・61～70歳】
若者の引きこもりから老人の引きこもりへと変化していくと思われる。特に青葉区の10年後、21年後は『長寿ひきこもり日本一』にならない様な活動が望まれる。地域単位（自治会もしくは別の単位でも可）でのコミュニケーション活性手段を行政側からも提案することを望む。私の場合は近所のコミュニケーションを第一に、自治会では広すぎて集まる場所も限定されてしまう。 【男性・51～60歳】

地域行政の中で人々とのコミュニケーションを広げ、良くしていく施策の展開を望む。(具体的)にはわからないが、人と人が支えあってお互いに気持ちよく住める環境づくりをお願いします。【男性・51～60歳】
戦前の配給制度のようにそれらを通して地域の連帯感があると良い。地域の連帯感が希薄である。自治会等でよく検討してほしい。 特に老人の家庭を定期的に訪問するヘルパーをほしいと思う。【男性・71歳以上】
共働き、マンションに住んでいることもあり、ご近所づきあいなどがなく、災害時など共同生活を強いられる際に不安がある。地域交流の場を提供していただけるとありがたいです。【女性・21～30歳】
個人主義化が進み、気さくな「お隣さんどうし」に欠ける隣近所とのお付き合いが一番神経を使う。住民が新しく、日々変化ある地区だからなのではないでしょうか。人と人の温かいふれ合いあるエリアとなしてほしい。【女性・51～60歳】

8-2. ボランティアについて

区や市に協力して指導員としてボランティア活動を始めたい。 ボランティア活動への援助、など今後も積極的に活動してほしい。【男性・61～70歳】
ボランティアを活用するのは良いことだが、それに甘んじてボランティア以下の仕事しかしない職員が多すぎる。担当者が自分の任期が終われば全く無関係となるため、責任感が不足している。事情があるにせよ、長期療養中の正職員が実質的に仕事をこなせない分が嘱託職員さらに無償のボランティアへと安易に任せられ、報酬と仕事の量や質とのバランスが取れていない。正規の職員は自分達が税金から給料をもらい市民のために働く義務があるという自覚を持ち、真剣に区政を良くする努力をすべきと思う。【女性・16～20歳】
若者のボランティア活動への参加、推進を働きかけてほしい(無気力、無関心な若者が多すぎる)。マナーなし、モラルなしでこの先の青葉区、横浜市、神奈川県、日本が不安でならない。【女性・51～60歳】
ボランティア活動の参加について 具体的な参加事例、内容についてもっと多くの情報を伝えて「それなら私も参加したい」と言えるような反応を起こすようにしてはどうでしょうか。人や社会のために貢献していくことが喜びとなり、生きがいになると思います。【男性・61～70歳】
地域の交流のためにも高齢者がボランティアでも公園や街角に出ておられる環境を作ると犯罪防止になるのでは。【男性・51～60歳】
子育て世代を手助けしてやりたい気持ちが大。そのために、60～70代のまだ体力がある老年の力を集めて、ボランティア組織を作るといい。自治体がイニシアチブをとること。(留守番や子供預かり)【男性・61～70歳】
地区ボランティアにも参加できればと思っています。今後ともよろしくお願い致します。【無回答・71歳以上】
ボランティア活動を小・中・高校の授業で行うべき。【男性・41～50歳】

8-3. 自治会について

自治会が充分機能していない現在、別なことも考える時期に来ているのではないか。【男性・61～70歳】
地域の高齢化で年々自治会活動に積極的に参加する方が少ない(私も含めて)。特に会長人選時やごみ出し問題(集積所の件)でもめることが多い。【女性・61～70歳】
金持ちは、自治会やボランティア活動に全く協力しない。自治会にもっと予算をつけてほしい。【男性・61～70歳】
町内ごとに町内会費・自治会費(金額)がまちまちなのはなぜ?持ち回りでブロック長をしているが、町内会の活動が今ひとつ良くわからない。【女性・51～60歳】
(自治会役員について)現在保健活動、消費生活、環境事業の役がありますが、個人の健康、農業問題、温暖化の関心は高く、広報「あおば」は丁寧でわかりやすく充実した情報を受けることができ、市の検診実施機関名簿も発行されています。医療・福祉等が整ったところもあり、地域によっては必ずしも必要ではないと思います。【女性・61～70歳】

9. 「行政」について

9-1. 税金について

税金が今よりも安くなることを期待する。 【男性・71歳以上】
税金が高いし、税金の使途を明確にしてほしい。 【男性・51～60歳】
こういったモノを送りつけるのに市民の税金を使うのであれば、区役所でアンケートしたらどうでしょうか？送ってきたのだから書いてあげようと思いますが、不快です。 【女性・21～30歳】
15周年記念式典などやるのだったら、その分のお金を弱者に回せるようにしないとイケないと思う。見た目ばかりにお金をかけずにもっと困っている人達に寄り添った区政をしてほしい。 【女性・31～40歳】
住民税が高すぎる。 【男性・61～70歳】
現在の市政は高い税金をとりながら、借金経済のまま。将来どうなることか心配。私は今将来の市民が安心、安定して暮らせることを望んでいる。開港150周年、区政15周年にいくらの税金をかけるつもりかわからないが、今は借金返済にあてるべきである。どうしても実施したければ、やりたい人が自費でやればよい（提案）。 【男性・71歳以上】
横浜市は住民税等の税金が高く、物価も高くその上公共施設が港方面に集中し、青葉区方面にはほとんどない。 【男性・51～60歳】
青葉区というより横浜市の税金は高すぎると思います。 【女性・51～60歳】
住民税が高い。 【女性・21～30歳】
市・県民税が高すぎる。環境は良いが、もっと安いところに引越したい。 【女性・21～30歳】
神奈川県は税金が高い、生活福祉サービスの充実により、なにか削るものはないか考えてほしい。 【男性・61～70歳】
住環境については、ほぼ満足していますが住民税が高いと思います。現役時代にたくさん払っていたのだから退職後はもっと安くしてほしいと思います。 【女性・61～70歳】
市税節約のため、市民ができそうな活動には協力していきたいと思っています。 【女性・51～60歳】
住民税が高いと思う。 【女性・21～30歳】
住民税、国民保険等をもう少し安くしてほしい。年金生活者にとって大変です。 【女性・71歳以上】
それにしても市民税、国民健康保険料の高くなったこと。私の好きな青葉区で一生を終えたいと思っているのですが…。10年後坂のある街で生活していけるでしょうか？なるべく病気にかからないよう日々努めているつもりです。 【女性・71歳以上】
市県民税が高すぎる。おかしいです!! 【男性・51～60歳】
青葉区制15周年記念事業のような無意味なイベントに税金を使わないこと。今すぐ事業を中止してください。 【男性・31～40歳】
税金が高い。 【男性・51～60歳】
横浜市は地域住民に対しては何の恩恵もない。見栄っ張りの一番住みづらい町だと思っただけ。すべての徴収は高く、還元が一番低いと思う。 【男性・51～60歳】
住民税が高い。 【女性・21～30歳】
住民税が高すぎる。議員の数など減少させるなどして負担を少なくする施策が望ましい。区政サービスを受けていることに実感が感じられない。 【男性・71歳以上】
区政15周年記念事業は質素に税金の無駄遣いは慎むべきでは。記念事業は30年が目途でしょう。 【男性・51～60歳】
問24について記念グッズの作成がむだ遣いだと思う。 【女性・21～30歳】
各方面で税金を大切にに使ってくださいますようお願いいたします。 【女性・71歳以上】
青葉区政15周年記念事業としての式典・記念誌の発行は税金の無駄遣い! 【女性・51～60歳】
毎年、近くの道路の工事、本当に必要なのかいつも疑問を持っています。大切な区民の税金、しっかり区民のために使ってくれているのだろうか？と思っています。記念事業、市や区の活性化と称して無駄な出費に使用するより防災対策や医療、福祉の充実に力を入れるべきです。 【女性・51～60歳】
区民の税金をむだ遣いせず、有効に使ってほしい。住民税は高すぎると思う。市職員の給料を民間並にして各々の仕事に精進して下さい。 【女性・61～70歳】
住民税が高いので将来が不安だ。 【女性・71歳以上】
市区議員数の見直しと税金の減額。 【男性・41～50歳】

15周年記念事業は人により出欠の差もあり、ばらつきのでるサービスはいりません。区民すべてに平等にサービスを受けられるようにしてください。 【女性・31～40歳】
記念事業などにお金や人手をかけるよりも防犯やAEDの設置など人の役に経つものに力を注いでほしいです。 【女性・41～50歳】
市民税、住民税が他の市町村に比べて高いと思う。 【男性・21～30歳】
住民税が高い。区民として何か特典を感じられることがあるのか知りたい。 【女性・21～30歳】
地球温暖化など環境問題に地域住民として取り組みたいと考えておりますが、私達の税金が本当に有効に使われているか疑問になります。高い税金を払って生活は苦しくなるばかりであり還元されていると感じられないのは何故でしょうか。 【女性・51～60歳】
市民のことを思って、市民税を使って下さい。 【男性・31～40歳】
青葉区には高収入の方が多いと聞く。区民税などを下げる。⇒高額納税者の転入増。⇒ますます税収が増える。⇒TAXHEAVEN 特区にすることを考える。高収入の人が増加するという＋スパイラルが形成され、横浜市の中、ひいては日本のモデルケースになりうる余地がある。 土地など残っているうちに高収入＝高額納税者を増やしていく仕組みをつくっておいた方がよいと思う。税金の高さにあきれられる人々は＝収入のある人々だからこのような人を招き入れておくことで将来の展望も可能となる。他の区は税を納めない人々で埋められた。このことは将来福祉などの名目で支出過剰になることは自明である。 【男性・51～60歳】
住民税が高いですね。 【女性・51～60歳】
【税関連】 ガソリン・物価等への対応策（減税・支援等）を考えていただきたい。 【男性・61～70歳】
住民税が高すぎる。 【女性・31～40歳】
2008年市民税・県民税大いに間違いをされて迷惑をうけました。昨年と全く同じ年金生活者なのに市民税が倍以上の請求がありました。続いて国民健康保険、介護保険共に大いにあがりびっくりしました。役所側のミスですから、連携をとってほしいです。国保、介護保険共に私の方が申し出をしなければならぬことは納得できません。今まで税金など一度も不払いをしたことのない私にとってみれば、怒りはおさまりませんでした。ミスはいち早く訂正して下さい!!役所側の横の連結もすみやかに!! 【女性・61～70歳】
高い税金を納めていますので、有効的に活用され区民に十分に還元されることを希望します。 【女性・51～60歳】
子どものいない共働きの夫婦の税金が高いです。 子どものいる家庭と違い、老年になってからの不安材料も多いです。 そちらに納める税金を活かしてほしいです。子どものいる家庭ばかりが注目され、優遇されるのには不公平さを感じます。 【女性・41～50歳】
住民税が高すぎる。 【女性・31～40歳】
区民税などが少なければ子どももあと1人2人ほしいと思うが、自動車税、固定資産など税が多いし高い。 【男性・31～40歳】
青葉区制15周年記念事業等は必要なし（行くとすれば今後へのシンポジウムのようなもの）。祭りに税金を使うのは否。行うなら10、20、30年のもっとキリの良いときだけでよい。 【女性・61～70歳】

9-2. 行政窓口・行政サービスについて

時折街を歩くと老人に出会う機会が多い。高齢社会に突入したのだと改めて実感するが、地区センターの充実（遠すぎて使用できない・・・バスの充実【例：青葉台駅～区役所】など）をしてほしい。 【男性・61～70歳】
各地区センターで職員の対応が様々で、まだまだ使用させてやっているとこの態度の方もいる。古いセンターが特に多い。 【女性・61～70歳】
以前青葉区役所へ行きました。冷暖房が使用されていて快適ではありましたが、緑区役所へ行きましたら冷暖房は使用せずに扇風機のみでした。どちらの方がCO2削減の意識が高いのでしょうか。 【女性・21～30歳】
連絡通知手段は、個別・シンプル・明確化して区政を身近なものに感じられる努力をしてほしい。 【男性・61～70歳】

時々、地区センターでおけいこをしています。後片付けの折、スタッフから水を使った流しを「水滴 1 つ残さずきれいに拭いてください」と言われて、あまりにも厳しく誰のための地区センターなのかととも腹が立ちました。少々のお掃除はスタッフの方でも負担していただいても良いのでは？私達の税金で雇っているのですから。 【女性・51～60 歳】
横浜市青葉区の恩恵にほとんど預かっていない。 区役所の職員が不親切（特に年配の人）。 【男性・61～70 歳】
いわゆる箱物だけ立派な物をつくって活用されていない（例えば区役所とその周辺の建造物）。 【男性・71 歳以上】
先日は街路樹があまりにも枝が伸びてマンションのベランダにも太陽の光が当たらずにうっとおしい感じで区役所に電話をしまして、3、4 日くらいして区役所から電話があり、見に行きましたと、近いうちに枝を切りに行きますと電話が入り枝を切っていただきました。今はすっきりしました。ありがとうございました。住んでいる私達も住みよい青葉区にしていくことが大切なこととつくづく感じました。 【無回答・71 歳以上】
土日と平日夜の営業。 5 階建てくらいの専用駐車場。 【男性・51～60 歳】
青葉区役所や保健所に行くのには不便すぎる。高齢者や子連れでいろいろな手続きをしに行くには駅（市ヶ尾）からも遠いしバスの便もあるのかないかわからない。我が家あたりを見ていると 60 代、70 代前半の人でも車で役所に行っている。でも、今後（特に若い人達と同居している人が少なく高齢者の 2 人住まいが多い）車に乗るのも大変で駐車場も少ないので心配です。後 10 年すると我が家も含め区役所にいろいろな手続きをしに行けるかどうか不安です。青葉区役所の方々はその点に何かお考えがとおりでしょうか？全国長寿 1 位（男）と 7 位（女）と喜んでばかりではなく、その裏には高齢者が多いということを知ってほしい！ 【女性・61～70 歳】
どんなサービスを行っているか情報提供を増やしてほしい。 【女性・16～20 歳】
区役所も図書館も不便な場所にあり、不満を持つ者は多い。青葉台駅から直通のバスが出れば、利用者は確実に増加するはず。 【男性・31～40 歳】
区民ホール（フィリアホール）、青葉公会堂など、文化施設が十分に利用・活用されていないように思う。もっとも利用する方法はないのでしょうか。 【女性・61～70 歳】
青葉区に居住するようになってまだ数年ですが、それ以前に長く住んでいた埼玉県（3ヶ所）と比べて、格段に税金（固定資産税、住民税）が高い割には市民への行政サービスが悪いのには驚いています。聞くところでは、前市長在任中にみなとみらい地区開発により多額の負債を抱えたそうですが、そのツケが現在の行政サービスの低下にも現れているのでしょうか。例えば、近年自治会を通して公園愛護会の契約書を見る機会がありましたが、善意のボランティアを求める要求が続く一方で市の税金の無駄遣いの話がなくなり、財政の厳しい市町村では市議の数やその報酬の削減という社会状況があるにもかかわらず、当市では一向にそのような話は聞かれません。 私共年金生活者はすでに年金は減らされる方向にあり、その上医療費、物価の値上がりなどで、そうそう人様のお世話どころではない老人も多いと思います。 【女性・61～70 歳】
区役所窓口の対応は感じの良い人が多い。今後も区民のためによりよくお願いします。 【男性・41～50 歳】
住民票は三軒茶屋だったら駅前に 2ヶ所、出張所も区内あちこちにあつて、とりにくくて困ることは一度もなかった。（市民のアクセスがもっといい場所に設置すべきでは？）しょもないイベントにお金かけるのなら、もっと実質的な支援等にお金使ってください。 【女性・31～40 歳】
市ヶ尾駅と区役所の連絡はもう少し便利になるとよいな。青葉台郵便局内に窓口サービスができたのはありがたいです。 【女性・71 歳以上】
公共のサービスが不足している 【女性・41～50 歳】
日々の生活の中で困っていることや苦情が簡単に申し入れられるシステムを作してほしい。 【女性・51～60 歳】
奈良郵便局の行政サービスコーナーはこのまま続けてほしい。 【無回答・71 歳以上】
町田市・川崎市に近い青葉区（奈良町）では催事などが遠く、疎外感を感じる。こどもの国が近く、青葉区内でも最も有名な場所であるから、こどもの国にはもっと近隣の住民のために開放してほしい。町田・川崎市と隣接しているので、区を中心街に行くよりも近いので他市の施設等を利用できるようにしてほしい!!（例えば図書館など） 【男性・61～70 歳】

区役所、月に一度でいいので土日利用できるようにしてほしい。 【女性・61～70歳】
区職員の皆さん、住民には偉ぶらないで親切、丁寧に接して“横浜No.1”の区役所を目指して下さい。 【男性・71歳以上】
青葉区の端に位置するため行政・サービス等感じません。 【女性・51～60歳】
青葉区役所が不便なところで、駐車場は混んでいるしなんとかしてほしい。区役所と地域をつなぐ循環バスがあると小さな子どもを持った母親とか、老人とかもっと利用しやすくなると思います。 【女性・51～60歳】
区役所の窓口を土・日も開けてほしい。仕事の休みが合わず、なかなか利用できない。 【女性・21～30歳】
土曜日開庁を毎週に。 【男性・21～30歳】
区役所の場所も駅から遠く、また246を渡るという悪条件のため、ものすごく遠い存在です。駐車場が大きいのはいいですが、もっと身近な場所（駅近）にあってほしい（ベビーカーでは行きにくすぎます）。 【男性・21～30歳】
都内と違い、サービス業が下手。行政の窓口も同じ。説明下手。接客を行う人はサービス業をもっと学ばせたいと思う。役所に行くたびに腹が立ちます。 【女性・41～50歳】
区制はやめる。小さく分けすぎ、神奈川区で充分。道州制を早くしいた方が良く、この方向に向かって真剣に考えることをお願いします。その上で住民サービスはいかにあるべきかを考える。区の発展より、世界にどういった貢献が出来るか、一人一人の意識を高めることを考えてください。 【男性・51～60歳】
住民サービス向上のためIT技術の活用を推進していただきたい。住基カードの活用・電子申請の推進など。各種手続きがオンラインで実施可能になれば高齢化社会への対応にも有意義。 【男性・31～40歳】
【役所内関連】（1）組織改革 ア. 旧役所体制を廃止、新担当制度に移行し、課長も窓口対応を実施できるよう全体の活性化を推進するように図っていただきたい。 イ. 担当部内では、適材適所の移動もスムーズ対応可能となるのではないかと。（2）OA化 ア. 業務の効率化を実施し、経済効果を図っていただきたい。（例：連絡・相談・文書決済・旅費請求・勤務表・会議案内等のシステム化） イ. 情報の共有化を実施し、職員間の活性化を推進してほしい。（3）研修の充実 ア. 危機管理に対する知識を習得し、事態の発生時速やかに対応できるようにしてほしい（特に管理者）。 イ. 災害担当職員の徹底した防災対策及び災害発生前後の的確な対応方法ができるように習得願いたい。 【男性・61～70歳】
地区センターが坂の上にあったり、利用しにくい場所にあたりする。 【女性・51～60歳】
荏田周辺に行政サービスセンターがあれば便利。横浜市や青葉区の動きがほとんど不明である。時々あざみ野センターで広報を見て知る程度であり、県の動向を含め世間に疎い。身近なところでごみ収集の変更も知らされず市税の改定もあると思うが知恵を出せば叶うはず「能らしむべし 知らしむべからず」どういことでしょうか。 【男性・71歳以上】
区役所の方の対応が良くなく、できる限り利用したくない。（20代前半の頃のことですが、その方の名前もはっきりと覚えているくらいです。） 【女性・21～30歳】
写真入り高齢者用証明書を出してほしい。東京都に住んでいる実父の介護した時に、役所とか銀行関係の書類提出する時、説明する時に困った。 【女性・51～60歳】
今年春、街路の樹木を剪定していただきました。おかげさまで楽をさせていただいております。年を重ねるごとに思うことは秋に剪定していただけたらなあーと勝手なことを申し上げました。 【女性・61～70歳】
地域の区民センター等、自主運営により利用させていただいておりますが、利用者に対して場所が少ないのか、なかなか思うように場所が取れず苦労しております。場所も無制限に増やすこともできないでしょうし、もう少し簡単に利用できないものかと智恵をしぼりどころです。結局は高齢者が多く比較的安い料金（公共）で利用が出来るところを考えると故むずかしいのだと思いますが、皆で融通し合って気持ちよく私達も利用していかなくてはならないのかと思っております。良いお考えなり提案が皆様の智恵で生まれることを願っております。 【女性・71歳以上】
図書館やスポーツ施設をもう少し充実させてほしい。地域サークルも。行くまでの交通機関も不便です。巡回バスを走らせるとか。それを知らせる手段も増やしてほしい。駅にニュースを置くとか。回覧板はあまり見ないので。 【女性・31～40歳】

区役所に行くたび暇そうにしている人が多いように思われる。 【女性・61～70 歳】
区役所が街の中心地になくとも不便です。なぜ、あんなに場所にあるのでしょうか？ 【男性・31～40 歳】

9-3. 行政の広報・広聴について

せっかく意識調査をするなら、今後青葉区が目指す方向を具体的に提示し、それについて掘り下げた質問をするべきだと思う。環境問題も福祉問題も区政サービスもすべて上手くやろうとしたって中途半端になることは目に見えてる。そもそも問題発見のための意識調査なのか、問題解決のためのものなのか、ただなんとなくやっていることなのか、よく分からない。営利目的ではなく、純粋に「青葉区をよりよいまちにしたい」という気持ちは伝わってくるが、その「よりよいまち」というものをもっと具体的に掘り下げて考え、実現することが望ましい。上辺だけなでたところで何も変わらない。 【男性・16～20 歳】
区政推進員、さまざまな役職の活動をわかりやすく広報すべき。 【女性・51～60 歳】
今回無作為とはいえ、このような機会を下さりありがとうございます。青葉区役所の皆様が青葉区を良くしようと日々努力して下さっているということが分かり、良かったです。 【女性・31～40 歳】
長寿だと良いみたいな回答しかありませんね。寝たきりや長期入院の人など元気な方ばかりではないはずですが。それを3位だからと喜ぶのはどうでしょう？いくら長寿の方が多くても病院にかかる人が多ければ良いとは言えないと思います。 【女性・31～40 歳】
今回の意識調査により、青葉区で様々な施策がうたれていることがわかりました。せっかくすばらしい施策がうたれているのに、知らない方が多いのではないかと思います。市情報の受け止める側の問題もあるかと思いますが、区民への周知徹底のためには一工夫必要と思われます。 【男性・51～60 歳】
問 12「区役所で禁煙教室や禁煙相談を実施しているほか、医療機関では禁煙外来を行っています。あなたはこれらを知っていますか。」の質問はおかしいです。問 11 で吸わない方は記入しないでいいのでは？ 【女性・21～30 歳】
区の取り組みと区民との間に落差があるように思います。区民が本当に何を望んでいるのか、生の声を聞く機会を設けるべきではないでしょうか。地域の主だった人（自治会長）ではなく、普通の人の声です。 【女性・51～60 歳】
市民のご機嫌とりで行う施策には反対。問 14 がその典型的な例。誰もその要因がわからないのに意識調査の結果が施策の成果である如く宣伝するのではないかと懸念している。 【男性・71 歳以上】
一般的に区政はよく分かりませんが、広報やお知らせ等は目を通して自分なりに努力をしています。区役所の方から何でもいいから発信して下さると区民との距離が近くなるのでは？ 【女性・61～70 歳】
市や区で、いろいろ取り組んでいるんだなと思いました。しかし、私はほとんど知りませんでした。若い人達は多分「区民だより」みたいなのは読まないと思うので、若い人にも区の取り組みを伝える方法を考えてみてはいかがでしょうか？ 【男性・21～30 歳】
何を決めるのも一方的で住民の意見を聴く姿勢がない。 【男性・71 歳以上】
後期高齢者医療制度や市民税の増額等、国の PR も不足しているが、区役所や議員が区民にもっと啓蒙する義務があると思う。より事前に説明責任を果たすべきである。 【男性・61～70 歳】
アンケートはどういう目的で開くのか、明らかにした方がよいしコメントも書かせた方がよい。なお、F 5 から F 12 までの質問は個人を特定できる情報であり、好ましいものではない。 【男性・71 歳以上】
私などのような区政に関して受身でいる人は多いと思います。しかし、拒否しているわけでもなく区政への参加や監視も本当は大事なことと思っています。だから、今回のアンケートは私にとって自分の意識を反省する材料になりました。ありがとうございます。 【女性・21～30 歳】
社会福祉協議会の活動をもっと宣伝してほしい。 【女性・16～20 歳】
法律相談窓口を充実してほしい。行政情報をわかりやすくしてほしい。 【女性・61～70 歳】
地域情報など力を入れてほしい。 【女性・21～30 歳】
引越してきてから 1 年も経っていないので、区政について全く知る機会がない。 【女性・21～30 歳】
どちらかと言うと住民は参加しづらい（参加しても一部の方のみになっていると思います。）のかな、と感じています。どんな住民でも少しだけでも参加できるような何か、たとえば今回のようなアンケートは有効だと思います。 【男性・31～40 歳】

<p>このようなアンケートは環境意識を高める効果もあり、非常に良いと思います。“市や区が何かをしてくれる”というのではなく住民が自発的、自律的に環境福祉（助け合い）、地域の子どもの教育やケア等に取り組んでいく、そういう雰囲気作り、機運作りも行政側に期待しています。よろしくお願いします。</p> <p>【男性・41～50歳】</p>
<p>CO-DO30や郵便局の証明発行窓口サービスなど、知らなかったことが多いのは残念です。もっと宣伝してほしかったです。今回の調査がなければ知らずにいたかもしれません。</p> <p>【女性・31～40歳】</p>
<p>青葉区新聞等を月に1回発行して、家のポストに入れていただきたい。希望制でもよいのでとにかく青葉区の様子をネットや広告だけでとどまらせないでほしい。</p> <p>【女性・21～30歳】</p>
<p>新しく始めたサービスについて、ほとんど知らないことばかりだった。なのでもっと分かりやすいように宣伝してほしい。</p> <p>【女性・16～20歳】</p>
<p>青葉区が行っている取り組みについて全然わかっていないものと思った。私くらいの年代は、回覧板も親が回っていて見る機会もあまりないので、町の中のもっと目に入るところに掲示するなど工夫しないと浸透しないと思う。</p> <p>【女性・21～30歳】</p>
<p>今回このようなアンケートを初めて回答したが、この結果がどのように反映されるのか、正直あまり期待ができない。アンケート結果をまとめて、それで完結してしまうのがよくあるパターンである。しかし、そのようなパターンに陥るのは国家レベルの大規模なものほどそうなりやすく、このような市町村レベルのものは結果をもとに改善しやすいと思う。また、3,000人もの人にアンケートを行っているということで、その経費もかなりの額になっているはずである。地方分権がさげばれている現状で、区の予算も困窮しているはずである。そのため、この3,000人のアンケートを無駄にせず、是非とも今後の青葉区政に活かして欲しい。</p> <p>【男性・21～30歳】</p>
<p>意識調査の無作為なので出しても出さなくても安易に考えておりましたが（体調悪いので）7月9日まで投函との葉書受け取りショボショボの目で書きました。</p> <p>【女性・71歳以上】</p>
<p>若い頃は地域活動をしていたので様々な情報を得ることができたけれど、現在は何も入ってこない。これが普通の住民の生活なのかもしれないと思う。自治会の回覧と広報のみである。ただ救いはご近所が非常によく気づかってくれていることで、子どもがいない全くの一人暮らしですがこのままずっと住み続けたいと思います。（難しい面が多々ありますが…）</p> <p>【女性・61～70歳】</p>
<p>設問が良くない。無理して○をしなければならぬ。</p> <p>【女性・61～70歳】</p>
<p>青葉区は他府県からの流入者が土地の人（生まれが青葉区の人）より多くなり、問14(ア)の設問で言われる「居住年数の長期化」だけでは連帯感が増すことは期待できない。団塊の世代を地域の接着剤として参加できる仕組みづくりを広く告知するようにすることを望む。</p> <p>【男性・51～60歳】</p>
<p>このようなアンケートがあることはいいことだと思います。今後も続けて下さい。</p> <p>【男性・21～30歳】</p>
<p>区政の情報があまり入ってこない（HPをみているのに）。もっとマメにHPにのせたり、PCを持っていない家庭にも情報が伝わるようにしてほしい。</p> <p>【女性・31～40歳】</p>
<p>区議会で討論された内容。どの議員がどのような意見を言われたのかが判ればと思います。国会議員、県会議員、市会議員、区会議員等の活動が全く目に見えません。「一日一日何をされているのかな」と時々思います。</p> <p>【女性・61～70歳】</p>
<p>青葉区政、行政に関心あるものの情報不足のため駅などにフリー誌（L25、SAVVSのような）を設置することを提案いたします。</p> <p>【女性・41～50歳】</p>
<p>青葉区の行政がサッパリ見えない。全く感じない。区長の名前すらほとんどの人は知らないはずだ。もっと自ら区民に話しかけるようにすべきだ。こんな意識調査の前に区長をはじめとする職員の区民に対する意識を調査し直すべきこと大と思う。</p> <p>【男性・71歳以上】</p>
<p>青葉区について知らないことが多く、これからは積極的に情報を取り入れ、住んでいる地域の良さを知らうと思いました。</p> <p>住民の出入りがとても多いとは思いますが、新しく入ってきた人々に、もっと青葉区の情報発信してもらいたいです。</p> <p>【女性・21～30歳】</p>
<p>地区センターなどで体育館を借りたいとき、一般に貸してくれる時間帯を明確にしてほしい。“問19”の情報紙に載せるなどして。</p> <p>【女性・21～30歳】</p>
<p>行政情報をメールマガジンにしてほしい！</p> <p>【男性・31～40歳】</p>
<p>調査ご苦労様です。私は元気に暮らせたなら幸せだと思っています。</p> <p>【女性・71歳以上】</p>

<p>転入してきて1年半になります。小中学生の子どもがいれば色々な情報が入ってくると思いますが、私達には広報とかFM放送からの情報が重要になります。ますます充実させてください。 【女性・61～70歳】</p>
<p>区政推進課の分掌が何であるか、所属人数を知る余地もないが、まさか、このようなアンケートによる調査が主たる業務であるとは思いたくもないが…。このアンケートの狙いが全くわからない。役所がやっている業務の宣伝なのか、税金の更なる無駄遣いの拡大を狙ってなのか。こんなことしかできないのは、いかにも役所の人間がやる、下の下の発想に基づいた予算獲得、組織拡大を狙ったものであろうと、目に浮かぶものである。どこの調査会社にいくらで頼んだのか知る余地もないが、このような稚劣な内容のアンケートを行うことに、猛省を求めたい。地域住民の生活環境の向上を真に図ることを目的にするならば、水戸黄門ではないが、役職を問わず、役所の人間自らが昼夜を問わずに、区内全域を自分の足で歩くことから始めるべきである。自治会が完璧に機能しているか、住民の願いが自治会に届くシステムになっているか、システムは完璧に機能しているか…などなど、真の調査は自らいくらでもできるはずである。公共の場である公園を、一部住民のためのごみ捨て場に供したり、街路灯がなく家族が迎えに出なければならぬ、歩道を歩いていたら突然電柱が歩道のだ真ん中に立っていたり、歩道が突然狭くなり、更にその先は車道を歩かされる羽目になったり…。事例はいくらでも直ちに挙げることができる。地域自治会に改善を求めようとしても、自治会組織・分掌規定・担当役員名…など全てが分からずじまいであるのが実態である。自治会役員名簿すら知らされていないのが実情である。昔から地主がボスの存在で自治会を牛耳っていることはないか、自治会として機能するには肥大化していないか、適正な構成員数を逸脱していないのかなど、住民の声を聞くことから始めるべきである。こういうと、これは区政推進課の仕事ではないというかもしれない。ならば、関連する課・部と共同で、住民の生活向上に向けて大いに汗をかくべきである。自治会の実態調査報告をまずは期待したい。 【不明・不明】</p>

9-4. 行政としての姿勢について

<p>青葉区というところは割と教養も高く、何かよそよそしく、人間関係も難しいと思います。しかし、1対1の対話等で心を開きじっくり話をしていけばいい地域を築けると思います。自治会運営等、きちんとされている地域はいいのですが、もっと区政に関わっていけるような土壌づくりが必要かと思う。今後の取り組みに積極的に関わっていきたいと思います。 【男性・61～70歳】</p>
<p>ドイツの様に太陽光発電のパネルを区役所などの公的機関の屋根に設置する運動を始めたい。 【男性・61～70歳】</p>
<p>雇用問題について積極的に取り組んでもらいたい。今の内閣では何も感じていない、知っていないふりをしていて、本当にいま問題なのは、差別による雇用のする、しない。お金持ちだけ優先させられる。雇用状況、コネなどによる。社会とうまくつながりを持ってない状況にある人々をもっと強く社会とつながりあい、雇用状況を何度会社を変えても、会社は安定し、社会保障も充実した実りある社会としたい。 【男性・31～40歳】</p>
<p>今後、高齢化・少子化もありますが、教育と福祉だけは切らずに行政を充実させて下さい。 【女性・31～40歳】</p>
<p>区政がもっと身近になるようになんらかの工夫が必要ではないでしょうか。公報だけでは不足だと思います。 年齢で縦割りにしないこと。何歳だから～という考え方ではなく、一人の人間として扱ってあげる。（日本人はとかく年齢で何でも区別しすぎると思う。年齢に頼りすぎ？それとも年齢を中心に日本人社会は動いている？ようにみえる） 【女性・61～70歳】</p>
<p>机上の仕事で忙しいとは思いますが、現地に足を運んで目・耳で確かめてほしいこともあります。 【男性・41～50歳】</p>
<p>住民の意見に対して素早く臨機応変な対応を望みます。 【女性・41～50歳】</p>
<p>地区名の細分化を望みます。現在、市ヶ尾町は番地のみですので目指す処番地が広大なので分かりにくいです。（例）市ヶ尾長1丁目、2丁目等 【男性・71歳以上】</p>
<p>地域活動を推進するにあたって、区長が変わるごとに最初からの書類の提出やら県とのつながりが悪いのか県のものだったりすると市は一步引いてしまうような気がして前に進まない。市役所の上司の顔色を伺いながら担当者が積極的でないため、よい提案も何年もかかり提出者の意欲がなくなった頃に返事が来るという。ひとつの提案に時間がかかりすぎる。 【男性・61～70歳】</p>

様々な面において、豊かな人、恵まれた人にとってのみ快適な街づくりではなく、さらに懐の深い区政に期待しています。 【女性・51～60歳】
教育レベルの高い人が多い。その人達の知的財産を区政、地域に活かさないかと思います。 【女性・51～60歳】
これからもさらなる区政の充実を期待しています。 【男性・31～40歳】
青葉区に相応しいシンボル（タワーなど）をつくってほしい。 【男性・21～30歳】
区政と言われても正直ピンと来ない。なぜなら東京のように区議がないからかもしれません。区議会をつくるとお金がかかるのなら、ボランティアでもいいような新しいスタイルの区議会をつくるのも素敵なことです。自治会代表ではなく。 【女性・51～60歳】
区政と市政の違いが正直に申してよくわからないので内容の相違点（意見が違うという意味でなく、図書が主要駅で返却できるなどの素晴らしい特徴）と同じ点がわかりやすく理解できる資料なりホームページへの掲載をしてほしいです。青葉区政の特徴をまとめ、「これが青葉区です」のようなものを示されてるのはどこで知ることができるか教えてほしい。 【女性・41～50歳】
強く意見を言う少数の人に役所は負けているのでは。強い意見が大多数の意見と錯覚しないで。 【女性・61～70歳】
役所の方は時間外も含め、すぐに動く必要があることに関しては早急に対応をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。 【女性・41～50歳】
最後に、区政を行っている人との交流の場がもっとほしい。私自身、政治に興味があるため、そのような場があれば積極的に参加したい。 【男性・21～30歳】
経費削減を本気で考えてほしい。 【男性・51～60歳】
まず無駄をなくす。その後ですよ、増税とか景気向上とかは。無駄一風通しを良くすること。何でも話し合える環境づくり、これは上の人の仕事で「聞いてあげて下さい」、下の人の話を。 【男性・51～60歳】
横浜市の行政予算は、横浜市中心部または青葉台中心地域（駅中心地）が優先され、道路、バス路線等の整備は人口密度の少ない地域でのフォローもしっかりやっていただきたい。 【男性・61～70歳】
無駄のないまじめな行政を続けて下さい（今が悪いということではない）。 【男性・71歳以上】
地区センターの活用をどしどしやってもらいたい。 【男性・71歳以上】
区政についてはよくわからないが区民が本当に暮らしやすくなるようなことを最優先事項として取り組んでもらいたい。 【男性・51～60歳】
県政、市政、詳細は把握できないが、動きが多少見える部分がある。区政というとまったくと言っていいほど無知の状況。もっとアピールをといっても費用がかさむばかり。横浜市民の意識はあるが青葉区民との意識薄い。だが、「横浜のどこに住んでるの?」「青葉区」「へえ、いいところだね。」と他県の人まで認知度（質の良さ）があることは間違いない。今までの良さを守ることも重要である。 【男性・41～50歳】
私は子どもがいないので、今回の質問の中にある問9などの質問について若干理解できないところもある。働いている20、30代の女性も夜道ちかんなど不安なことだらけだ。子どもの安全ばかりに気を遣いすぎていると思う。実際、私の周りはいわゆるモンスターペアレントと呼ばれる人が多くなってきており、自分達のことばかり気にしていて、要求が多い。就労意欲についても（問10）区が考えることなのかと疑問に感じる。やる気のない人間はどんなに世の中が雇用条件など良くなったとしても働かないと思う。結局、子ども達子ども達とみんながフォローしてしまうことで甘えているだけだと思う。区はもっと困っている人に目を向けるべきだと思う。 【女性・31～40歳】
IT企業など、環境に悪影響を与えず青葉区の名前が知られる良いきっかけとなるような大手企業の誘致を行ってほしい。 【男性・21～30歳】
今後のお働きに大いに期待しております。 【男性・41～50歳】
【個人情報】間違った解釈をしているのかは不明ではあるが、自治会・学校等で名簿、連絡網等の作成に困難を生じているため、見直しを図るよう提言してほしい（情報連絡・危機管理等に伴う内容は除く等）。 【男性・61～70歳】
青葉区をますます住みよい街にするためにご尽力お願い致します。青葉区大好きです。 【男性・41～50歳】

<p>開港 150 周年は日本史に残ることであるから記念事業は行うべきと考えるが、青葉区政 15 周年は記念事業などもっての他！役所以外に誰が注目しているの？隣接する川崎市と比べて、障害者支援は明らかに劣っており、市や区を越えた県としての支援統一化を希望する。すなわち『行政のバリアフリー化』である!! 某有名私立校が近々にあざみ野に建設されるとのこと。今でさえ、混雑している田園都市線をもっと混ませるのか？役人は朝・晩の田園都市線の混雑度を体験しているのか？住民の日常生活をより良くするのが行政の役目ではないのか？区の利益の前に!!障害者支援や福祉施策は青葉区最低!!との評判である！金持ちの住民が多くいる反面、普通の住民もいる。その生活をいかにして守り、より良くするのが区役所でしょ!!もっと地に足の着いた行政を計画・実行してほしい!! 【男性・51～60 歳】</p>
<p>人口 30 万人の街として、中核機能となる施設や特色あるものがない（市ヶ尾にあった旧区役所だった施設は社協、地域作業所、配食サービスグループなど、世代を超えて、障がいのあるなしにかかわらず、様々な分野で交流が可能であった）。時代は富山市や青森市に代表されるように住民が動きやすいコンパクトシティが脚光を浴びている中、かつて複合施設として有効な機能を持っていたものを分散させてしまったのは惜まれる。点よりは線、線よりは面としての Network づくりは活動を定着させると思う。丸投げや下請ではない対等な関係による官民協力を望む。青葉区と同じく男性の平均寿命 1 位となった川崎市麻生区のまちづくりは、中核となる新百合ヶ丘駅には人々が集う広場に大道芸があり、音楽が聞こえる。大学や住民との連携による各種催し（新百合映画祭 etc）やHPも充実している。都筑区の取組みも、区としての主な施設が（区役所、図書館、かけはし都筑（福祉施設）、病院、郵便局、警察・・・）ほぼ同じ地域に集約されており、買物の便利さとあいまって利用しやすい複合形態を成す。地下鉄の駅コンクリート、ドイツ学園へのアプローチなど、行政側からの主体性も目立つ。例年、青葉区と同じ 11 月 3 日に行われる区民まつりの形も、地元企業・農業や歯科・医科及び看護ステーションも含めて全都筑的イベントになっている。若い自主グループ活動の理解と支援にも積極的と見受けられる。市の中核をなす中区の取組みはさらに積極的。5 月に TICADIV 関連等で数回訪れたが、特に区民活動センターや同じ建物に拠点を持つ様々な自主グループの活動に触れるにつけ、その混沌の中から、何か新しいものが創造されるだろうことを予感した（→ZAIM）。センターでの各種催しも例えば一時的なものとしてでなく、1 週間を通してアフリカ関連のイベントを組んだ意気込みは評価できる（→African Week）。また、観光コンペティションビューローなどとの連携において、タイムリーな情報を広く発信していることも意味がある。 【女性・51～60 歳】</p>
<p>企業の開発のスピードが速いのでは。区もよく話し合っどどのようなまちづくりにするのか決めてほしい。企業優先にまかせるのではなく田園、青葉を守らなければ特長がなくなってしまう気がします。 【女性・41～50 歳】</p>
<p>地域の活性化に向けて積極的に横の連携を取れるように活動してほしい。 【男性・51～60 歳】</p>
<p>区民の生活は区民一人ひとりが考えること。区政が何でもやらなきゃいけないなどと考える必要はない。行政しかできないことは何かということをよく考え、知恵を持ち寄り、最重要事項に絞って効率的に実行すること。“総合的”にならないこと。区民の税金負担を軽くし、区民が豊かに暮らせるよう知恵を出し合うべし。 【男性・71 歳以上】</p>
<p>横浜市政に対して、大阪並みの行革に取り組むべきである。 【男性・71 歳以上】</p>

9-5. 目指す青葉区の姿について

<p>住みよい文化的な街であってほしい。他の街より豊かな生活が送れるまちづくりに可能性を秘めた街であることを信じ、また貢献したいと思っています。 【男性・51～60 歳】</p>
<p>これからも緑豊かな、町並みも整備され、それでいて農業も盛んな地区となってほしいです。 【女性・31～40 歳】</p>
<p>計画的（20 年 50 年先を読み）都市になってほしい。教育についてもいくつかシュミレーションをたて、1 年 2 年で変えるようなことはしないでほしい。都市計画も教育も 100 年先を見越して今を考えないと上っ面だけのものになり心配。 【女性・41～50 歳】</p>
<p>緑の多い、住み良い街づくりを推進してほしいです。 【女性・31～40 歳】</p>
<p>高齢化社会となっている現在、ご高齢の方がお一人でお住まいになられても安心して暮らしていける社会、青葉区となってほしいです。 そして子ども達がコンピューターゲームや進学だけを目的とした勉強をするのではなく、人生一生涯を通して宝となり人格の形成に必要な勉強、人として大切なことを培うことのできる青葉区となってほしいです。 【女性・21～30 歳】</p>

福祉、教育など人材豊かな青葉区民の方々を採用したり助けていただけて、青葉区独自のものを作っていただけといいと思います。 【女性・51～60歳】
質の高い港街文化都市を築いてほしい。国際レベルの音楽祭。経験豊富な企業OB人の知恵の活用。 【男性・51～60歳】
健康増進のためウォーキングコースを決定し（看板を掲げてコースを明示する）どこからどこまでで何kmあり何分で歩けば何カロリー消費するというような看板を立てて「ウォーキングの街」にしてみたいか。緑の多い町でもありユニークな取り組みといえないだろうか。1km、3km、5km、8km、10kmごとに分けて区内の道路の歩きやすそうなところを選んで決定する。 【男性・71歳以上】
毎年、夏はふるさと村にホテルを見に行きます。美しい自然を子ども達に残してあげたいと思います。リサイクルなどの活動でもっともっと豊かになれると思います。緑の多い青葉区に期待しています。 【女性・31～40歳】
今後の社会の変化（環境・高齢化・医療費削減）の中で、住民に住みやすい街づくりをお願いしたい。 【女性・41～50歳】
問14の回答にあるような青葉区となるよう切望します。 【女性・51～60歳】
子ども、青少年、若い世代、高齢者そして健康な人、生涯のある方など、どんな人でも暮らしやすく、いつまでも住み続けることのできる青葉区であってほしいと願っています。 また、昔ながらの“町”（自然）と新しい“街”が共存できる「まちづくり」をしていただきたいと思います。そのためにも、住民と行政が共に行動する仕組みづくりをしていただきたいと思います。 【男性・31～40歳】
いつまでも緑豊かな青葉区であってほしいと願います。 【女性・41～50歳】
環境を大切に人間の暮らしにもっとふさわしい街にしてほしい。 【男性・51～60歳】
住人の声が聞こえる街になるよう自分自身努力したいと願いながら…。 【無回答・無回答】
犯罪が増えてきている中で、子どもを守る方法として過保護に対策をうつのではなく、例えばスクールバスによる通学やGPSを持たせる等するのではなく、子ども自身に何が犯罪でどうやって自分の身を守るかの知識や情報を学べるようにしてほしいです。犯罪から守るのではなく、犯罪を起こさない、犯罪のない区に青葉区をしてほしいです。 【女性・21～30歳】
都会過ぎず、田舎過ぎず過ごしやすい区だと思います。これからもこのような温かみのある区であってほしいです。 【女性・21～30歳】
子どもをのびのびと育てられるような安全で緑の多い街であってほしいです。 【女性・31～40歳】
いつまでも緑の多い自然に恵まれた区であってほしいと考えます。 【男性・41～50歳】
青葉区をととても気に入っています。これからもより住みやすい地区として、生活の面、文化の面と区政の力を発揮していただきたいと思います。 【女性・51～60歳】
当地区は青葉区である。ゆえにこれ以上自然を壊してまで新しく建物を増やさないと望む。一家屋、マンション、ビジネスビル等の建築は古くなったものを壊したところだけに建て替える。現在の山、畑、田んぼは現状維持で青葉区らしく豊かな青葉地域を多く残してほしい取り組みを希望する。そうすればやたらと人口が増え、田園都市線の混み方も緩和に繋がる。高齢者には心安らぎ、子ども若者は自然が多く豊かな青葉の中で育ち感情豊かな社会人に育っていくと思う。そういった区に生まれ育ったことに誇りが持てるような区になることを望みます。「宅地造成のために自然を壊さない」お願いします。いろいろな問題もありますことでしょう。特に相続に関する事例もよく聞いております。また、人口が増えることは納税者も増え、区の財政は豊かになるでしょうから一口で人口増を拒否しているわけではありません。 【女性・61～70歳】
青葉区は他の区と比べてまだ新しく、整っていない点が多いと思われます。老人や子どもにとって安心して（治安、医療、福祉など）暮らせる、愛すべき区となるようご尽力ください。 【男性・61～70歳】

9-6. 区民としての姿勢について

市民や県民である意識はあるが、区民であるという意識はない。 【男性・21～30歳】
私の居住地は青葉区でも玉川学園駅に近いので日常生活では町田市の施設を利用することが多い。青葉区に対する関心が薄いことも事実です。今後は意識して青葉区に関心を持ちたいと思います。大いに反省しています。 【男性・71歳以上】

青葉区に住んでいる方々は住んでいることにある程度誇りを持っていると思います。ただそれは、区政が優れているといったことや、市政、あるいは県政に恵まれたわけではありません。東急田園都市線が作ったブランドイメージの恩恵であり、県、市、区は十分な役割を担っているとは言えず、住民に支えられて（多くの税金を集めることができて）県、市、区がそれらしくやっていけているのが実状だと思います。もっと「区民のために」という観点を持っていただきたいと思います。 【男性・41～50 歳】
青葉区民であることに誇りに思っています。 【男性・21～30 歳】

9-7. その他行政について

議員報酬が高すぎる。 【男性・61～70 歳】
農薬散布にルールを作ってほしい。 【女性・51～60 歳】
墓地対策を積極的にしてほしい。 【男性・61～70 歳】
大変失礼だが非常に官僚的硬直的で全く親近感がない。 【男性・71 歳以上】
区長さんをはじめ、誰の名前も顔も知らない（区役所・市役所とも）。 【男性・71 歳以上】
良くも悪くも「横浜都民」であると思う。であれば、彼等の利便性を考えることが青葉区に必要なことだと思う。 【男性・71 歳以上】
いろいろご配慮ありがとうございます。 【女性・71 歳以上】
同性婚を認めてほしい（日本で初めて） 【女性・31～40 歳】
選挙の時も、演説車があまり来ず、取り残された感はいなめない。 【女性・61～70 歳】
青葉区の人口は地方都市の人口以上である。よって区長は区民の選挙で決定すべきであると思う。東京都の各区のようにすべきと考える。 【男性・51～60 歳】
ほぼ満足している。 【男性・61～70 歳】

10. 「その他」について

「満足」「楽」「豊か」「簡単」の裏側、反対側ではいつも「犠牲」「偽性」があることを忘れてはならない。 【男性・41～50 歳】
何でもネットに頼らないでほしい。便利すぎると世の中ダメになります。自分の足で歩くようにしたい。 【女性・41～50 歳】
国の方針が見えない。新興地域なのにビジョンがない。住みたくても相続とか、施設等で心定まらないし計画も建たない。スウェーデン方式でもなく、大正・昭和のように長男が家督をとでもなく、収入もない、人手を借りなければままならないのに、このまま続けることもできないし、どうゆう日本なのかさえもわからないので、どうしたらよいのか？又、公約のようにアッチペタン、コッチペタンでゆくしかないのか、老人に貧しい。税の問題を個々に聞きますが、国民の基礎を思う時、個人としてはよく働き、よく払い、幸せな国となるとよく働くとなると労働＝会社＝国内生産 よく払い＝会社からもらう賃金＝消費税 これらの弊害が医療に補さ。医療は金持ちも貧乏人も同じにかかるので平等精神ですよね。流行病なにか根幹が欠けての政治だと思います。根幹をしっかりとしてほしい。 【女性・71 歳以上】
ここ半年ばかり航空路線が変更になったためか空の飛行がやかましくなり困ります。20 年位前に江田に落ちた飛行機がありましたことを思い出して、恐ろしいので注意して下さい。 【女性・71 歳以上】
今回のアンケートをやってみて、自分自身が、あまり区政が自分の生活に影響すると考えていない。また、自分が参加しようという意識が薄いことに気づきました。安全に、心地良く暮らしたいとは思っているが、それに対して自分が関与できることは少ないと思っていることが分かりました。音楽や芸術など自分が興味を持てる地域活動については、関心を持てるものもあるかもしれませんが、「この地域をよりよい生活空間にしたい」という志が、地域活動へ参加したいという気持ちにつなげない、と自分については思いました。子どもがいたり自らが高齢者となれば多少違うのかもしれませんが、しかし、地域のために働いてくださっている方々に感謝しています。 【女性・41～50 歳】

4 調査票

平成 20 年度 青葉区区民意識調査

【調査ご協力のお願い】

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

青葉区では、青葉区の生活について行動や意識をうかがい、今後の区政の参考とするために「青葉区区民意識調査」を実施しています。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様の中から、16 歳以上の男女 3000 人の方を無作為に抽出し、お願いしているものです。

調査票は無記名でご提出いただき、ご回答いただいた内容は統計的に処理されますので、皆様のご意見や個人情報などが直接外部に公表されることは絶対にありません。

また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。

調査結果につきましては、今後、「青葉区ホームページ」や「広報よこはま青葉区版」で公表いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 20 年 6 月

青葉区長 細谷 延

<ご記入にあたって>

- ① 封筒のあて名のご本人様がご回答ください。
 - ② お答えは、各設問の中であてはまる回答（選択肢）の番号を○で囲んでください。
○の数は、（○は1つだけ）、（○はいくつでも）のように指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。
 - ③ 質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
 - ④ 鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。
- ※ ご記入いただきました調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて、**7月 9日（水）まで**にご投函ください。（切手を貼る必要はありません。）
- ※ この調査に関するご質問等は、下記までお問合せ下さい。

青葉区役所 区政推進課 企画調整係 電話:045-978-2217
ファックス:045-978-2410
E-mail:ao-kikaku@city.yokohama.jp

青葉区の生活環境について

問1 あなたは青葉区のどのようなところに魅力を感じますか。 (〇はいくつでも)

1. 豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている
2. 歴史、文化的資源が豊富である
3. 整然とした良好なまちなみである
4. 病院、学校、道路などの生活基盤が整っている
5. 教育や文化の水準が高い
6. 地域活動が盛んである
7. 魅力的な店が多い
8. 都心に近く、通勤・通学や買い物などに便利である
9. 福祉サービスが充実している
10. その他 ()
11. 特に魅力を感じない

問2 あなたが、日々の生活の中で、不足もしくは不便と思われることは何ですか。 (〇は3つまで)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 公園 2. 緑地（山林や農地など） 3. ごみのリサイクル・減量化 4. 道路（道幅、渋滞等） 5. 駅の駐輪場 6. 駅の駐車場 7. 交通手段（バス） 8. 交通手段（鉄道） 9. 保育園・幼稚園 10. 小学校・中学校 11. 子どもの遊び場や子育て支援のための施設 | <ol style="list-style-type: none"> 12. 日用品の店（商店街） 13. 働く場所 14. 病院、診療所 15. 図書館 16. スポーツ施設 17. 地区センター、コミュニティハウス 18. 高齢者のための施設 19. 障害者のための施設 20. 交番・警察 21. その他 () 22. 特にない |
|---|---|

問3 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか。 (〇はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. まちなみを乱す建物、広告物など 2. 建物の用途（店舗、倉庫、工場など）の混在 3. 高層建築物（日照や眺めなど） 4. 敷地の細分化 5. 敷地の造成にともなう緑地の減少 6. 土砂崩れ 7. 建築工事の騒音 8. 自動車の騒音 | <ol style="list-style-type: none"> 9. 路上駐車 10. 放置自転車 11. ごみの不法投棄 12. 水路などの氾濫 13. 河川の汚れや臭い 14. 災害 15. 犯罪、治安 16. その他 () 17. 特に心配なことはない |
|---|--|

環境・自然について

問4 あなたは、「CO-DO30」*を知っていますか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 内容も理解している | 3. 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 2. だいたいの内容は知っている | 4. 知らない |

*横浜市では、率先して脱温暖化に強力に取り組むため、平成20年（2008年）1月に「横浜市脱温暖化行動指針（CO-DO30）」を策定しました。「CO」とは二酸化炭素の削減を、「DO」とは行動（脱温暖化行動）を、「30」とは平成16年（2004年）から37年（2025年）までの一人あたりの温室効果ガス削減目標であるマイナス30%を表し、「コード サンジュウ」と読みます。

問5 あなたは、現在、環境を守るための取り組みをしていますか。 (〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫をしている |
| 2. 生ごみをたい肥化してリサイクルを行っている |
| 3. 食品のトレイはリサイクルされるよう回収ボックスに出している |
| 4. 買い物にマイバックを持参している |
| 5. 環境に配慮した製品などを生活に取り入れている |
| 6. フリーマーケットを利用している |
| 7. 自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用している |
| 8. エアコンなど冷暖房機器の設定温度を、夏 28℃以上、冬 20℃以下にしている |
| 9. 使っていない電化製品の電源はこまめに切っている |
| 10. 風呂の残り湯を、洗濯や散水に利用している |
| 11. 自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てている |
| 12. その他 () |
| 13. 特に取り組んでいることはない |

問6 あなたが、環境を守るために今後取り組みはじめたいことは何ですか。 (〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫をする |
| 2. 生ごみをたい肥化してリサイクルを行う |
| 3. 食品のトレイはリサイクルされるよう回収ボックスに出す |
| 4. 買い物にマイバックを持参する |
| 5. 環境に配慮した製品などを生活に取り入れる |
| 6. フリーマーケットを利用する |
| 7. 自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する |
| 8. エアコンなど冷暖房機器の設定温度を、夏 28℃以上、冬 20℃以下にする |
| 9. 使っていない電化製品の電源はこまめに切る |
| 10. 風呂の残り湯を、洗濯や散水に利用する |
| 11. 自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てる |
| 12. その他 () |
| 13. 特に取り組みはじめたいことはない |

問7 あなたは、「150万本植樹行動」*を知っていますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 名前は聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|----------------|---------|

*横浜市では、市民・事業者・行政が協働して平成21年度（2009年度）までに150万本の木を植える「150万本植樹行動」に取り組んでいます。

福祉・健康問題について

問8 子育て中の家庭を支援するためには、どのようなことを充実する必要があると考えますか。

(○は3つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 子どもが安心して遊ぶことのできる場所の充実 |
| 2. 子育てについて、気軽に相談したり、学ぶことのできる窓口や機会の充実 |
| 3. 一時的に子どもを預けることのできる施設や制度の充実 |
| 4. 保育園や放課後児童クラブなど、子どもの生活を支える施設の充実 |
| 5. 子育て情報の充実や、容易に入手できる仕組みができること |
| 6. 地域で子育て支援活動に携わる人たちを増やすこと |
| 7. 学校以外での子どもに対する教育機会の提供や、内容の充実 |
| 8. 子どもを犯罪や有害な情報から守る対策の推進 |
| 9. 子育てに要する費用などへの経済的な支援の充実 |
| 10. 地域や社会全体で子育てに対する理解や協力が進むこと |
| 11. その他 () |
| 12. 特に必要な支援はない |

問9 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割として、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。

(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 子どもたちのマナーやモラルの育成 | 6. 復習などの学習支援 |
| 2. 挨拶や声かけなどの習慣づくり | 7. 習い事や遊び場の提供 |
| 3. 安全パトロール・見守り | 8. 地域の歴史や伝統文化の伝承 |
| 4. ボランティアや地域活動への参加の機会づくり | 9. その他 () |
| 5. 子どもの職業体験の機会づくり | 10. わからない |
| | 11. 特にない |

(問 16 で「14」と答えた方)

問 16-1 あなたの家庭では非常持ち出し品として何を準備していますか。(〇はいくつでも)

1. 非常持ち出し袋	10. 救急医療品
2. ヘルメット・防災頭巾	11. タオル
3. 非常食	12. サバイバルブランケット等
4. 飲料水	13. ティッシュペーパー・トイレトペーパー
5. 懐中電灯・ろうそく	14. 簡易トイレ
6. ライター・マッチ	15. 現金など貴重品
7. 携帯ラジオ	16. 生理用品・おむつ
8. ロープなど簡単な救助資機材	17. 筆記用具
9. ナイフ・はさみ・かんきり等	18. その他 ()

問 17 あなたは、地域があらかじめ避難が難しい方(要援護者)のいる世帯を把握するための「支えあいカード」*を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている	2. 名前は聞いたことがある	3. 知らない
----------	----------------	---------

*青葉区では、災害発生時に、避難が難しい方(要援護者)の安否確認や情報伝達、救出救護、避難誘導が、近隣の助け合いのもとに円滑に進むよう、地域があらかじめ該当世帯を把握するための「支えあいカード」を作成しています。

問 18 あなたは、一戸建ての住宅や小規模のアパートでも住宅用火災警報器の設置が義務付けられた*ことを知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っており、住宅にも設置されている
2. 知っているが、住宅には設置されていない
3. 知らない

*新築住宅は平成18年(2006年)6月1日から、既存住宅は平成23年(2011年)6月1日になるまでに、住宅用火災警報器を設置することが、横浜市火災予防条例で義務付けられました。

区政サービスについて

問 19 あなたは、青葉区役所からの行政情報について、主にどのような手段で入手していますか。(〇はいくつでも)

1. 広報よこはま青葉区版	6. 区民活動支援センター
2. 青葉区ホームページ	7. 地区センター、コミュニティハウス
3. ラジオ(FMサルース)	8. 民間のタウン紙などの情報紙
4. ケーブルテレビ	9. 自治会・町内会の回覧板・掲示板
5. 青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	10. その他 ()

問 24 あなたは青葉区制 15 周年記念事業として、区役所は区民とともにどのようなことを行うと良いと思いますか。 (〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 式典の開催 | 6. 記念グッズの作成 |
| 2. 記念誌の発行 | 7. 区民が出店などで参加するイベントの開催 |
| 3. 音楽祭の開催 | 8. その他 () |
| 4. 芸術祭の開催 | 9. 特にない |
| 5. スポーツイベントの開催 | |

あなた自身について

F 1 あなたの年齢をお答えください。 (〇は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 16～20歳 | 6. 41～45歳 | 11. 66～70歳 |
| 2. 21～25歳 | 7. 46～50歳 | 12. 71～75歳 |
| 3. 26～30歳 | 8. 51～55歳 | 13. 76歳以上 |
| 4. 31～35歳 | 9. 56～60歳 | |
| 5. 36～40歳 | 10. 61～65歳 | |

F 2 あなたの性別をお答えください。 (〇は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 3 あなたは、青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）に、どのくらいの期間お住まいになっていますか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 6. 20年以上～30年未満 |
| 2. 1年以上～5年未満 | 7. 30年以上～40年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 8. 40年以上～50年未満 |
| 4. 10年以上～15年未満 | 9. 50年以上 |
| 5. 15年以上～20年未満 | 10. わからない |

F 4 あなたが青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）に来られる前にお住まいになっていたところはどちらですか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 生まれてからずっと青葉区 | 5. 町田市 |
| 2. 青葉区以外の横浜市 | 6. 東京23区 |
| 3. 川崎市 | 7. その他 () |
| 4. 横浜市、川崎市を除く神奈川県内 | |

F 5 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 持家（一戸建て） | 4. 借家（マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮） |
| 2. 持家（マンション・共同住宅） | 5. その他 () |
| 3. 借家（一戸建て） | |

F11 あなた本人も含めて区内に65歳以上のご家族はいらっしゃいますか。 (〇は1つだけ)

- | | | |
|-----------|--------------|--------|
| 1. 同居している | 2. 別居だが区内にいる | 3. いない |
|-----------|--------------|--------|

F12 あなたの住んでいる町は次のうちどちらですか。以下の選択肢は五十音順になっています。

(〇は1つだけ)

【あ】

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|
| 1. 青葉台一丁目～二丁目 | 20. あかね台一丁目～二丁目 | 35. あざみ野一丁目～四丁目 |
| 2. あざみ野南一丁目～四丁目 | 21. 市ヶ尾町 | 36. 美しが丘一丁目～三丁目 |
| 3. 美しが丘四丁目～五丁目 | 22. 美しが丘西一丁目～二丁目 | 37. 美しが丘西三丁目 |
| 4. 梅が丘 | 23. 荏子田一丁目～三丁目 | 38. 荏田町 |
| 5. 荏田北一丁目～三丁目 | 24. 荏田西一丁目～五丁目 | 39. 榎が丘 |
| 6. 大場町 | 25. 恩田町 | |

【か】

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| 7. 柿の木台 | 26. 桂台一丁目～二丁目 | 40. 上谷本町 |
| 8. 鴨志田町 | 27. 鉄町 | 41. 黒須田 |

【さ】

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| 9. 桜台 | 28. さつきが丘 | 42. 寺家町 |
| 10. 下谷本町 | 29. しらとり台 | 43. 新石川一丁目～四丁目 |
| 11. すずき野一丁目～三丁目 | 30. すみよし台 | |

【た】

- | | | |
|------------------|---------|---------|
| 12. たちばな台一丁目～二丁目 | 31. 田奈町 | 44. 千草台 |
| 13. つつじが丘 | | |

【な】

- | | | |
|---------|---------------|---------|
| 14. 奈良町 | 32. 奈良一丁目～五丁目 | 45. 成合町 |
|---------|---------------|---------|

【は】

15. 藤が丘一丁目～二丁目

【ま】

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 16. 松風台 | 33. みすずが丘 | 46. みたけ台 |
| 17. 緑山 | 34. もえぎ野 | 47. 元石川町 |
| 18. もみの木台 | | |

【わ】

19. 若草台

F13 あなたは青葉区に住み続けたいと思いますか。 (〇は1つだけ)


- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 今住んでいるところに住み続けたい | 3. 青葉区以外の横浜市に住みたい |
| 2. 青葉区内のどこかに住み続けたい | 4. 横浜市外に住みたい |

平成 20 年度 青葉区民意識調査 報告書

発行日 平成 20 年 9 月

発 行 青葉区 総務部 区政推進課

〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町 31 番地 4

 0 4 5 (9 7 8) 2 2 1 6

FAX 0 4 5 (9 7 8) 2 4 1 0